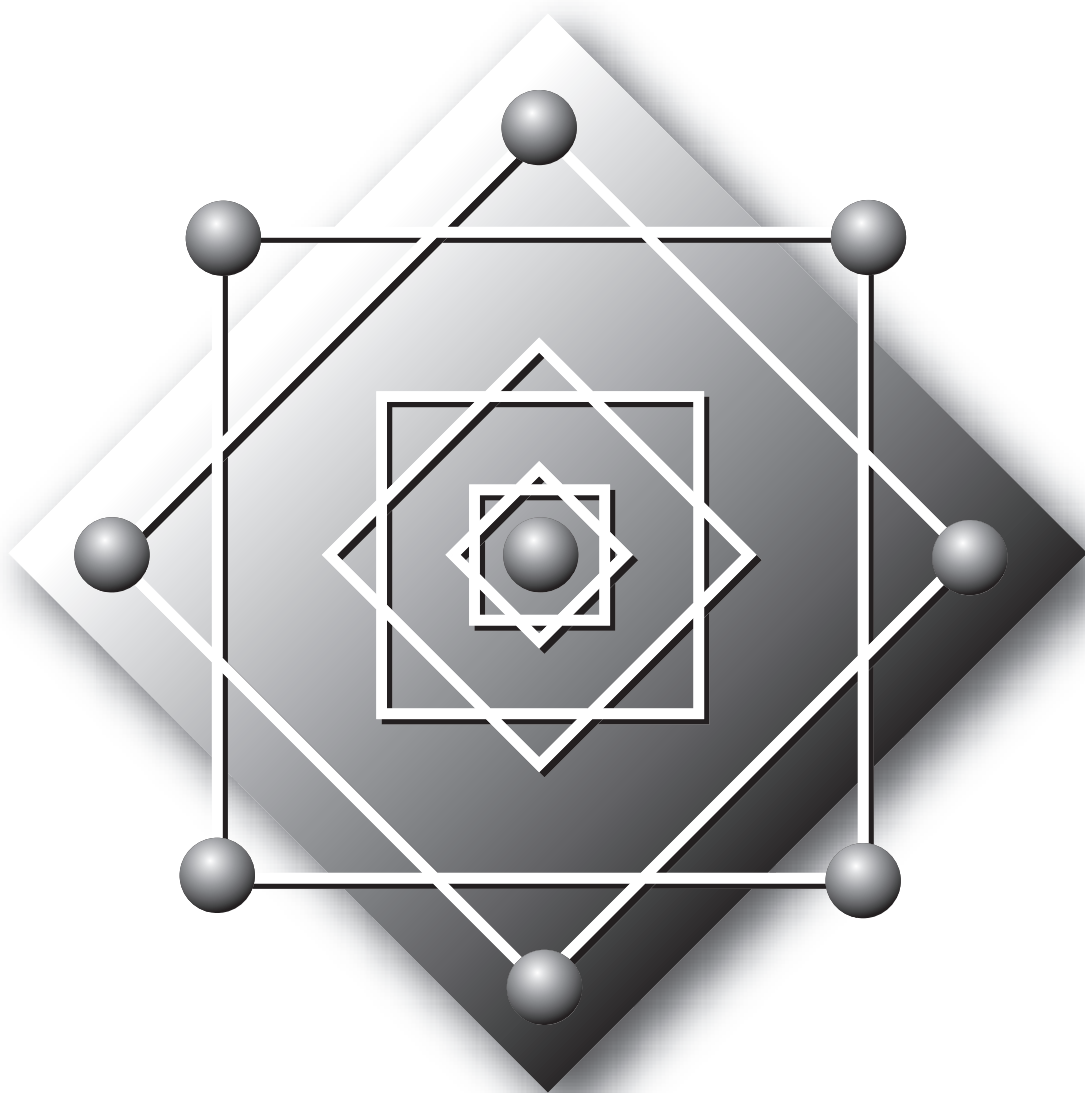


Print Job Accounting

ユーザズマニュアル



本書の見方

表 記

本書では、次のように表記している場合があります。

- Microsoft Windows 8.1 64-bit Edition operating system → Windows 8.1（64bit 版）※
 - Microsoft Windows Server 2012 R2 64-bit Edition operating system → Windows Server 2012 R2
 - Microsoft Windows 8 64-bit Edition operating system → Windows 8（64bit 版）※
 - Microsoft Windows Server 2012 64-bit Edition operating system → Windows Server 2012
 - Microsoft Windows 8.1 operating system → Windows 8.1 ※
 - Microsoft Windows Server 2012 R2 operating system → Windows Server 2012 R2 ※
 - Microsoft Windows 8 operating system → Windows 8 ※
 - Microsoft Windows Server 2012 operating system → Windows Server 2012 ※
 - Microsoft Windows 7 64-bit Edition operating system → Windows 7（64bit 版）※
 - Microsoft Windows Vista ™ 64-bit Edition operating system → Windows Vista（64bit 版）※
 - Microsoft Windows Server 2008 R2 64-bit Edition operating system → Windows Server 2008 R2
 - Microsoft Windows Server 2008 64-bit Edition operating system → Windows Server 2008（64bit 版）※
 - Microsoft Windows Server ™ 2003 x64 Edition operating system → Windows Server 2003（x64 版）※
 - Microsoft Windows 7 operating system → Windows 7 ※
 - Microsoft Windows Vista ™ operating system → Windows Vista ※
 - Microsoft Windows Server 2008 operating system → Windows Server 2008 ※
 - Microsoft Windows Server ™ 2003 operating system → Windows Server 2003 ※
 - Windows、Windows 8.1、Windows Server 2012 R2、Windows 8、Windows Server 2012、Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008 R2、Windows Server 2008、Windows Server 2003 の総称 → Windows
- ※ 特に記載がない場合は、Windows 8.1、Windows 8、Windows Server 2012、Windows 7、Windows Vista、Windows Server 2008 と Windows Server 2003 には 64bit 版も含みます。
- MacOS 9.0/9.0.4/9.1/9.2/9.2.1/9.2.2 → MacOS
 - MacOS X 10.3 以降 → Mac OS X
 - MacOS 9.0/9.0.4/9.1/9.2/9.2.1/9.2.2、Mac OS X 10.3 以降の総称 → Macintosh

マーク



本ソフトウェアを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。



本ソフトウェアを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。お読みになることをお勧めします。

諸注意

商標について

OKI は沖電気工業株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vista、Excel、Active Directory は、米国 Microsoft Corporation の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。

Macintosh、Mac OS は、米国 Apple, Inc. の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。

PageMaker は、Adobe System Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

SD メモリーカードは、SD Association の登録商標または商標です。

その他各社名、製品名は、登録商標または商標です。

本書について

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの著作権について

すべての権利は、株式会社沖データに属しています。無断で複製、転記、翻訳等を行なってははいけません。必ず、株式会社沖データの文書による承諾を得てください。

© 2013 Oki Data Corporation

使用許諾契約

本ソフトウェアをお使いになる前に、以下の項目をお読みください。本ソフトウェアとは、Print Job Accounting Enterprise, Print Job Accounting Lite, Print Job Accounting Client、および関連する説明資料を指すものであり、株式会社沖データ（以下、沖データという）が提供するものです。本ソフトウェアを使用することにより、お客様は、沖データとの間で契約が成立し、本契約条項の拘束を受けることに同意したものと見なされます。

1. 本ソフトウェアは、本ソフトウェアに対応する沖データプリンターでのみ使用できるものです。
Print Job Accounting Enterprise の場合は、お客様は、1 台のコンピューターのみにインストールして使用することが出来ます。2 台以上のコンピューターで使用したい場合には別途ソフトウェアを購入していただく必要があります。
Print Job Accounting Lite, Print Job Accounting Client の場合は、インストールして使用するコンピューターの台数に制限はありません。
2. 本ソフトウェア、およびそのコピーの著作権、版權、所有権は、沖データまたは沖データに使用許諾を与えたライセンサーにあります。お客様には、本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。お客様は、第 1 項のインストール以外に、本ソフトウェアの一部または全部を複製したり、他人に複製を作らせたり、複製を許可することはできません。また、お客様は、本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意するものとします。
3. お客様は、本ソフトウェアを賃貸、貸与、リース、配布、転載、移転しないことに同意します。また、日本国外に出荷、移転、輸出、再輸出できないこと、違法な方法で使用しないことに同意するものとします。
4. お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様の本ソフトウェアの使用中止およびライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアのオリジナルおよび全てのコピーの使用を中止し、破棄しなければなりません。
5. 沖データは、お客様が本ソフトウェアを購入された日から 90 日以内に限り、本ソフトウェアの記録媒体の物理的瑕疵により動作しない場合には他の代替品と交換すること、又はその他の瑕疵により動作できない場合には、お客様が本ソフトウェアの対価として支払われた金額を上限として賠償することのみを保証するものとします。ただし、本ソフトウェアの動作しない原因がお客様の事故、不適当な取扱い又は誤使用等による場合は一切保証いたしません。また、お客様のコンピューターにおける他のソフトウェア等との組み合わせにより生じた不具合についても、何ら保証しないものとします。
6. 本ソフトウェアの選択、使用、並びに使用結果等については、お客様の責任とさせていただきます。
7. 本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。なお、沖データは、お客様の希望にかかわらず、本ソフトウェアに関してバグ修正、内容変更、改訂版の提供等の如何なる保守サービスの提供も行う義務を負わないものとし、更に、本ソフトウェアに関するバグ情報や内容変更情報、改訂情報等に関して、お客様に提供する義務を負わないものとします。
8. 沖データは、本ソフトウェアと併用する他社製ソフトウェアに関するバグ修正や保守サービスの提供を行う義務を負わないものとします。

目 次

1. セットアップの前に	12
プリントジョブアカウンティングとは	12
プリントジョブアカウンティングの特長	12
プリントジョブアカウンティングのしくみ	13
プリントジョブアカウンティングの構成	14
プリントジョブアカウンティングの導入手順	15
サーバーソフトウェアのセットアップ	15
クライアントソフトウェアのセットアップ	15
ユーザー情報を用意します（Enterprise 版のみ）	16
設定に必要な情報	16
ユーザー ID の割り当て例	17
2. サーバーソフトウェアをセットアップします	20
動作環境	20
セットアップします	20
サーバーソフトウェアのライセンス認証（アクティベーション）	22
サーバーソフトウェアの画面構成	23
サーバーソフトウェアを起動します	24
サーバーソフトウェアをセットアップします	24
Active Directory に関する設定をします（Enterprise 版のみ）	24
データベースに関する設定をします（Enterprise 版のみ）	24
ログを取得するプリンターを追加します	25
ユーザー ID と名前を登録します（Enterprise 版のみ）	29
複数のプリンターをグループとして管理します	32
プリンターグループを変更します	32
プリンターグループを削除します	33
プリンターの設定をバックアップします	33
プリンターの設定を復元します	34
3. クライアントソフトウェアをセットアップします	36
Windows にセットアップします	36
動作環境	36
クライアントソフトウェアをインストールします	36
ジョブアカウントモードを設定します	38
Mac OS にセットアップします	40
プラグインを設定します	40
Mac OS X にセットアップします	41
動作環境	41
クライアントソフトウェアをインストールします	41
ユーザー ID を登録します	41
複数のユーザーを一度に登録するには	42
ユーザー ID、ユーザー名を変更するには	42
ユーザー ID、ユーザー名を削除するには	43

4. ユーザー ID の管理 (Enterprise 版のみ)	46
ユーザー ID を追加します	46
手動で追加するには	46
CSV ファイルを作成して一括して追加するには	48
Windows に登録されているユーザーを読み込むには	50
機能や使用制限を設定するには	52
複数のプリンターに同じユーザー ID を登録します	54
複数のユーザーをグループとして管理します	55
ユーザーグループを変更します	59
ユーザー ID、ユーザーグループを削除します	60
ユーザー ID、ユーザーグループの設定を変更します	60
使用制限タブ	61
制限値タブ	62
有効期限	62
ユーザー ID、ユーザーグループごとの使用状況を確認します	63
使用状況を確認するには	63
使用状況をリセットするには	64
集計の結果をメールで通知するには	64
認証ユーザー名にユーザー ID を関連付けます	65
手動で追加するには	65
CSV ファイルを作成して一括して追加するには	67
Windows に登録されているユーザーを読み込むには	68
他のプリンターからインポートするには	70
5. 使用制限の管理 (Enterprise 版のみ)	74
ログイン名に使用制限を設定します	74
手動で追加するには	74
ログから追加するには	76
CSV ファイルを作成して一括して追加するには	77
Windows に登録されているユーザーを読み込むには	78
未登録項目の設定を追加します	80
ドキュメント名に使用制限を設定します	81
手動で追加するには	81
ログから追加するには	82
未登録項目の設定を追加します	83
ホスト名に使用制限を設定します	84
手動で追加するには	84
ログから追加するには	85
未登録項目の設定を追加します	86
プリンターに設定を追加します	87
プリンターに登録済みの使用制限を表示します	87
使用制限を削除します	88
使用制限を変更します	89
使用制限を全て削除します	90
使用制限を一時的に解除します	90
使用制限を有効にします	91

6. Active Directory のユーザー情報と同期します (Enterprise 版のみ)	94
Active Directory と連携するプリンターを設定します	94
Active Directory の設定をします	96
特定ドメインの Active Directory に接続します	98
ユーザーリストに表示する属性を追加するには	100
属性をユーザーリストで非表示にするには	101
ユーザーリストに表示する属性の順序を変更するには	102
IC カード情報を取得する属性を指定します	103
Active Directory のユーザーを追加します	104
ユーザーを検索するには	104
グループに所属するメンバーを参照するには	105
使用制限や制限値を設定するには	106
他のグループやユーザーの設定をコピーするには	108
プリンターに設定を適用するには	109
Active Directory のユーザーの設定を変更します	110
グループの優先順位を変更するには	113
プリンターに設定を適用するには	115
Active Directory のユーザーを削除します	115
Active Directory のユーザーにユーザー ID 割当をします	116
ユーザー ID を自動で割り当てるには	116
ユーザー ID を手動で割り当てるには	117
ユーザー ID をファイルから割り当てるには	118
割り当てたユーザーID を変更するには	119
クライアントソフトウェア用データをエクスポートします	120
IC カード対応表をエクスポートします	121
IC カード対応表を登録するプリンターを設定します	121
IC カード対応表を作成します	123
IC カード対応表に IC カード情報を追加します	124
IC カード対応表をプリンターに登録します	126
サーバーソフトウェアの起動時にエラーメッセージを表示するには	127
管理者にエラー通知メールを送信するには	128
IC カードの代替認証を許可するには	129
自動更新サービスの設定をします	131
ユーザーの設定を直ちに更新するには	132
設定を適用するユーザーを選択するには	133

7. 管理している情報をデータベースに保存します (Enterprise 版のみ) 136

データベースに接続するための設定をします	136
管理している情報をデータベースに記録するプリンターを設定します	138
データベースに課金額をエクスポートします	139
データベースから課金額を削除します	140
データベースにログをエクスポートします	141
データベースからログを削除します	142
データベースにプリンターユーザーをエクスポートします	143
データベース接続ユーザーを登録します	144
データベース接続ユーザーの権限を変更します	146
データベース接続ユーザーのパスワードを変更します	147
データベース接続ユーザーを削除します	148
データベースを最新バージョンに更新するには	149
サーバーソフトウェアの起動時にエラーメッセージを表示するには	150
管理者にエラー通知メールを送信するには	151
ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows 8.1]	152
ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows Server 2012 R2]	152
ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows 8]	152
ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows Server 2012]	152
ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows 7]	152
インターネットインフォメーションサービスをインストールします	152
Microsoft Access データベースを参照するための設定をします	153
Microsoft SQL Server、Microsoft SQL Server Express のバージョンを確認します	153
ウェブサイトを作成します	153
ウェブサイトを設定します	154
Windows 認証方式でアクセスする場合	154
ユーザー認証方式でアクセスする場合	154
ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows Server 2008]	155
インターネットインフォメーションサービスをインストールします	155
Microsoft Access データベースを参照するための設定をします	155
Microsoft SQL Server、Microsoft SQL Server Express のバージョンを確認します	155
ウェブサイトを作成します	155
ウェブサイトを設定します	156
Windows 認証方式でアクセスする場合	156
ユーザー認証方式でアクセスする場合	156
ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows Vista]	157
インターネットインフォメーションサービスをインストールします	157
Microsoft Access データベースを参照するための設定をします	158
Microsoft SQL Server、Microsoft SQL Server Express のバージョンを確認します	158
ウェブサイトを作成します	158
ウェブサイトを設定します	159
Windows 認証方式でアクセスする場合	159
ユーザー認証方式でアクセスする場合	159

ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows Server 2003]	160
ウェブサイトを作成します	160
ウェブサイトを設定します	161
Windows 認証方式でアクセスする場合	161
ユーザー認証方式でアクセスする場合	161
ウェブサイトからデータベースを参照します	162
8. 課金について	164
課金額の定義を作成します	164
定義を作成します	164
プリンターに課金額の定義を設定します	168
課金額の定義を変更します	169
課金額の定義を削除します	170
9. ログを操作します	172
ログとは	172
ログを取得します	172
取得できる情報	172
ログを取得する間隔や時間を変更するには	177
締め日を変更するには	178
ログを直ちに取得するには	179
プリンターに時間を通知するには	179
ログの保存先を変更するには	180
ログを表示します	181
ログを表示するには	181
ログのすべての項目を表示するには (詳細表示)	182
表示するログの項目を変更するには	182
ログを削除します	183
ログを CSV ファイルに書き出します	184
CSV ファイルに書き出すには	184
書き出すログの項目を変更するには	184
ログを自動的に CSV ファイルに書き出すには	185
ログを管理者にメールで送信するには	185
ログの取得を終了します	186
10. ログを集計します	188
ログを集計します	188
集計できる項目	188
集計を表示します	191
すべての項目の集計を表示するには (詳細表示)	192
集計する項目を変更するには	192
集計の結果を CSV ファイルに書き出します	193
CSV ファイルに書き出すには	193
書き出す集計項目を変更するには	193

11. クライアントソフトウェアについて	196
ジョブアカウントモードの変更	196
ジョブアカウントモードの種類	196
タブモードで使用するには	197
ポップアップモードで使用するには	198
非表示モードでユーザー毎にユーザー ID を切り替えて使用するには	199
非表示モードでファイルからユーザー情報を取得するには	201
非表示モードで全てのユーザーを同じユーザー ID で使用するには	202
未対応モードで使用するには	203
12. 運用と管理について	206
運用と管理について	206
メール送信機能の設定をします	206
印刷禁止・許可をメールで通知します（Enterprise 版のみ）	209
ログの取得状況をメールで通知する	210
添付ファイルのサイズおよび数を制限するには	210
印刷制限枚数の繰り越しについて（Enterprise 版のみ）	211
登録済みのプリンターを削除するには	212
プリンターの接続先や IP アドレスを変更したとき	213
プリンターの IP アドレスが変更された時に自動的に再接続するには	214
サーバーを別のコンピューターに変更するとき	215
サーバー ID を確認するには	215
プリンターの内蔵ハードディスク、SD メモリーカードを取り付け / 取り外しするとき	216
内蔵ハードディスク、SD メモリーカード、フラッシュメモリーの初期化禁止について	216
ログフル時の操作について	217
オプションを取り付けた場合に設定情報を更新するには（Enterprise 版のみ）	218
同時に接続するプリンター数を変更するには	219
装置からログを取得したときにジョブ情報をファイルに記録するには	220
ソフトウェアを削除するには	221
サーバーソフトウェアの削除	221
クライアントソフトウェア（Windows）の削除	221
プラグイン（MacOS）の削除	221
クライアントソフトウェア（Mac OS X）の削除	221
13. 困ったときには	224

1. セットアップの前に

プリントジョブアカウンティングとは	12
プリントジョブアカウンティングの構成	14
プリントジョブアカウンティングの導入手順	15
ユーザー情報を用意します（Enterprise 版のみ）	16

1. セットアップの前に

プリントジョブアカウンティングのしくみと構成、セットアップ前に決めておく内容について説明します。

プリントジョブアカウンティングとは

プリントジョブアカウンティングは、コンピューターから印刷した印刷ジョブにユーザーごとおよびプリンターごとにきめ細かな印刷制限をかけたり、印刷ジョブの情報をログとして取得し、集計を行うソフトウェアです。

プリントジョブアカウンティングの特長

印刷制限の管理（Enterprise 版のみ）

- 複数のユーザーおよびプリンターをグループに分け、グループごとに印刷の可 / 不可やカラー印刷の可 / 不可を設定することができます。
- ログイン名、ドキュメント名、ホスト名に印刷の可 / 不可やカラー印刷の可 / 不可を設定することができます。
- ユーザー、プリンター、ユーザーグループおよびプリンターグループごとに印刷枚数などによる上限を設定することができます。
- ユーザー、ユーザーグループに印刷費用を課すことができます。印刷費用の課金は印刷枚数、用紙サイズなどにより設定できます。またプリンターごとにそれぞれ違う課金を設定できます。
- Active Directory に登録されているユーザーやグループに、印刷の可 / 不可やカラー印刷の可 / 不可を設定することができます。
- Active Directory のユーザーやグループに印刷費用を課すことができます。

ログの取得と集計

- 印刷した日時、ユーザー名、印刷枚数、用紙サイズなどの情報をログとして取得し、集計することができます。
- ログは CSV ファイルとして書き出すことができるので、市販の表計算ソフトで活用できます。
- ログなどの情報を SQL データベースに保存し、Web ブラウザーから参照することができます。（Enterprise 版のみ）

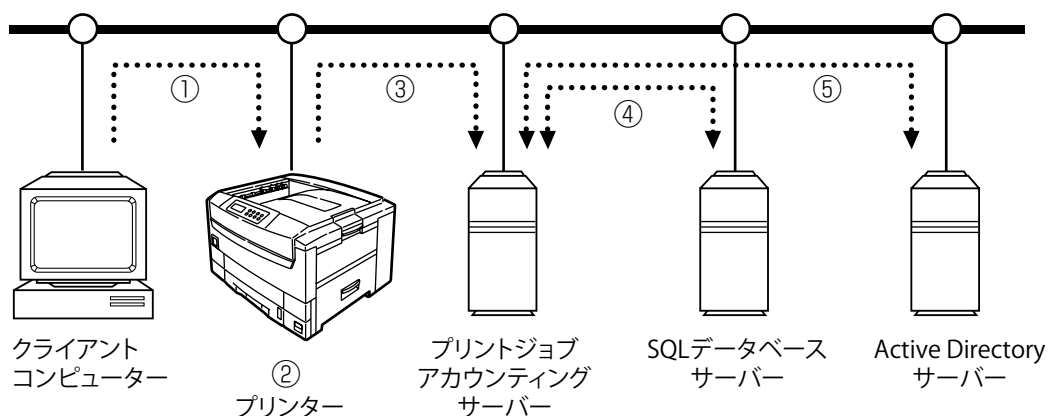
メモ CSV ファイルとはカンマで区切られたテキストファイルで、主に表計算やデータベース管理システムの間でデータの交換に使用される形式のファイルです。

Windows と Macintosh 環境をサポート

- クライアントとして Windows と Macintosh 環境をサポートしています。

プリントジョブアカウンティングのしくみ

①ユーザーが印刷ジョブを送信すると、②プリンターの内蔵ハードディスクまたはフラッシュメモリーにそのジョブの情報がログとして格納され、③プリントジョブアカウンティングのサーバーソフトウェアがログを取得します。サーバーソフトウェアが取得した情報はプリンターから削除されます。④③で取得したログをSQLデータベースに保存します。(Enterprise版のみ) ⑤Active Directoryに登録されているユーザーやグループの情報を参照します。(Enterprise版のみ)



プリントジョブアカウントの構成

プリントジョブアカウントサーバーソフトウェア (Windows)

システム管理者用の管理ツールです。プリンターやユーザーの登録 (Enterprise版のみ)、印刷制限の設定を行います。
また設定したスケジュールでプリンターからログを取得し、保存します。
サーバーソフトウェアと呼びます。

プリントジョブアカウントクライアントソフトウェア (Windows)

Windows クライアントコンピューターにインストールします。
クライアントコンピューターでユーザー名とユーザー ID を設定する方式 (ジョブアカウントモード) を設定します。
クライアントソフトウェアと呼びます。

プリントジョブアカウントクライアントプラグイン (Mac OS)

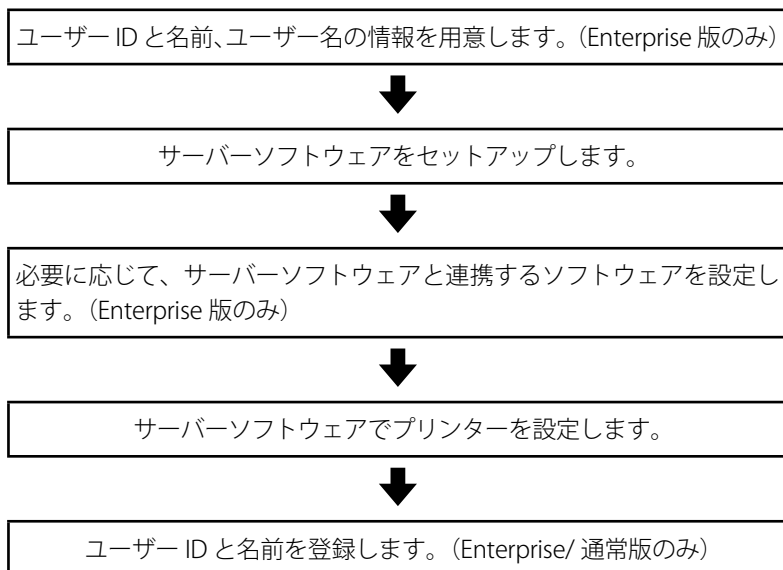
Mac OS PS プリンタードライバーをインストールすると自動的にインストールされます。印刷ダイアログにユーザー名とユーザー ID を設定するパネルを追加します。
プラグインと呼びます。

プリントジョブアカウントクライアントソフトウェア (Mac OS X)

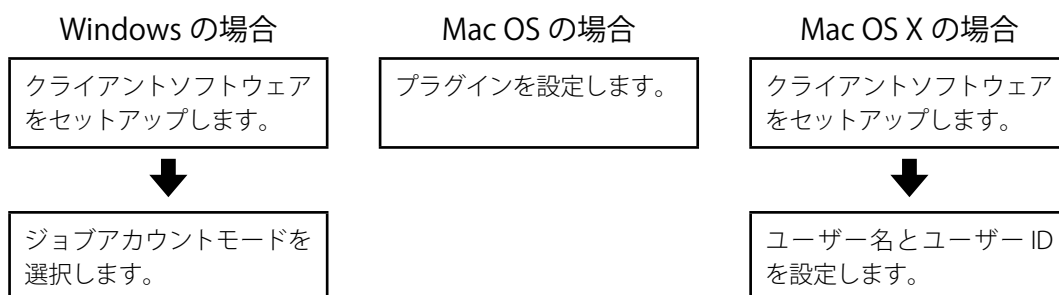
Mac OS X クライアントコンピューターにインストールします。
クライアントコンピューターでユーザー名とユーザー ID を設定します。
Mac OS X PS プリンタードライバーにのみ有効です。
クライアントソフトウェアと呼びます。

プリントジョブアカウントの導入手順

サーバーソフトウェアのセットアップ



クライアントソフトウェアのセットアップ



ユーザー情報を用意します (Enterprise 版のみ)

プリントジョブアカウンティングではサーバーソフトウェアとクライアントソフトウェア / プラグインでユーザーを設定します。

セットアップの前にプリンターを利用するユーザーを決めておく必要があります。

- 注!**
- ・ 後からユーザーを追加 / 削除することもできます。詳しくは、4 章「ユーザー ID の管理 (Enterprise 版のみ)」(46 ページ) をご覧ください。
 - ・ Active Directory と連携する場合は、プリンターを利用するユーザーを決めておく必要はありません。詳しくは、6 章「Active Directory のユーザー情報と同期します (Enterprise 版のみ)」(94 ページ) をご覧ください。

設定に必要な情報

ユーザーを設定するには、ユーザー ID、名前、ユーザー名の情報が必要です。

以下の説明をよく読み、印刷制限や集計の目的に応じて、ユーザー ID、名前、ユーザー名の情報を用意してください。

サーバーソフトウェア

設定する情報	内 容	登録範囲
ユーザ ID	プリントジョブアカウンティングでユーザーを識別する番号です。ユーザーごとに割り当て、サーバーソフトウェア上でユーザー ID ごとに印刷制限や費用負担等の設定を行ないます。	1 ~ 999999999
名前	ユーザー ID を分かりやすくするためにつける名前です。	全角 40 文字、半角 80 文字まで (「"」を含む名前はつけられません)

クライアントソフトウェア / プラグイン

設定する情報	内 容	登録範囲
ユーザ ID	プリントジョブアカウンティングでユーザーを識別する番号です。 部門ごとに印刷制限や集計を行なう場合、1 部門のユーザーに同じ ID を割り当てます。 ユーザー ID を設定しないで印刷した場合、未登録ユーザーとなり、ユーザー ID は 0 としてログに残ります。	1 ~ 999999999
名前	クライアントコンピューターから実際に印刷したユーザーを識別するために設定します。この情報はログの「User」の項目に残ります。 クライアントソフトウェアで設定していない Windows および Mac OS X コンピューターから印刷した場合、未登録ユーザーとなり、ユーザー ID は 0、Windows もしくは Mac OS X へのログオンユーザー名がユーザー名としてログに残ります。 [ジョブアカウント] パネルで設定していない MacOS コンピューターから印刷した場合は、未登録ユーザーとなり、ユーザー ID は 0、ユーザー名は空白としてログに残ります。	全角 40 文字、半角 80 文字まで (「"」を含む名前はつけられません)

- 注!**
- Windows 版 PageMaker などアプリケーションによっては、プリンタードライバーを使用しないでデータを生成する場合があります。
- この場合未登録ユーザーとなり、ユーザー ID は 0、ユーザー名は空白としてログに残ります。

ユーザー ID の割り当て例

ユーザー名とユーザー ID の設定と制限のかけ方、集計方法によって次のような使用方法が可能です。

使用例	サーバーソフトウェアの設定	クライアントソフトウェア / プラグインの設定
一部のユーザーのみ印刷を許可したい。	印刷を許可するユーザーのみユーザー ID と名前を設定し、未登録 ID の印刷を禁止します。	印刷を許可されたユーザー ID を設定します。
一部のユーザーのみカラー印刷を許可したい。	印刷を許可するユーザーのみユーザー ID と名前を設定し、未登録 ID のカラー印刷を禁止します。	印刷を許可されたユーザー ID を設定します。
ユーザーごとに印刷制限、ログの集計を行いたい。	ユーザーごとに重複がないようにユーザー ID と名前を設定します。	ユーザーごとに重複がないようにユーザー名とユーザー ID を設定します。
部門ごとに印刷制限、ログの集計を行いたい。	部門ごとにユーザー ID と名前を設定します。 [ユーザ ID] で集計を行うと、部門ごとの集計ができます。	部門に割り当てられたユーザー ID を設定し、ユーザー名は印刷するユーザーの名前を設定します。
部門ごとに印刷制限を行なうが、集計は印刷した人の名前で行ないたい。	部門ごとにユーザー ID と名前を設定します。 [ユーザ名] で集計を行うと、ユーザーごとの集計ができます。	部門に割り当てられたユーザー ID を設定し、ユーザー名は印刷するユーザーの名前を設定します。
部門ごとに印刷制限、ログの集計を行なうが、ユーザーごとの制限、ログの集計も行ないたい。	ユーザーごとに重複がないようにユーザー ID と名前を設定します。 ユーザーを部門ごとにユーザーグループに分けます。	ユーザーごとに重複がないようにユーザー名とユーザー ID を設定します。
印刷制限は行なわず、印刷ログの集計のみ行いたい。	ユーザー ID と名前を設定する必要はありません。 [ユーザ名] で集計を行うと、ユーザーごとの集計ができます。	< Windows および Mac OS X の場合 > クライアントコンピューターにクライアントソフトウェアをインストールする必要はありません。Windows もしくは Mac OS X へのログインユーザー名がユーザー名としてログに残ります。 < Mac OS の場合 > ユーザー ID は任意に設定し、ユーザー名は印刷するユーザーの名前を設定します。

Active Directoryと連携すると、あらかじめActive Directoryに登録されたログイン名、ICカードIDをユーザーの情報として使用することができます。

ICカードIDはActive Directoryで未使用の任意の属性に割り当てて登録します。

Active Directory に設定する情報	内 容
ログイン名	Windows にログインする際に入力するユーザー名です。
ICカードID	ICカードを識別できる一意な情報です。

メモ 使用可能なICカードIDにつきましては、カード認証キットのユーザーズマニュアルをご覧ください。

2. サーバーソフトウェアをセットアップします

動作環境	20
セットアップします	20
サーバーソフトウェアのライセンス認証（アクティベーション）	22
サーバーソフトウェアの画面構成	23
サーバーソフトウェアをセットアップします	24

2. サーバーソフトウェアをセットアップします

プリントジョブアカウントリングサーバーソフトウェアのセットアップについて説明します。

2

注 プリンターの機種により、画面や設定できる内容が異なります。

動作環境

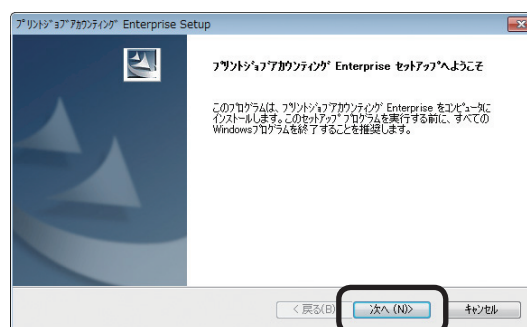
- Windows 8.1 / Windows 8.1 (64bit version)
- Windows Server 2012 R2
- Windows 8 / Windows 8 (64bit version)
- Windows Server 2012
- Windows 7 / Windows 7 (64bit version)
- Windows Vista / Windows Vista (64bit version)
- Windows Server 2008 R2
- Windows Server 2008 / Windows Server 2008 (x64 version)
- Windows Server 2003 / Windows Server 2003 (x64 version)

- 注**
- ・サーバーソフトウェアをセットアップするコンピュータは常時起動しているか、プリンターからログを取得するように設定した時間に起動している必要があります。
 - ・コンピュータにログ保存用として一万件あたり約 3MB のハードディスク容量が必要です。

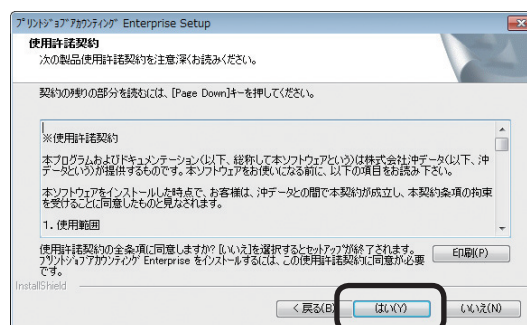
セットアップします

注 管理者権限のあるユーザーで実行します。

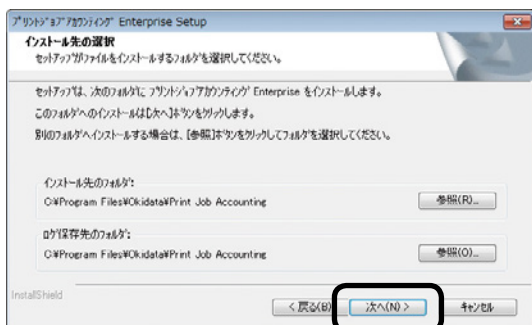
- ① 沖データホームページから、ダウンロードしたサーバーソフトウェアプログラムを実行します。
- ② [ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示された場合、[続行] または [はい] をクリックします。
- ③ [次へ] をクリックします。



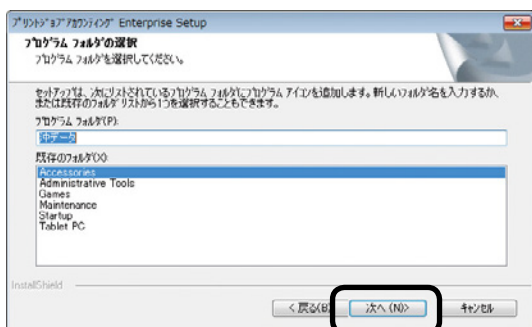
- ④ 使用許諾契約の内容を確認し、[はい] をクリックします。



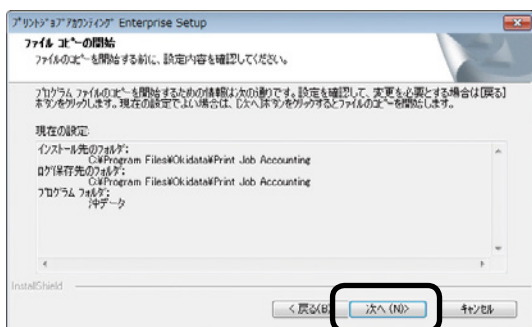
- ⑤ サーバソフトウェアのインストール先のフォルダーとログ保存先のフォルダーを確認し、[次へ] をクリックします。



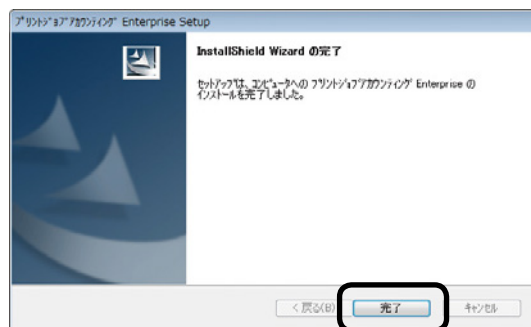
- ⑥ プログラムフォルダーを確認し、[次へ] をクリックします。



- ⑦ 設定内容を確認し、[次へ] をクリックしてファイルのコピーを開始します。



- ⑧ [完了] をクリックします。



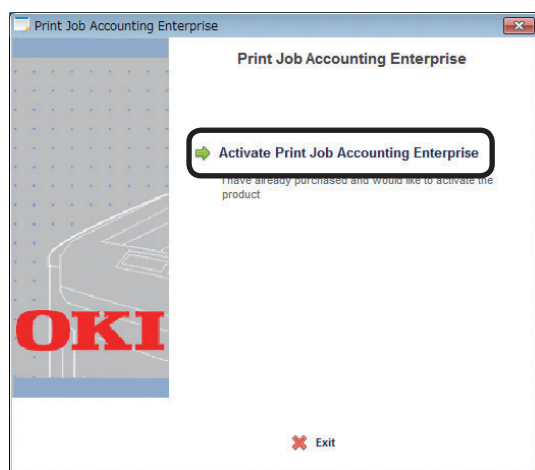
サーバソフトウェアのインストールは完了です。
PJA Enterprise の場合、続いて「サーバソフトウェアのライセンス認証（アクティベーション）」（22 ページ）にお進みください。

サーバーソフトウェアのライセンス認証（アクティベーション）

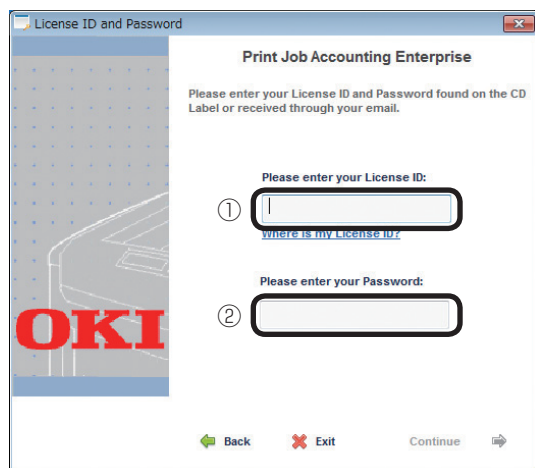
2

注 本章の対象は、PJA Enterprise サーバーソフトウェアです。

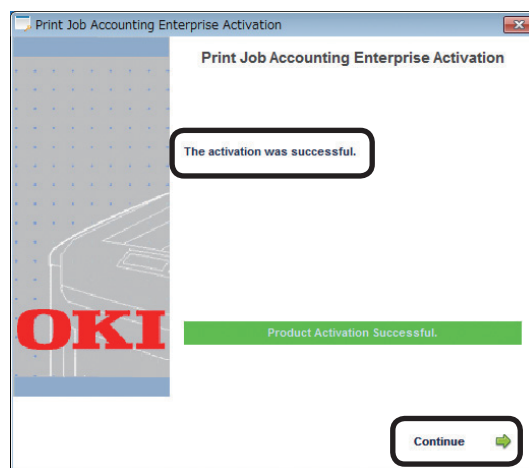
- ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [Okidata] - [Print Job Accounting Enterprise] - [Print Job Accounting Enterprise] を選択します。
- ② [ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示された場合、[続行] または [はい] をクリックします。
- ③ [Activate Print Job Accounting Enterprise] をクリックします。



- ④ ソフトウェア・ライセンス証書に記載してある [License ID] を ①の欄へ入力し、[Password] を ②の欄へ入力し、[Continue] をクリックします。

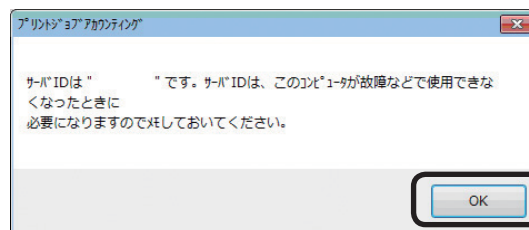


- ⑤ [The Activation was successful] と表示されたことを確認し、[Continue] をクリックします。



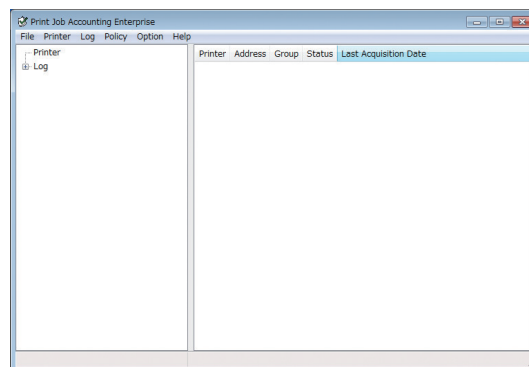
- 注**
- ・「Could not communicate with the server」と表示された場合、インターネット接続できるか確認してください。
 - ・「The License could not be found on the server」と表示された場合、前項 4 で入力した [License ID] と [Password] を確認してください。

- ⑥ [サーバ ID] を確認し、[OK] をクリックします。

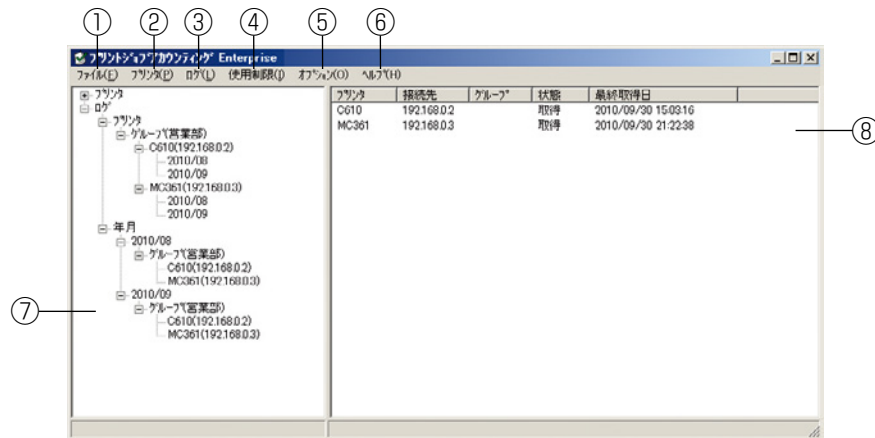


メモ [Help] - [サーバ ID] で、確認できます。

- ⑦ サーバーソフトウェアのライセンス認証（アクティベーション）は完了です。



サーバーソフトウェアの画面構成



① [ファイル] メニュー

サーバーソフトウェアを終了するコマンドが表示されます。

② [プリンタ] メニュー

ログを取得するプリンターの追加や削除、管理を行うコマンドが表示されます。

③ [ログ] メニュー

ログや集計の表示、ファイルへの書き出しを行うコマンドが表示されます。



【プリンタ】メニューと【ログ】メニューは、操作するプリンターやログをマウスの右ボタンでクリックしてコマンドを選択することもできます。

④ [使用制限] メニュー

使用制限の設定を行うコマンドが表示されます。

⑤ [オプション] メニュー

オプションの設定を行うコマンドが表示されます。

⑥ [ヘルプ] メニュー

サーバー IDやヘルプ、バージョン情報を見ることができます。

⑦ 選択ウインドウ

プリントジョブアカウントで管理するプリンターと、取得したログがプリンター別、年月別にツリー形式で表示されます。

ツリーはWindowsのエクスプローラーと同様の操作で開いたり閉じたりします。サーバーソフトウェアを起動した直後はツリーは閉じられていますので、開いて項目を選択します。

⑧ 詳細ウインドウ

選択ウインドウでツリーの起点の[プリンタ] をダブルクリックするとプリントジョブアカウントで管理しているプリンターの接続先、所属しているグループ、ログ取得 / 未取得の状態、ログを最後に取得した日を表示します。

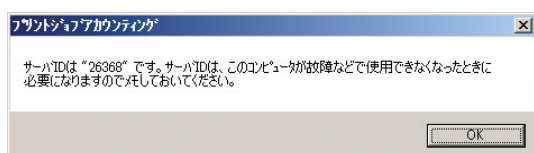
選択ウインドウでログをダブルクリックするとログが表示されます。

サーバソフトウェアを起動します

注 コンピューターの管理者の権限がない場合、サーバソフトウェアを設定できません。

- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② [スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [プリントジョブアカウンティング] - [プリントジョブアカウンティング] を選択します。
[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたら、[続行] もしくは [はい] をクリックしてください。
サーバソフトウェアが起動します。
- ③ 初めてサーバソフトウェアを起動したとき、サーバー ID を知らせる画面が表示されます。必ずサーバー ID をメモして大切に保管してください。

メモ プリントジョブアカウンティングでは、1 台のプリンターのログを複数のサーバーで取得することはできません。このため、どのサーバーがプリンターのログを取得しているかを識別するために、プリンターにサーバー ID が設定されます。
サーバー ID は、プリントジョブアカウンティングのサーバーが故障などで使用できなくなり、別のサーバーにログの取得を移行する場合に必要です。



サーバソフトウェアをセットアップします

Active Directory に関する設定をします (Enterprise 版のみ)

Active Directory で管理しているユーザー情報に対して使用制限を設定してプリンターに登録する場合や、IC カード対応表をプリンターに登録する場合は、Active Directory に関する設定をサーバソフトウェアで行う必要があります。

プリンターをサーバソフトウェアに登録する前に、Active Directory に関する設定を済ませておくと、Active Directory で管理しているユーザー情報や IC カード対応表をプリンターに登録する操作をスムーズに行うことができます。

プリンターをサーバソフトウェアに登録した後で、Active Directory に関する設定を行うこともできます。

Active Directory に関する設定につきましては、6 章「Active Directory のユーザー情報と同期します (Enterprise 版のみ)」(94 ページ) をご覧ください。

データベースに関する設定をします (Enterprise 版のみ)

サーバソフトウェアで管理しているログやユーザー ID をデータベースにエクスポートする場合は、データベースに関する設定をサーバソフトウェアで行う必要があります。

プリンターをサーバソフトウェアに登録する前に、データベースに関する設定を済ませておくと、サーバソフトウェアで管理しているログやユーザー ID をデータベースにエクスポートする操作をスムーズに行うことができます。

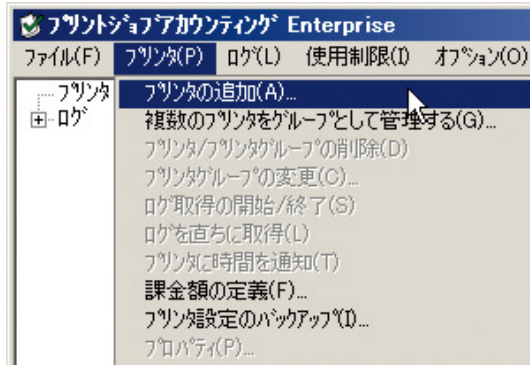
プリンターをサーバソフトウェアに登録した後で、データベースに関する設定を行うこともできます。

データベースに関する設定につきましては、7 章「管理している情報をデータベースに保存します (Enterprise 版のみ)」(136 ページ) をご覧ください。

ログを取得するプリンターを追加します

注! サーバソフトウェアには最大で 1,000 台 (Enterprise 版)、10 台 (Lite 版) までのプリンターを登録することができます。

- ① [プリンタ] メニューの [プリンタの追加] を選択します。

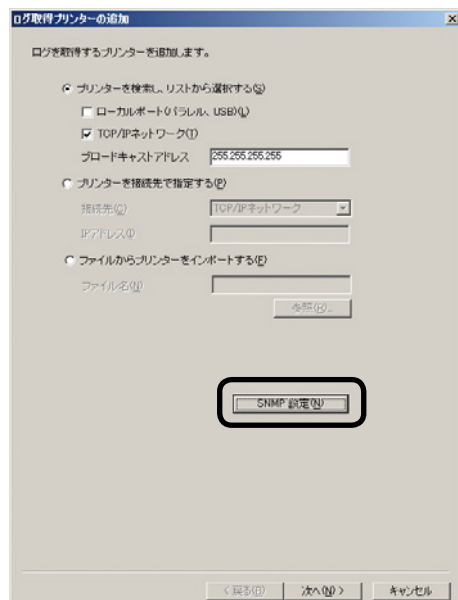


- ② ログを取得するプリンターを指定します。

<プリンターを検索する場合>

- ① TCP/IP ネットワーク上のプリンターを検索する場合は、SNMP 通信でプリンターを検索するための認証に用いるコミュニティ名を指定します。

- ① -1 [SNMP 設定] をクリックします。



- ① -2 入力欄にコミュニティ名を入力し、[追加] をクリックします。



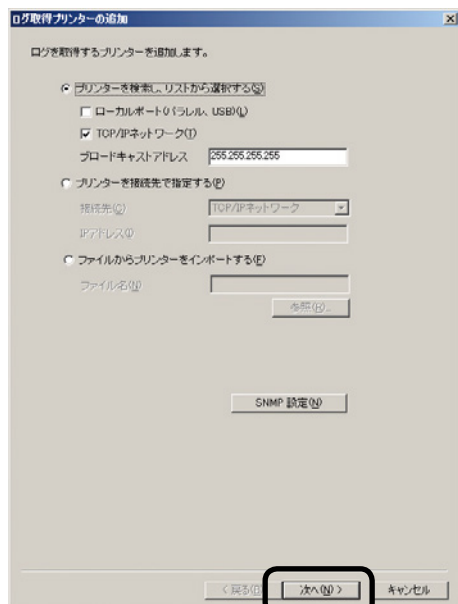
- ① -3 [OK] をクリックします。



- ② 検索方法を選択します。

<ローカルポートまたはブロードキャスト検索する>

- ② -1 [プリンタを検索し、リストから選択する] を選択し、プリンターを接続しているポートにチェックを付け、[次へ] をクリックします。



- メモ** TCP/IP ネットワーク上の異なるセグメントにあるプリンターを検索する場合は、ブロードキャストアドレスを入力します。不明な場合はネットワーク管理者の方にご相談ください。

<CSV ファイルからプリンターを検索する>

- ② -1 メモ帳、Excel 等で CSV ファイルを作成します。

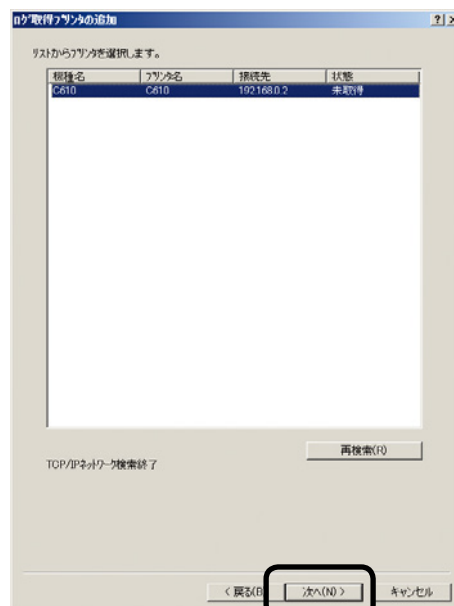
<メモ帳の場合>

- ① 各行に 1 プリンターずつ、IP アドレス、プリンター名を記載します。IP アドレス、プリンター名の間は「,」で区切ります。プリンター名は省略可能です。
- ② テキスト形式でファイルの拡張子を「CSV」にして保存します。

<Excel の場合>

- ① 各行に 1 プリンターずつ、IP アドレス、プリンター名を記載します。プリンター名は省略可能です。
- ② CSV 形式でファイルを保存します。
- ② -2 [ファイルからプリンターをインポートする] を選択し、[参照] をクリックします。
- ② -3 手順①で作成した CSV ファイルを指定し、[開く] をクリックします。
- ② -4 [次へ] をクリックします。

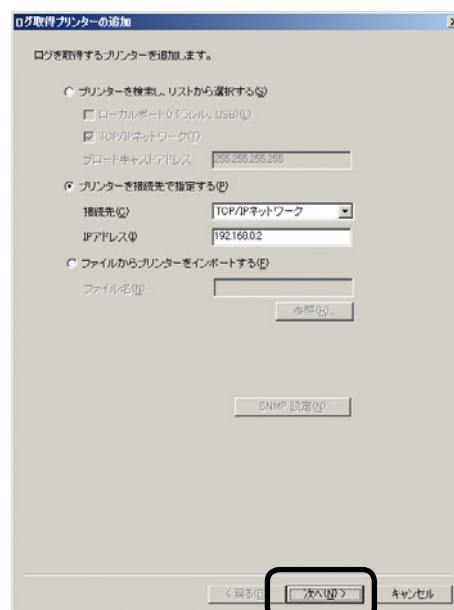
- ③ リストからプリンターを選択し、[次へ] をクリックします。



- メモ** プリントジョブアカウンティングに対応しているプリンターのみ表示されます。Shift キーまたは Ctrl キーを押しながら選択すると、1 度に複数のプリンターを選択することができます。

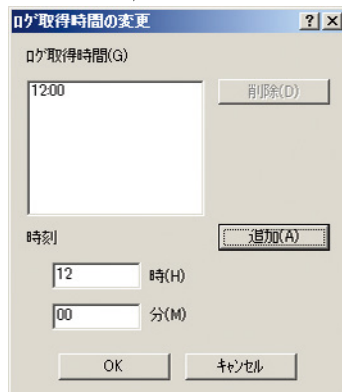
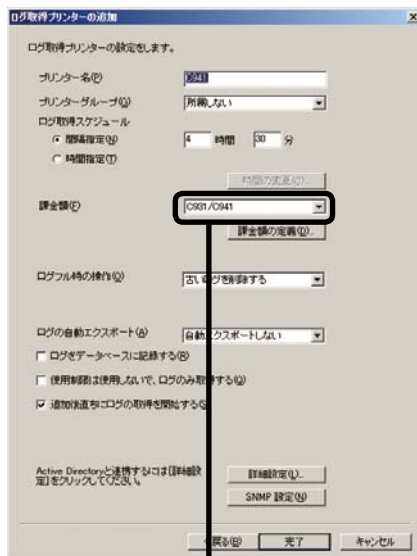
<プリンターを直接指定する場合>

- ① [プリンターを接続先で指定する] を選択し、[接続先] を選択します。TCP/IP ネットワークで接続している場合は [IP アドレス] にプリンターの IP アドレスを入力します。



- ② [次へ] をクリックします。

- ③ ログを取得するプリンターを設定し、[完了]をクリックします。



プリンター名

サーバーソフトウェアで表示されるプリンターの名前を全角 16 文字、半角 32 文字までで設定します。

プリンターグループ

プリンターを所属させるグループを選択します。

ログ取得スケジュール

ログを取得するスケジュールを設定します。



必ずサーバーソフトウェアをセットアップしたコンピューターおよびプリンターの電源が ON になっている時間を設定してください。電源が ON になっていないとログは取得されません。

間隔指定

一定時間おきに取得する場合に、間隔を設定します。設定可能な間隔は最大 24 時間です。初期設定は追加するプリンターの状況から最適な値を検出しています。初期設定より長い間隔にすると、すべてのログが取得できない場合があります。

時間指定

特定の時刻を設定します。[時間の変更]をクリックし、[ログ取得時間の変更]画面で時刻を追加します。取得時刻は 5 つまで追加できます。追加後、[OK]をクリックします。

課金額

印刷にかかった費用をユーザーに振り分ける場合の費用の定義パターンを設定します。

[課金額の定義]をクリックすると定義を追加できます。課金額の定義については「課金額の定義を作成します」(164 ページ)をご覧ください。



初期設定の定義はプリンターの機種ごとの各消耗品の標準価格と寿命枚数から算出したランニングコストの目安です。

ログフル時の操作

プリンターのログ用のバッファがいっぱいになったときの処理を設定します。

• 古いログを削除する

もっとも古いログを削除し、新しいログを取ります。

• ジョブをキャンセルする

以降の印刷をキャンセルします。

• ログを取らない

以降の印刷ジョブのログを取りません。

HDD/FLASH の初期化を禁止する

プリンターの内蔵ハードディスク、SD メモリーカード、フラッシュメモリーの初期化を禁止する場合、チェックを付けます。プリントジョブアカウンティングを使用するときは、必ずチェックを付けてください。

ログの自動エクスポート

取得したログを自動的に CSV 形式のファイルに書き出したい場合、メールで送信したい場合に設定します。

• 自動エクスポートしない

自動エクスポートしません。

• ログを自動エクスポートする

取得したログをログの自動エクスポート先に自動的に CSV 形式のファイルで書き出します。

• ログを管理者にメールする

取得したログをログの自動エクスポート先に自動的に CSV 形式のファイルで書き出し、そのファイルを管理者にメールして送信します。

ログをデータベースに記録する (Enterprise 版のみ)

取得したログをデータベースにエクスポートする場合にチェックします。

使用制限はしないで、ログのみ取得する (Enterprise 版のみ)

操作パネルのアクセス制御機能を有す機種種のアクセス制御を自動的に有効にしたい場合はチェックを付けます。

注! ユーザーの登録はできなくなります。

追加後直ちにログの取得を開始する

プリンターの追加後、ログの取得を開始する場合にチェックします。

SNMP 設定

SNMP 通信でプリンターを制御するための認証に用いるコミュニティ名を指定します。

• Read

サーバソフトウェアの読み取りコミュニティ名を指定します。

• Write

サーバソフトウェアの書き込みコミュニティ名を指定します。

• Retry

Trap 受信サービスの get、set のリトライ回数を指定します。一部の機種に対してのみ有効な設定です。

• Timeout

Trap 受信サービスの get、set のリトライタイムアウト時間を指定します。一部の機種に対してのみ有効な設定です。

• Read Community

Trap 受信サービスの読み取りコミュニティ名を指定します。一部の機種に対してのみ有効な設定です。

• Write Community

Trap 受信サービスの書き込みコミュニティ名を指定します。一部の機種に対してのみ有効な設定です。

• Trap Port

Trap ログの受信ポートを指定します。一部の機種に対してのみ有効な設定です。

- ④ 「プリンターの管理者パスワードを入力してください」画面が表示されたら、プリンターの管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

- 注!** • プリンターによっては表示されません。
• 工場出荷時のプリンター管理者パスワードは、プリンターのユーザズマニュアルをご覧ください。



続いて「ユーザ ID 登録」画面が表示されます。

ユーザー ID と名前を登録します (Enterprise 版のみ)

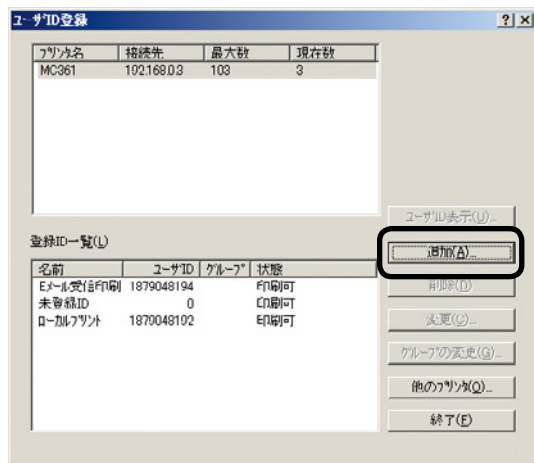
ユーザー ID と名前は以下の方法で登録できます。

- ・ 手動で登録する。
- ・ ユーザー ID とユーザー名を記述した CSV ファイルを作成し、一括して登録する。
- ・ ネットワーク上の Windows に登録されているユーザーを読み込む。

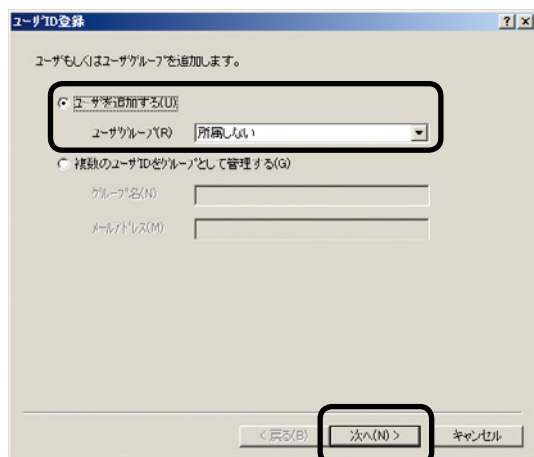
ここでは手動で登録する方法で説明します。他の方法については「ユーザー ID を追加します」(46 ページ) をご覧ください。

注 登録可能なユーザー数については、プリンターのユーザーズマニュアルをご覧ください。

- ① 「ユーザ ID 登録」画面で「追加」をクリックします。

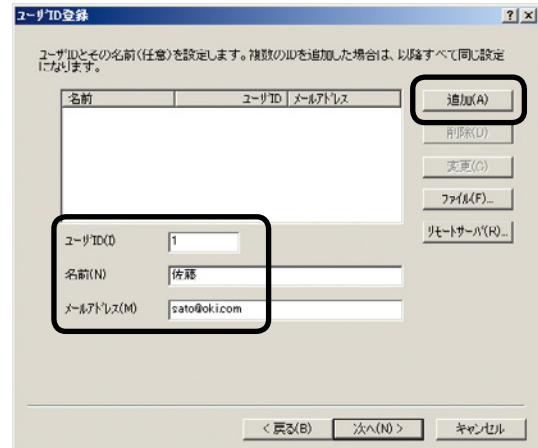


- ② 「ユーザを追加する」を選択し、所属させたいグループを「ユーザグループ」から選択し、「次へ」をクリックします。



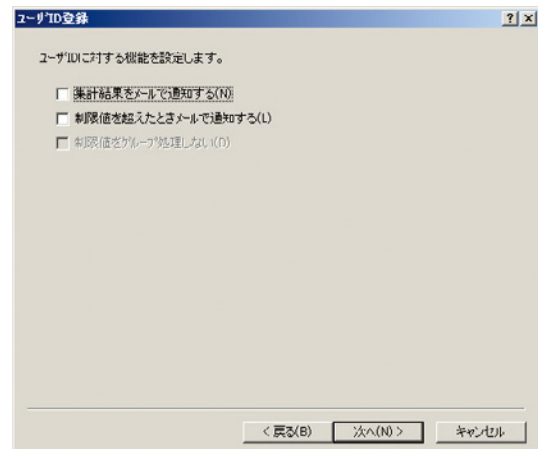
- ③ [ユーザ ID]、[名前]、[メールアドレス] (省略可) を入力し、[追加] をクリックします。

メモ メールアドレスは手順⑤で「集計結果をメールで通知する」および「制限値を越えたときメールで通知する」を設定する場合に必要です。



- ④ 「次へ」をクリックします。

- ⑤ ユーザー ID に対する機能を設定し、「次へ」をクリックします。



集計結果をメールで通知する

月ごとの使用量をメールで通知します。

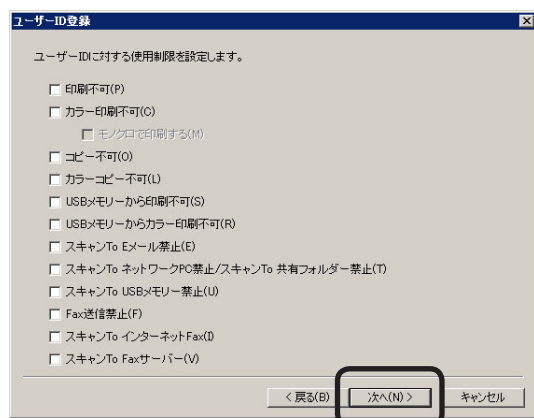
制限値を超えたときメールで通知する

印刷枚数などが制限値を超えて印刷不能になったとき、および制限値がリセットされ印刷が可能になったとき、メールで通知します。

制限値をグループ処理しない

ーに所属しているユーザーおよびユーザーグループに所属しているユーザーに対して、制限値を個別に設定することができます。

⑥ 使用制限を設定し、[次へ] をクリックします。



印刷不可

印刷をキャンセルします。

カラー印刷不可

カラー印刷をキャンセルします。印刷ジョブの途中にカラーデータがある場合は、それ以降の印刷をキャンセルします。

モノクロで印刷する

カラー印刷不可が設定されているとき、カラーデータをキャンセルしないで、モノクロで印刷します。

コピー不可

パネル操作でのコピーを禁止します。無効の場合は印刷不可の設定に従います。

カラーコピー不可

パネル操作でのカラーコピーを禁止します。無効の場合はカラー印刷不可の設定に従います。

USB メモリから印刷不可

パネル操作での USB メモリからの印刷を禁止します。

USB メモリからカラー印刷不可

パネル操作での USB メモリからのカラー印刷を禁止します。

スキャン To Eメール禁止

パネル操作でのスキャン To E メールを禁止します。

スキャン To ネットワーク PC 禁止 /
スキャン To 共有フォルダー禁止

パネル操作でのスキャン To ネットワーク PC およびスキャン To 共有フォルダーを禁止します。

スキャン To USB メモリ禁止

パネル操作でのスキャン To USB メモリを禁止します。

Fax 送信禁止

パネル操作での Fax 送信を禁止します。Fax ドライバーを使用した Fax 送信もキャンセルされます。

スキャン To インターネット Fax

パネル操作でのスキャン To インターネット Fax を禁止します。

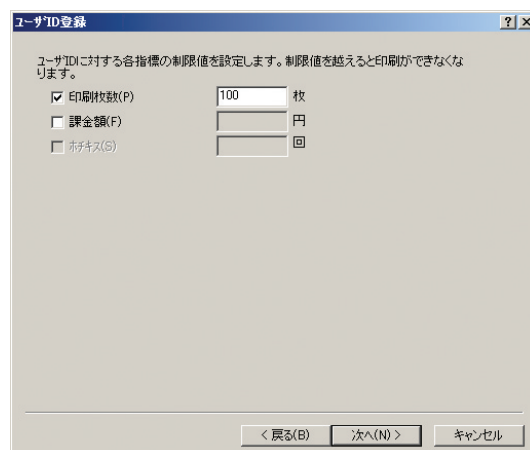
スキャン To Fax サーバ

パネル操作でのスキャン To Fax サーバーを禁止します。

- ⑦ ユーザー ID が使用できる制限値を設定します。それぞれの制限値を越えると、手順⑧で設定する有効期限まで印刷がキャンセルされます。



制限値の設定は、サーバソフトウェアがログを取得した時点で、制限値を越えていた場合に有効になります。制限値を越えていても、サーバソフトウェアがログを取得するまでは印刷できます。



印刷枚数

印刷できる枚数を設定します。

課金額

課金額の上限を設定します。

ホチキス

オプションのフィニッシャーを装着している場合、ホチキスを使用できる回数を設定します。

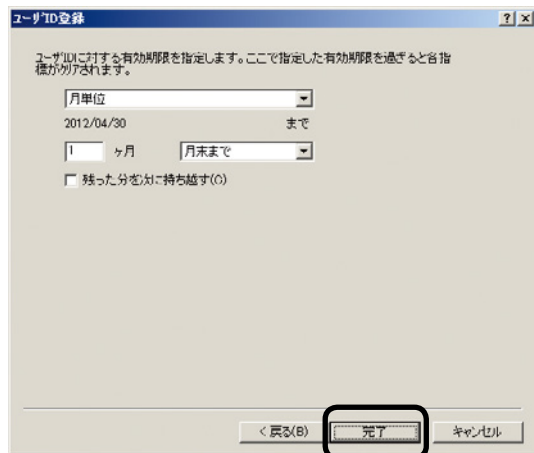
制限値を設定した場合は

☞ [次へ] をクリックし、手順⑧に進みます。

制限値を設定しなかった場合は

☞ [完了] をクリックし、手順⑨に進みます。

- ⑧ 手順⑦で設定した制限値に対する有効期限を設定し、[完了]をクリックします。有効期限を過ぎると、制限値のカウントがリセットされます。



設定しない

有効期限を設定しません。手順⑦で設定する制限値を越えた場合は、制限値を増やすか、使用状況を手動でリセットしないと印刷がキャンセルされます。

月単位

月単位で有効期限を設定します。月数と基準となる日（10日、20日、月末、締め日）を設定します。

週単位

週単位で有効期限を設定します。週数と基準となる曜日を設定します。

日単位

日単位で有効期限を設定します。日数を設定します。

残った分を次に持ち越す

有効期限内に使い切れず余った分を次回に持ち越す場合にチェックします。

- ⑨ 「プリンタの管理者パスワードを入力してください」画面が表示されたら、プリンタの管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

- 注**・プリンタによっては表示されません。
・工場出荷時のプリンタ管理者パスワードは、プリンタのユーザズマニュアルをご覧ください。

- ⑩ [ユーザID登録]画面で[終了]をクリックします。

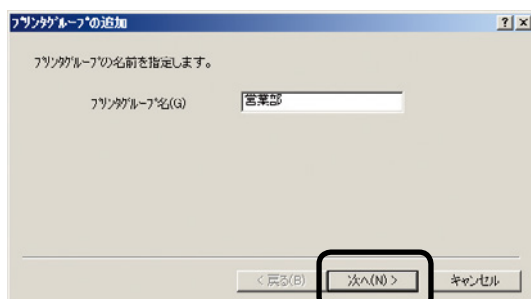
- ⑪ 「プリンタの管理者パスワードを入力してください」画面が表示されたら、プリンタの管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

- 注**・プリンタによっては表示されません。
・工場出荷時のプリンタ管理者パスワードは、プリンタのユーザズマニュアルをご覧ください。

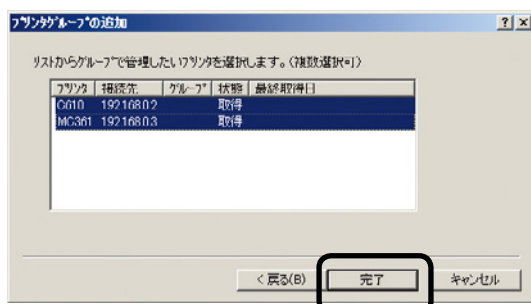
複数のプリンターをグループとして管理します

複数のプリンターをグループとして管理することができます。グループで管理すると、集計をグループ単位で表示することができます。また、ユーザーの制御値をグループに所属しているプリンターの全ての合計に対して設定することもできます。

- ① サーバソフトウェアを起動します。
- ② 「プリンタ」メニューの「複数のプリンタをグループとして管理する」を選択します。
- ③ プリンターグループ名を入力し、[次へ] をクリックします。



- ④ リストからグループに所属させるプリンターを選択し、[完了] をクリックします。



メモ Shift キー、または Ctrl キーを押しながら選択すると、1 度に複数のプリンターを選択することができます。

- ⑤ グループにユーザーを登録します。(Enterprise 版のみ)
ユーザー ID 登録の画面が表示されます。ユーザー登録する場合は、「ユーザー ID と名前を登録します (Enterprise 版のみ)」(29 ページ) に従って、ユーザー登録をします。
- ⑥ [グループに登録されているユーザ ID を登録しますか] の画面が表示されます。(Enterprise 版のみ)
[はい] をクリックすると、手順⑤で登録したユーザーがプリンターに登録されます。

メモ プリンターグループに登録したユーザーおよびユーザーグループに制限値を設定すると、プリンターグループに所属する全てのプリンターでのユーザーおよびユーザーグループの使用量の合計に対して有効になります。ただし、「制限値をグループ処理しない」にチェックがついているユーザーおよびユーザーグループの使用量は含まれません。

プリンターグループを変更します

プリンターを別のグループに変更することができます。プリンターを設置する部門が変わったときなどに便利です。

- ① サーバソフトウェアを起動します。
- ② 選択ウインドウの [プリンタ] をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウインドウのリストビューに表示されます。
- ③ グループを変更したいプリンターを選択し、「プリンタ」メニューの「プリンタグループの変更」を選択します。

メモ プリンターは複数選択することができます。

- ④ 新しく所属させるグループを選択し、[OK] をクリックします。グループから所属を外す場合は「所属しない」を選択します。
- ⑤ [グループに登録されているユーザ ID を登録しますか] の画面が表示されたら、[はい] をクリックします。(Enterprise 版のみ)

注 [いいえ] をクリックすると、グループに登録されているユーザーはそのプリンターでは未登録ユーザーとして処理されます。

プリンターグループを削除します

- ① サーバソフトウェアを起動します。
- ② 選択ウインドウの「プリンタ」をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウインドウのリストビューに表示されます。
- ③ 削除したいプリンターグループを選択し、「プリンタ」メニューの「プリンタ / プリンターグループの削除」を選択します。

メモ プリンターグループは複数選択することができます。

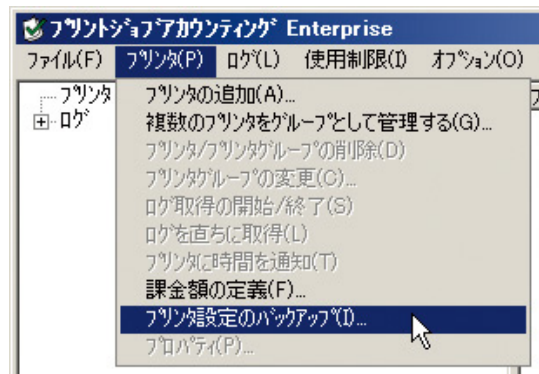
- ④ 「はい」をクリックします

メモ 削除したプリンターグループに所属していたプリンターは、「所属しない」に変更されます。

プリンターの設定をバックアップします

プリンターの設定をバックアップすることができます。バックアップした設定は他のコンピューターにインストールされたサーバソフトウェアで復元することができますので、お使いのコンピューターが故障した場合でも他のコンピューターで継続して動作させることができます。バックアップすることができる設定は、プリンター設定、ユーザー ID 設定（Enterprise 版のみ）、課金額設定、Active Directory と同期しているユーザー設定（Enterprise 版のみ）です。

- ① サーバソフトウェアを起動します。
- ② 「プリンタ」メニューの「プリンタ設定のバックアップ」を選択します。



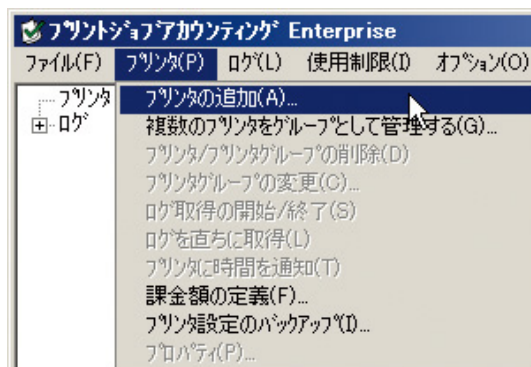
- ③ プリンター設定の保存先とファイル名を指定し、「OK」をクリックします。

- 注**
- ・バックアップした設定ファイルは他のコンピューターで保管してください。
 - ・本ソフトウェアで設定を変更する都度、設定をバックアップしたファイルを作成することを推奨します。
 - ・取得済みログはバックアップされません。

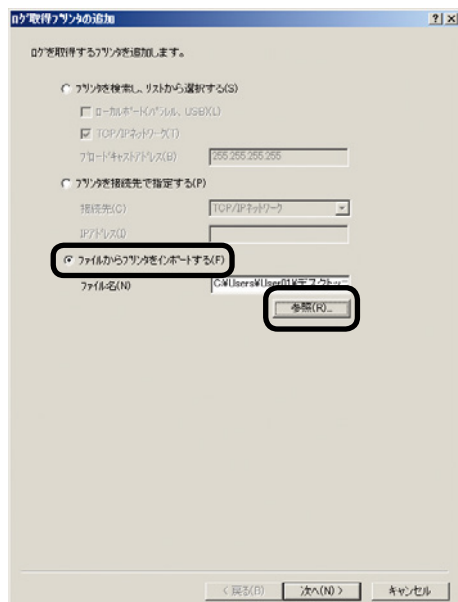
プリンターの設定を復元します

バックアップしたプリンター設定をサーバソフトウェアで復元します。

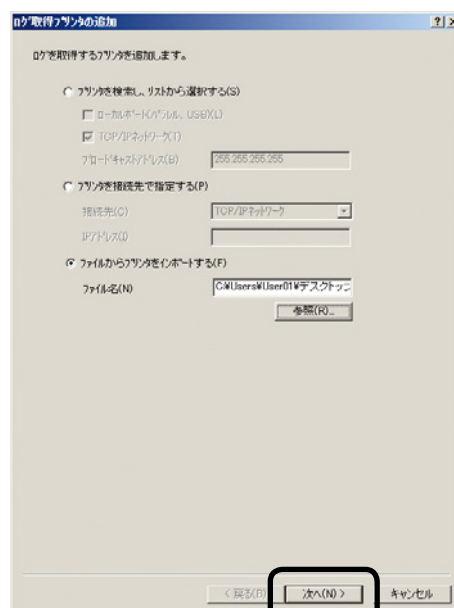
- ① サーバソフトウェアを起動します。
- ② 「プリンタ」メニューの「プリンタの追加」を選択します。



- ③ 「ファイルからプリンタをインポートする」を選択し、設定がバックアップされたファイルのフルパスを指定します。設定がバックアップされたファイルの拡張子は「dat」です。「参照」ボタンをクリックしてファイルを選択することもできます。



- ④ 「次へ」をクリックします。



- ⑤ 管理者パスワード画面が表示された場合、管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックします。
- ⑥ プリンターの登録結果を通知する画面が表示されますので、「閉じる」をクリックします。



3. クライアントソフトウェアをセットアップ します

Windows にセットアップします	36
Mac OS にセットアップします	40
Mac OS X にセットアップします	41

3. クライアントソフトウェアをセットアップします

プリントジョブアカウントングクライアントソフトウェアとプラグインのセットアップについて説明します。

Windows にセットアップします

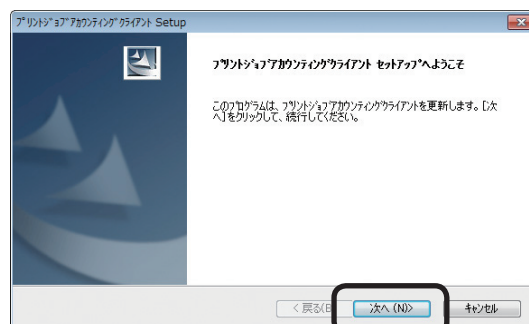
動作環境

- Windows 8.1 / Windows 8.1 (64bit Version)
- Windows Server 2012 R2
- Windows 8 / Windows 8 (64bit Version)
- Windows Server 2012
- Windows 7 / Windows 7 (64bit 版)
- Windows Vista / Windows Vista (64bit 版)
- Windows Server 2008 R2
- Windows Server 2008 / Windows Server 2008 (x64 版)
- Windows Server 2003/Windows Server 2003 (x64 版)

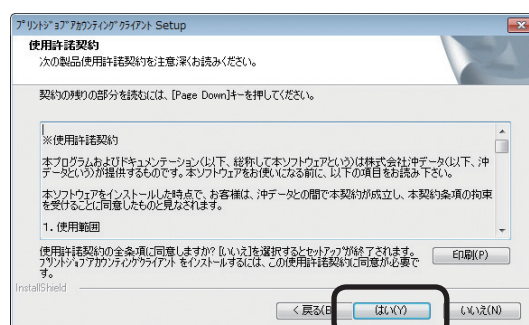
クライアントソフトウェアをインストールします

注. 管理者権限のあるユーザーで実行します。

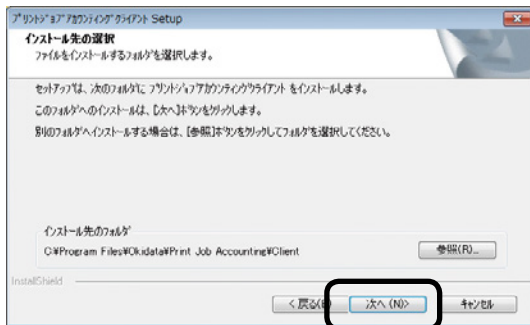
- ① 沖データ ホームページから、ダウンロードしたクライアントソフトウェアプログラムを実行します。
- ② [ユーザーアカウント制御] ダイアログが表示された場合、[続行] または [はい] をクリックします。
- ③ [次へ] をクリックします。



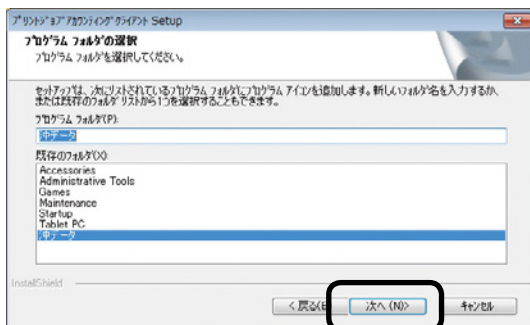
- ④ 使用許諾契約の内容を確認し、[はい] をクリックします。



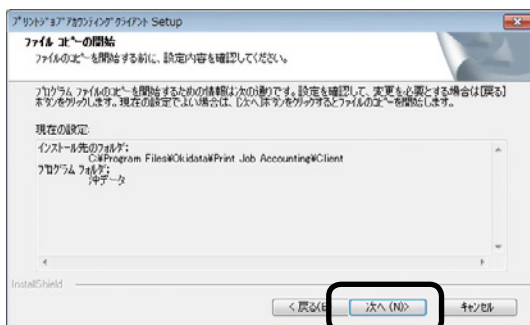
- ⑤ [次へ] をクリックします。



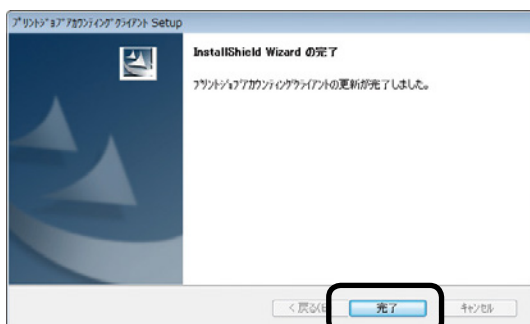
- ⑥ [次へ] をクリックします。



- ⑦ [次へ] をクリックします。



- ⑧ [完了] をクリックします。



ジョブアカウントモードを設定します

ジョブアカウントモードとは Windows クライアントコンピュータでユーザー名とユーザー ID を設定する方式です。4 つのモードがあります。初期状態は未対応モードです。

メモ ジョブアカウントモードの設定は、プリントジョブアカウントリングに対応しているプリンタードライバーでのみ行えます。

タブモード

プリンタードライバーのプロパティに、ユーザー名とユーザー ID を設定するためのタブが表示されます。

ユーザー自身がユーザー名とユーザー ID の設定や変更を行う場合に使用します。

ポップアップモード

印刷ジョブを送信すること、ユーザー名とユーザー ID を設定するポップアップ画面が表示されます。

1 台のコンピュータを複数ユーザーが使用している場合に使用します。

注 共有プリンターのクライアント側で印刷を行っても、入力画面は表示されません。共有プリンターでは、Hide を使用してください。

非表示モード

共有プリンターのクライアント側で印刷を行っても、入力画面は表示されません。共有プリンターでは、非表示モードを使用してください。システム管理者があらかじめ Windows へのログオンユーザー名に対応するユーザー ID とユーザー名を記述した ID ファイルを作成します。このファイルをクライアントソフトウェアで指定することで、印刷を行ったユーザーを識別し、対応するユーザー ID を自動的に取得します。また、全てのログオンユーザーに対して同じユーザー ID を設定することも可能です。ユーザーは設定を行ったり、自分のユーザー ID について知る必要はありません。Windows コンピューターをプリントサーバーとし、プリンターを共有プリンターとして使用する場合、プリントサーバーとなるコンピュータにクライアントソフトウェアをインストールし、使用します。

未対応モード

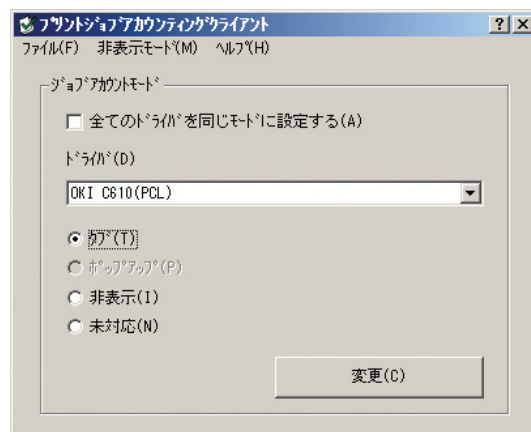
ユーザーの識別を行わず、すべてのジョブは未登録 ID として認識されます。ユーザー名は Windows へのログオンユーザー名、ユーザー ID は 0 でログが残ります。ユーザーの識別が必要ない場合に使用します。

ここではタブモードに設定する方法で説明します。他のモードに変更する方法については「ジョブアカウントモードの変更」(196 ページ) をご覧ください。

- ① [ドライバ] リストからログを取得するプリンターのプリンタードライバーを選択します。全てのプリンタードライバーを同じモードに設定したい場合は、「全てのドライバを同じモードに設定する」にチェックします。

注 共有プリンターを使用している場合は、全てのプリンタードライバーを同じモードに設定する機能を使用しないでください。共有プリンターのクライアント側で印刷を行う場合に、アカウント情報が出力されません。

- ② [タブ] を選択し、[変更] をクリックします。
- ③ 変更成功画面で [OK] をクリックします。
- ④ [ファイル] メニューの [閉じる] を選択します。



- ⑤ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2/Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Server 2008 R2/Windows Vista/Windows Server 2008 では [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。(Windows Server 2003 では [スタート] - [プリンタと FAX] を選択します。)
- ⑥ プリンタードライバーアイコンをマウスの右ボタンでクリックして [プロパティ] を選択します。

- ⑦ [ジョブアカウント] タブでユーザー名とユーザー ID を入力します。初期設定ではユーザー名は Windows へのログオンユーザー名、ユーザー ID は 1 です。



- ⑧ [OK] をクリックします。

Mac OS にセットアップします

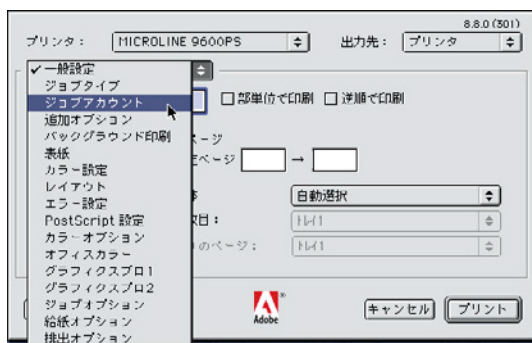
注! ご使用の機種やプリンタードライバーによって設定方法や動作環境が異なる場合があります。

Mac OS ではプリンタードライバーをインストールすると、一緒にプラグインもインストールされます。印刷ダイアログの「ジョブアカウント」パネルでユーザー名とユーザー ID を設定します。

注! 設定しないで印刷した場合、ユーザー名は空白、ユーザー ID は 0 でログに残ります。

プラグインを設定します

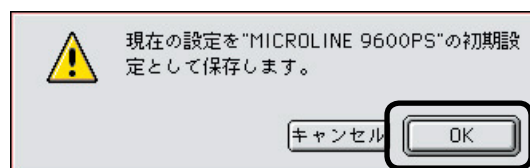
- 1 Mac OS にプリンタードライバーをセットアップします。
- 2 「ファイル」メニューの「デスクトップのプリント」を選択します。
- 3 「ジョブアカウント」パネルを選択します。



- 4 ユーザー名、ユーザー ID を設定し、「設定を保存」をクリックします。



- 5 確認画面で「OK」をクリックします。



- 6 「キャンセル」をクリックし、ダイアログを閉じます。

Mac OS X にセットアップします

動作環境

Mac OS X 10.3 以降の Macintosh

注! ご使用の機種やプリンタードライバーによって動作環境が異なる場合があります。

クライアントソフトウェアをインストールします

メモ クライアントソフトウェアは、ジョブアカウント用のユーザー ID を登録、編集、管理するためのユーティリティです。

- ① 沖データホームページから、ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
- ② デスクトップ上にディスクイメージがマウントされます。
- ③ ディスクイメージ内の「プリントジョブアカウント」アイコンをドラッグ & ドロップで任意の場所にコピーします。

ユーザー ID を登録します

プリントジョブアカウントアイコンをダブルクリックします。

- ① 「新規」をクリックします。



- ② Mac OS X へのログイン名、プリントジョブアカウントで使用するユーザー ID、ユーザー名を入力し、「保存」をクリックします。



メモ 複数のユーザーを登録する場合はこの操作を繰り返します。

- ③ 「保存」をクリックします。



- ④ パスワードを入力し、「OK」をクリックします。



- ⑤ クライアントソフトウェアを終了します。

複数のユーザーを一度に登録するには

CSV ファイルを使用して一度に複数のユーザー ID、ユーザー名を登録できます。Mac OS X を複数のログインユーザー名で使用している場合に便利です。

- 市販のソフトなどを使用して、CSV ファイルを用意します。
CSV ファイルは、Mac OS X ログイン名、ユーザー ID、ユーザー名の順番に記述します。

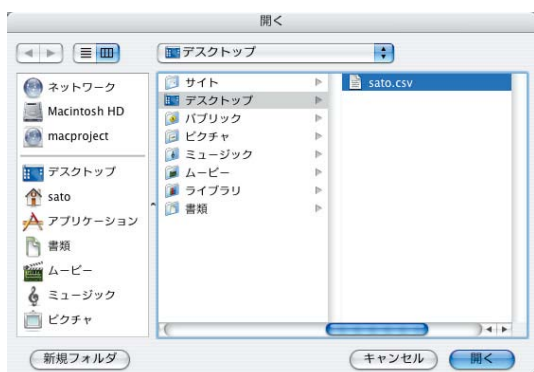
- ① 各行に 1 ユーザーずつ、Mac OS X ログイン名、ユーザー ID、ユーザー名を入力します。

注 ユーザー ID は、半角数字で入力します。

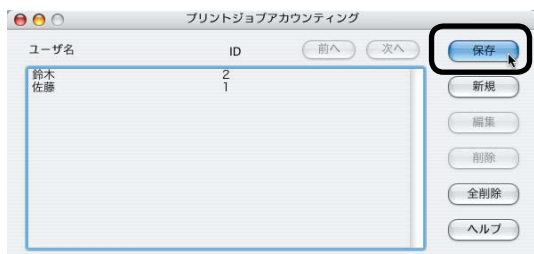
- ② CSV 形式で保存します。

- ② クライアントソフトウェアを使用して登録します。

- ① プリントジョブアカウンティングアイコンをダブルクリックします。
- ② ファイルメニューからインポートを選択します。
- ③ 手順①で作成した CSV ファイルを読み込みます。



- ④ [保存] をクリックします。



- ⑤ パスワードを入力し、[OK] をクリックします。



- ⑥ クライアントソフトウェアを終了します。

ユーザー ID、ユーザー名を変更するには

クライアントソフトウェアを使用して既に登録してあるユーザー ID、ユーザー名を変更することができます。

- ① プリントジョブアカウンティングアイコンをダブルクリックします。
- ② 変更したいユーザーを選択し、[編集] をクリックします。
- ③ 新しいユーザー ID、ユーザー名を入力し、[保存] をクリックします。
- ④ [保存] をクリックします。



- ⑤ パスワードを入力し、[OK] をクリックします。



- ⑥ クライアントソフトウェアを終了します。

ユーザー ID、ユーザー名を削除するには

- ① プリントジョブアカウンティングをダブルクリックします。
- ② 削除したいユーザーを選択し、[削除] をクリックします。

メモ 登録してあるユーザーを全て削除する場合は、[前削除] をクリックします。

- ③ [保存] をクリックします。



- ④ パスワードを入力し、[OK] をクリックします。



- ⑤ クライアントソフトウェアを終了します。

Memo

4. ユーザー ID の管理 (Enterprise 版のみ)

ユーザー ID を追加します	46
複数のプリンターに同じユーザー ID を登録します	54
ユーザー ID、ユーザーグループを削除します	60
ユーザー ID、ユーザーグループの設定を変更します	60
ユーザー ID、ユーザーグループごとの使用状況を確認します	63
集計の結果をメールで通知するには	64
認証ユーザー名にユーザー ID を関連付けます	65

4. ユーザー ID の管理 (Enterprise 版のみ)

ユーザー ID の追加や削除、ユーザー ID の使用制限の設定変更等、ユーザー ID の管理について説明します。

注 プリンターの機種により画面や設定できる内容が異なります。

ユーザー ID を追加します

ユーザー ID は必要に応じて追加できます。
以下のいずれかの方法で追加してください。

- 手動で追加する。
- ユーザーの一覧ファイルを作成し一括して追加する。
- ネットワーク上の Windows に登録されているユーザーを読み込む。

ユーザー ID については「ユーザー情報を用意します (Enterprise 版のみ)」(16 ページ) をご覧ください。

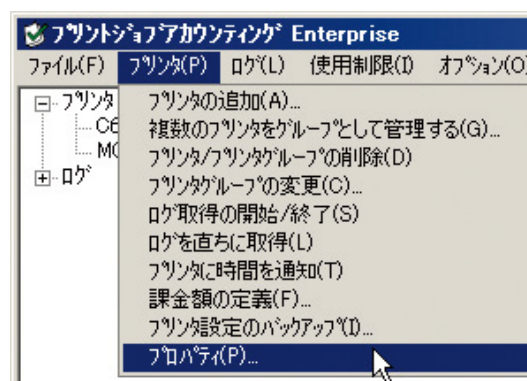
手動で追加するには

- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 選択ウインドウの「プリンタ」をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウインドウのリストビューに表示されます。

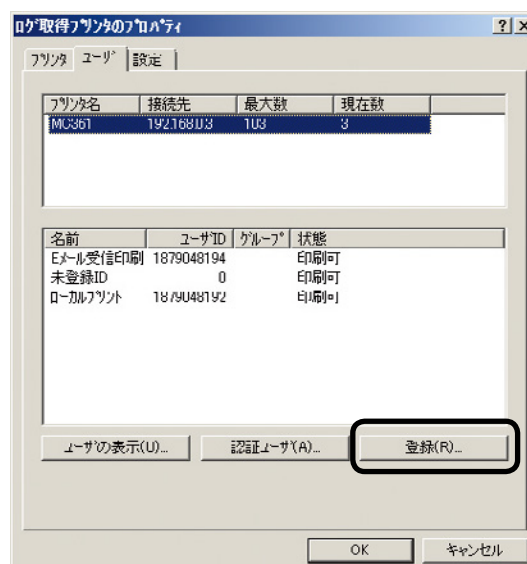


- ④ プリンターまたはプリンターグループを選択し、[プリンタ] メニューから「プロパティ」を選択します。

メモ プリンターは複数選択することができます。



- ⑤ [ユーザ] タブの「登録」をクリックします。



- ⑥ [追加] をクリックします。

The dialog box 'ユーザID登録' contains a table with columns: ユーザID, 名前, グループ, 状態. Below the table, the '追加(A)' button is highlighted with a red rectangle.

- ⑦ [ユーザを追加する] を選択し、所属させたいグループを [ユーザグループ] から選択し、[次へ] をクリックします。

The dialog box 'ユーザID登録' shows the 'ユーザを追加する(U)' button highlighted with a red rectangle. Below it, the 'ユーザグループ' dropdown menu is set to '所属しない'. The '次へ(N)' button is also highlighted with a red rectangle.

- ⑧ [ユーザID]、[名前]、[メールアドレス] (省略可) を入力し、[追加] をクリックします。

注 プリンターに既に登録されているユーザーと、名前やユーザー ID が重複する場合は追加できません。

メモ メールアドレスは「機能や使用制限を設定するには」(52 ページ) で、[集計結果をメールで通知する] および [制限値を超えたことをメールで通知する] を設定する場合に必要です。

The dialog box 'ユーザID登録' shows the '追加(A)' button highlighted with a red rectangle. Below it, the input fields for 'ユーザID(N)', '名前(N)', and 'メールアドレス(M)' are highlighted with a red rectangle.

- ⑨ [次へ] をクリックします。

「機能や使用制限を設定するには」(52 ページ) に進みます。

CSV ファイルを作成して一括して追加するには

ユーザー ID、名前、メールアドレスを記載した CSV ファイルを作成し、それを読み込むことでユーザーを追加できます。

注 プリンターに既に登録されているユーザーと、CSV ファイルに記載したユーザーの名前やユーザー ID が重複する場合、プリンターの情報を残し、重複のない名前とユーザー ID のみ追加します。

- ① メモ帳、Excel 等で CSV ファイルを作成します。

<メモ帳の場合>

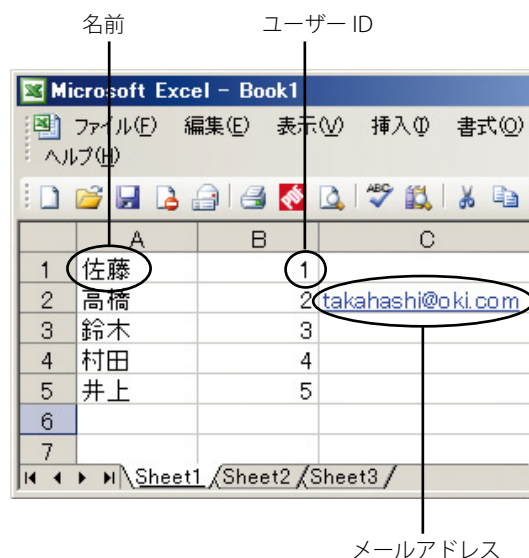
- ① 各行に 1 ユーザーずつ、ユーザー ID、名前、メールアドレスを記載します。ユーザー ID は半角数字で記載します。ユーザー ID、名前、メールアドレスの間は「,」で区切ります。メールアドレスは省略可能です。



- ② テキスト形式でファイルの拡張子を「CSV」にして保存します。

<Excel の場合>

- ① 各行に 1 ユーザーずつ、名前、ユーザー ID、メールアドレスを記載します。ユーザー ID は半角数字で記載します。メールアドレスは省略可能です。



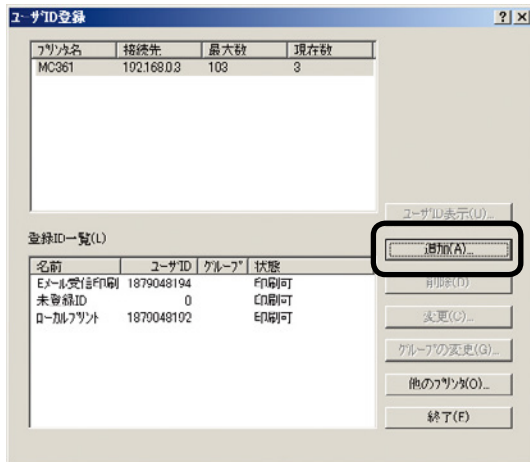
- ② CSV 形式でファイルを保存します。

- ② プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ③ サーバーソフトウェアを起動します。
- ④ 選択ウィンドウの [プリンタ] をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウィンドウのリストビューに表示されます。
- ⑤ プリンターまたはプリンターグループを選択し、[プリンタ] メニューから [プロパティ] を選択します。

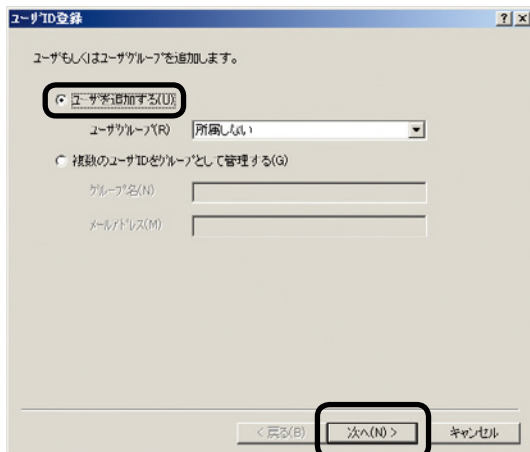
メモ プリンターは複数選択することができます。

- ⑥ [ユーザ] タブの [登録] をクリックします。

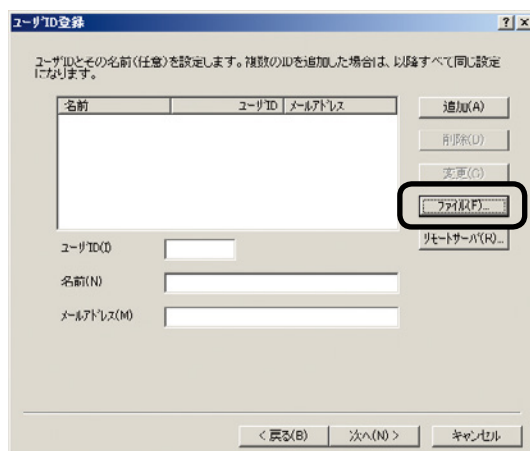
- ⑦ [追加] をクリックします。



- ⑧ [ユーザを追加する] を選択し、所属させたいグループを [ユーザグループ] から選択し、[次へ] をクリックします。



- ⑨ [ファイル] をクリックします。



- ⑩ 手順①で作成したCSVファイルを指定し、[開く] をクリックします。
- ⑪ ユーザーリストにユーザー ID と名前が追加されたことを確認します。
- ⑫ [次へ] をクリックします。

「機能や使用制限を設定するには」(52 ページ)に進みます。

Windows に登録されているユーザーを読み込むには

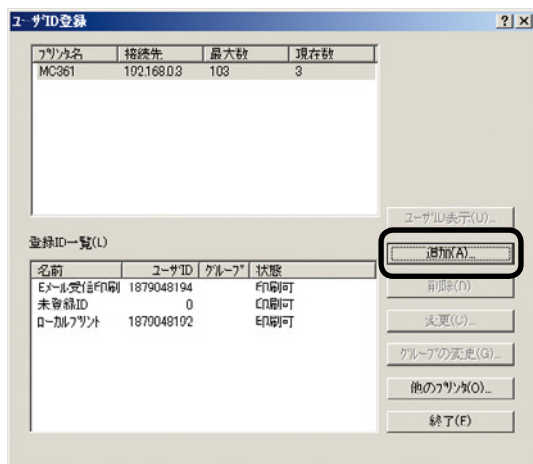
ネットワーク上の指定した Windows からユーザーの名前の情報を取得して、サーバーソフトウェアに一括して追加できます。取得できる名前は指定したコンピュータに登録されているアカウントです。

- 注**・指定したコンピュータのアクセス権が必要です。
- ・プリンターに既に登録されているユーザーと、コンピュータに登録されているユーザーの名前が重複する場合、プリンターの情報を残し、重複のない名前のみ追加します。

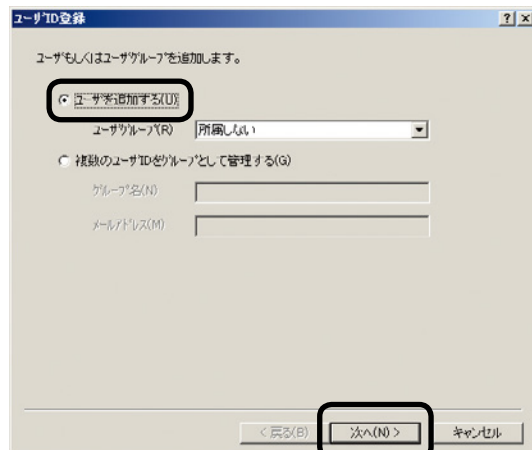
- 1 プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- 2 サーバーソフトウェアを起動します。
- 3 選択ウインドウの「プリンタ」をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウインドウのリストビューに表示されます。
- 4 プリンターまたはプリンターグループを選択し、「プリンタ」メニューから「プロパティ」を選択します。

メモ プリンターは複数選択することができます。

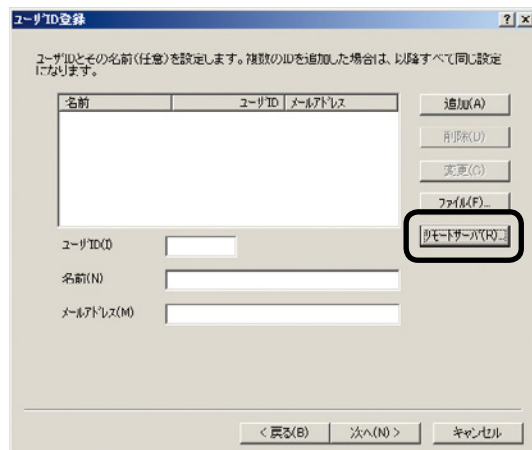
- 5 「ユーザ」タブの「登録」をクリックします。
- 6 「追加」をクリックします。



- 7 「ユーザを追加する」を選択し、所属させたいグループを「ユーザグループ」から選択し、「次へ」をクリックします。



- 8 「リモートサーバ」をクリックします。



- ⑨ [インポート元] からユーザー情報を取得するコンピューターを選択し、[追加] をクリックします。



選択したコンピューターにアカウントとして登録されているユーザーが [ユーザ] リストに追加されます。ユーザー ID はランダムに割り当てられます。

- ⑩ 追加する必要のないユーザーがあれば名前を選択し、[削除] をクリックします。
- ⑪ [OK] をクリックします。
- ⑫ ユーザーリストにユーザー ID と名前が追加されたことを確認します。
- ⑬ [次へ] をクリックします。

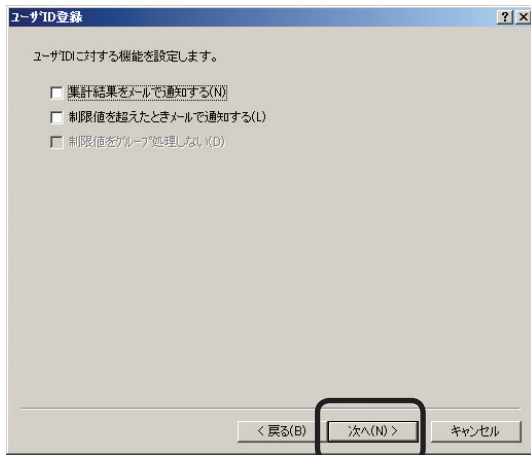
「機能や使用制限を設定するには」(52 ページ)に進みます。

機能や使用制限を設定するには

メモ

以降の手順は、**46 ページ**から **51 ページ**までの手順で登録した全てのユーザー ID に適用されます。あとで、ユーザー ID ごとに変更することもできます。

- ① ユーザー ID に対する機能を設定し、[次へ] をクリックします。



集計結果をメールで通知する

月ごとの使用量をメールで通知します。

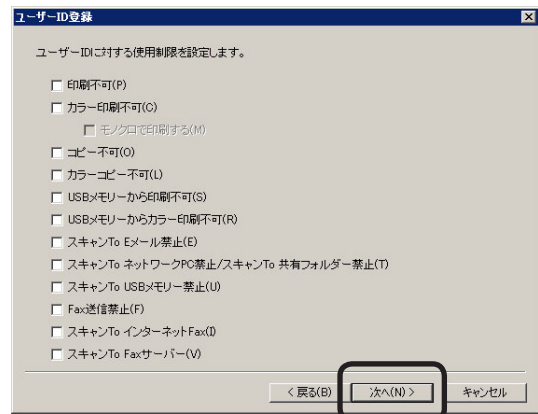
制限値を超えたときメールで通知する

印刷枚数などが制限値を超えて印刷不可能になったとき、および制限値がリセットされ印刷が可能になったとき、メールで通知します。

制限値をグループ処理しない

プリンターグループに所属しているプリンターのユーザーおよびユーザーグループに所属しているユーザーに対して、制限値を個別に設定することができます。

- ② 使用制限を設定し、[次へ] をクリックします。



印刷不可

印刷をキャンセルします。

カラー印刷不可

カラー印刷をキャンセルします。印刷ジョブの途中にカラーデータがある場合は、それ以降の印刷をキャンセルします。

モノクロで印刷する

カラー印刷不可が設定されているとき、カラーデータをキャンセルしないで、モノクロで印刷します。

コピー不可

パネル操作でのコピーを禁止します。無効の場合は印刷不可の設定に従います。

カラーコピー不可

パネル操作でのカラーコピーを禁止します。無効の場合はカラー印刷不可の設定に従います。

USB メモリから印刷不可

パネル操作での USB メモリーからの印刷を禁止します。

USB メモリからカラー印刷不可

パネル操作での USB メモリーからのカラー印刷を禁止します。

スキャン To Eメール禁止

パネル操作でのスキャン To E メールを禁止します。

スキャン To ネットワーク PC 禁止 / スキャン To 共有フォルダー禁止

パネル操作でのスキャン To ネットワーク PC およびスキャン To 共有フォルダーを禁止します。

スキャン To USB メモリ禁止

パネル操作でのスキャン To USB メモリーを禁止します。

Fax 送信禁止

パネル操作での Fax 送信を禁止します。Fax ドライバーを使用した Fax 送信もキャンセルされます。

スキャン To インターネット Fax

パネル操作でのスキャン To インターネット Fax を禁止します。

スキャン To Fax サーバ

パネル操作でのスキャン To Fax サーバを禁止します。

ユーザーグループに所属させ、手順①で「制限値をグループ処理しない」にチェックをつけていない場合は「完了」をクリックし、手順⑤へ進みます。その他の場合は「次へ」をクリックし手順③へ進みます。

- ③ ユーザー ID が使用できる制限値を設定します。それぞれの制限値を越えると、手順④で設定する有効期限まで印刷がキャンセルされます。



制限値の設定は、サーバーソフトウェアがログを取得した時点で、制限値を越えていた場合に有効になります。制限値を越えていても、サーバーソフトウェアがログを取得するまでは印刷できます。

印刷枚数

印刷できる枚数を設定します。

課金額

課金額の上限を設定します。

ホチキス

オプションのフィニッシャーを装着している場合、ホチキスを使用できる回数を設定します。

制限値を設定した場合は

☞ 「次へ」をクリックし、手順④に進みます。

制限値を設定しなかった場合は

☞ 「完了」をクリックし、手順⑤へ進みます。

- ④ 手順③で設定した制限値に対する有効期限を設定し、「完了」をクリックします。有効期限を過ぎると、制限値のカウンタがリセットされます。

設定しない

有効期限を設定しません。手順③で設定する制限値を越えた場合は、制限値を増やすか、使用状況を手動でリセットしないと印刷がキャンセルされます。

月単位

月単位で有効期限を設定します。月数と基準となる日（10日、20日、月末、締め日）を設定します。

週単位

週単位で有効期限を設定します。週数と基準となる曜日を設定します。

日単位

日単位で有効期限を設定します。日数を設定します。

残った分を次に持ち越す

有効期限内に使い切れず余った分を次回に持ち越す場合にチェックします。

- ⑤ 「プリンタの管理者パスワードを入力してください」画面が表示されたら、プリンタの管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックします。



- ・ プリンタによっては表示されません。
- ・ 工場出荷時のプリンタ管理者パスワードは、プリンタのユーザーズマニュアルをご覧ください。

- ⑥ 「ユーザ ID 登録」画面で「終了」をクリックします。

- ⑦ 「ログ取得プリンタのプロパティ」画面で「OK」をクリックします。

複数のプリンターに同じユーザー ID を登録します

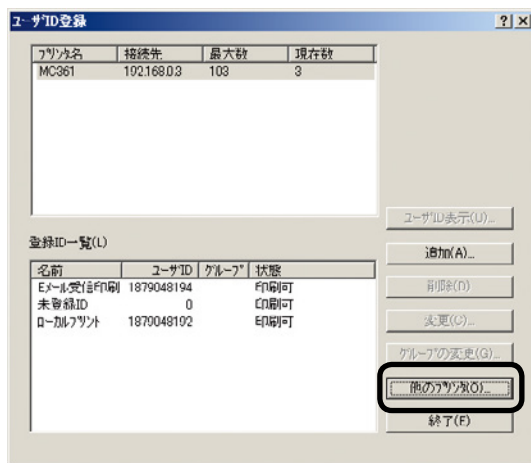
プリンターに設定されているユーザー ID と名前を、別のプリンターにコピーすることができます。

- 注**・コピー先のプリンターに既に登録されているユーザーと、コピー元のプリンターのユーザーのユーザー ID や名前が重複する場合、コピー先の情報を残し、コピー元から重複のない名前とユーザー ID のみ追加します。
- ・ユーザー ID の使用制限の設定も一緒にコピーされます。

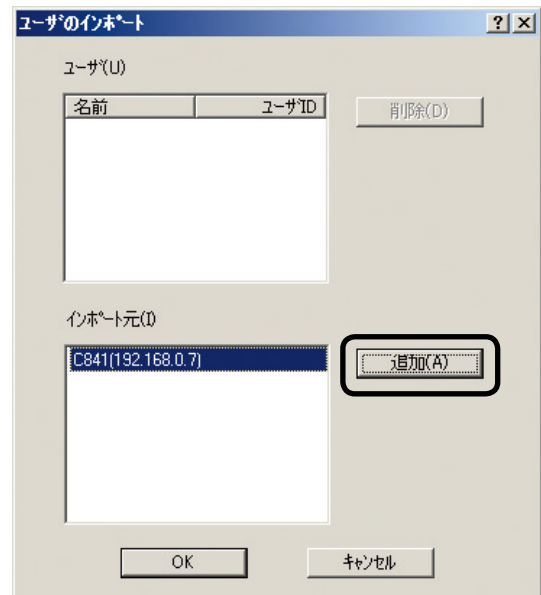
- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 選択ウインドウの [プリンタ] をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウインドウのリストビューに表示されます。
- ④ プリンターまたはプリンターグループを選択し、[プリンタ] メニューから [プロパティ] を選択します。

メモ プリンターは複数選択することができます。

- ⑤ [ユーザ] タブの [登録] をクリックします。
- ⑥ [他のプリンタ] をクリックします。



- ⑦ [インポート元] から既にユーザー情報が登録してあるプリンターもしくはプリンターグループを選択し、[追加] をクリックします。



選択したプリンターもしくはプリンターグループに登録されているユーザー ID と名前が [ユーザ] リストに追加されます。

- ⑧ 追加する必要のないユーザーがあれば名前を選択し、[削除] をクリックします。
- ⑨ [OK] をクリックします。
- ⑩ 「プリンタの管理者パスワードを入力してください」画面が表示されたら、プリンターの管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

- 注**・プリンターによっては表示されません。
・工場出荷時のプリンター管理者パスワードは、プリンターのユーザーズマニュアルをご覧ください。

- ⑪ ユーザーリストにユーザー ID と名前が追加されたことを確認します。
- ⑫ [ユーザ ID 登録] 画面で [終了] をクリックします。
- ⑬ [ログ取得プリンタのプロパティ] 画面で [OK] をクリックします。

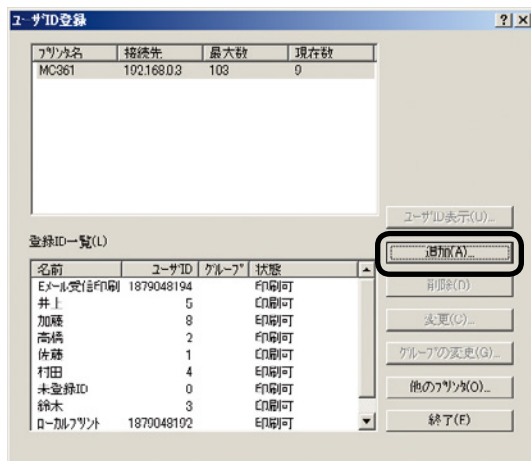
複数のユーザーをグループとして管理します

複数のユーザー ID をグループとして管理することができます。グループで管理を行うと、グループ単位で集計を表示することができます。また、制限値をグループに所属しているユーザー全ての合計に対して設定することもできます。

- 1 サーバーソフトウェアを起動します。
- 2 選択ウィンドウの「[プリンタ]」をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウィンドウのリストビューに表示されます。
- 3 ユーザーグループを作成するプリンターを選択し、「[プリンタ]」メニューから「[プロパティ]」を選択します。

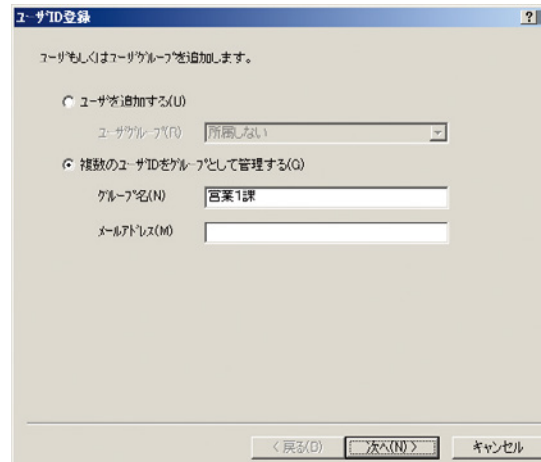
メモ プリンターは複数選択することができます。

- 4 ユーザータブの「[登録]」をクリックします。
- 5 「[追加]」をクリックします。

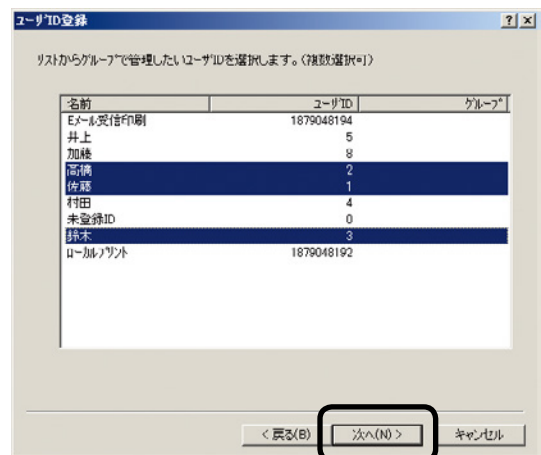


- 6 「[複数のユーザーIDをグループとして管理する]」を選択し、「[グループ名]」、「[メールアドレス]」（省略可）を入力し「[次へ]」をクリックします。

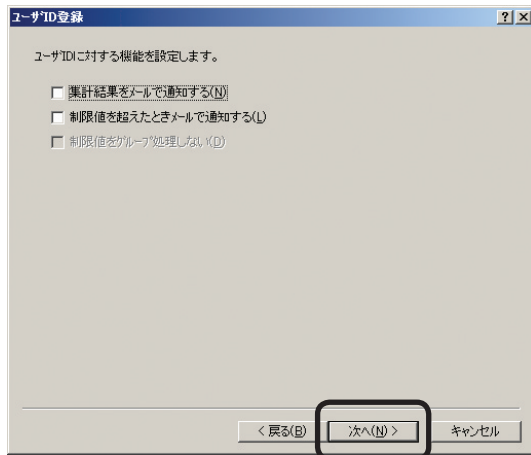
メモ メールアドレスは手順⑧で「[集計結果をメールで通知する]」および「[制限値を超えたことをメールで通知する]」を設定する場合に必要です。



- 7 グループに所属させたいユーザーを選択し、「[次へ]」をクリックします。



- ⑧ グループに対する機能を設定し、[次へ] をクリックします。



集計結果をメールで通知する

月ごとの使用量をメールで通知します。

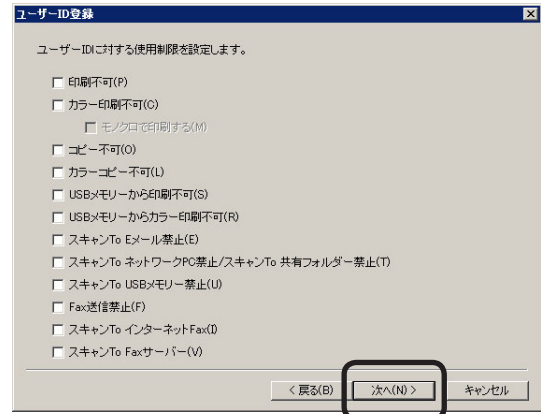
制限値を超えたときメールで通知する

印刷枚数などが制限値を超えて印刷不可能になったとき、および制限値がリセットされ印刷が可能になったとき、メールで通知します。

制限値をグループ処理しない

プリンターグループに所属しているプリンターのユーザーグループに対して、制限値を個別に設定することができます。

- ⑨ 使用制限を設定し、[次へ] をクリックします。



印刷不可

印刷をキャンセルします。

カラー印刷不可

カラー印刷をキャンセルします。印刷ジョブの途中にカラーデータがある場合は、それ以降の印刷をキャンセルします。

モノクロで印刷する

カラー印刷不可が設定されているとき、カラーデータをキャンセルしないで、モノクロで印刷します。

コピー不可

パネル操作でのコピーを禁止します。無効の場合は印刷不可の設定に従います。

カラーコピー不可

パネル操作でのカラーコピーを禁止します。無効の場合はカラー印刷不可の設定に従います。

USB メモリから印刷不可

パネル操作での USB メモリーからの印刷を禁止します。

USB メモリからカラー印刷不可

パネル操作での USB メモリーからのカラー印刷を禁止します。

スキャン To Eメール禁止

パネル操作でのスキャン To E メールを禁止します。

スキャン To ネットワーク PC/ スキャン To 共有フォルダー禁止

パネル操作でのスキャン To ネットワーク PC およびスキャン To 共有フォルダーを禁止します。

スキャン To USB メモリ禁止

パネル操作でのスキャン To USB メモリーを禁止します。

Fax 送信禁止

パネル操作での Fax 送信を禁止します。Fax ドライバーを使用した Fax 送信もキャンセルされます。

スキャン To インターネット Fax

パネル操作でのスキャン To インターネット Fax を禁止します。

スキャン To Fax サーバ

パネル操作でのスキャン To Fax サーバを禁止します。

プリンターグループにユーザーグループを作成し、手順⑧で「制限値をグループ処理しない」にチェックをつけていない場合は「完了」をクリックし、手順⑫へ進みます。その他の場合は「次へ」をクリックし手順⑩へ進みます。

- ⑩ ユーザーグループが使用できる制限値を設定します。
グループに所属するユーザーの使用量の合計が制限値を越えると、手順⑪で設定する有効期限まで、グループの所属する全てのユーザーの印刷がキャンセルされます。

注 制限値の設定は、サーバーソフトウェアがログを取得した時点で、制限値を越えていた場合に有効になります。制限値を越えていても、サーバーソフトウェアがログを取得するまでは印刷できます。

印刷枚数

印刷できる枚数を設定します。

課金額

課金額の上限を設定します。

ホチキス

オプションのフィニッシャーを装着している場合、ホチキスを使用できる回数を設定します。

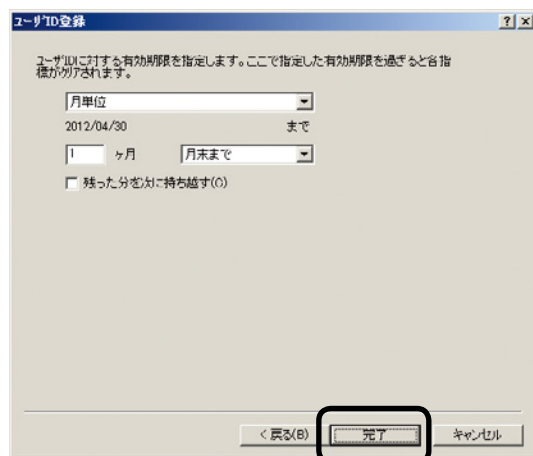
制限値を設定した場合は

☞ 「次へ」をクリックし、手順⑪に進みます。

制限値を設定しなかった場合は

☞ 「完了」をクリックし、手順⑫へ進みます。

- ⑪ 手順⑩で設定した制限値に対する有効期限を設定し、[完了] をクリックします。
有効期限を過ぎると、制限値のカウントがリセットされます。



設定しない

有効期限を設定しません。手順③で設定する制限値を越えた場合は、制限値を増やすか、使用状況を手動でリセットしないと印刷がキャンセルされます。

月単位

月単位で有効期限を設定します。月数と基準となる日（10日、20日、月末、締め日）を設定します。

週単位

週単位で有効期限を設定します。週数と基準となる曜日を設定します。

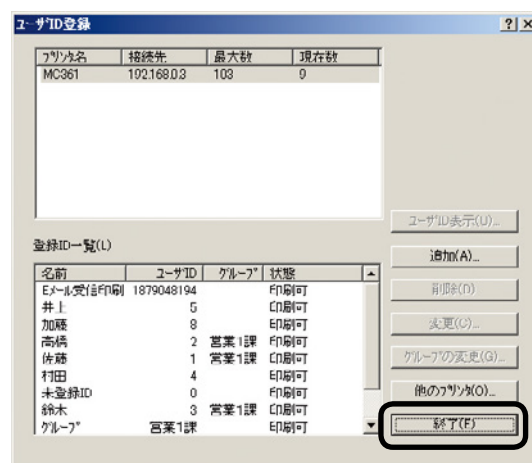
日単位

日単位で有効期限を設定します。日数を設定します。

残った分を次に持ち越す

有効期限内に使い切れず余った分を次回に持ち越す場合にチェックします。

- ⑫ [ユーザID登録] 画面で [終了] をクリックします。



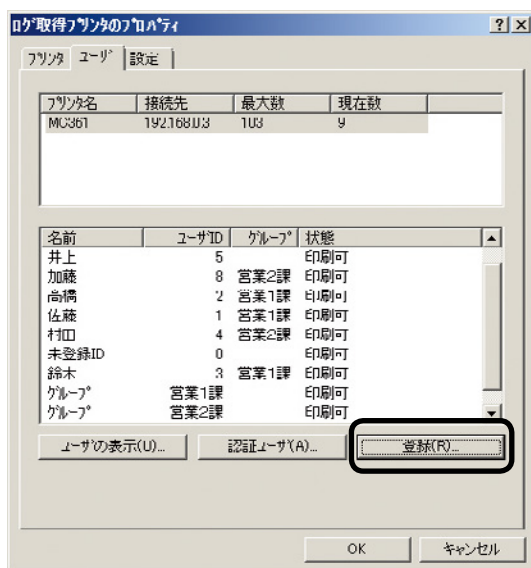
- ⑬ [ログ取得プリンタのプロパティ] 画面で [OK] をクリックします。

ユーザーグループを変更します

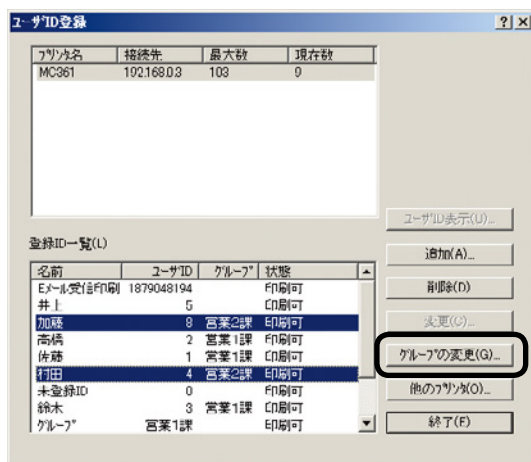
- 1 サーバーソフトウェアを起動します。
- 2 選択ウィンドウの「プリンタ」をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウィンドウのリストビューに表示されます。
- 3 ユーザーグループを変更するプリンターを選択し、「プリンタ」メニューから「プロパティ」を選択します。

メモ プリンターは複数選択することができます。

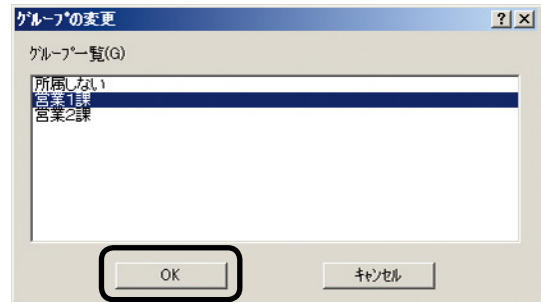
- 4 「ユーザ」タブの「登録」をクリックします。



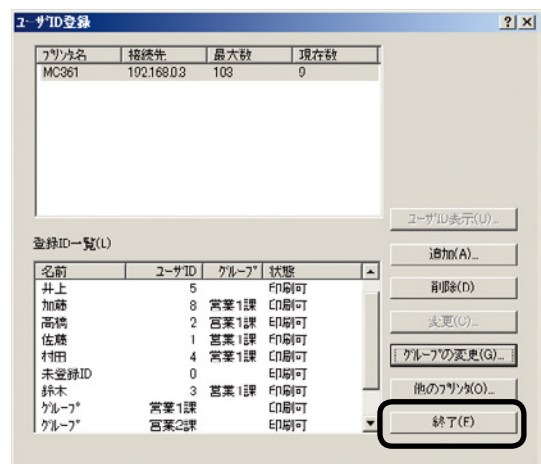
- 5 グループを変更するユーザーを選択し、「グループの変更」をクリックします。



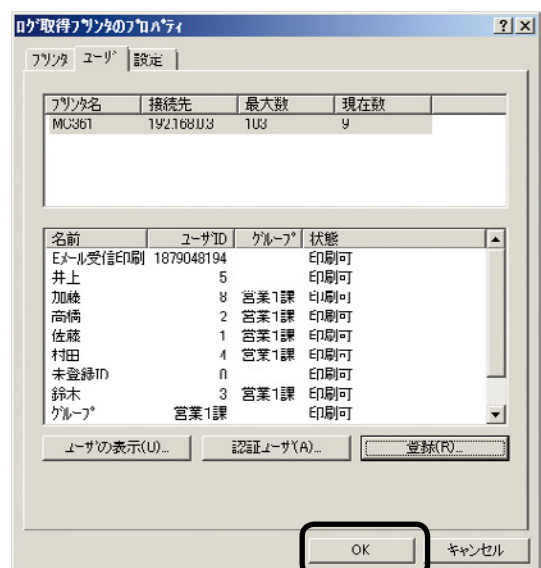
- 6 新しく所属させるグループを選択し、「OK」をクリックします。グループから所属を外す場合は、「所属しない」を選択します。



- 7 「終了」をクリックします。



- 8 グループが変更されていることを確認し、「OK」をクリックします。



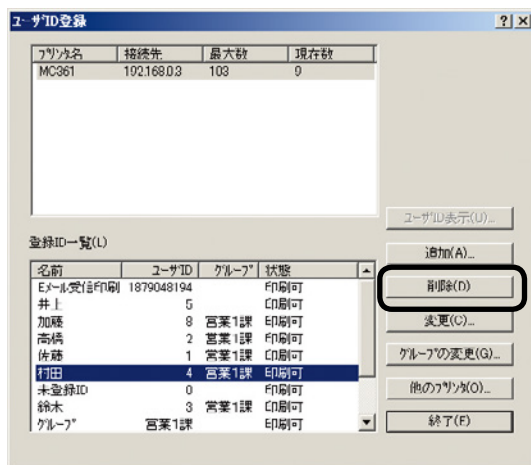
ユーザー ID、ユーザーグループを削除します

注 [ローカルプリント]、[Eメール受信印刷]、[未登録ID] は削除できません。

- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 選択ウインドウの [プリンタ] をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウインドウのリストビューに表示されます。
- ④ プリンターを選択し、[プリンタ] メニューから [プロパティ] を選択します。

メモ プリンターは複数選択することができます。

- ⑤ [ユーザ] タブの [登録] をクリックします。
- ⑥ 「登録 ID 一覧」 から名前またはグループ名を選択し、[削除] をクリックします。



- ⑦ 確認画面で [はい] をクリックします。
- ⑧ [ユーザID登録] 画面で [終了] をクリックします。
- ⑨ [ログ取得プリンタのプロパティ] 画面で [OK] をクリックします。

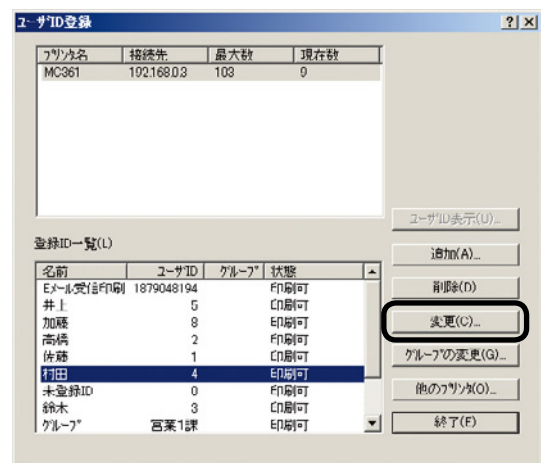
メモ ユーザーグループを削除した場合、削除したユーザーグループに所属していたユーザーは「所属しない」に変更されます。

ユーザー ID、ユーザーグループの設定を変更します

- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 選択ウインドウの [プリンタ] をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウインドウのリストビューに表示されます。
- ④ プリンターを選択し、[プリンタ] メニューから [プロパティ] を選択します。

メモ プリンターは複数選択することができます。

- ⑤ [ユーザ] タブの [登録] をクリックします。
- ⑥ 「登録 ID 一覧」 から設定を変更したい名前またはグループ名を選択し、[変更] をクリックします。



- ⑦ [ユーザ ID] (グループの場合は [ユーザグループ])、[使用制限]、[制限値] タブで設定を変更し、[OK] をクリックします。

ユーザ ID タブ

名前

80 字まで指定できます。「」は使用できません。



ユーザー ID は変更できません。
変更する場合は、一旦ユーザー ID を削除し、追加し直してください。

メールアドレス

使用量や制限値を超えたことをメールで送信する場合に入力します。

ユーザグループ

ユーザーを所属させるグループを設定します。

グループに所属させない場合は、「所属しない」を選択します。

集計結果をメールで通知する

月ごとの使用量をメールで通知します。

制限値を超えたときメールで通知する

印刷枚数などが制限値を超えて印刷不可能になったとき、および制限値がリセットされ印刷が可能になったとき、メールで通知します。

制限値をグループ処理しない

プリンターグループに所属しているユーザー / ユーザーグループおよびユーザーグループに所属しているユーザーに対して、プリンターの制限値を個別に設定することができます。

使用制限タブ

印刷不可

印刷をキャンセルします。

カラー印刷不可

カラー印刷をキャンセルします。印刷ジョブの途中にカラーデータがある場合は、それ以降の印刷をキャンセルします。

モノクロで印刷する

カラー印刷不可が設定されているとき、カラーデータをキャンセルしないで、モノクロで印刷します。

コピー不可

パネル操作でのコピーを禁止します。無効の場合は印刷不可の設定に従います。

カラーコピー不可

パネル操作でのカラーコピーを禁止します。無効の場合はカラー印刷不可の設定に従います。

USB メモリから印刷不可

パネル操作での USB メモリーからの印刷を禁止します。

USB メモリからカラー印刷不可

パネル操作での USB メモリーからのカラー印刷を禁止します。

スキャン To Eメール禁止

パネル操作でのスキャン To E メールを禁止します。

スキャン To ネットワーク PC / スキャン To 共有フォルダー禁止

パネル操作でのスキャン To ネットワーク PC およびスキャン To 共有フォルダーを禁止します。

スキャン To USB メモリ禁止

パネル操作でのスキャン To USB メモリーを禁止します。

Fax 送信禁止

パネル操作での Fax 送信を禁止します。Fax ドライバーを使用した Fax 送信もキャンセルされます。

スキャン To インターネット Fax

パネル操作でのスキャン To インターネット Fax を禁止します。

スキャン To Fax サーバ

パネル操作でのスキャン To Fax サーバーを禁止します。

制限値タブ

印刷枚数

印刷できる枚数を設定します。

課金額

課金額の上限を設定します。

ホチキス

オプションのフィニッシャーを装着している場合、ホチキスを使用できる回数を設定します。

有効期限

有効期限は制限値を設定した場合に表示されます。有効期限を過ぎると制限値のカウントがリセットされます。

設定しない

有効期限を設定しません。制限値を越えた場合は、制限値を増やすか、使用状況を手動でリセットしないと印刷がキャンセルされます。

月単位

月単位で有効期限を設定します。月数と基準となる日（10日、20日、月末、締め日）を設定します。

週単位

週単位で有効期限を設定します。週数と基準となる曜日を設定します。

日単位

日単位で有効期限を設定します。日数を設定します。

残った分を次に持ち越す

有効期限内に使い切れず余った分を次回に持ち越す場合にチェックします。

- 注.**
- ・ 制限値の設定は、サーバーソフトウェアがログを取得した時点で、制限値を越えていた場合に有効になります。制限値を越えていても、サーバーソフトウェアがログを取得するまでは印刷できます。
 - ・ 有効期限を変更した場合は、今までの使用状況をリセットするかどうか確認画面が表示されます。リセットする場合は「はい」をクリックします。

- ⑧ 「プリンタの管理者パスワードを入力してください」画面が表示されたら、プリンターの管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

- 注.**
- ・ プリンターによっては表示されません。
 - ・ 工場出荷時のプリンター管理者パスワードは、プリンターのユーザーズマニュアルをご覧ください。

- ⑨ [ユーザ ID 登録] 画面で [終了] をクリックします。

- ⑩ [ログ取得プリンタのプロパティ] 画面で [OK] をクリックします。

ユーザー ID、ユーザーグループごとの使用状況を確認します

使用状況を確認するには



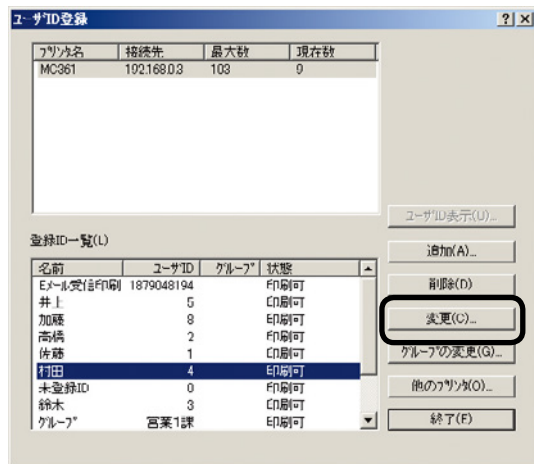
プリンターに残っているログを含めて使用状況の確認やリセットを行う場合は、最初に「ログを直ちに取得するには」(179 ページ)を参照して、ログの取得を行ってください。

- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 選択ウインドウの「プリンタ」をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウインドウのリストビューに表示されます。
- ③ プリンターを選択し、「プリンタ」メニューから「プロパティ」を選択します。

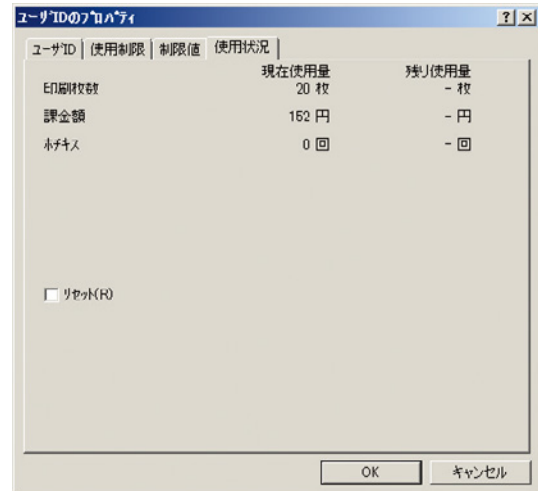


プリンターは複数選択することができます。

- ④ 「ユーザ」タブの「登録」をクリックします。
- ⑤ 「登録 ID 一覧」から確認したい名前またはグループ名を選択し、「変更」をクリックします。



- ⑥ 「使用状況」タブで確認します。



印刷枚数

現在までの印刷枚数および残りの印刷枚数を表示します。

課金額

現在までの課金額および残りの課金額を表示します。

ホチキス

オプションのフィニッシャーを装着している場合、現在までにホチキスを使用した回数および残りの使用回数を表示します。



- ・ プリンターグループに登録したユーザーおよびユーザーグループの使用状況は、プリンターグループに所属する全てのプリンターでのユーザーおよびユーザーグループの使用量の合計になります。また、ユーザーグループの使用状況は、ユーザーグループに所属する全てのユーザーの使用量の合計になります。ただし、「制限値をグループ処理しない」にチェックがついているユーザーおよびユーザーグループの使用量は含まれません。
- ・ ユーザー ID に有効期限を設定している場合は、期限を過ぎると、使用状況の値は自動的にリセットされ 0 に戻ります。

- ⑦ 確認が終わったら、「OK」をクリックします。
- ⑧ 「ユーザ ID 登録」画面で「終了」をクリックします。
- ⑨ 「ログ取得プリンタのプロパティ」画面で「OK」をクリックします。

使用状況をリセットするには

- ① 「使用状況を確認するには」(63 ページ) の手順①から⑤までを行います。
- ② [使用状況] タブの [リセット] にチェックを付け、[OK] をクリックします。

注! [ユーザ ID] (グループの場合は [ユーザグループ]) タブの [状態] で「印刷不可 (制限値超過)」になっている場合は、プリンターの電源が ON になっていないとリセットできません。



- ③ 確認画面で「はい」をクリックします。
- ④ [ユーザ ID 登録] 画面で [終了] をクリックします。
- ⑤ [ログ取得プリンタのプロパティ] 画面で [OK] をクリックします。

メモ プリンターグループに登録したユーザーおよびユーザーグループの使用状況をリセットすると、プリンターグループに所属する全てのプリンターでのユーザーおよびユーザーグループの使用状況がリセットされます。また、ユーザーグループの使用状況をリセットすると、ユーザーグループに所属する全てのユーザーの使用状況がリセットされます。ただし、「制限値をグループ処理しない」にチェックがついているユーザーおよびユーザーグループの使用状況はリセットされません。

集計の結果をメールで通知するには

集計の結果を月ごとにユーザーにメールで通知することができます。

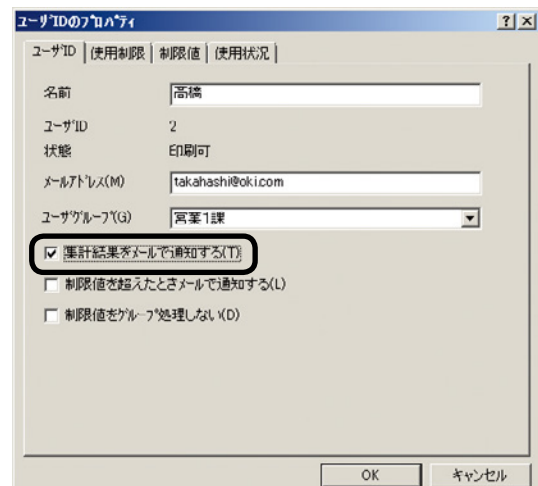
注! あらかじめ「メール送信機能の設定をします」(206 ページ) に従って、送信メールサーバー、送信者のメールアドレスを設定する必要があります。

- メモ**
- ・メールは「締め日を変更するには」(178 ページ) で設定された締め日 (初期設定は月末) の翌日に送信されます。
 - ・集計する項目は「書き出す集計項目を変更するには」(193 ページ) で変更することができます。

- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 選択ウィンドウの [プリンタ] をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウィンドウのリストビューに表示されます。
- ③ プリンターもしくはプリンターグループを選択し、[プリンタ] メニューから [プロパティ] を選択します。

メモ プリンターは複数選択することができます。

- ④ [ユーザ] タブの [登録] をクリックします。
- ⑤ 設定するユーザーを選択し、[変更] をクリックします。
- ⑥ [ユーザ ID] タブの [メールアドレス] 欄にメールアドレスを入力し、[集計結果をメールで通知する] にチェックをつけます。



- ⑦ [OK] をクリックします。
- ⑧ [ユーザ ID 登録] 画面で [終了] をクリックします。
- ⑨ [ログ取得プリンタのプロパティ] 画面で [OK] をクリックします。

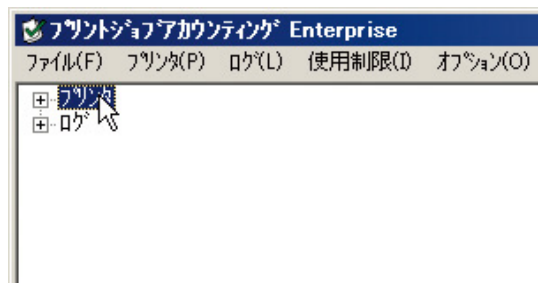
認証ユーザー名にユーザー ID を関連付けます

操作パネルのアクセス制御機能を有す機種で、ユーザー名／パスワードで認証を行っている場合に、認証を行うユーザー名にユーザー ID を関連付けることができます。ユーザー名にユーザー ID を関連付けますと、操作パネルからユーザー名／パスワードでログインしたときやプリンタードライバーにユーザー名／パスワードを設定して印刷を行ったときなどに、関連付けられたユーザー ID の使用制限が有効になります。

- 注**
- ・ユーザー名に「Admin」は指定できません。
 - ・異なるユーザー名を同じユーザー ID に関連付けることも可能です。

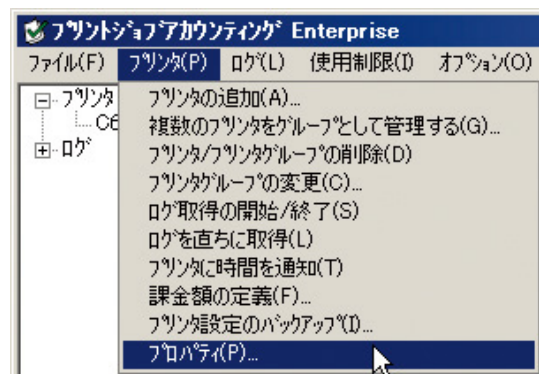
手動で追加するには

- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 選択ウインドウの [プリンタ] をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウインドウのリストビューに表示されます。



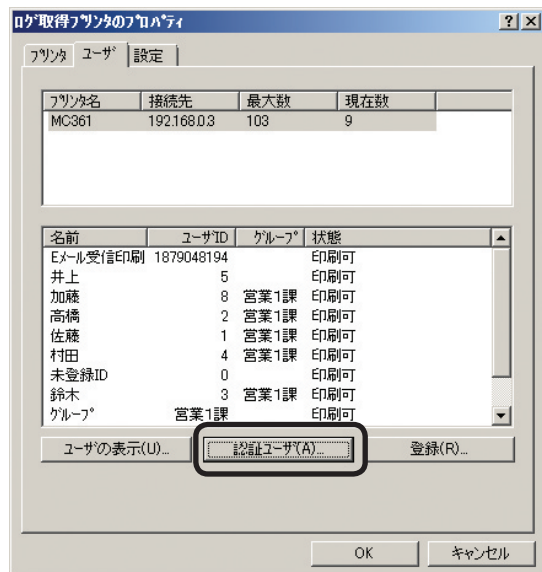
- ④ プリンターまたはプリンターグループを選択し、[プリンタ] メニューから [プロパティ] を選択します。

メモ プリンターは複数選択することができます。

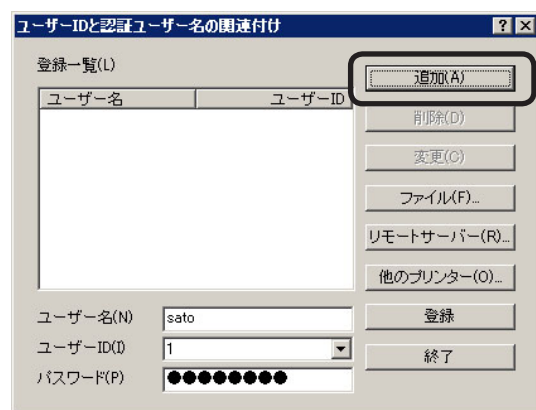


- ⑤ [ユーザ] タブの [認証ユーザ] をクリックします。

プリンターに登録済みのユーザー名とユーザー ID の関連付けを取得し、登録一覧に表示します。

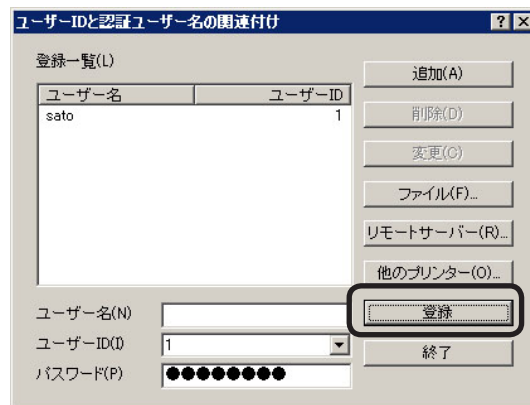


- ⑥ [ユーザ名] にユーザー名を入力し、[ユーザ ID] からユーザー名に関連付けたいユーザー ID を選択し、[追加] をクリックします。関連付けを削除したい場合は、登録一覧から削除したい関連付けを選択し、[削除] をクリックします。



- ⑦ [登録] をクリックします。

- 注!**
- 登録一覧のユーザー名とユーザー ID の関連付けをすべて登録します。
 - 登録一覧から削除した関連付けはプリンターからも削除されます。

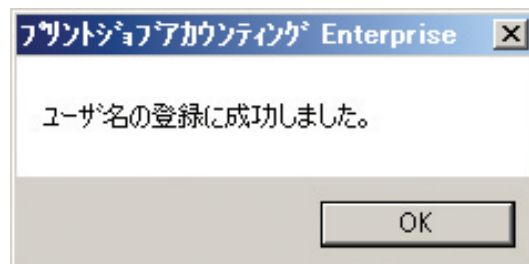


- ⑧ 「プリンターの管理者パスワードを入力してください」画面が表示されますので、プリンターの管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

- 注!** 工場出荷時のプリンター管理者パスワードは、プリンターのユーザーズマニュアルをご覧ください。



- ⑨ 成功のメッセージが表示されましたら、[OK] をクリックします。



- ⑩ [終了] をクリックします。

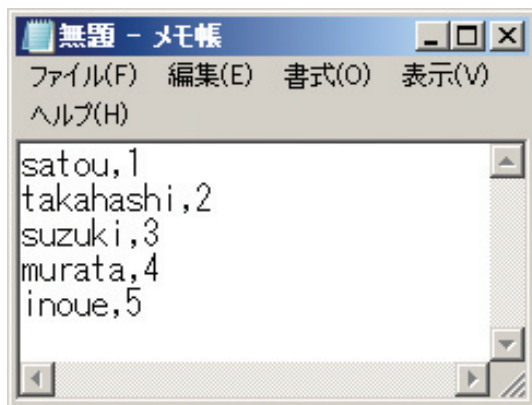
CSV ファイルを作成して一括して追加するには

ユーザー名、ユーザー ID を記載した CSV ファイルを作成し、それを読み込むことでユーザー名とユーザー ID の関連付けを追加できます。

- ① メモ帳、Excel 等で CSV ファイルを作成します。

<メモ帳の場合>

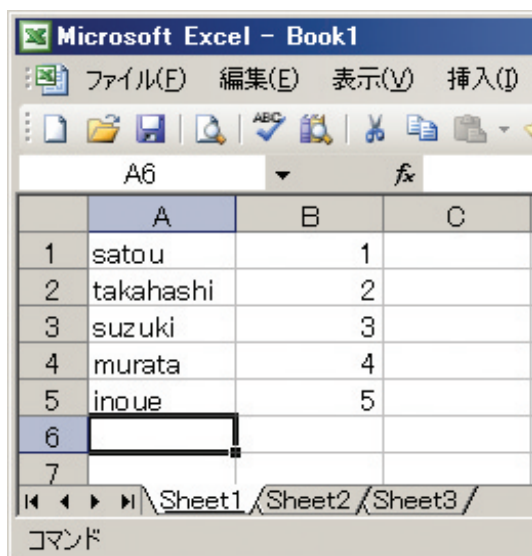
- ① 各行に 1 ユーザーずつ、認証ユーザー名、ユーザー ID を記載します。認証ユーザー名、ユーザー ID の間は「,」で区切ります。



- ② テキスト形式でファイルの拡張子を「CSV」にして保存します。

<Excel の場合>

- ① 各行に 1 ユーザーずつ、認証ユーザー名、ユーザー ID を記載します。

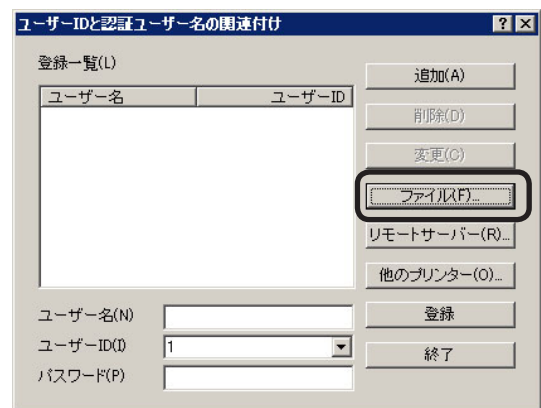


- ② CSV 形式でファイルを保存します。

- ② プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ③ サーバーソフトウェアを起動します。
- ④ 選択ウインドウの [プリンタ] をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウインドウのリストビューに表示されます。
- ⑤ プリンターまたはプリンターグループを選択し、[プリンタ] メニューから [プロパティ] を選択します。

メモ プリンターは複数選択することができます。

- ⑥ [ユーザ] タブの [認証ユーザ] をクリックします。プリンターに登録済みのユーザー名とユーザー ID の関連付けを取得し、登録一覧に表示します。
- ⑦ [ファイル] をクリックします。

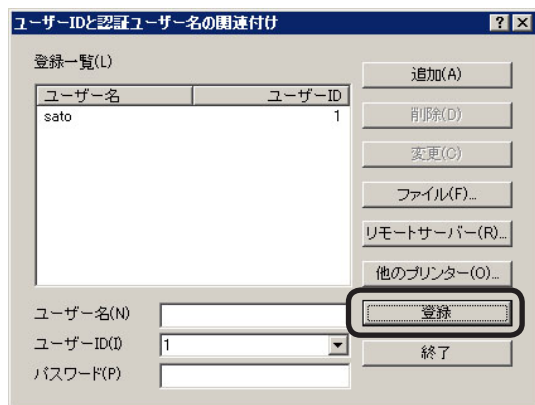


- ⑧ 手順①で作成した CSV ファイルを指定し、[開く] をクリックします。
- ⑨ 登録一覧にユーザー名とユーザー ID が追加されたことを確認します。

注 プリンターに登録されていないユーザー ID を指定した場合は、登録一覧に表示されません。事前にユーザー ID を追加しておく必要があります。

⑩ [登録] をクリックします。

- 注!**
- 登録一覧のユーザー名とユーザー ID の関連付けをすべて登録します。
 - 登録一覧から削除した関連付けはプリンターからも削除されます。



⑪ 「プリンターの管理者パスワードを入力してください」画面が表示されますので、プリンターの管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

- 注!**
- 工場出荷時のプリンター管理者パスワードは、プリンターのユーザーズマニュアルをご覧ください。



⑫ 成功のメッセージが表示されましたら、[OK] をクリックします。

⑬ [終了] をクリックします。

Windows に登録されているユーザーを読み込むには

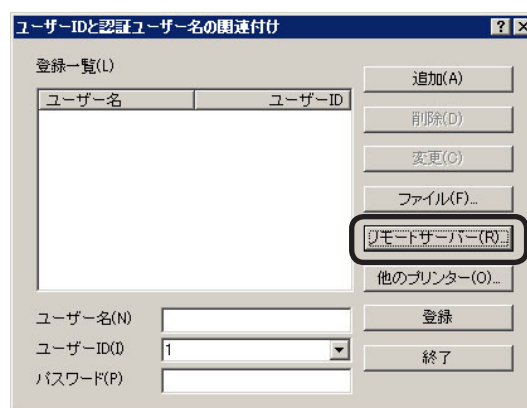
ネットワーク上の指定した Windows からユーザー名の情報を取得して、ユーザー ID と関連付けることができます。取得できるユーザー名は指定したコンピューターに登録されているアカウントです。

- 注!**
- 指定したコンピューターのアクセス権が必要です。

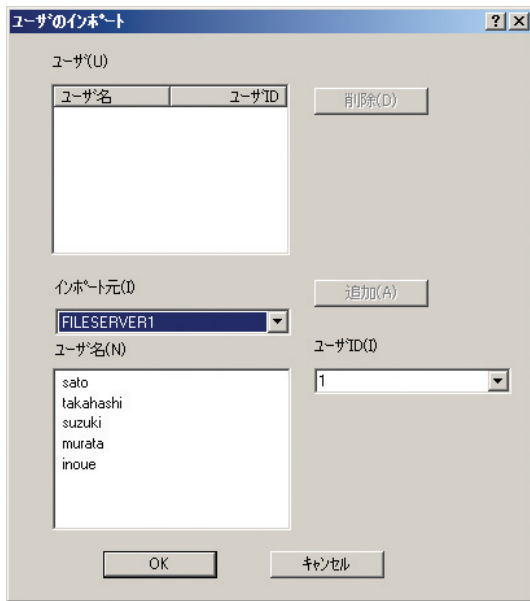
- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 選択ウィンドウの [プリンタ] をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウィンドウのリストビューに表示されます。
- ④ プリンターまたはプリンターグループを選択し、[プリンタ] メニューから [プロパティ] を選択します。

メモ プリンターは複数選択することができます。

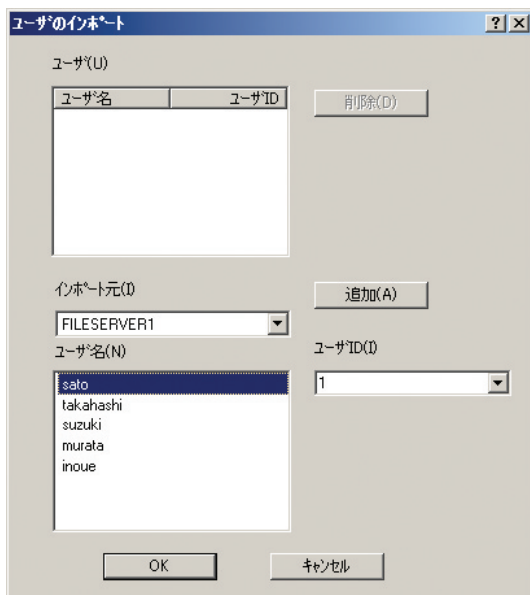
- ⑤ [ユーザ] タブの [認証ユーザ] をクリックします。
プリンターに登録済みのユーザー名とユーザー ID の関連付けを取得し、登録一覧に表示します。
- ⑥ [リモートサーバ] をクリックします。



- ⑦ [インポート元] からユーザー情報を取得するコンピュータを選択すると、[ユーザ名] リストに取得したユーザー名が表示されます。

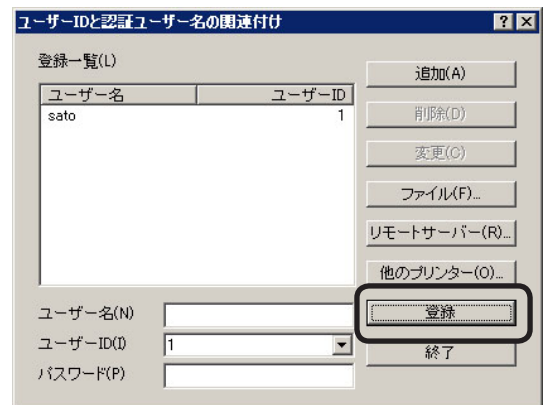


- ⑧ [ユーザ名] リストからユーザー名を選択し、[ユーザID] リストから関連付けたいユーザーIDを選択し、[追加] をクリックすると、[ユーザ] リストにユーザー名とユーザーIDが追加されます。



- ⑨ [OK] をクリックします。
- ⑩ 登録一覧にユーザー名とユーザーIDが追加されたことを確認します。
- ⑪ [登録] をクリックします。

- 注**
- 登録一覧のユーザー名とユーザーIDの関連付けをすべて登録します。
 - 登録一覧から削除した関連付けはプリンターからも削除されます。



- ⑫ 「プリンタの管理者パスワードを入力してください」画面が表示されますので、プリンターの管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックします。

- 注** 工場出荷時のプリンター管理者パスワードは、プリンターのユーザーズマニュアルをご覧ください。



- ⑬ 成功のメッセージが表示されましたら、[OK] をクリックします。
- ⑭ [終了] をクリックします。

他のプリンターからインポートするには

プリンターに設定されているユーザー名とユーザー ID の関連付けを、別のプリンターにコピーすることができます。

注! コピー先のプリンターに既に登録されているユーザー名とユーザー ID の関連付けと、コピー元のプリンターのユーザー名とユーザー ID の関連付けが重複する場合、コピー先の情報を残し、コピー元から重複のないユーザー名とユーザー ID の関連付けのみ追加します。

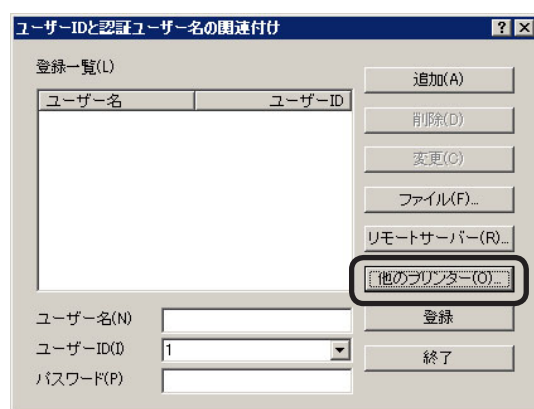
- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 選択ウィンドウの「プリンタ」をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウィンドウのリストビューに表示されます。
- ④ プリンターまたはプリンターグループを選択し、「プリンタ」メニューから「プロパティ」を選択します。

メモ プリンターは複数選択することができます。

- ⑤ 「ユーザ」タブの「認証ユーザ」をクリックします。

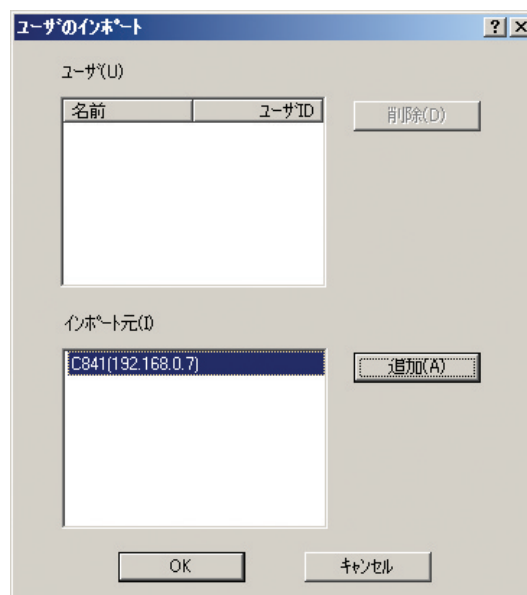
プリンターに登録済みのユーザー名とユーザー ID の関連付けを取得し、登録一覧に表示します。

- ⑥ 「他のプリンタ」をクリックします。



- ⑦ 「インポート元」からユーザー情報を取得するプリンターを選択し、「追加」をクリックすると、「ユーザ」リストにユーザー名とユーザー ID が追加されます。

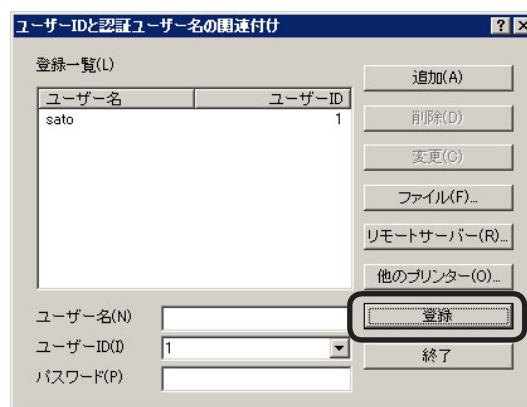
- ⑧ 「OK」をクリックします。



- ⑨ 登録一覧にユーザー名とユーザー ID が追加されたことを確認します。

- ⑩ 「登録」をクリックします。

- 注!**
- 登録一覧のユーザー名とユーザー ID の関連付けをすべて登録します。
 - 登録一覧から削除した関連付けはプリンターからも削除されます。



- ⑪ 「プリンタの管理者パスワードを入力してください」画面が表示されますので、プリンターの管理者パスワードを入力し、[OK] をクリックします。



- ⑫ 成功のメッセージが表示されましたら、[OK] をクリックします。
- ⑬ [終了] をクリックします。

Memo

5. 使用制限の管理（Enterprise 版のみ）

ログイン名に使用制限を設定します	74
ドキュメント名に使用制限を設定します	81
ホスト名に使用制限を設定します	84
プリンターに設定を追加します	87
プリンターに登録済みの使用制限を表示します	87
使用制限を削除します	88
使用制限を変更します	89
使用制限を全て削除します	90
使用制限を一時的に解除します	90
使用制限を有効にします	91

5. 使用制限の管理 (Enterprise 版のみ)

印刷ジョブに含まれるログイン名、ドキュメント名 (URL)、ホスト名の使用制限の追加や削除、設定変更等、使用制限の管理について説明します。

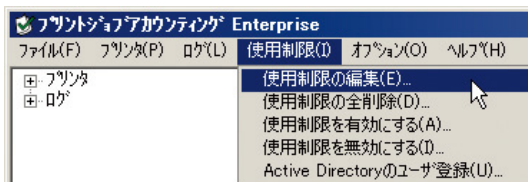
ログイン名に使用制限を設定します

必要に応じてログイン名に使用制限を設定することができます。以下のいずれかの方法で設定を追加してください。

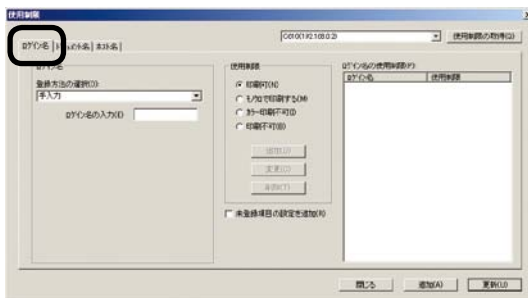
- 手動で追加する
- ログから追加する
- ログイン名の一覧ファイルを作成し一括して追加する
- ネットワーク上の Windows に登録されているユーザーを読み込む

手動で追加するには

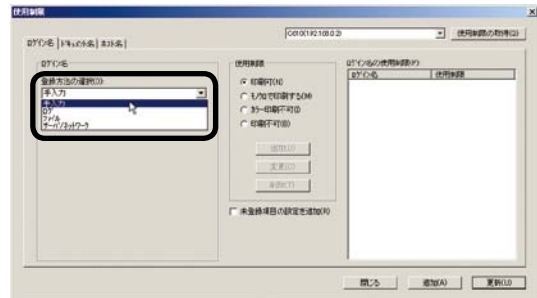
- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 「使用制限」メニューから「使用制限の編集」をクリックします。



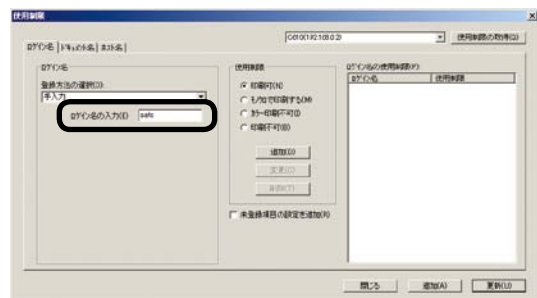
- ④ 「ログイン名」タブをクリックします。



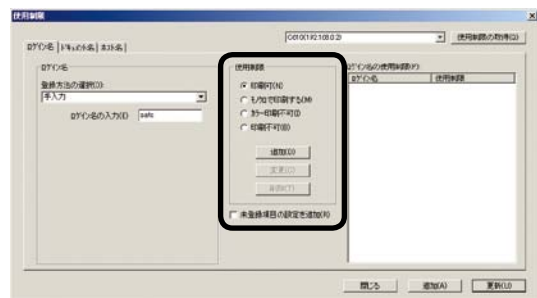
- ⑤ 登録方法の選択で「手入力」を選択します。



- ⑥ ログイン名の入力欄に設定を追加したいログイン名を入力します。



- ⑦ 設定したい使用制限を選択します。



印刷可

印刷を許可します。

モノクロで印刷する

カラー印刷を行ったとき、モノクロで印刷します。

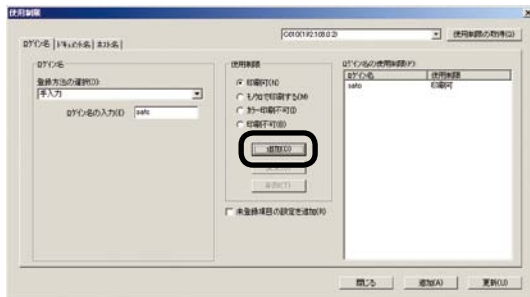
カラー印刷不可

カラー印刷をキャンセルします。印刷ジョブの途中にカラーデータがある場合は、それ以降の印刷をキャンセルします。

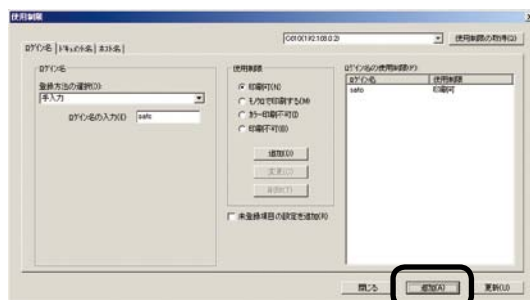
印刷不可

印刷をキャンセルします。

- ⑧ 使用制限欄の「追加」をクリックします。
「ログイン名の使用制限」リストに追加したログイン名とその使用制限が表示されます。



- ⑨ 画面下の「追加」をクリックします。



「プリンターに設定を追加します」(87 ページ)に進みます。

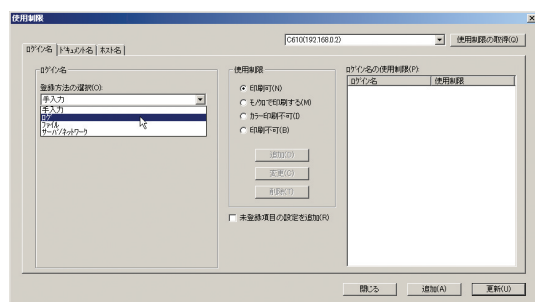
- 注!** 「プリンターに設定を追加します」(87 ページ)の手順を実施しない場合、設定した使用制限はプリンターに登録されません。

ログから追加するには

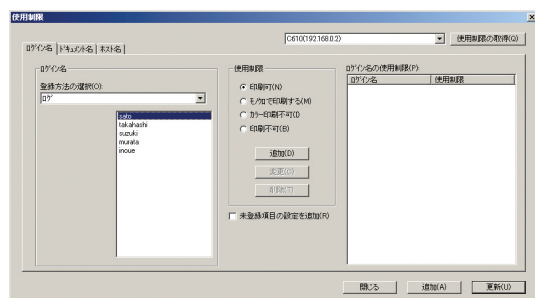
取得済みのログに含まれるログイン名に使用制限を設定できます。

注! あらかじめ「装置からログを取得したときにジョブ情報をファイルに記録するには」(220 ページ)の手順を実施しておく必要があります。

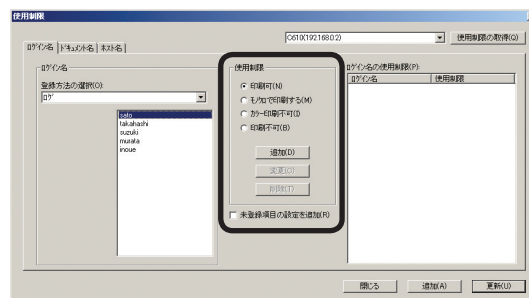
- 1 プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- 2 サーバーソフトウェアを起動します。
- 3 「使用制限」メニューから「使用制限の編集」をクリックします。
- 4 「ログイン名」タブをクリックします。
- 5 登録方法の選択で「Log」を選択します。



- 6 リストから設定を追加したいログイン名を選択します。



- 7 設定したい使用制限を選択します。



印刷可

印刷を許可します。

モノクロで印刷する

カラー印刷を行ったとき、モノクロで印刷します。

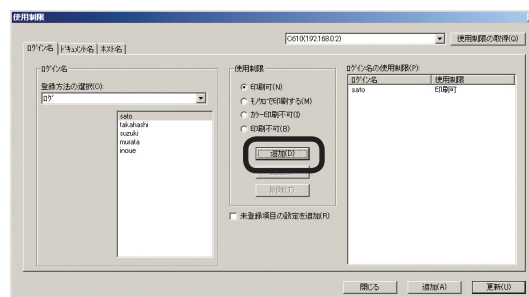
カラー印刷不可

カラー印刷をキャンセルします。印刷ジョブの途中にカラーデータがある場合は、それ以降の印刷をキャンセルします。

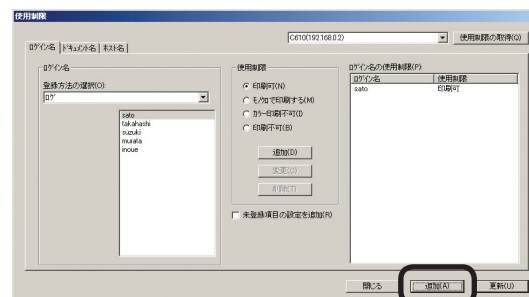
印刷不可

印刷をキャンセルします。

- 8 使用制限欄の「追加」をクリックします。「ログイン名の使用制限」リストに追加したログイン名とその使用制限が表示されます。



- 9 画面下の「追加」をクリックします。



「プリンターに設定を追加します」(87 ページ)に進みます。

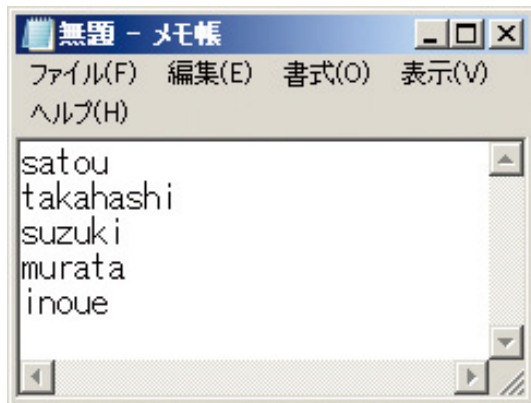
注! 「プリンターに設定を追加します」(87 ページ)の手順を実施しない場合、設定した使用制限はプリンターに登録されません。

CSV ファイルを作成して一括して追加するには

ログイン名を記載した CSV ファイルを作成し、それを読み込むことでログイン名の設定を追加できます。

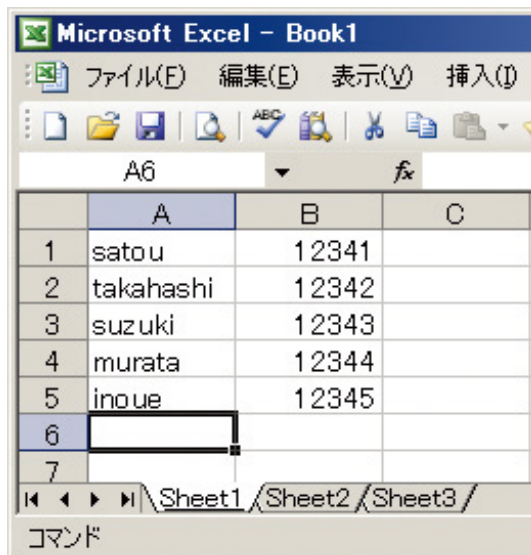
- ① メモ帳、Excel 等で CSV ファイルを作成します。

<メモ帳の場合>



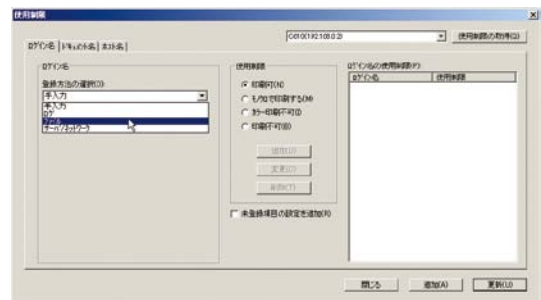
- ① 各行に 1 ログイン名ずつ記載します。
- ② テキスト形式でファイルの拡張子を「CSV」にして保存します。

<Excel の場合>



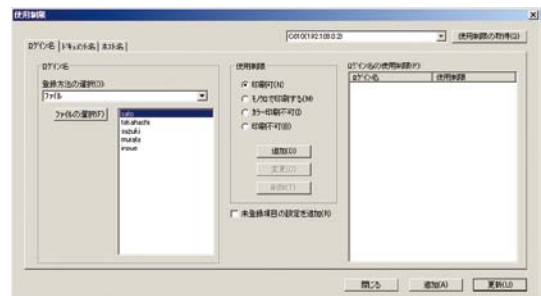
- ① 各行に 1 ログイン名ずつ記載します。
- ② CSV 形式でファイルを保存します。
- ③ サーバソフトウェアを起動します。
- ④ 「使用制限」メニューから「使用制限の編集」をクリックします。
- ⑤ 「ログイン名」タブをクリックします。

- ⑤ 登録方法の選択で「ファイル」を選択します。

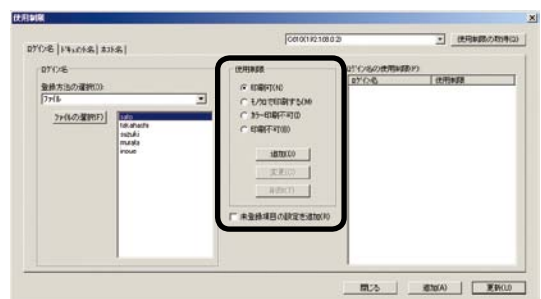


- ⑥ 「ファイルの選択」をクリックし、手順①で作成した CSV ファイルを指定し、「開く」をクリックします。

- ⑦ リストから設定を追加したいログイン名を選択します。



- ⑧ 設定したい使用制限を選択します。



印刷可

印刷を許可します。

モノクロで印刷する

カラー印刷を行ったとき、モノクロで印刷します。

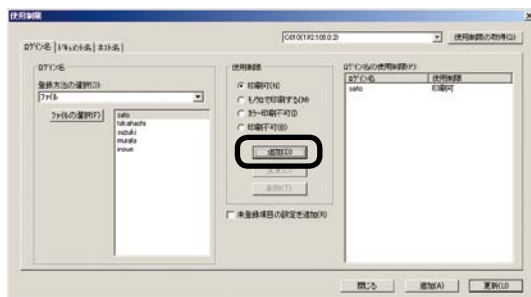
カラー印刷不可

カラー印刷をキャンセルします。印刷ジョブの途中にカラーデータがある場合は、それ以降の印刷をキャンセルします。

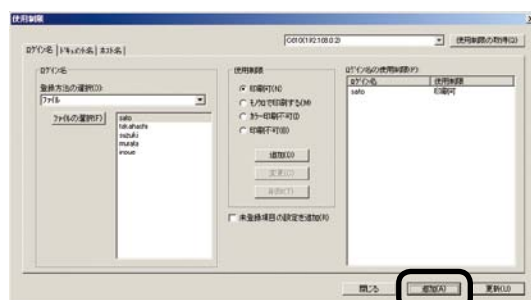
印刷不可

印刷をキャンセルします。

- ⑨ 使用制限欄の「追加」をクリックします。
「ログイン名の使用制限」リストに追加したログイン名とその使用制限が表示されます。



- ⑩ 画面下の「追加」をクリックします。



「プリンターに設定を追加します」(87 ページ)に進みます。

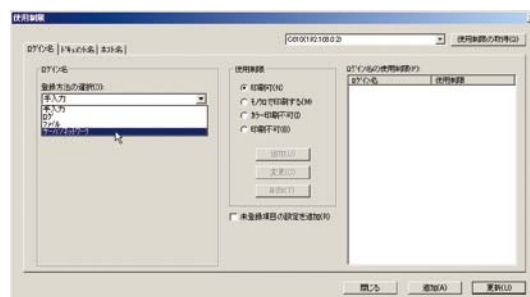
- 注!** 「プリンターに設定を追加します」(87 ページ)の手順を実施しない場合、設定した使用制限はプリンターに登録されません。

Windows に登録されているユーザーを読み込むには

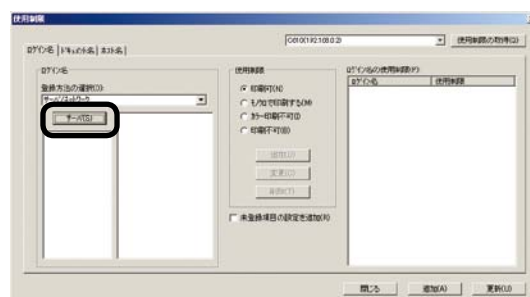
ネットワーク上の指定した Windows からユーザーの名前の情報を取得して、サーバーソフトウェアに一括して追加できます。取得できる名前は指定したコンピューターに登録されているアカウントです。

- 注!**
- 指定したコンピューターのアクセス権が必要です。
 - プリンターに既に登録されているユーザーと、コンピューターに登録されているユーザーの名前が重複する場合、プリンターの情報を残し、重複のない名前のみ追加します。

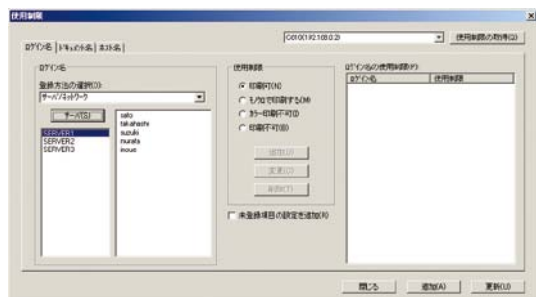
- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 「使用制限」メニューから「使用制限の編集」をクリックします。
- ④ 「ログイン名」タブをクリックします。
- ⑤ 登録方法の選択で「サーバ/ネットワーク」を選択します。



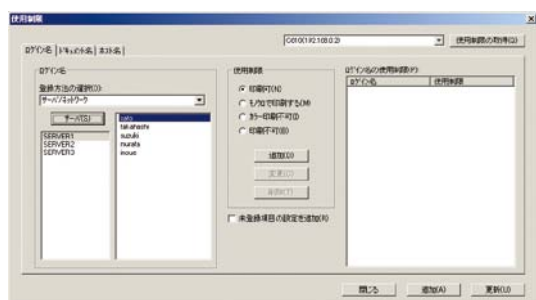
- ⑥ 「サーバ」をクリックします。



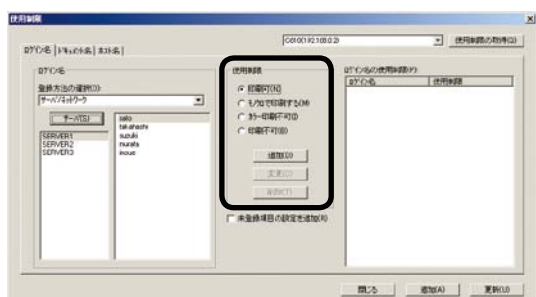
- ⑦ ログイン名を取得したいコンピューターを選択します。



- ⑧ リストから設定を追加したいログイン名を選択します。



- ⑨ 設定したい使用制限を選択します。



印刷可

印刷を許可します。

モノクロで印刷する

カラー印刷を行ったとき、モノクロで印刷します。

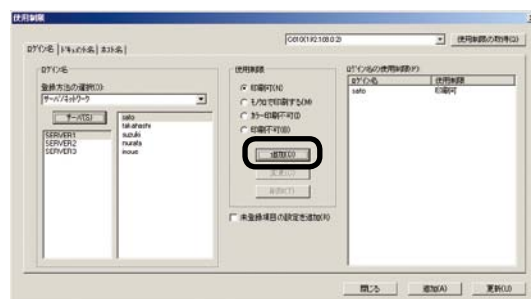
カラー印刷不可

カラー印刷をキャンセルします。印刷ジョブの途中でカラーデータがある場合は、それ以降の印刷をキャンセルします。

印刷不可

印刷をキャンセルします。

- ⑩ 使用制限欄の「追加」をクリックします。「ログイン名の使用制限」リストに追加したログイン名とその使用制限が表示されます。



- ⑪ 画面下の「追加」をクリックします。



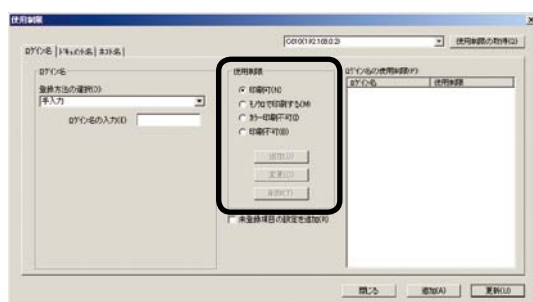
「プリンターに設定を追加します」(87 ページ)に進みます。

注 「プリンターに設定を追加します」(87 ページ)の手順を実施しない場合、設定した使用制限はプリンターに登録されません。

未登録項目の設定を追加します

プリンターに登録されていないログイン名の使用制限を設定します。

- 1 プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- 2 サーバーソフトウェアを起動します。
- 3 「使用制限」メニューから「使用制限の編集」をクリックします。
- 4 「ログイン名」タブをクリックします。
- 5 設定したい使用制限を選択します。



印刷可

印刷を許可します。

モノクロで印刷する

カラー印刷を行ったとき、モノクロで印刷します。

カラー印刷不可

カラー印刷をキャンセルします。印刷ジョブの途中にカラーデータがある場合は、それ以降の印刷をキャンセルします。

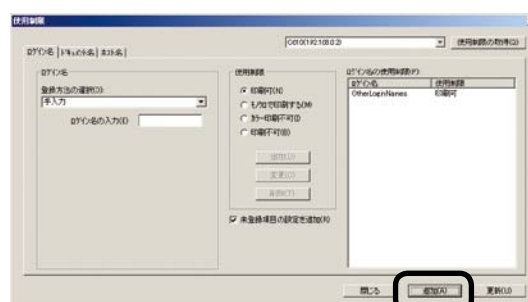
印刷不可

印刷をキャンセルします。

- 6 「未登録項目の設定を追加」にチェックを付けます。
「ログイン名の使用制限」リストに「Other Login Names」とその使用制限が表示されます。



- 7 画面下の「追加」をクリックします。



「プリンターに設定を追加します」(87 ページ)に進みます。



「プリンターに設定を追加します」(87 ページ)の手順を実施しない場合、設定した使用制限はプリンターに登録されません。

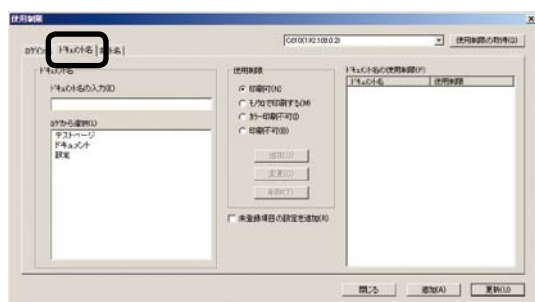
ドキュメント名に使用制限を設定します

必要に応じてドキュメント名に使用制限を設定することができます。以下のいずれかの方法で設定を追加してください。

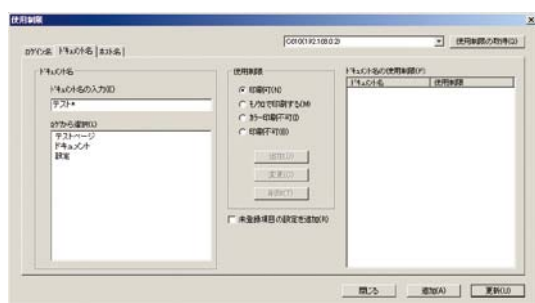
- ・手動で追加する
- ・ログから追加する

手動で追加するには

- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 「使用制限」メニューから「使用制限の編集」をクリックします。
- ④ 「ドキュメント名」タブをクリックします。



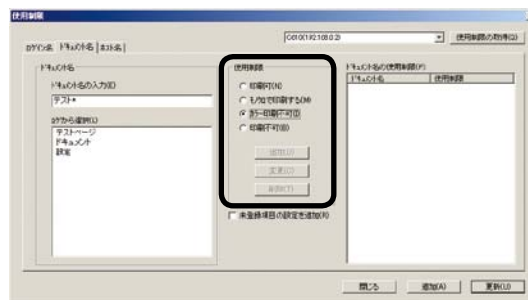
- ⑤ ドキュメント名の入力欄に設定を追加したいドキュメント名を入力します。



メモ

ドキュメント名にはワイルドカードとして '*' が使用可能です。但し、'*' のみや '**' が含まれる項目は登録できません。

- ⑥ 設定したい使用制限を選択します。



印刷可

印刷を許可します。

モノクロで印刷する

カラー印刷を行ったとき、モノクロで印刷します。

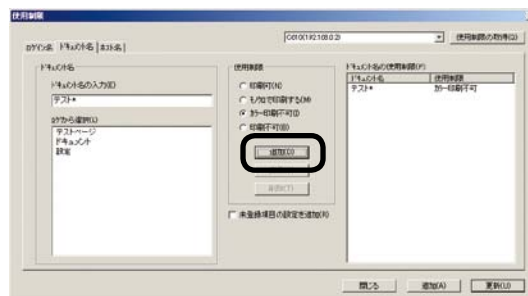
カラー印刷不可

カラー印刷をキャンセルします。印刷ジョブの途中にカラーデータがある場合は、それ以降の印刷をキャンセルします。

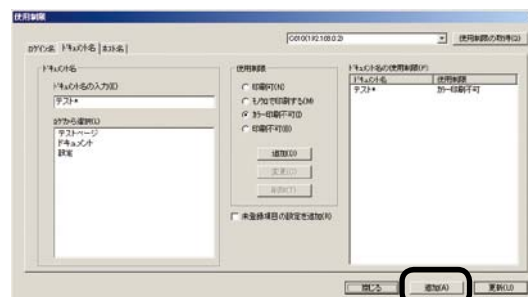
印刷不可

印刷をキャンセルします。

- ⑦ 使用制限欄の「追加」をクリックします。「ドキュメント名の使用制限」リストに追加したドキュメント名とその使用制限が表示されます。



- ⑧ 画面下の「追加」をクリックします。



「プリンターに設定を追加します」(87 ページ)に進みます。



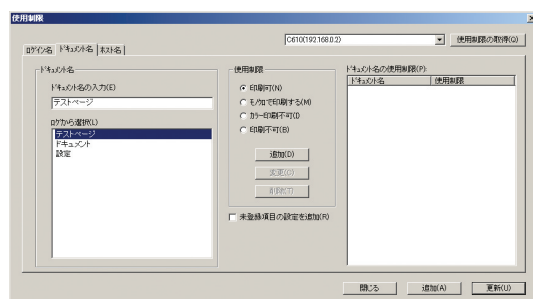
「プリンターに設定を追加します」(87 ページ)の手順を実施しない場合、設定した使用制限はプリンターに登録されません。

ログから追加するには

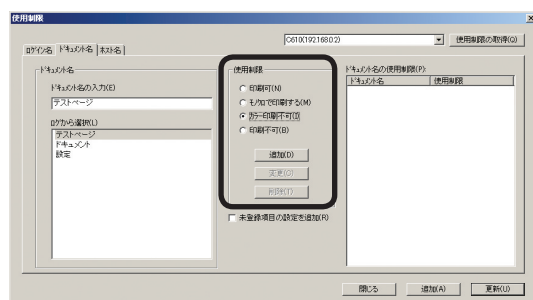
取得済みのログに含まれるドキュメント名に使用制限を設定できます。

注! あらかじめ「装置からログを取得したときにジョブ情報をファイルに記録するには」(220 ページ)の手順を実施しておく必要があります。

- 1 プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- 2 サーバーソフトウェアを起動します。
- 3 「使用制限」メニューから「使用制限の編集」をクリックします。
- 4 「ドキュメント名」タブをクリックします。
- 5 リストから設定を追加したいドキュメント名を選択します。



- 6 設定したい使用制限を選択します。



印刷可

印刷を許可します。

モノクロで印刷する

カラー印刷を行ったとき、モノクロで印刷します。

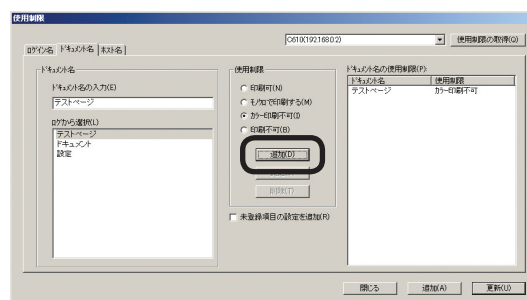
カラー印刷不可

カラー印刷をキャンセルします。印刷ジョブの途中でカラーデータがある場合は、それ以降の印刷をキャンセルします。

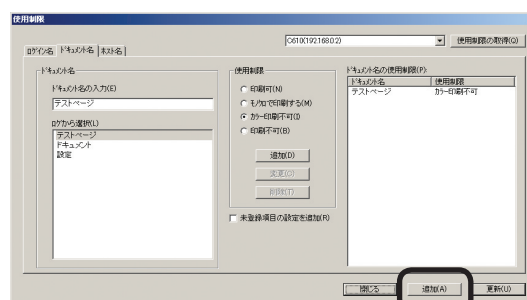
印刷不可

印刷をキャンセルします。

- 7 使用制限欄の「追加」をクリックします。「ドキュメント名の使用制限」リストに追加したドキュメント名とその使用制限が表示されます。



- 8 画面下の「追加」をクリックします。



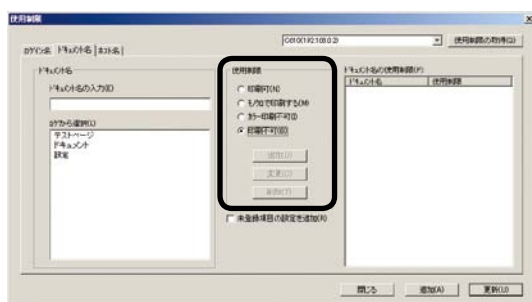
「プリンターに設定を追加します」(87 ページ)に進みます。

注! 「プリンターに設定を追加します」(87 ページ)の手順を実施しない場合、設定した使用制限はプリンターに登録されません。

未登録項目の設定を追加します

プリンターに登録されていないドキュメント名の使用制限を設定します。

- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 「使用制限」メニューから「使用制限の編集」をクリックします。
- ④ 「ドキュメント名」タブをクリックします。
- ⑤ 設定したい使用制限を選択します。



印刷可

印刷を許可します。

モノクロで印刷する

カラー印刷を行ったとき、モノクロで印刷します。

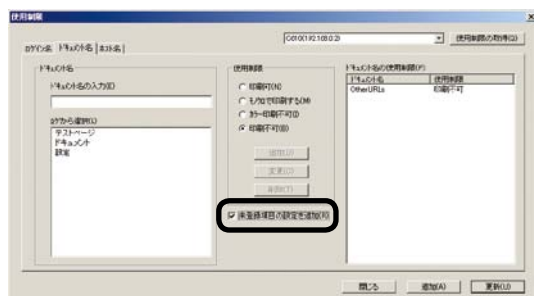
カラー印刷不可

カラー印刷をキャンセルします。印刷ジョブの途中にカラーデータがある場合は、それ以降の印刷をキャンセルします。

印刷不可

印刷をキャンセルします。

- ⑥ 「未登録項目の設定を追加」にチェックを付けます。
「ドキュメント名の使用制限」リストに「Other URLs」とその使用制限が表示されます。



- ⑦ 画面下の「追加」をクリックします。



「プリンターに設定を追加します」(87 ページ)に進みます。



「プリンターに設定を追加します」(87 ページ)の手順を実施しない場合、設定した使用制限はプリンターに登録されません。

ホスト名に使用制限を設定します

必要に応じてホスト名に使用制限を設定することができます。

以下のいずれかの方法で設定を追加してください。

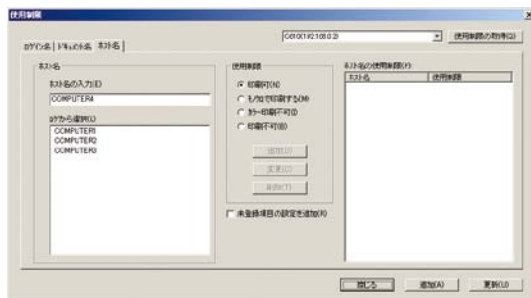
- 手動で追加する
- ログから追加する

手動で追加するには

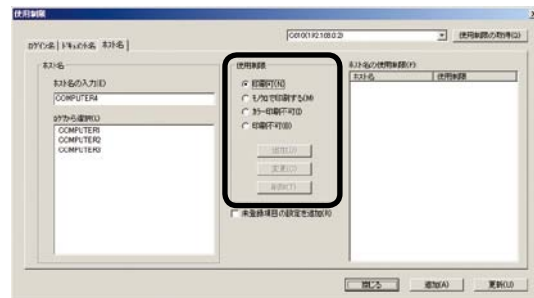
- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 「使用制限」メニューから「使用制限の編集」をクリックします。
- ④ 「ホスト名」タブをクリックします。



- ⑤ ホスト名の入力欄に設定を追加したいホスト名を入力します。



- ⑥ 設定したい使用制限を選択します。



印刷可

印刷を許可します。

モノクロで印刷する

カラー印刷を行ったとき、モノクロで印刷します。

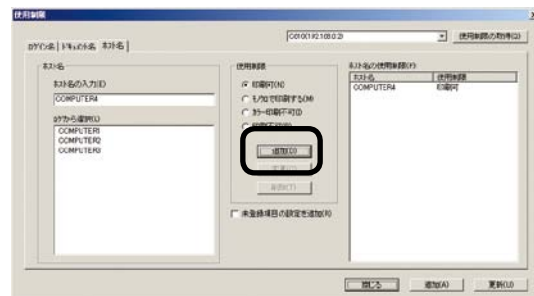
カラー印刷不可

カラー印刷をキャンセルします。印刷ジョブの途中にカラーデータがある場合は、それ以降の印刷をキャンセルします。

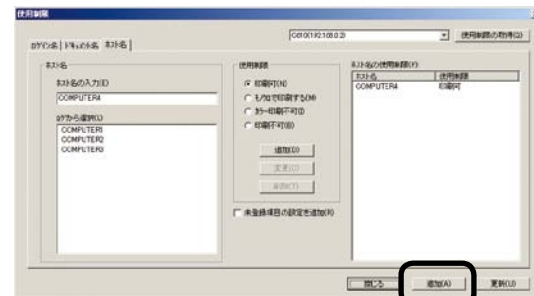
印刷不可

印刷をキャンセルします。

- ⑦ 使用制限欄の「追加」をクリックします。
「ホスト名の使用制限」リストに追加したホスト名とその使用制限が表示されます。



- ⑧ 画面下の「追加」をクリックします。



「プリンターに設定を追加します」(87 ページ)に進みます。

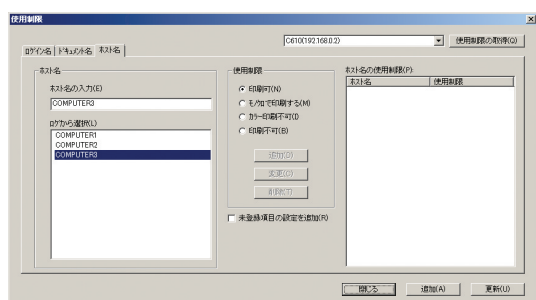
注 「プリンターに設定を追加します」(87 ページ)の手順を実施しない場合、設定した使用制限はプリンターに登録されません。

ログから追加するには

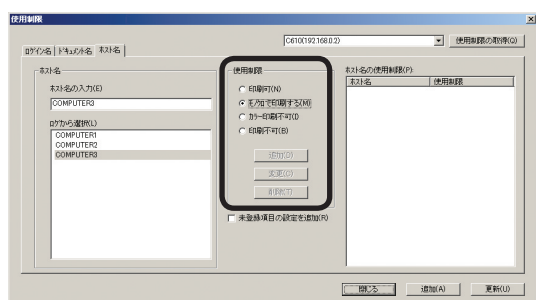
取得済みのログに含まれるドキュメント名に使用制限を設定できます。

注! あらかじめ「装置からログを取得したときにジョブ情報をファイルに記録するには」(220 ページ)の手順を実施しておく必要があります。

- 1 プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- 2 サーバーソフトウェアを起動します。
- 3 「使用制限」メニューから「使用制限の編集」をクリックします。
- 4 「ホスト名」タブをクリックします。
- 5 リストから設定を追加したいホスト名を選択します。



- 6 設定したい使用制限を選択します。



印刷可

印刷を許可します。

モノクロで印刷する

カラー印刷を行ったとき、モノクロで印刷します。

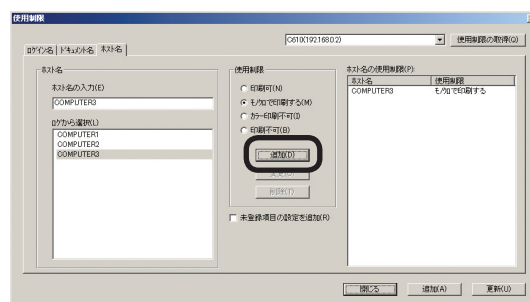
カラー印刷不可

カラー印刷をキャンセルします。印刷ジョブの途中にカラーデータがある場合は、それ以降の印刷をキャンセルします。

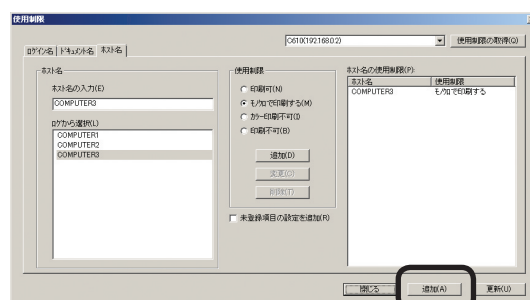
印刷不可

印刷をキャンセルします。

- 7 使用制限欄の「追加」をクリックします。「ホスト名の使用制限」リストに追加したホスト名とその使用制限が表示されます。



- 8 画面下の「追加」をクリックします。



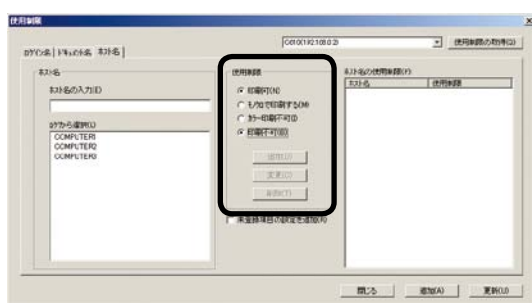
「プリンターに設定を追加します」(87 ページ)に進みます。

注! 「プリンターに設定を追加します」(87 ページ)の手順を実施しない場合、設定した使用制限はプリンターに登録されません。

未登録項目の設定を追加します

プリンターに登録されていないホスト名の使用制限を設定します。

- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 「使用制限」メニューから「使用制限の編集」をクリックします。
- ④ 「ホスト名」タブをクリックします。
- ⑤ 設定したい使用制限を選択します。



印刷可

印刷を許可します。

モノクロで印刷する

カラー印刷を行ったとき、モノクロで印刷します。

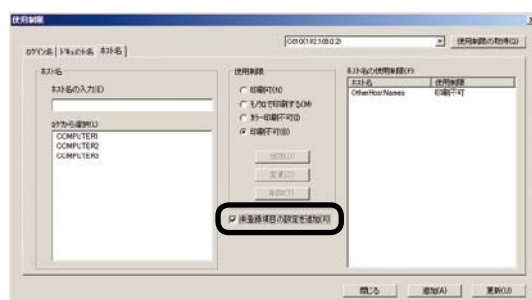
カラー印刷不可

カラー印刷をキャンセルします。印刷ジョブの途中にカラーデータがある場合は、それ以降の印刷をキャンセルします。

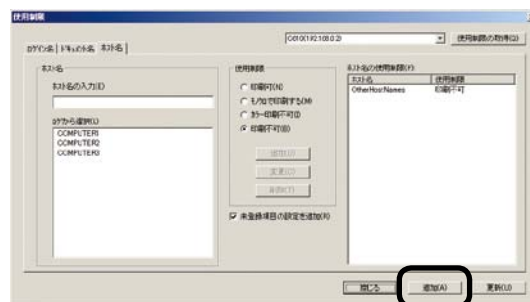
印刷不可

印刷をキャンセルします。

- ⑥ 「未登録項目の設定を追加」にチェックを付けます。
「ホスト名の使用制限」リストに「Other Host Names」とその使用制限が表示されます。



- ⑦ 画面下の「追加」をクリックします。



「プリンターに設定を追加します」(87 ページ)に進みます。

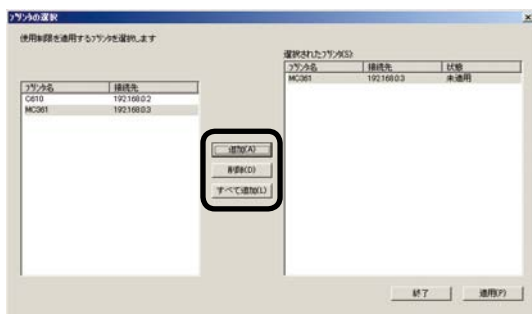
注! 「プリンターに設定を追加します」(87 ページ)の手順を実施しない場合、設定した使用制限はプリンターに登録されません。

プリンターに設定を追加します

設定した使用制限をプリンターに登録します。

注! すでに登録されている項目がプリンターに存在する場合は、使用制限が変更されます。

- ① 使用制限を追加するプリンターを選択し、「追加」をクリックします。使用制限を追加する対象のプリンターは「選択されたプリンタ」リストに表示されます。使用制限を追加する対象をすべてのプリンターとするには「すべて追加」をクリックします。使用制限を追加する対象のプリンターから除外するには「選択されたプリンタ」リストに表示されたプリンターを選択し「削除」をクリックします。



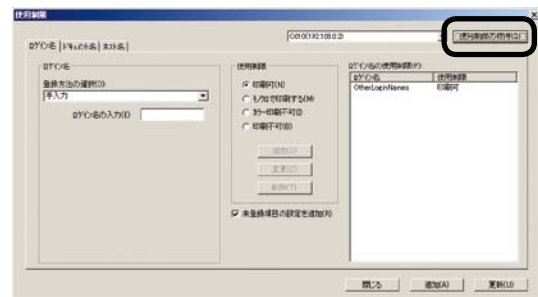
- ② 「適用」をクリックします。



- ③ 管理者パスワード画面が表示された場合、管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックします。

プリンターに登録済みの使用制限を表示します

- ① プリンターに登録済みの使用制限を表示することができます。
- ② プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ③ サーバーソフトウェアを起動します。
- ④ 「使用制限」メニューから「使用制限の編集」をクリックします。
- ⑤ プリンターを選択し、「使用制限の取得」をクリックします。

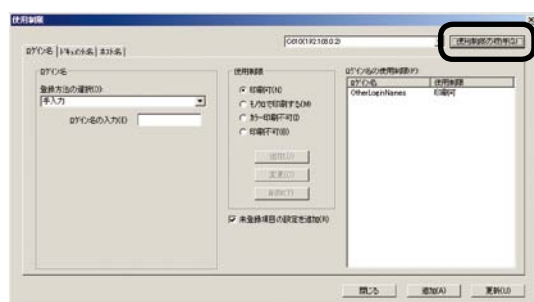


- ⑥ 「ログイン名」、「ドキュメント名」、「ホスト名」の各タブの使用制限リストに登録済みの使用制限が表示されます。

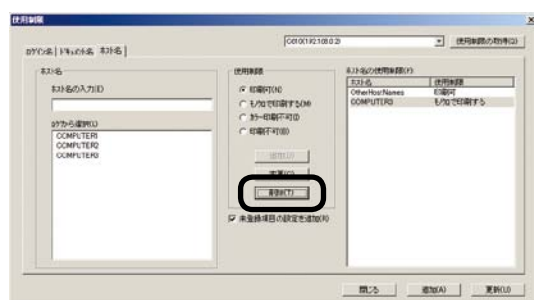
使用制限を削除します

プリンターに登録済みの使用制限を削除します。

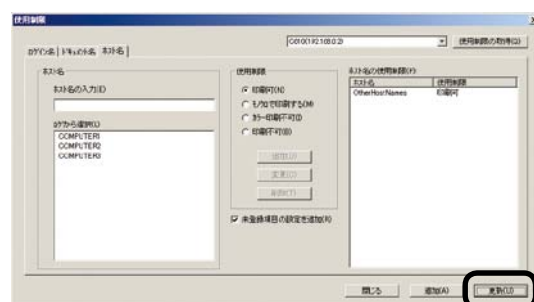
- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 「使用制限」メニューから「使用制限の編集」をクリックします。
- ④ プリンターを選択し、「使用制限の取得」をクリックします。



- ⑤ 「ログイン名」、「ドキュメント名」、「ホスト名」の各タブの使用制限リストに登録済みの使用制限が表示されます。
- ⑥ 削除したい使用制限を使用制限リストから選択し、「削除」をクリックします。使用制限リストから使用制限の表示が削除されます。



- ⑦ 画面下の「更新」をクリックします。



- ⑧ 使用制限を削除するプリンターを選択し、「追加」をクリックします。使用制限を削除する対象のプリンターは「選択されたプリンタ」リストに表示されます。使用制限を削除する対象をすべてのプリンターとするには「すべて追加」をクリックします。使用制限を削除する対象のプリンターから除外するには「追加されたプリンタ」リストに表示されたプリンターを選択し「削除」をクリックします。



- ⑨ 「適用」をクリックします。



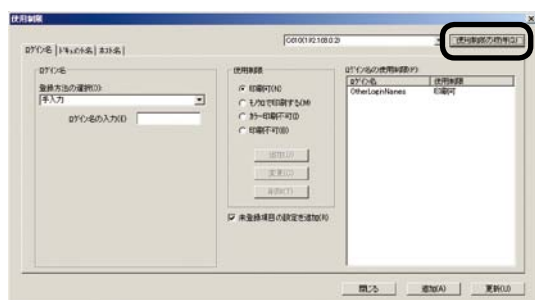
- ⑩ 管理者パスワード画面が表示された場合、管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックします。

注! OtherLoginNames、OtherURLs、OtherHost Names などの未登録項目を削除することはできません。

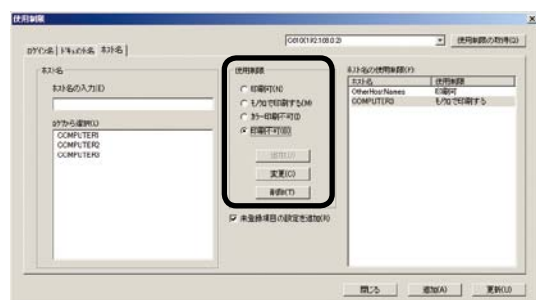
使用制限を変更します

プリンターに登録済みの使用制限を変更します。

- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 「使用制限」メニューから「使用制限の編集」をクリックします。
- ④ プリンターを選択し、「使用制限の取得」をクリックします。



- ⑤ 「ログイン名」、「ドキュメント名」、「ホスト名」の各タブの使用制限リストに登録済みの使用制限が表示されます。
- ⑥ 変更したい使用制限の名前を使用制限リストから選択し、使用制限を選択します。



印刷可

印刷を許可します。

モノクロで印刷する

カラー印刷を行ったとき、モノクロで印刷します。

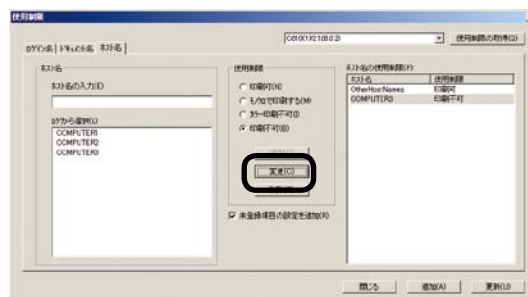
カラー印刷不可

カラー印刷をキャンセルします。印刷ジョブの途中にカラーデータがある場合は、それ以降の印刷をキャンセルします。

印刷不可

印刷をキャンセルします。

- ⑦ 「変更」をクリックします。使用制限リストに変更した使用制限が表示されます。



- ⑧ 画面下の「更新」をクリックします。



- ⑨ 使用制限を変更するプリンターを選択し、「追加」をクリックします。使用制限を変更する対象のプリンターは「選択されたプリンタ」リストに表示されます。使用制限を変更する対象をすべてのプリンターとするには「すべて追加」をクリックします。使用制限を変更する対象のプリンターから除外するには「選択されたプリンタ」リストに表示されたプリンターを選択し「削除」をクリックします。



- ⑩ 「適用」をクリックします。

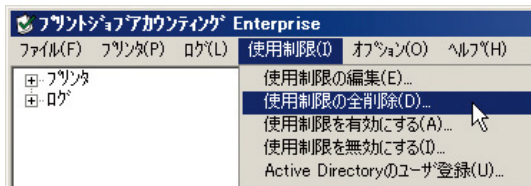


- ⑪ 管理者パスワード画面が表示された場合、管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックします。

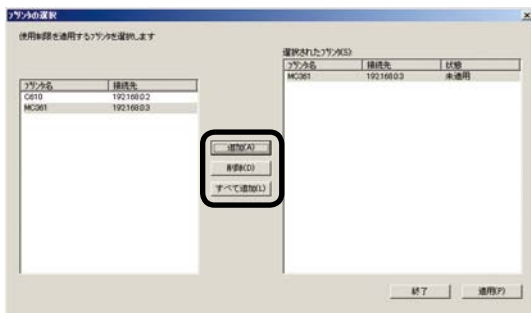
使用制限を全て削除します

ログイン名、ドキュメント名、ホスト名に対して、設定した使用制限をすべて削除することができます。

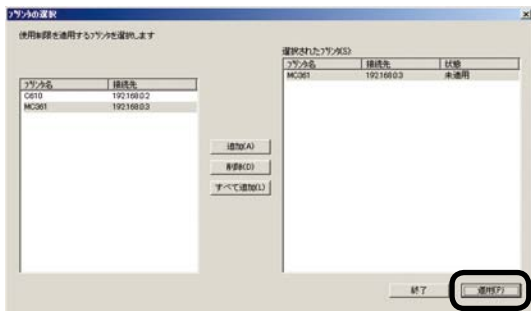
- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 「使用制限」メニューから「使用制限の全削除」をクリックします。



- ④ 使用制限を全て削除するプリンターを選択し、「追加」をクリックします。使用制限を全て削除する対象のプリンターは「選択されたプリンタ」リストに表示されます。使用制限を全て削除する対象をすべてのプリンターとするには「すべて追加」をクリックします。使用制限をすべて削除する対象のプリンターから除外するには「選択されたプリンタ」リストに表示されたプリンターを選択し「削除」をクリックします。



- ⑤ 「適用」をクリックします。

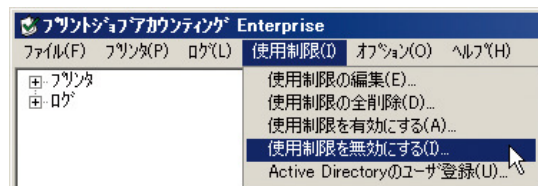


- ⑥ 管理者パスワード画面が表示された場合、管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックします。

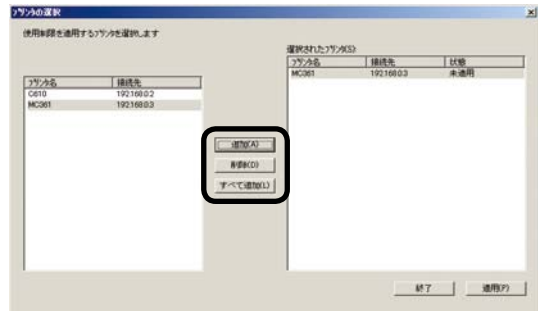
使用制限を一時的に解除します

使用制限を一時的に解除することができます。PC からの印刷については、ユーザー ID に対して設定した使用制限も解除されます。

- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 「使用制限」メニューから「使用制限を無効にする」をクリックします。



- ④ 使用制限を一時的に解除するプリンターを選択し、「追加」をクリックします。使用制限を一時的に解除する対象のプリンターは「選択されたプリンタ」リストに表示されます。使用制限を一時的に解除する対象をすべてのプリンターとするには「すべて追加」をクリックします。使用制限を一時的に解除する対象のプリンターから除外するには「制限されたプリンタ」リストに表示されたプリンターを選択し「削除」をクリックします。



- ⑤ 「適用」をクリックします。



- ⑥ 管理者パスワード画面が表示された場合、管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックします。

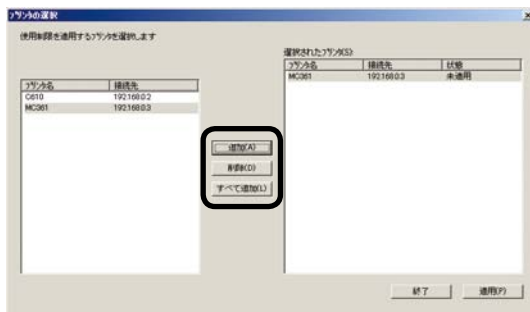
使用制限を有効にします

一時的に解除した使用制限を有効に戻すことができます。

- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 「使用制限」メニューから「使用制限を有効にする」をクリックします。



- ④ 使用制限を有効に戻すプリンターを選択し、「追加」をクリックします。使用制限を有効に戻す対象のプリンターは「選択されたプリンタ」リストに表示されます。使用制限を有効に戻す対象をすべてのプリンターとするには「すべて追加」をクリックします。使用制限を有効に戻す対象のプリンターから除外するには「選択されたプリンタ」リストに表示されたプリンターを選択し「削除」をクリックします。



- ⑤ 「適用」をクリックします。



- ⑥ 管理者パスワード画面が表示された場合、管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックします。

Memo

6. Active Directory のユーザー情報と同期 します（Enerprise 版のみ）

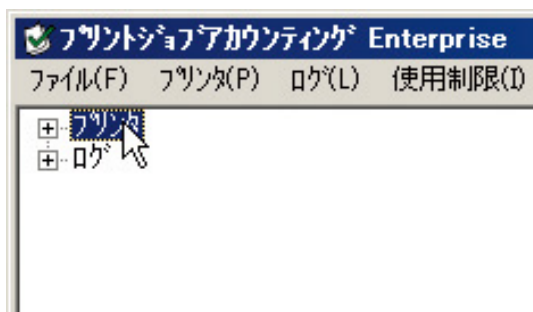
Active Directory と連携するプリンターを設定します	94
Active Directory の設定をします	96
Active Directory のユーザーを追加します	104
Active Directory のユーザーの設定を変更します	110
Active Directory のユーザーを削除します	115
Active Directory のユーザーにユーザー ID 割当をします	116
クライアントソフトウェア用データをエクスポートします	120
IC カード対応表をエクスポートします	121
自動更新サービスの設定をします	131
設定を適用するユーザーを選択するには	133

6. Active Directory のユーザー情報と同期します (Enterprise 版のみ)

Active Directory で管理しているユーザー情報に対する使用制限の追加や削除、設定変更等、Active Directory のユーザー情報と同期する方法について説明します。

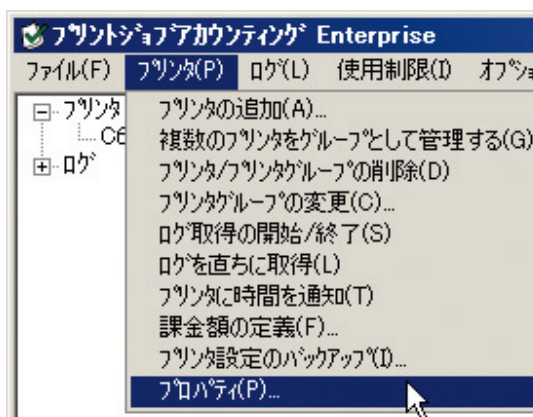
Active Directory と連携するプリンターを設定します

- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 選択ウィンドウの「プリンタ」をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウィンドウに表示されます。

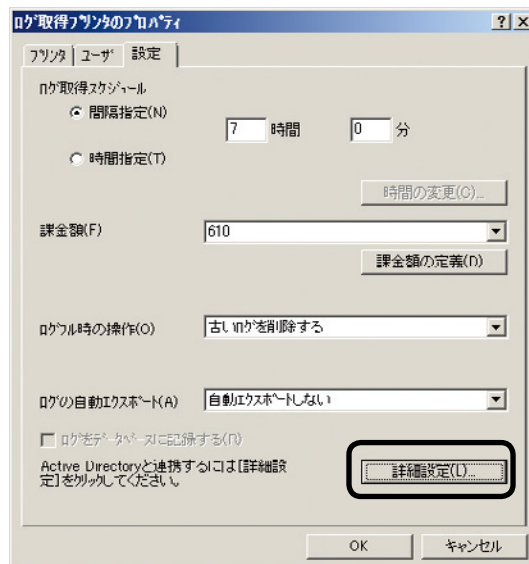


- ③ プリンターを選択し、「プリンタ」メニューから「プロパティ」を選択します。

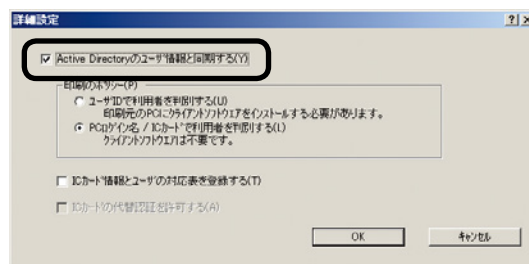
メモ 複数のプリンターを選択することができます。



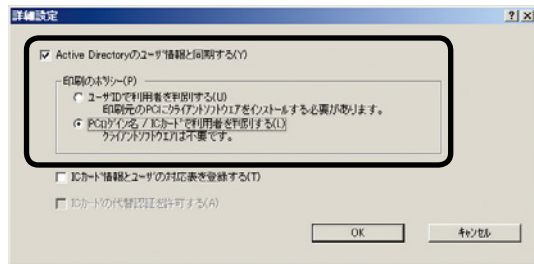
- ④ 「設定」タブの「詳細設定」をクリックします。



- ⑤ 「Active Directory のユーザー情報と同期する」にチェックを付けます。



- ⑥ 「印刷のポリシー」を選択します。



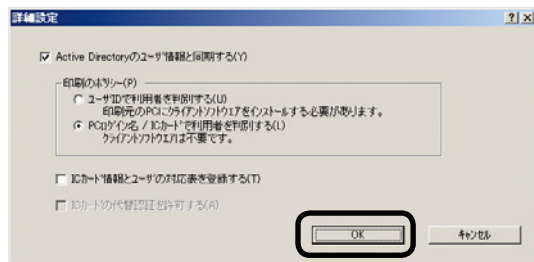
ユーザー ID で利用者を判別する

登録ユーザーの PC からの印刷制限は、ユーザー ID に対して設定します。PC からのジョブに対しては、あらかじめ印刷元の PC においてクライアントソフトウェアでドライバーにユーザー ID を設定しておく必要があります。

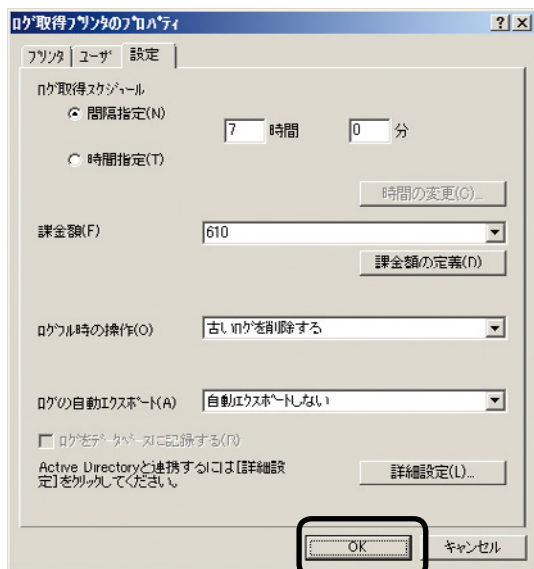
PC ログイン名 / IC カードで利用者を判別する

未登録ユーザーの PC からの印刷制限は、ログイン名に対して設定します。印刷元の PC においてクライアントソフトウェアをインストールする必要はありません。

- ⑦ 「OK」をクリックします。



- ⑧ 画面下の「OK」をクリックします。



- ⑨ IC カード対応表を作成するための設定がされていない場合は、IC カード対応表をプリンターに登録することができないことを通知する画面が表示されますので、「OK」をクリックします。

IC カード対応表をプリンターに登録するためには、IC カード対応表を作成するための設定をする必要があります。IC カード対応表を作成するための設定については「IC カード対応表を作成します」(123 ページ)をご覧ください。

- ⑩ 設定項目の変更内容を通知する画面が表示されますので、「はい」をクリックします。



- ⑪ 設定の完了を通知する画面が表示された場合は、「閉じる」をクリックします。

- ⑫ 「Active Directory と同期しているログイン名 / グループ名」画面が表示されますので、Active Directory の設定をします。詳細につきましては 96 ページをご覧ください。

Active Directory の設定をします

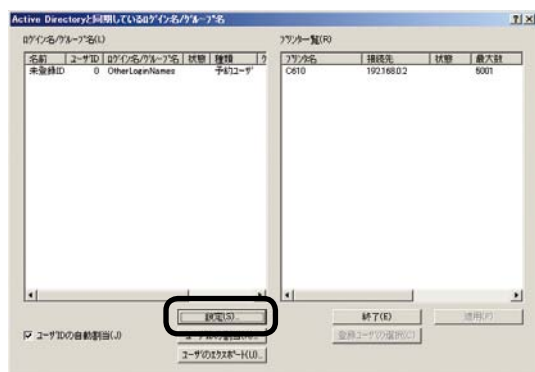
サーバーソフトウェアと連携する Active Directory の接続先等の設定をします。

現在ログオンしている Active Directory に接続します。

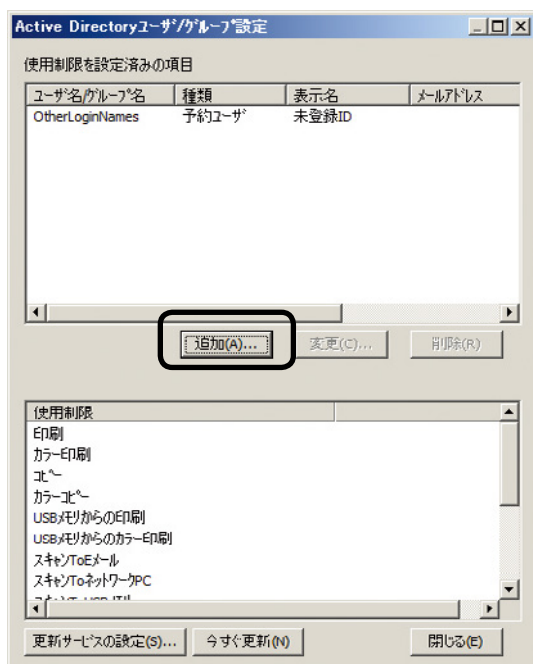
- ① 「使用制限」メニューから「Active Directory のユーザ登録」をクリックします。



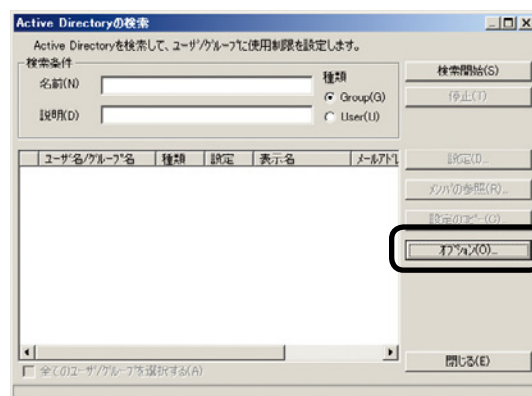
- ② 「Active Directory と同期しているログイン名/グループ名」画面で「設定」をクリックします。



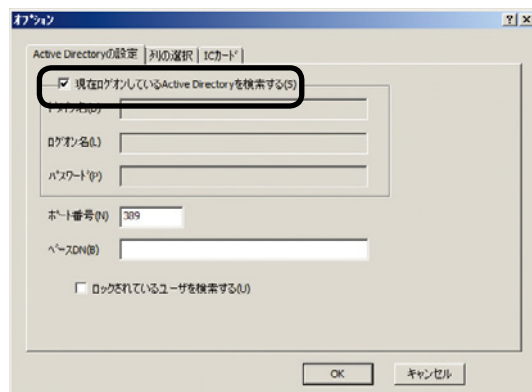
- ③ 「Active Directory ユーザ/グループ設定」画面の「追加」をクリックします。



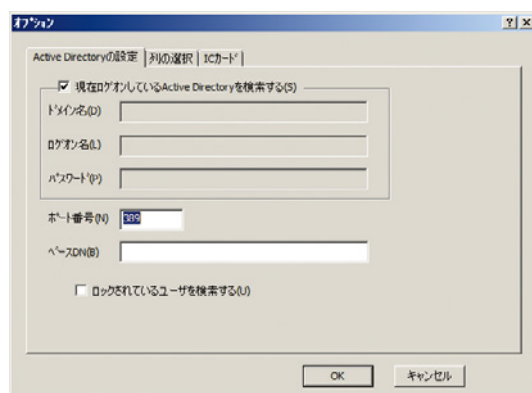
- ④ 「Active Directory の検索」画面の「オプション」をクリックします。



- ⑤ 「Active Directory の設定」タブで「現在ログオンしている Active Directory を検索する」にチェックを付けます。



- ⑥ Active Directory と接続するためのポート番号を変更する場合は、「ポート番号」に入力します。ポート番号の入力範囲は 1 ～ 65535 です。

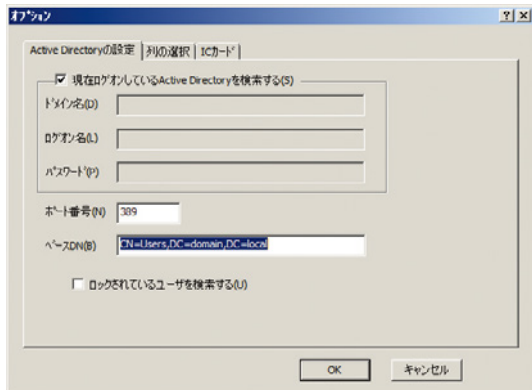


- ⑦ 検索対象を変更する場合は「ベース DN」に入力します。ドメイン名が「domain.local」の場合、入力例は下記のとおりです。

OU が 無 い 場 合 : CN=Users, DC=domain, DC=local

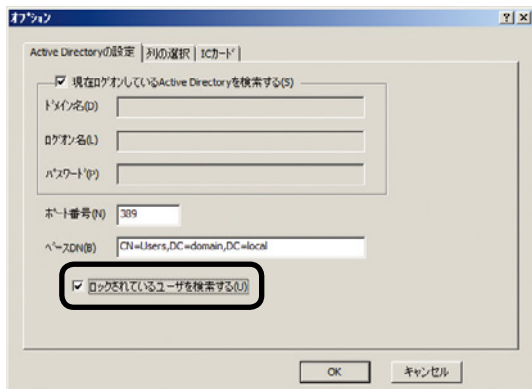
OU を指定する場合 : OU=OU 名, DC=domain, DC=local

入力しなかった場合は DC=domain, DC=local をベースとして検索を行います。

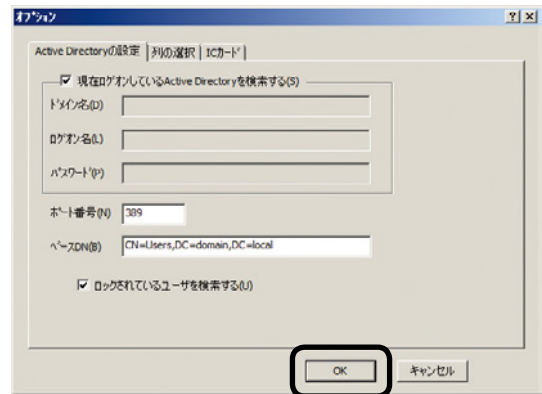


メモ OU を指定して検索すると、検索を完了するまでの時間を短縮することができます。

- ⑧ アカウントがロックアウトされているユーザーを検索する場合は「ロックされているユーザを検索する」にチェックを付けます。



- ⑨ 「OK」をクリックします。



特定ドメインの Active Directory に接続します

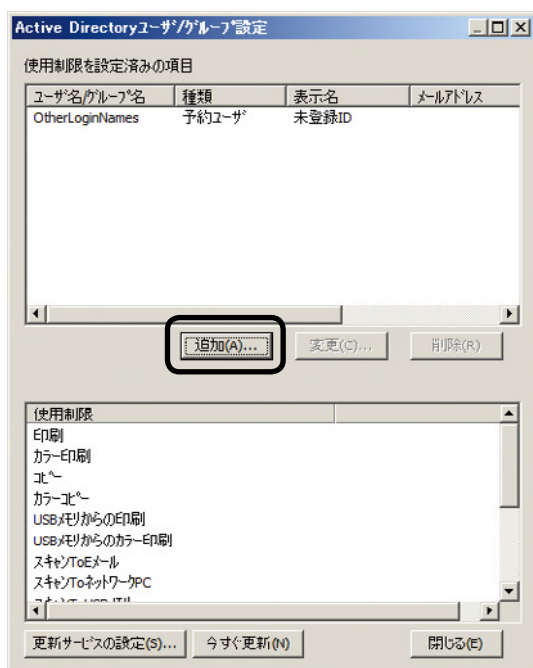
- ① 「使用制限」メニューから「Active Directory のユーザ登録」をクリックします。



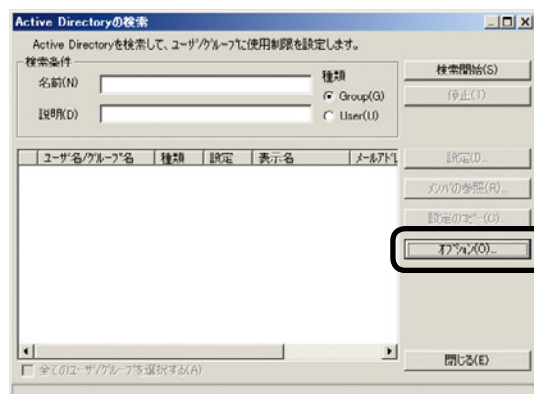
- ② 「Active Directory と同期しているログイン名 / グループ名」画面で「設定」をクリックします。



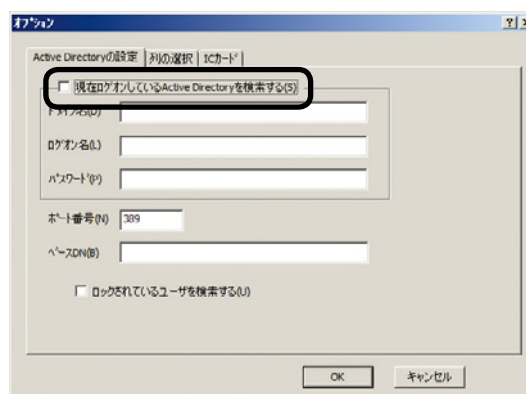
- ③ 「Active Directory ユーザ / グループ 設定」画面の「追加」をクリックします。



- ④ 「Active Directory の検索」画面の「オプション」をクリックします。



- ⑤ 「Active Directory の設定」タブで「現在ログインしている Active Directory を検索する」のチェックを外します。



- ⑥ ドメイン名、ログオン名、パスワードを入力します。

ドメイン名

ユーザー、グループを検索する Active Directory のドメイン名を入力します。

ログオン名

Active Directory にログオンするためのユーザー名を入力します。

パスワード

Active Directory にログオンするためのパスワードを入力します。

- ⑦ Active Directory と接続するためのポート番号を変更する場合は、「ポート番号」に入力します。ポート番号の入力範囲は 1 ～ 65535 です。

- ⑧ 検索対象を変更する場合は「ベース DN」に入力します。ドメイン名が「domain.local」の場合、入力例は下記のとおりです。

OU が 無 い 場 合：CN=Users, DC=domain, DC=local

OU を 指 定 する 場 合：OU=OU 名, DC=domain, DC=local

入力しなかった場合は DC=domain, DC=local をベースとして検索を行います。

- メモ** OU を指定して検索すると、指定した OU 内のデータのみ検索するため、検索時間を短縮することができます。

- ⑨ アカウントがロックアウトされているユーザーを検索する場合は「ロックされているユーザを検索する」にチェックを付けます。

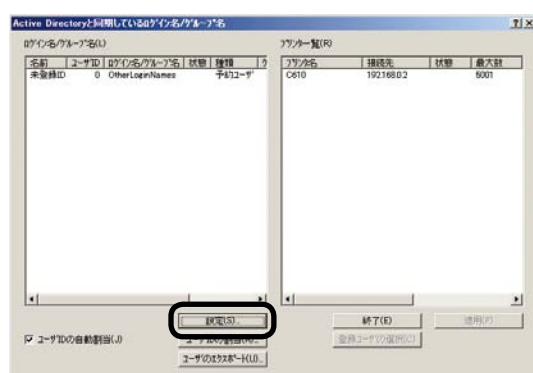
- ⑩ 「OK」をクリックします。

ユーザーリストに表示する属性を追加するには

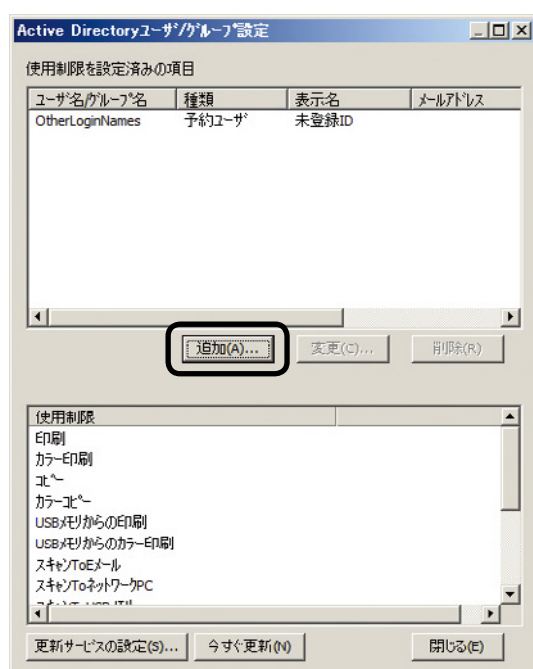
- ① 「使用制限」メニューから「Active Directory のユーザ登録」をクリックします。



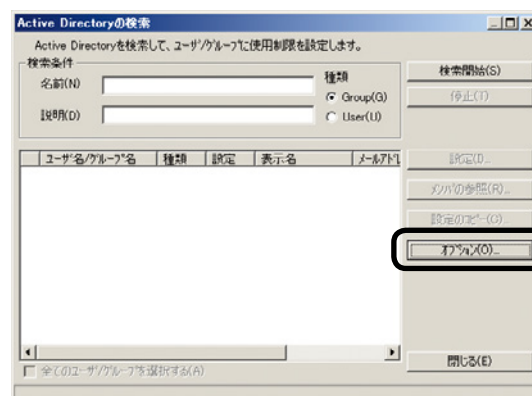
- ② 「Active Directory と同期しているログイン名 / グループ名」画面で「設定」をクリックします。



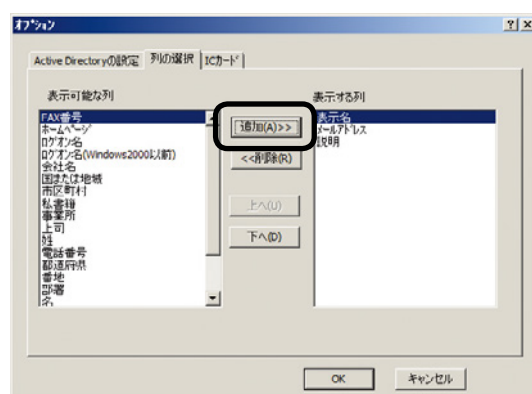
- ③ 「Active Directory ユーザ / グループ 設定」画面の「追加」をクリックします。



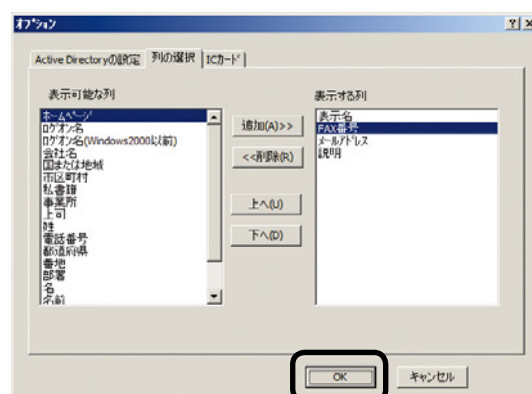
- ④ 「Active Directory の検索」画面の「オプション」をクリックします。



- ⑤ 「列の選択」タブで「表示可能な列」から表示したい項目を選択し「追加」をクリックします。



- ⑥ 「OK」をクリックします。

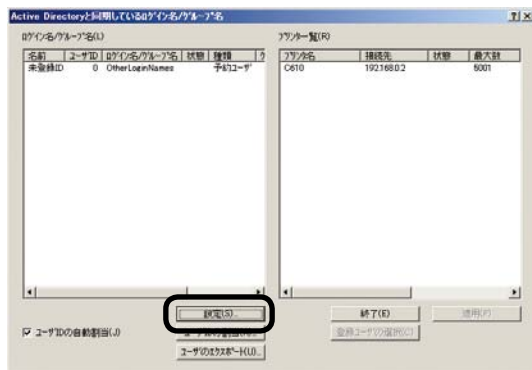


属性をユーザーリストで非表示にするには

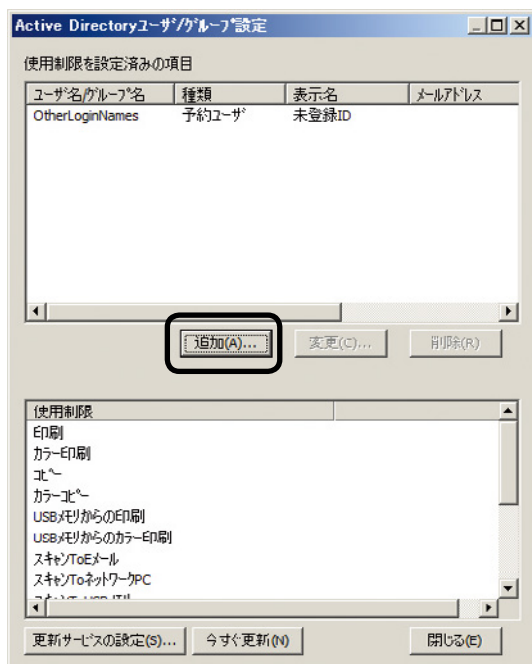
- ① 「使用制限」メニューから「Active Directory のユーザ登録」をクリックします。



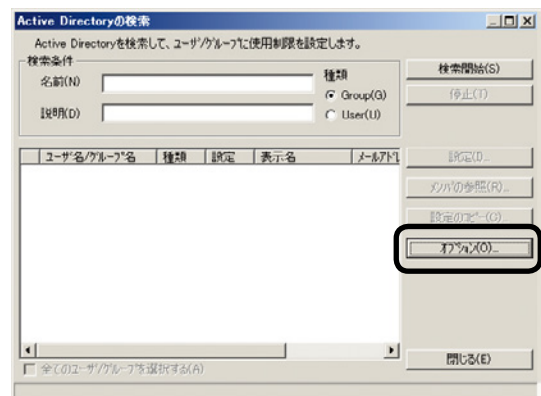
- ② 「Active Directory と同期しているログイン名 / グループ名」画面で「設定」をクリックします。



- ③ 「Active Directory ユーザ / グループ 設定」画面の「追加」をクリックします。

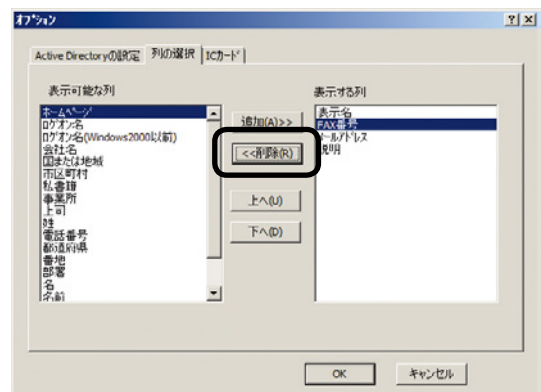


- ④ 「Active Directory の検索」画面の「オプション」をクリックします。

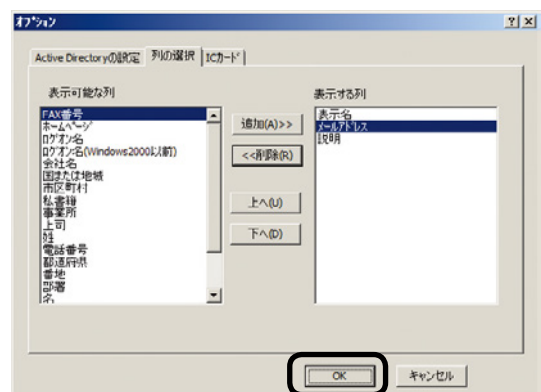


- ⑤ 「列の選択」タブを表示します。

- ⑥ 「表示する列」から非表示にしたい項目を選択し「削除」をクリックします。

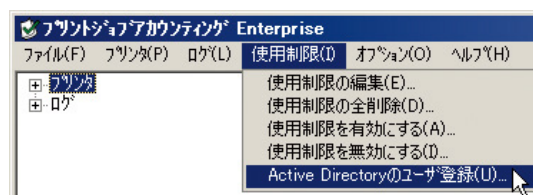


- ⑦ 「OK」をクリックします。

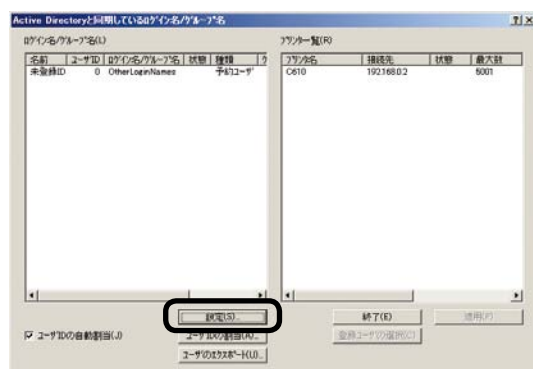


ユーザーリストに表示する属性の順序を変更するには

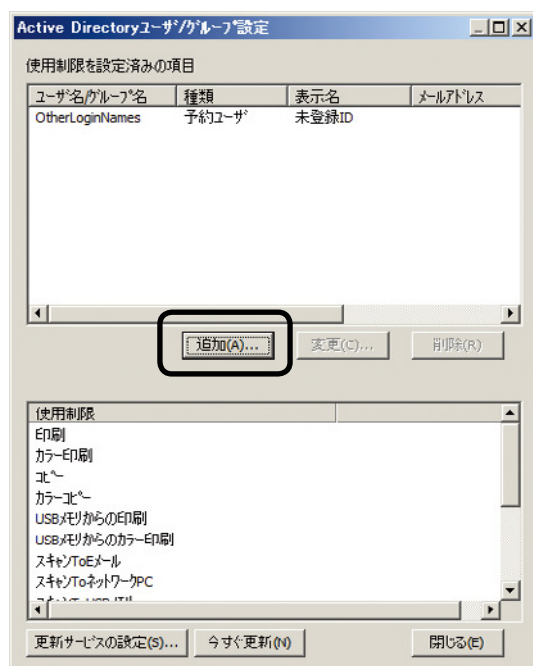
- ① 「使用制限」メニューから「Active Directory のユーザ登録」をクリックします。



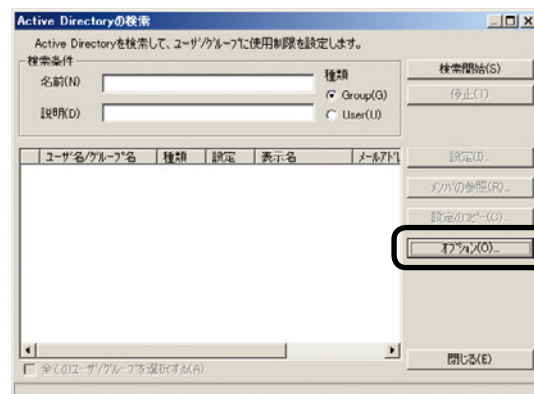
- ② 「Active Directory と同期しているログイン名/グループ名」画面で「設定」をクリックします。



- ③ 「Active Directory ユーザ/グループ設定」画面の「追加」をクリックします。

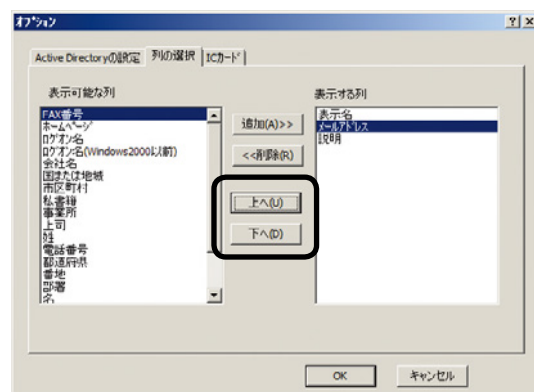


- ④ 「Active Directory の検索」画面の「オプション」をクリックします。

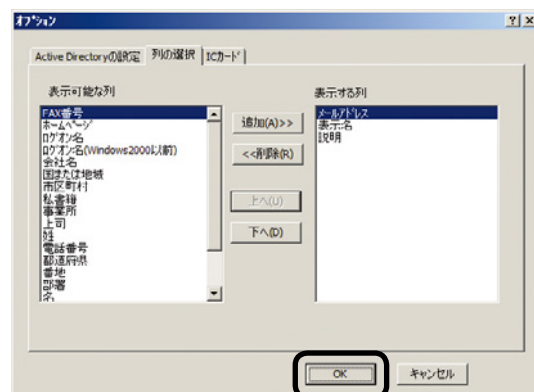


- ⑤ 「列の選択」タブを表示します。

- ⑥ 「表示する列」から順序を変更したい項目を選択し「上へ」または「下へ」をクリックします。



- ⑦ 「OK」をクリックします。



IC カード情報を取得する属性を指定します

Active Directory の属性に記録された IC カード情報 (カード ID) を取得し、Active Directory ユーザーの追加時に IC カード対応表に追加することができます。本設定は IC カード対応表をプリンターに登録する場合に必要です。

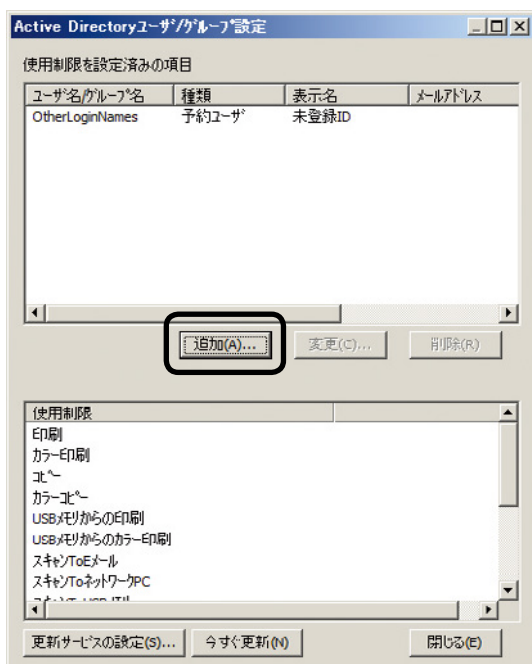
- ① 「使用制限」メニューから「Active Directory のユーザ登録」をクリックします。



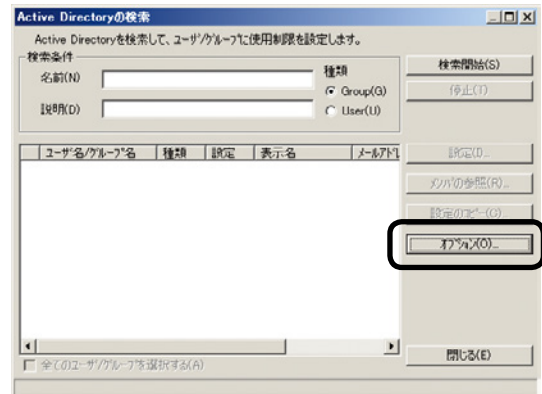
- ② 「Active Directory と同期しているログイン名 / グループ名」画面で「設定」をクリックします。



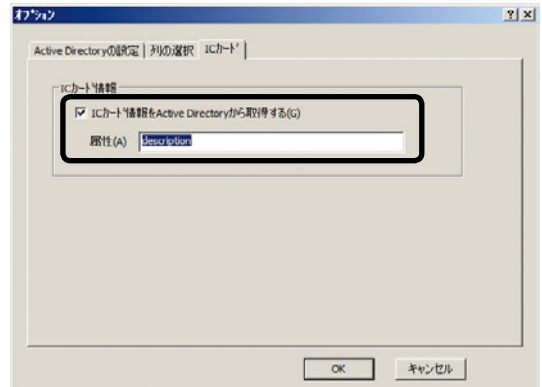
- ③ 「Active Directory ユーザ / グループ 設定」画面の「追加」をクリックします。



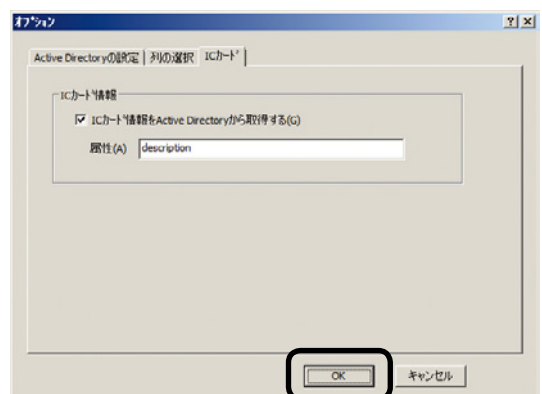
- ④ 「Active Directory の検索」画面の「オプション」をクリックします。



- ⑤ 「IC カード」タブを表示します。
- ⑥ 「IC カード情報を Active Directory から取得する」にチェックを付け、Active Directory で IC カード情報が記録されている属性名を「属性」に入力します。



- ⑦ 「OK」をクリックします。



メモ 自分で作成した Active Directory 属性名を指定することもできます。

- 注
- ・「cn」などのプライマリー属性項目を IC カード情報用の属性として利用することはできません。
 - ・無効な属性名を指定した場合、IC カード情報は取得されません。

Active Directory のユーザーを追加します

Active Directory からユーザーやグループを検索し、使用制限や制限値を設定することが可能です。

ユーザーを検索するには

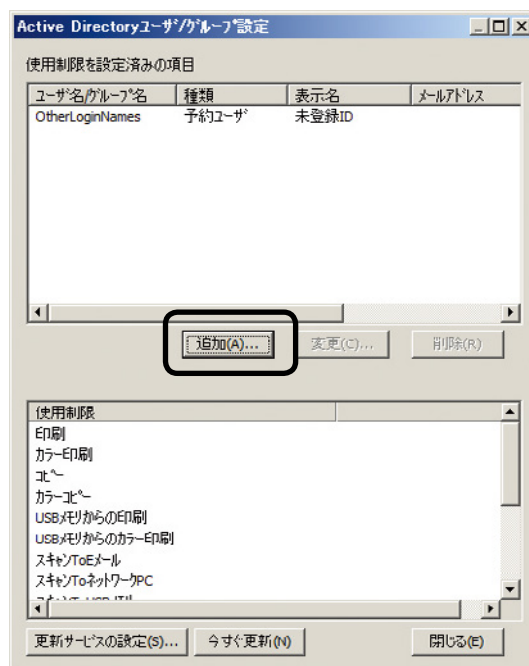
- 1 サーバーソフトウェアを起動します。
- 2 「使用制限」メニューの「Active Directory のユーザー登録」をクリックします。



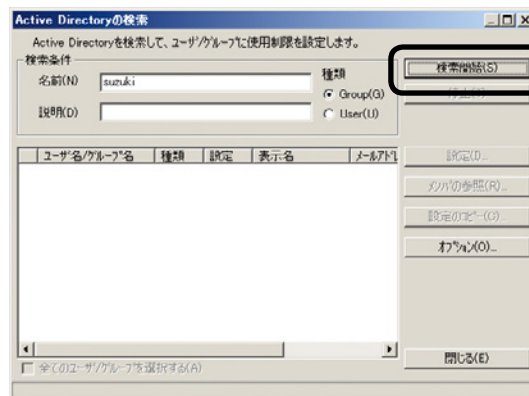
- 3 「Active Directory と同期しているログイン名/グループ名」画面で「設定」をクリックします。



- 4 「Active Directory ユーザ/グループ設定」画面の「追加」をクリックします。



- 5 「Active Directory の検索」画面の検索条件を入力し、「検索開始」をクリックします。検索を停止するには「停止」をクリックします。



注! Active Directory の接続先を設定していない場合、検索を行うことはできません。Active Directory の接続先を設定するには [96 ページ](#) をご覧ください。

名前

Active Directory の表示名、姓、名、名前から検索したい文字列を入力します。入力した文字列に前方一致する項目が表示されます。「説明」欄も入力した場合は、両方に一致する項目が表示されます。

説明

Active Directory の説明から検索したい文字列を入力します。入力した文字列に前方一致する項目が表示されます。「名前」欄も入力した場合は、両方に一致する項目が表示されます。

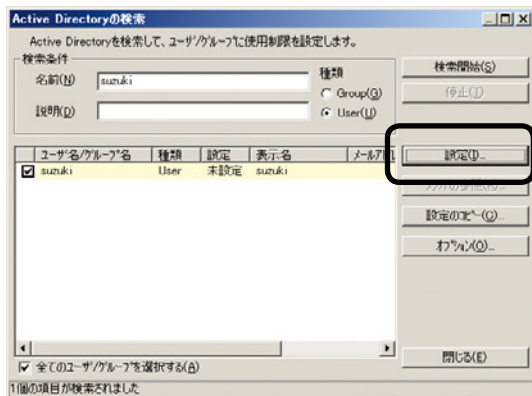
種類

Active Directory の検索対象を選択します。グループまたはユーザーを対象として検索することができます。

メモ

- 「名前」と「説明」が空欄のまま、「検索開始」ボタンをクリックした場合は全てのユーザー、またはグループを検索します。
- 「名前」と「説明」にはワイルドカードとして「*」を入力することができます。「*」は0個以上の文字列を示します。

- 「Active Directory の検索」画面でグループまたはユーザーが表示されます。使用制限や制限値を設定するにはグループまたはユーザーを選択し「設定」をクリックします。



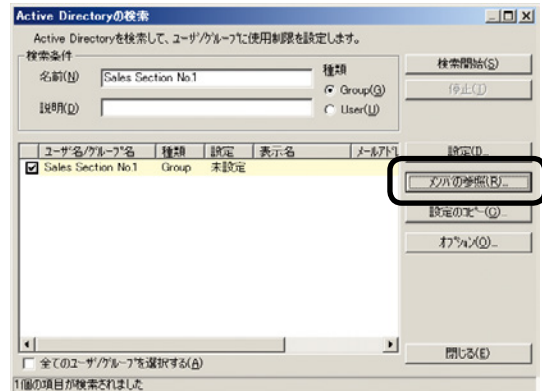
使用制限や制限値をグループに設定する場合、グループに所属するユーザーはグループと同じ使用制限が設定されます。しかし、グループに所属する特定のユーザーやグループに使用制限や制限値を設定することもできます。

- グループやユーザーに使用制限や制限値を設定するには「使用制限や制限値を設定するには」(106 ページ)に進みます。
- グループに所属する特定のユーザーやグループに使用制限や制限値を設定するには、次項「グループに所属するメンバーを参照するには」に進みます。

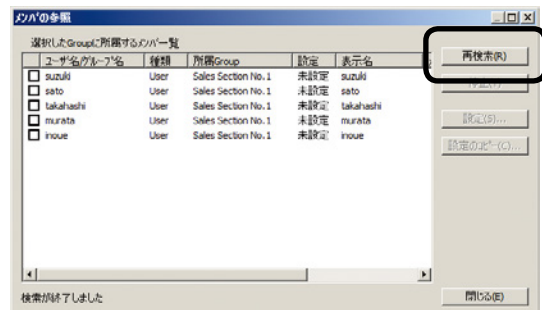
グループに所属するメンバーを参照するには

グループに所属する特定のユーザーやグループに使用制限や制限値を設定することができます。

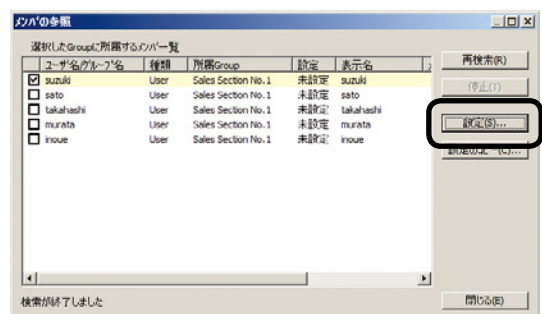
- 「Active Directory の検索」画面で表示されたグループを選択し、「メンバーの参照」をクリックします。



- グループに所属するユーザー検索されます。検索を停止するには「停止」をクリックします。グループに所属するユーザーを再検索するには「再検索」をクリックします。



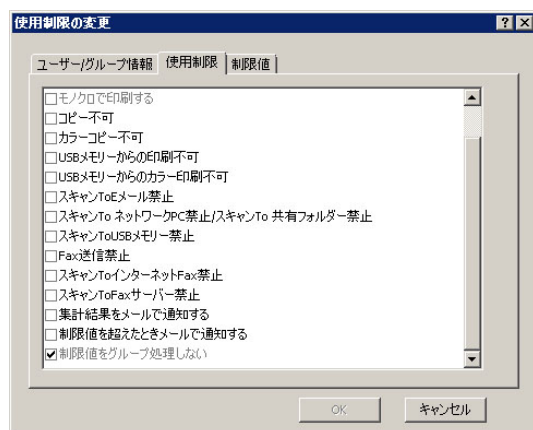
- 「選択した Group に所属するメンバー一覧」画面で表示されたグループやユーザーを選択し、「設定」をクリックします。



「使用制限や制限値を設定するには」(106 ページ)に進みます。

使用制限や制限値を設定するには

- ① 「使用制限」 タブで使用制限を設定します。



印刷不可

印刷をキャンセルします。

カラー印刷不可

カラー印刷をキャンセルします。印刷ジョブの途中にカラーデータがある場合は、それ以降の印刷をキャンセルします。

モノクロで印刷する

カラー印刷不可が設定されているとき、カラーデータをキャンセルしないで、モノクロで印刷します。

コピー不可

パネル操作でのコピーを禁止します。無効の場合は印刷不可の設定に従います。

カラーコピー不可

パネル操作でのカラーコピーを禁止します。無効の場合はカラー印刷不可の設定に従います。

USB メモリからの印刷不可

パネル操作での USB メモリーからの印刷を禁止します。

USB メモリからのカラー印刷不可

パネル操作での USB メモリーからのカラー印刷を禁止します。

スキャン To Eメール禁止

パネル操作でのスキャン To E メールを禁止します。

スキャン To ネットワーク PC 禁止 / スキャン To 共有フォルダー禁止

パネル操作でのスキャン To ネットワーク PC およびスキャン To 共有フォルダーを禁止します。

スキャン To USB メモリ禁止

パネル操作でのスキャン To USB メモリーを禁止します。

Fax 送信禁止

パネル操作での Fax 送信を禁止します。Fax ドライバーを使用した Fax 送信もキャンセルされます。

スキャン To インターネット Fax 禁止

パネル操作でのスキャン To インターネット Fax を禁止します。

スキャン To Fax サーバ禁止

パネル操作でのスキャン To Fax サーバーを禁止します。

集計結果をメールで通知する

月ごとの使用量をメールで通知します。

制限値を超えたときメールで通知する

印刷枚数などが制限値を超えて印刷不可能になったとき、および制限値がリセットされ印刷が可能になったとき、メールで通知します。

制限値をグループ処理しない

プリンターグループに所属しているプリンターのユーザーおよびユーザーグループに所属しているユーザーに対して、制限値を個別に設定することができます。「制限値をグループ処理しない」のチェックを外した場合は、グループに所属するユーザーの使用量の合計がグループに設定した制限値を超えた場合に、グループに所属する全てのユーザーの印刷はキャンセルされます。「制限値をグループ処理しない」にチェックを付けると、グループに所属するユーザーの使用量がグループに設定した制限値を超えた場合に、制限値を超えたユーザーの印刷はキャンセルされます。

② 「制限値」 タブで制限値を設定します。

それぞれの制限値を超えると、手順⑨で設定する有効期限まで印刷がキャンセルされます。



注! 制限値の設定は、サーバーソフトウェアがログを取得した時点で、制限値を越えていた場合に有効になります。制限値を越えていても、サーバーソフトウェアがログを取得するまでは印刷できます。

印刷枚数

印刷できる枚数を設定します。

課金額

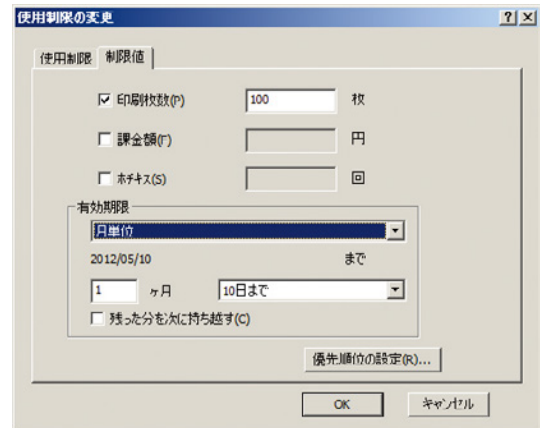
課金額の上限を設定します。

ホチキス

オプションのフィニッシャーを装着している場合、ホチキスを使用できる回数を設定します。

制限値を設定した場合は手順③に進みます。

制限値を設定しなかった場合は手順④に進みます。

③ 手順⑧で設定した制限値に対する有効期限を設定します。

有効期限を過ぎると、制限値のカウントがリセットされます。

設定しない

有効期限を設定しません。手順⑧で設定する制限値を越えた場合は、制限値を増やすか、使用状況を手動でリセットしないと印刷がキャンセルされます。

月単位

月単位で有効期限を設定します。月数と日基準となる（10日、20日、月末、締め日）を設定します。

週単位

週単位で有効期限を設定します。週数と基準となる曜日を設定します。

日単位

日単位で有効期限を設定します。日数を設定します。

残った分を次に持ち越す

有効期限内に使い切れず余った分を次回に持ち越す場合にチェックを付けます。

④ 「OK」をクリックします。

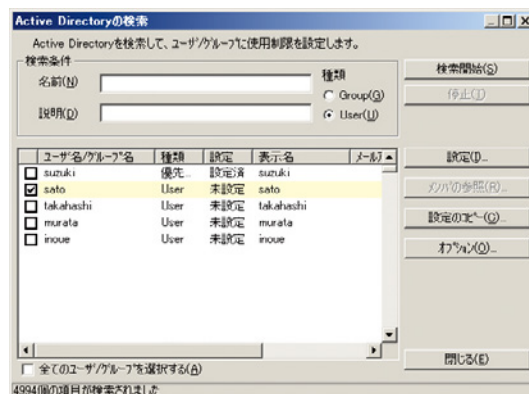


- 注!** 複数のグループに所属するユーザーの使用制限は、複数のグループが全て禁止に設定されている場合に禁止に設定されます。印刷やコピーなどは、印刷（コピー）可、モノクロで印刷する、カラー印刷（コピー）不可、印刷（コピー）不可の優先順で設定されます。
- 制限値はグループの優先度が最も高いグループの設定に従います。グループの優先度を変更するには「グループの優先順位を変更するには」（113 ページ）をご覧ください。

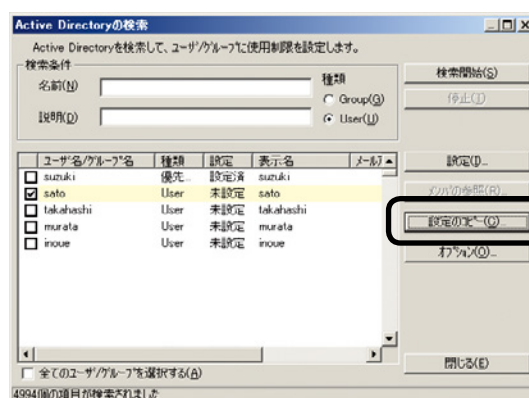
他のグループやユーザーの設定をコピーするには

使用制限や制限値を設定済みのグループやユーザーの設定を他のグループやユーザーにコピーすることができます。

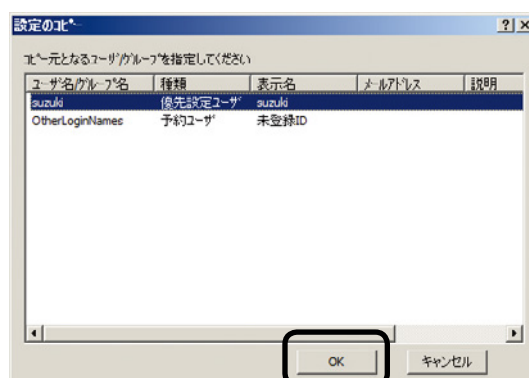
① 「Active Directory の検索」画面で設定のコピー先のグループやユーザーを選択します。



② 「設定のコピー」をクリックします。



③ 設定のコピー元となるグループやユーザーを選択し、「OK」をクリックします。

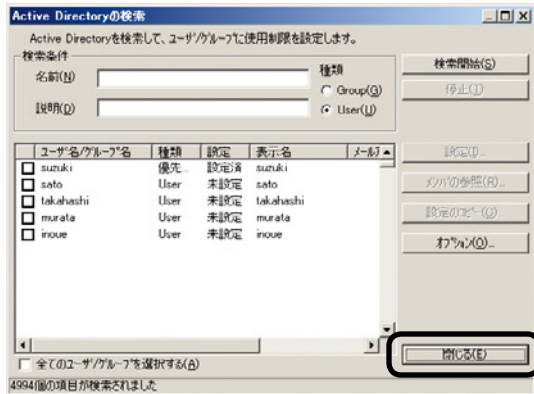


プリンターに設定を適用するには

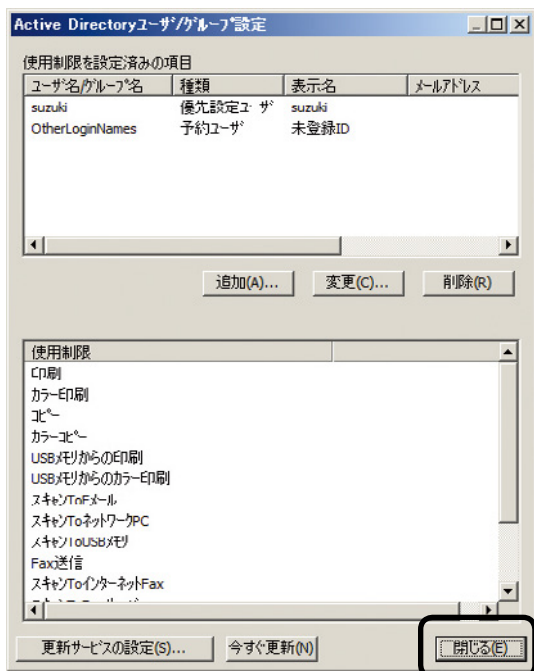
メモ

以降の手順は、94 ページから 108 ページまでの手順で登録した全てのユーザーに適用されます。あとで、ユーザー毎に変更することもできます。

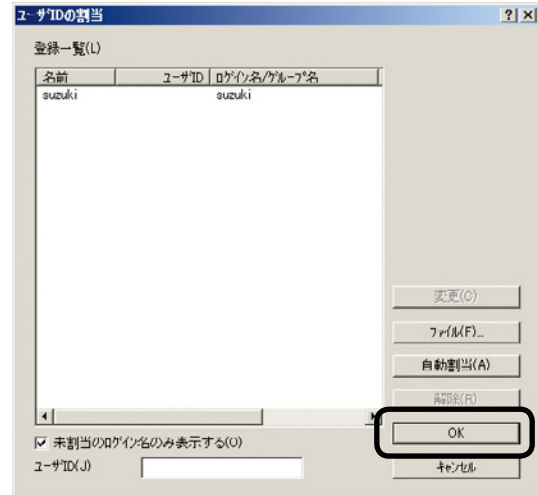
- ① 「Active Directory の検索」画面で「閉じる」をクリックします。



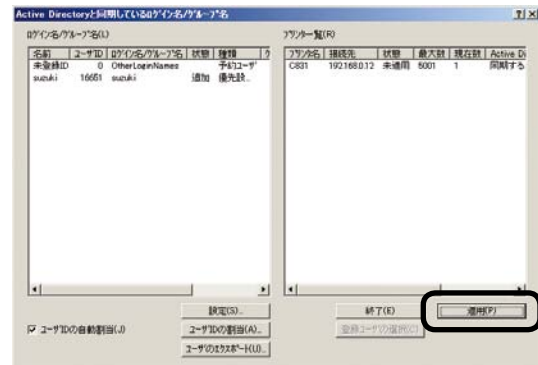
- ② 「Active Directory ユーザ / グループ 設定」画面で「閉じる」をクリックします。



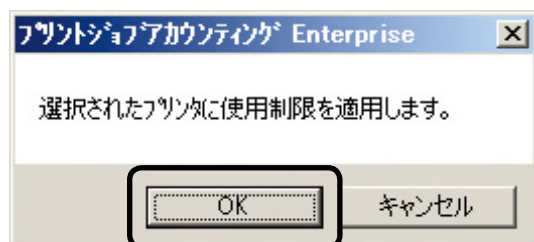
- ③ 「ユーザ ID の割当」画面が表示された場合、ユーザ ID が未割り当てのユーザーに対してユーザ ID を割り当て、「OK」をクリックします。ユーザ ID を割り当てる方法につきましては「Active Directory のユーザーにユーザ ID 割当をします」(116 ページ) をご覧ください。



- ④ 「Active Directory と同期しているログイン名 / グループ名」で「適用」をクリックします。



- ⑤ プリンターに使用制限を適用するかどうかの確認画面が表示されますので、「OK」をクリックします。



- ⑥ 管理者パスワード画面が表示された場合、管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックします。
- ⑦ IC カード対応表をプリンターに登録するための設定を有効にしている場合は、IC カード対応表をプリンターに登録するかどうかを問い合わせる画面が表示されますので、IC カード対応表をプリンターに送信する場合は「はい」をクリックし、送信しない場合は「いいえ」をクリックします。

Active Directory のユーザーの設定を変更します

Active Directory のユーザーやグループに設定した使用制限や制限値を変更します。

使用制限や制限値を設定変更するには

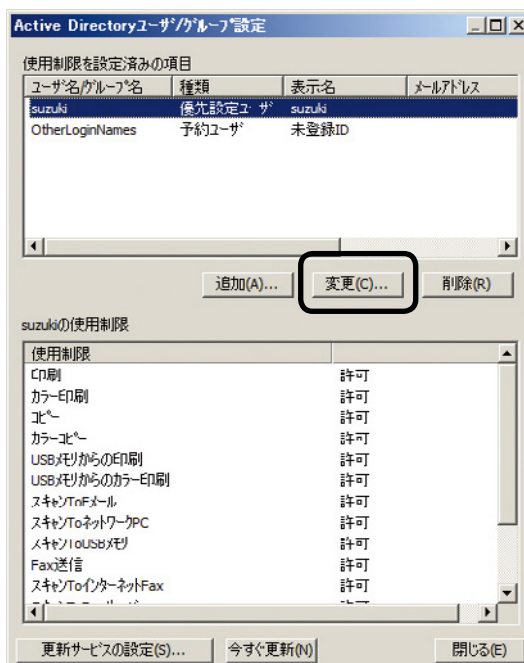
- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 「使用制限」メニューの「Active Directory のユーザー登録」をクリックします。



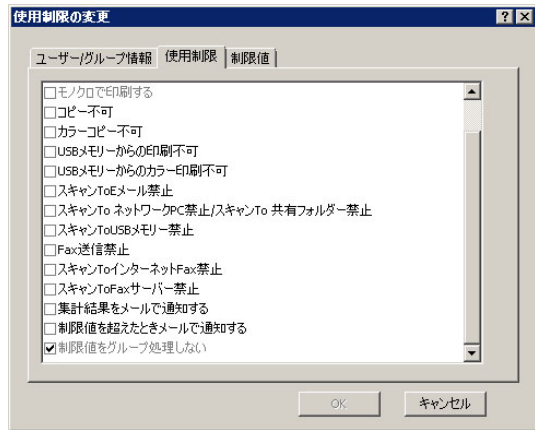
- ③ 「Active Directory と同期しているログイン名 / グループ名」画面で「設定」をクリックします。



- ④ 「Active Directory ユーザ / グループ設定」画面でユーザーを選択し、「変更」をクリックします。



⑤ 「使用制限」タブで使用制限を設定します。



印刷不可

印刷をキャンセルします。

カラー印刷不可

カラー印刷をキャンセルします。印刷ジョブの途中にカラーデータがある場合は、それ以降の印刷をキャンセルします。

モノクロで印刷する

カラー印刷不可が設定されているとき、カラーデータをキャンセルしないで、モノクロで印刷します。

コピー不可

パネル操作でのコピーを禁止します。無効の場合は印刷不可の設定に従います。

カラーコピー不可

パネル操作でのカラーコピーを禁止します。無効の場合は Disable Color Printing の設定に従います。

USB メモリからの印刷不可

パネル操作での USB メモリからの印刷を禁止します。

USB メモリからのカラー印刷不可

パネル操作での USB メモリからのカラー印刷を禁止します。

スキャン To Eメール禁止

パネル操作でのスキャン To E メールを禁止します。

スキャン To ネットワーク PC 禁止 / スキャン To 共有フォルダー禁止

パネル操作でのスキャン To ネットワーク PC およびスキャン To 共有フォルダーを禁止します。

スキャン To USB メモリ禁止

パネル操作でのスキャン To USB メモリを禁止します。

Fax 送信禁止

パネル操作での Fax 送信を禁止します。Fax ドライバーを使用した Fax 送信もキャンセルされます。

スキャン To インターネット Fax 禁止

パネル操作でのスキャン To インターネット Fax を禁止します。

スキャン To Fax サーバ禁止

パネル操作でのスキャン To Fax サーバを禁止します。

集計結果をメールで通知する

月ごとの使用量をメールで通知します。

制限値を超えたときメールで通知する

印刷枚数などが制限値を超えて印刷不可能になったとき、および制限値がリセットされ印刷が可能になったとき、メールで通知します。

制限値をグループ処理しない

プリンターグループに所属しているプリンターのユーザーおよびユーザーグループに所属しているユーザーに対して、制限値を個別に設定することができます。「制限値をグループ処理しない」にチェックを外した場合は、グループに所属するユーザーの使用量の合計がグループに設定した制限値を超えた場合に、グループに所属する全てのユーザーの印刷はキャンセルされます。「制限値をグループ処理しない」にチェックを付けると、グループに所属するユーザーの使用量がグループに設定した制限値を超えた場合に、制限値を超えたユーザーの印刷はキャンセルされます。

⑥ 「制限値」タブで制限値を設定します。

それぞれの制限値を超えると、手順⑨で設定する有効期限まで印刷がキャンセルされます。



注！ 制限値の設定は、サーバーソフトウェアがログを取得した時点で、制限値を越えていた場合に有効になります。制限値を越えていても、サーバーソフトウェアがログを取得するまでは印刷できます。

印刷枚数

印刷できる枚数を設定します。

課金額

課金額の上限を設定します。

ホチキス

オプションのフィニッシャーを装着している場合、ホチキスを使用できる回数を設定します。

制限値を設定した場合は手順⑦に進みます。

制限値を設定しなかった場合は手順⑧に進みます。

⑦ 手順⑥で設定した制限値に対する有効期限を設定します。

有効期限を過ぎると、制限値のカウントがリセットされます。

設定しない

有効期限を設定しません。手順⑧で設定する制限値を越えた場合は、制限値を増やすか、使用状況を手動でリセットしないと印刷がキャンセルされます。

月単位

月単位で有効期限を設定します。月数と日基準となる（10日、20日、月末、締め日）を設定します。

週単位

週単位で有効期限を設定します。週数と基準となる曜日を設定します。

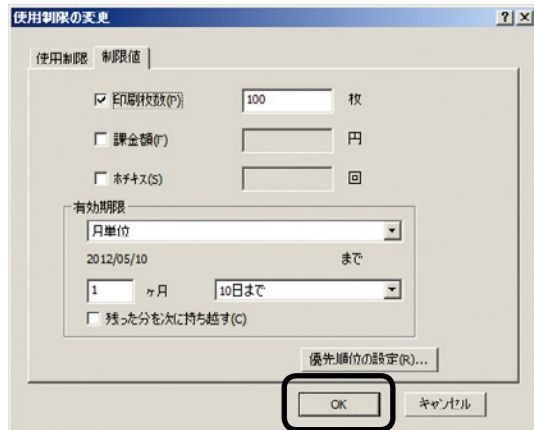
日単位

日単位で有効期限を設定します。日数を設定します。

残った分を次に持ち越す

有効期限内に使い切れず余った分を次回に持ち越す場合にチェックを付けます。

⑧ 「OK」をクリックします。



- 複数のグループに所属するユーザーの使用制限は、複数のグループが全て禁止に設定されている場合に禁止に設定されます。印刷やコピーなどは、印刷（コピー）可、モノクロで印刷する、カラー印刷（コピー）不可、印刷（コピー）不可の優先順で設定されます。
- 制限値はグループの優先度が最も高いグループの設定に従います。グループの優先度を変更するには、次項「グループの優先順位を変更するには」をご覧ください。

グループの優先順位を変更するには

使用制限や制限値を設定済みのユーザーが複数のグループに所属している場合、ユーザーに適用するグループの使用制限や制限値の優先順位を変更することができます。優先順位の最も高いグループの使用制限や制限値がユーザーに割り当てられます。

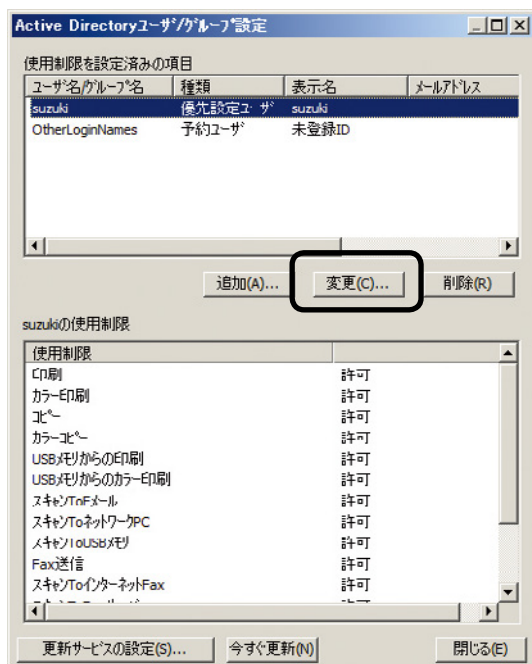
- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 「使用制限」メニューの「Active Directory のユーザー登録」をクリックします。



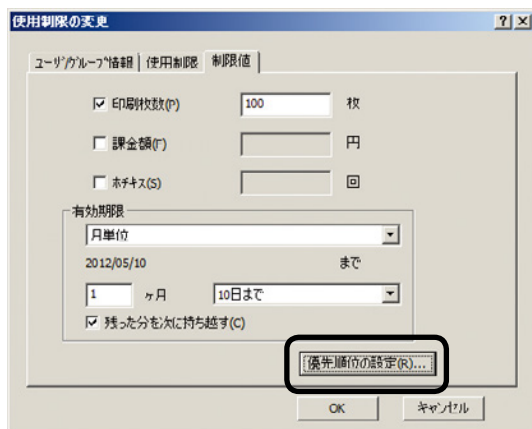
- ③ 「Active Directory と同期しているログイン名 / グループ名」画面で「設定」をクリックします。



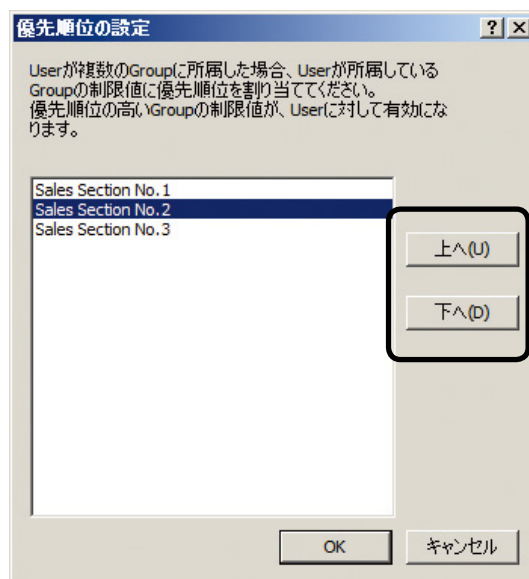
- ④ 「Active Directory ユーザ / グループ 設定」画面でユーザーを選択し、「変更」をクリックします。



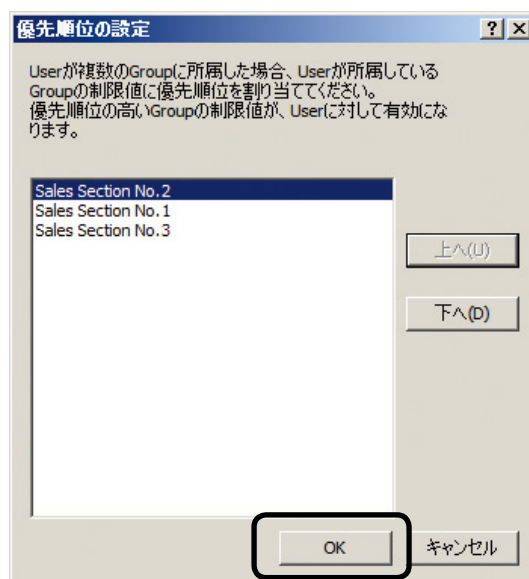
- ⑤ 「制限値」タブで「優先順位の設定」をクリックします。



- ⑥ 「優先順位の設定」画面で優先順位を変更したいグループを選択し「上へ」または「下へ」をクリックします。



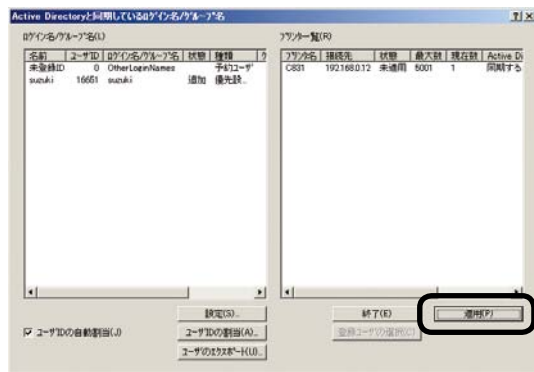
- ⑦ 「OK」をクリックします。



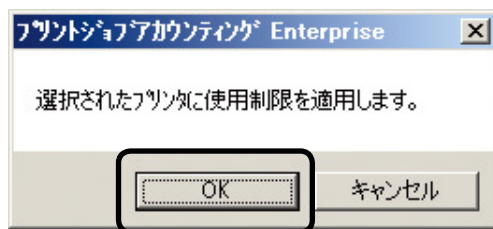
注 優先順位の設定はグループに所属する全てのユーザーに適用されます。

プリンターに設定を適用するには

- ① 「Active Directory と同期しているログイン名 / グループ名」で「適用」をクリックします。



- ② プリンターに使用制限を適用するかどうかの確認画面が表示されますので、「OK」をクリックします。



- ③ 管理者パスワード画面が表示された場合、管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックします。
- ④ IC カード対応表をプリンターに登録するための設定を有効にしている場合は、IC カード対応表をプリンターに登録するかどうかを問い合わせる画面が表示されますので、IC カード対応表をプリンターに送信する場合は「はい」をクリックし、送信しない場合は「いいえ」をクリックします。

Active Directory のユーザーを削除します

Active Directory のユーザーやグループに設定した使用制限や制限値を削除します。

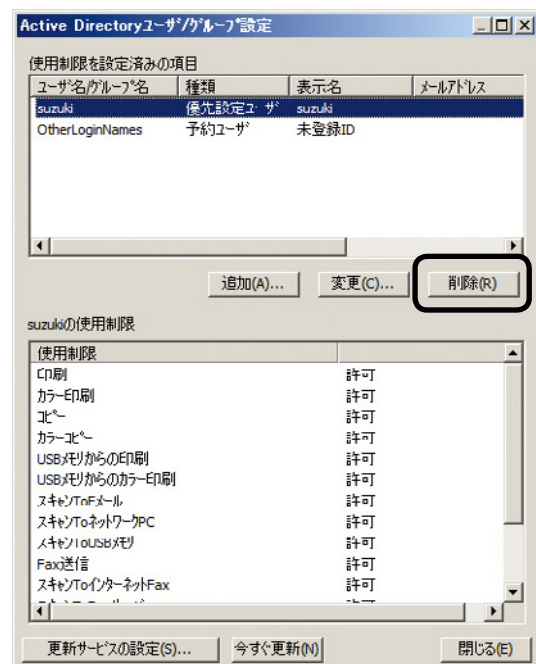
- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 「使用制限」メニューの「Active Directory のユーザー登録」をクリックします。



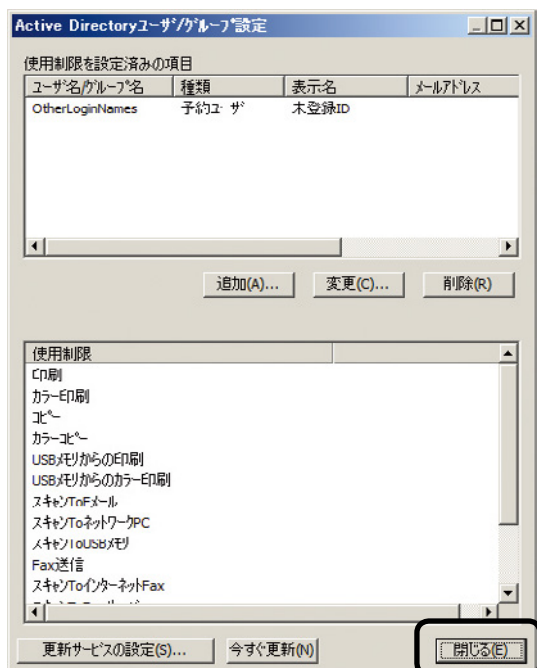
- ③ 「Active Directory と同期しているログイン名 / グループ名」画面で「設定」をクリックします。



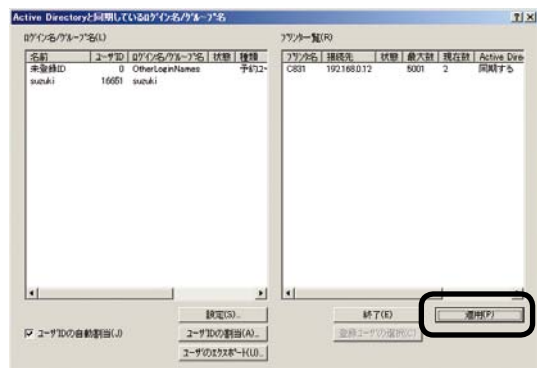
- ④ 「Active Directory ユーザ / グループ 設定」画面でユーザーを選択し、「削除」をクリックします。



- ⑤ ユーザーを削除する確認画面が表示されますので、「はい」をクリックします。
- ⑥ 「閉じる」をクリックします。



- ⑦ 「Active Directory と同期しているログイン名/グループ名」で「適用」をクリックします。



- ⑧ プリンターに使用制限を適用するかどうかの確認画面が表示されますので、「OK」をクリックします。
- ⑨ 管理者パスワード画面が表示された場合、管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックします。
- ⑩ IC カード対応表をプリンターに登録するための設定を有効にしている場合は、IC カード対応表をプリンターに登録するかどうかを問い合わせる画面が表示されますので、IC カード対応表をプリンターに送信する場合は「はい」をクリックし、送信しない場合は「いいえ」をクリックします。

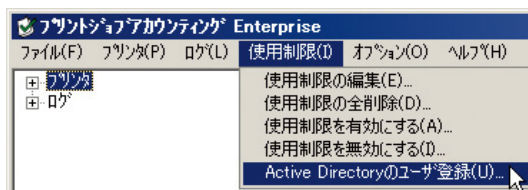
Active Directory のユーザーにユーザー ID 割当をします

使用制限や制限値を設定する Active Directory のユーザーには必ず一意なユーザー ID を割り当てる必要があります。使用制限や制限値を設定する Active Directory のユーザーにユーザー ID を割り当てるには、Active Directory のユーザーを追加するとき自動で行う方法と手動で行う方法があります。

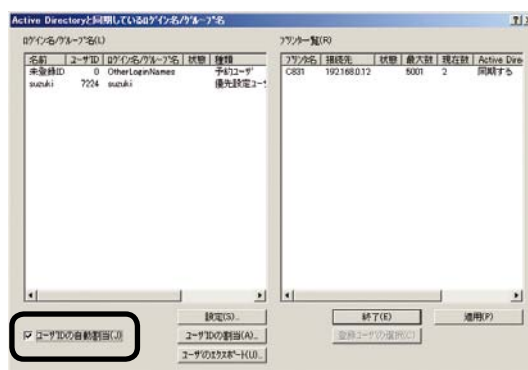
ユーザー ID を自動で割り当てるには

ユーザー ID を自動で割り当てる設定を有効にしておくと、Active Directory のユーザーを追加するとき一意なユーザー ID をユーザーに対して自動的に割り当てることができます。

- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 「使用制限」メニューの「Active Directory のユーザー登録」をクリックします。



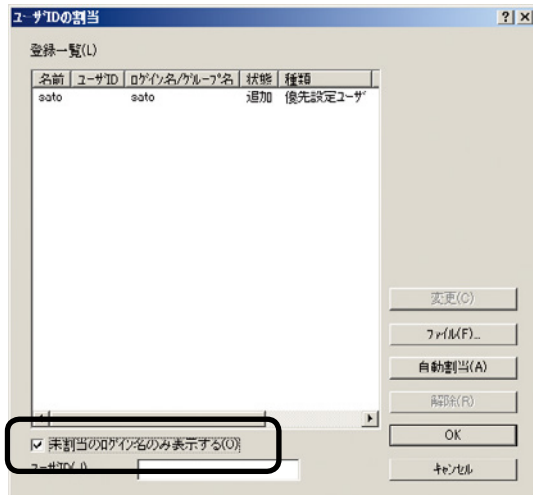
- ③ 「Active Directory と同期しているログイン名/グループ名」画面で「ユーザーIDの自動割当」にチェックを付けます。



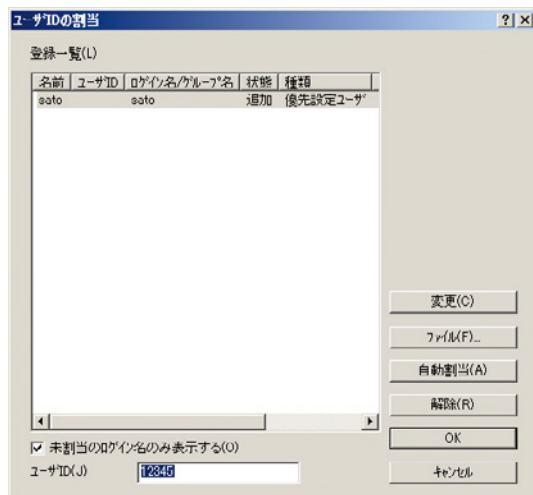
ユーザー ID を手動で割り当てるには

「Active Directory と同期しているログイン名 / グループ名」画面の「ユーザ ID の自動割当」が無効な状態で、Active Directory のユーザーを追加したときは「ユーザ ID の割当」画面が表示されます。一意なユーザー ID をユーザーに対して手動で割り当てることができます。

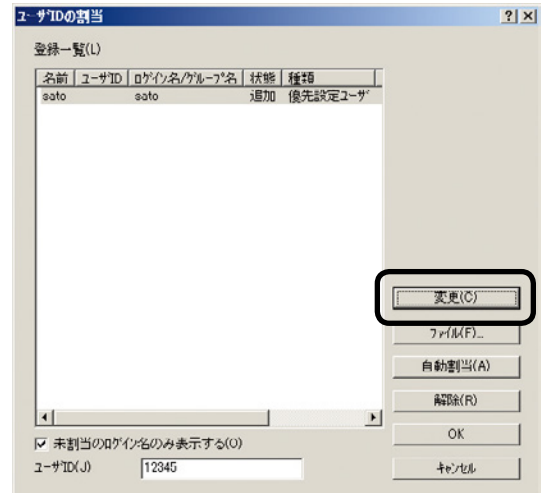
- ① 「未割当のログイン名のみ表示する」にチェックを付けます。



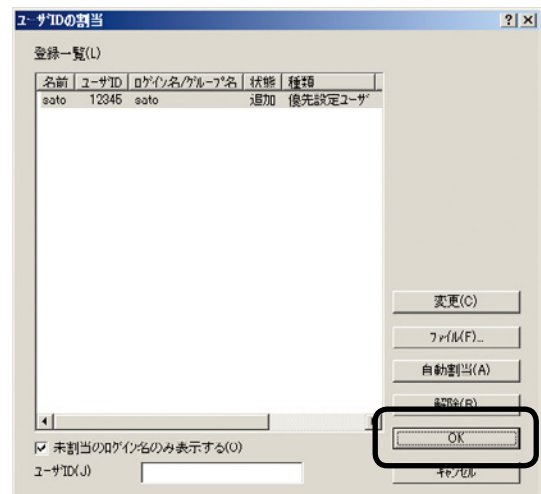
- ② 割り当てるユーザー ID を「ユーザ ID」欄に入力します。



- ③ 「登録一覧」でユーザー ID を割り当てるユーザーを選択し、「変更」をクリックします。



- ④ 「OK」をクリックします。



注 手順④の後に表示される「Active Directory のユーザ登録」画面で「適用」をクリックしない限り、設定はプリンターに反映されません。

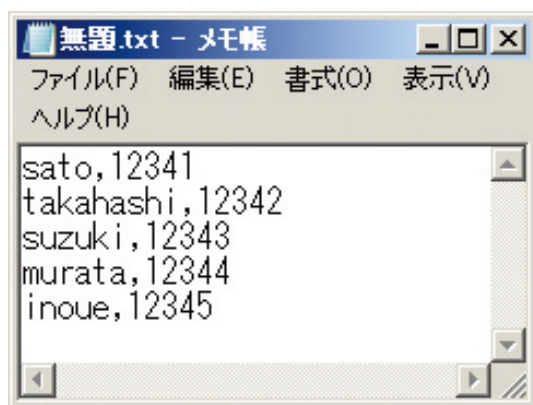
ユーザー ID をファイルから割り当てるには

「Active Directory と同期しているログイン名 / グループ名」画面の「ユーザ ID の自動割当」が無効な状態で、Active Directory のユーザーを追加したときは「ユーザ ID の割当」画面が表示されます。ユーザー名、ユーザー ID を記載した CSV ファイルを作成し、それを読み込むことでユーザーにユーザー ID を割り当てることができます。

- 注**
- ・ ユーザー ID の割り当ては Active Directory から追加したユーザーに対してのみ有効です。
 - ・ ユーザーにユーザー ID を割り当て済みの場合は、ファイルの内容で上書きします。

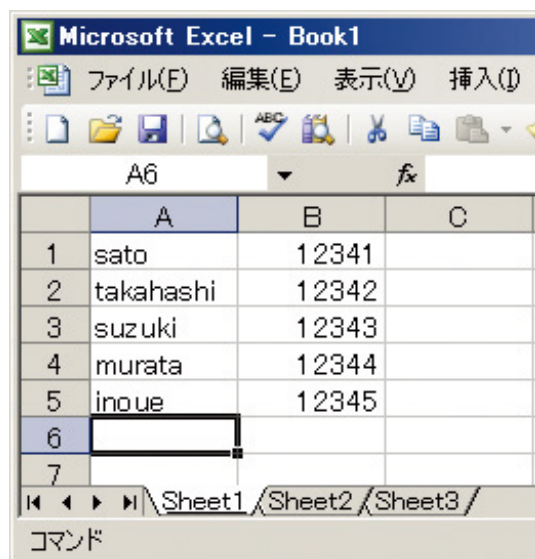
- ① メモ帳、Excel 等で CSV ファイルを作成します。

<メモ帳の場合>



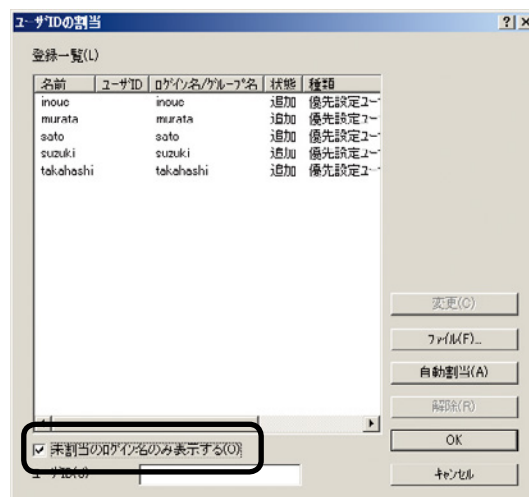
- ① 各行に 1 ログイン名ずつ記載します。
- ② テキスト形式でファイルの拡張子を「CSV」にして保存します。

<Excel の場合>

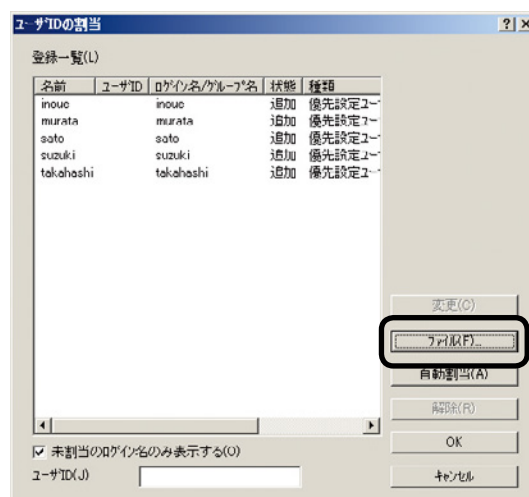


- ① 各行に 1 ログイン名ずつ記載します。
- ② CSV 形式でファイルを保存します。

- ② 「未割当のログイン名のみ表示する」にチェックを付けます。

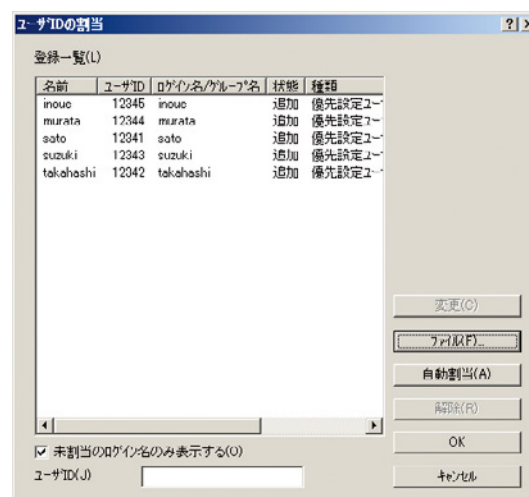


- ③ 「ファイル」をクリックします。

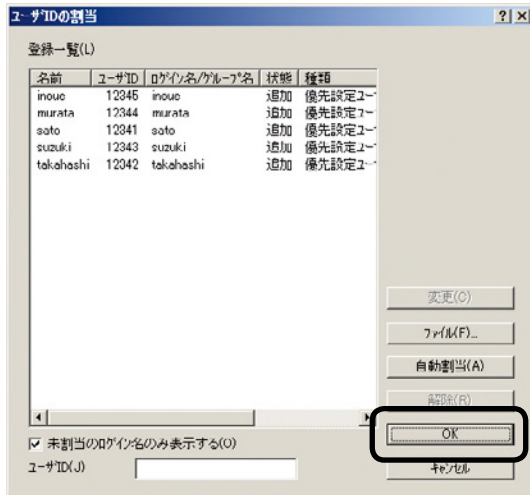


- ④ 手順①で作成した CSV ファイルを指定し、「開く」をクリックします。

- ⑤ 「登録一覧」にユーザー ID が表示されたことを確認します。



- ⑥ 「OK」をクリックします。



手順⑥の後に表示される「Active Directory のユーザ登録」画面で「適用」をクリックしない限り、設定はプリンターに反映されません。

割り当てたユーザーIDを変更するには

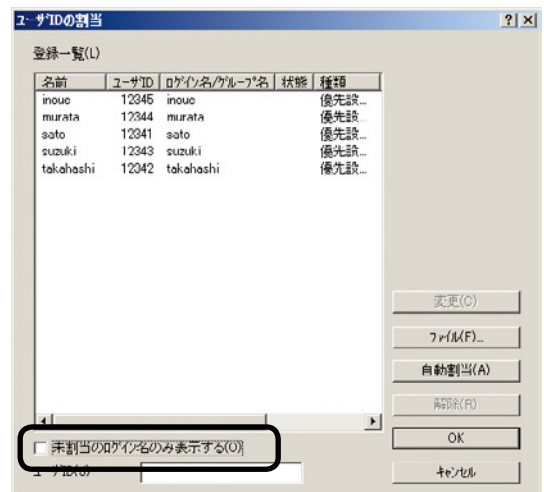
- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 「使用制限」メニューの「Active Directory のユーザ登録」をクリックします。



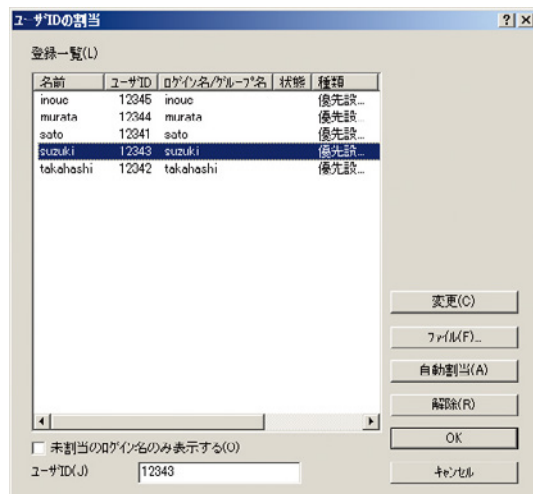
- ③ 「Active Directory と同期しているログイン名 / グループ名」画面で「ユーザ ID の割当」をクリックします。



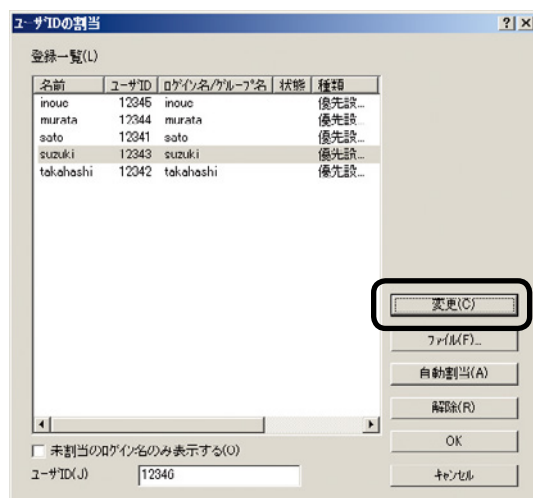
- ④ 「未割当のログイン名のみ表示する」のチェックを外します。



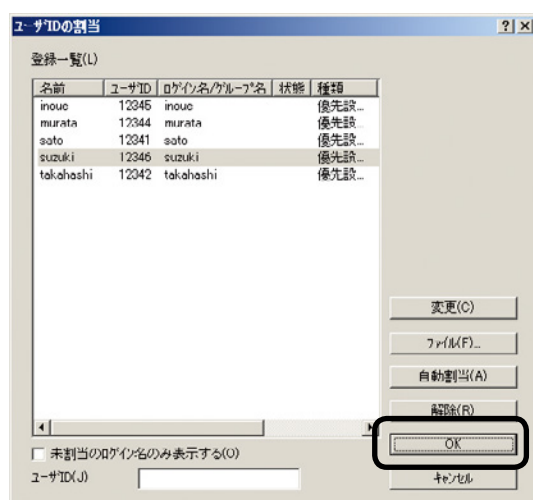
- ⑤ 「登録一覧」でユーザー ID を変更するユーザーを選択します。



- ⑥ 「ユーザーID」欄を入力変更し、「変更」をクリックします。



- ⑦ 「OK」をクリックします。

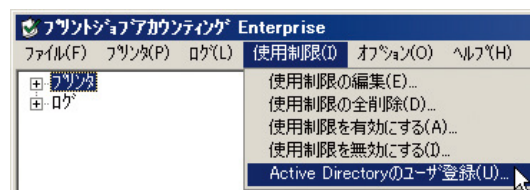


注: 手順⑦の後に表示される「Active Directory のユーザ登録」画面で「適用」をクリックしない限り、設定はプリンターに反映されません。

クライアントソフトウェア用データをエクスポートします

Active Directory から追加したユーザーをクライアントソフトウェアの非表示モードで使用することができます。クライアントソフトウェアの非表示モードに関しましては「ジョブアカウントモードを設定します」(38 ページ) をご覧ください。

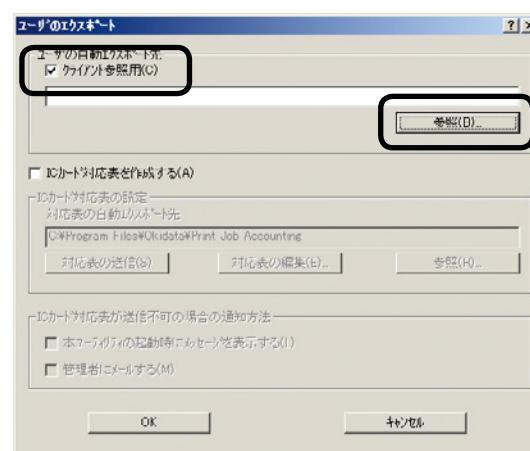
- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 「使用制限」メニューの「Active Directory のユーザ登録」をクリックします。



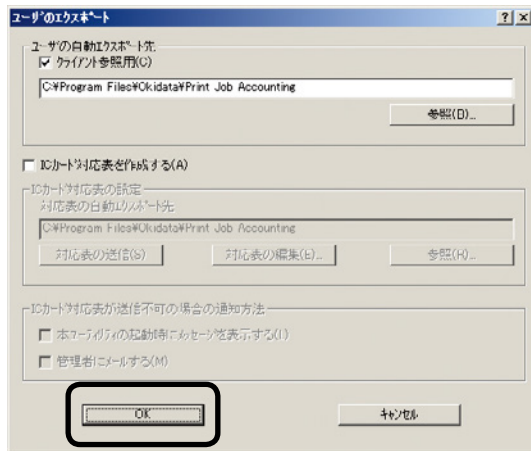
- ③ 「ユーザのエクスポート」をクリックします。



- ④ 「クライアント参照用」にチェックを付け、「参照」をクリックします。



- ⑤ 保存したいフォルダを選択し、「OK」をクリックします。
- ⑥ 「ユーザのエクスポート」画面で「OK」をクリックします。



- ⑦ ⑤で選択したフォルダ内に opjobac4.dat という名称のファイルが生成されますので、生成されたファイルをクライアントソフトウェアの「非表示モード」で指定することができます。クライアントソフトウェアでエクスポートファイルを指定するには「非表示モードでファイルからユーザー情報を取得するには」(201 ページ) をご覧ください。

IC カード対応表をエクスポートします

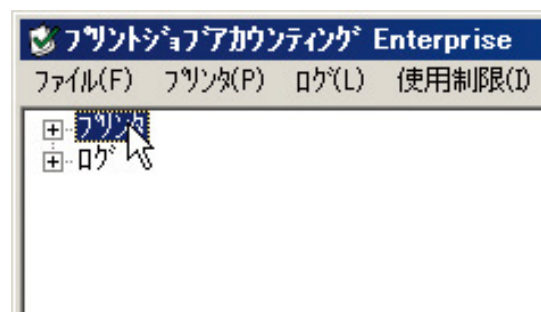
IC カード対応表は IC カード情報 (カード ID)、ユーザー ID、ログイン名の三つの情報を対応付けて記載したファイルです。IC カード対応表をプリンターに登録すると、ユーザー ID またはログイン名に割り当てられた使用制限を IC カード認証印刷ジョブに対して適用することが可能です。IC カード対応表をプリンターに登録するには、以下の条件を全て満たす必要があります。

- IC カード対応表を受信するための SD カードがプリンターに装着されていること
- プリンターの電源が ON になっていること
- IC カード対応表を登録したいプリンターの IC カード対応表を登録する設定が有効であること (次項「IC カード対応表を登録するプリンターを設定します」参照)
- IC カード対応表を作成する設定が有効であること (123 ページ)

IC カード対応表を登録するプリンターを設定します

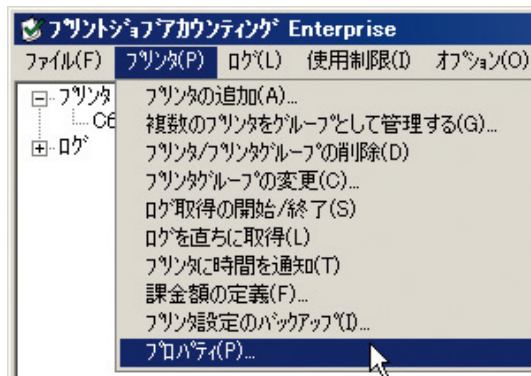
IC カード対応表を登録したいプリンターの IC カード対応表を登録する設定を有効にします。

- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 選択ウィンドウの「プリンタ」をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウィンドウに表示されます。

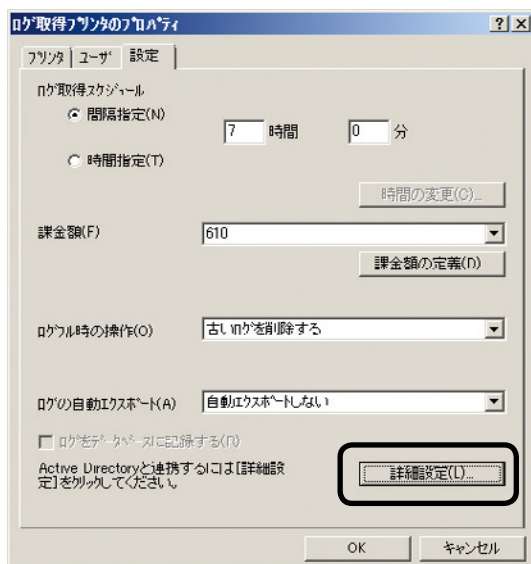


- ④ プリンターを選択し、「プリンタ」メニューから「プロパティ」を選択します。

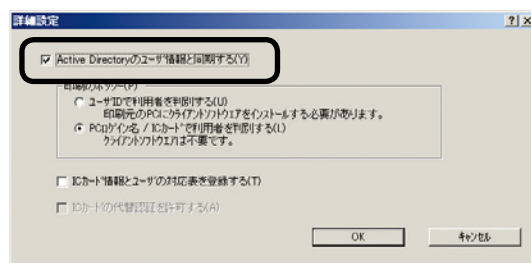
メモ プリンターは複数選択することができます。



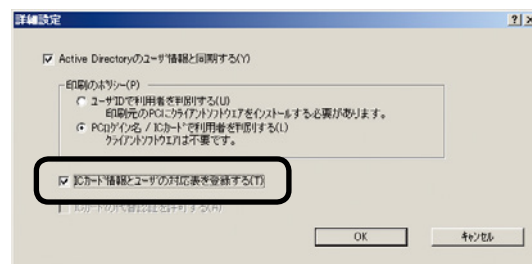
- ⑤ 「設定」タブの「詳細設定」をクリックします。



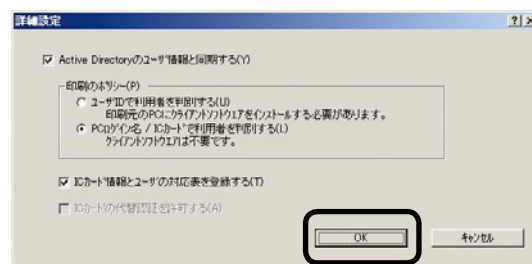
- ⑥ 「Active Directory のユーザ情報と同期する」にチェックを付けます。



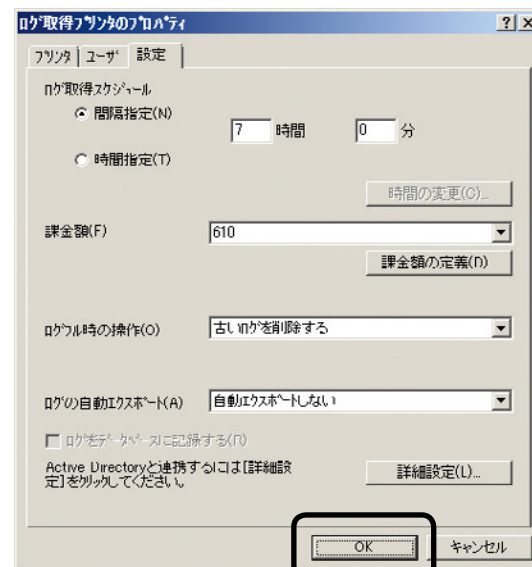
- ⑦ 「IC カード情報とユーザの対応表を登録する」にチェックを付けます。



- ⑧ 「OK」をクリックします。

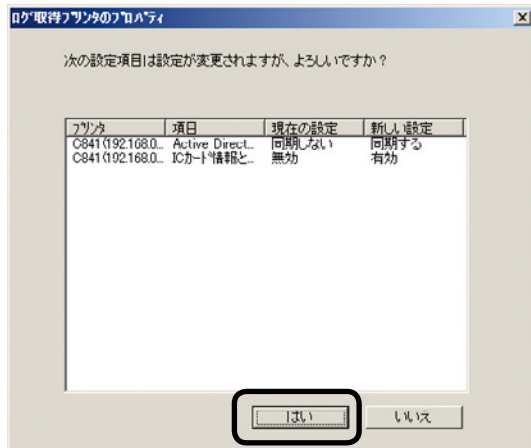


- ⑨ 「設定」タブで「OK」をクリックします。



- ⑩ IC カード対応表を作成するための設定がされていない場合は、IC カード対応表をプリンターに登録することができないことを通知する画面が表示されますので、「OK」をクリックします。IC カード対応表をプリンターに登録するためには、IC カード対応表を作成するための設定をする必要があります。IC カード対応表を作成するための設定につきましては「IC カード対応表を作成します」(123 ページ)をご覧ください。

- ⑪ 変更される設定を通知する画面が表示されますので、「はい」をクリックします。



- ⑫ 設定の完了を通知する画面が表示された場合は、「閉じる」をクリックします。
- ⑬ 「Active Directory と同期しているログイン名 / グループ名」画面が表示されますので、Active Directory の設定をします。詳細につきましては [96 ページ](#) をご覧ください。

IC カード対応表を作成します

登録済みの Active Directory ユーザーの情報を基にして IC カード対応表を作成します。

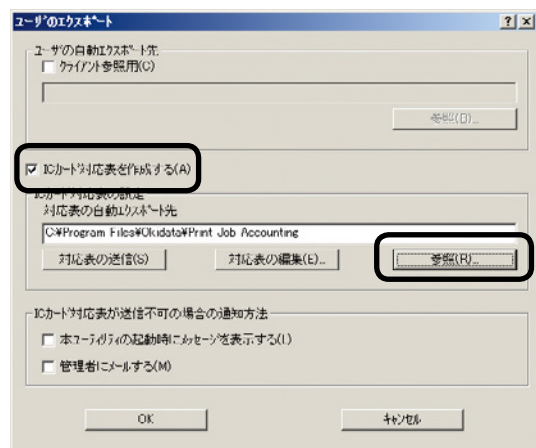
- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 「使用制限」メニューの「Active Directory のユーザー登録」をクリックします。



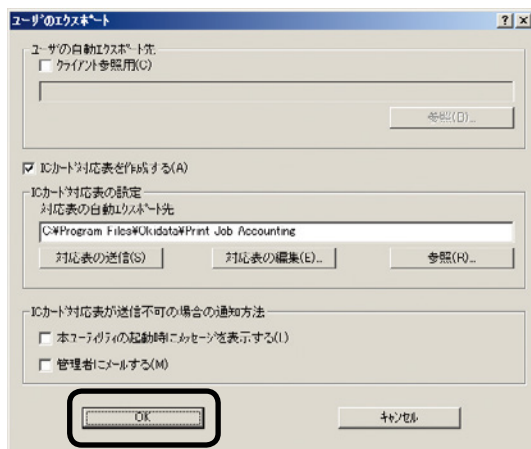
- ③ 「ユーザのエクスポート」をクリックします。



- ④ 「IC カード対応表を作成する」にチェックを付け、「参照」をクリックします。



- ⑤ 保存したいフォルダーを選択し、「OK」をクリックします。
- ⑥ 「ユーザのエクスポート」画面で「OK」をクリックします。



- ⑦ IC カード対応表をプリンターに送信するかどうか問い合わせる画面が表示された場合、送信する場合は「はい」をクリックし、送信しない場合は「いいえ」をクリックします。
- 「IC カード対応表を作成する」にチェックが付いている場合は、Active Directory ユーザーの追加と削除、設定変更と連動して IC カード対応表が更新されます。

IC カード対応表に IC カード情報を追加します

IC カード対応表に IC カード情報（カード ID）を追加するには、以下の方法があります。

• Active Directory から取得する

→ Active Directory ユーザーの追加時に取得した IC カード情報を IC カード対応表に追加することができます。IC カード情報を Active Directory から取得するには「IC カード情報を取得する属性を指定します」(103 ページ)をご覧ください。

• 対応表編集ツールを使用する

→ 対応表編集ツールを使用すると、サーバーソフトウェアをインストールしているコンピューターに取り付けられた IC カードリーダーを使用し、IC カードから読み取った IC カード ID を IC カード対応表に追加することができます。IC カード ID を手動で追加することもできます。対応表編集ツールを使用するには、以下の手順で行います。

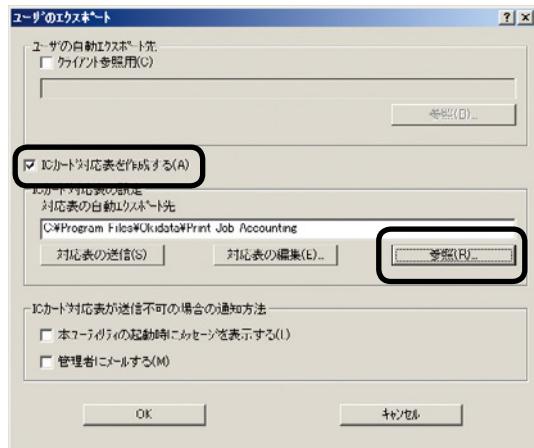
- ① サーバーソフトウェアがインストールされているコンピューターに対応表編集ツールをインストールします。
- ② IC カード ID を手動で入力する場合は手順⑩に進みます。IC カード ID を IC カードから入力する場合は、サーバーソフトウェアがインストールされているコンピューターに IC カードリーダーを取り付けます。
- ③ サーバーソフトウェアを起動します。
- ④ 「使用制限」メニューの「Active Directory のユーザ登録」をクリックします。



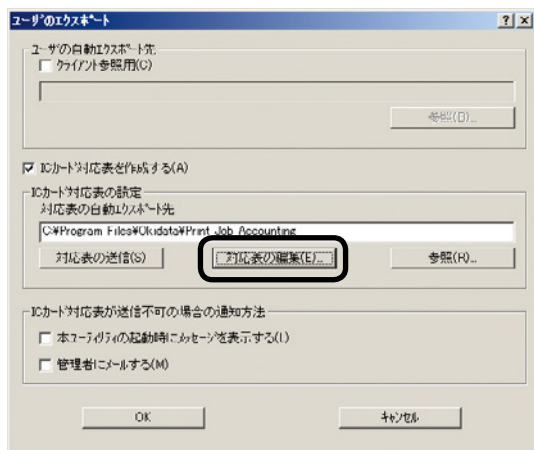
- ⑤ 「ユーザのエクスポート」をクリックします。



- ⑥ 「IC カード対応表を作成する」にチェックを付け、「参照」をクリックします。



- ⑦ 保存したいフォルダーを選択し、「OK」をクリックします。
- ⑧ 「対応表の編集」をクリックします。



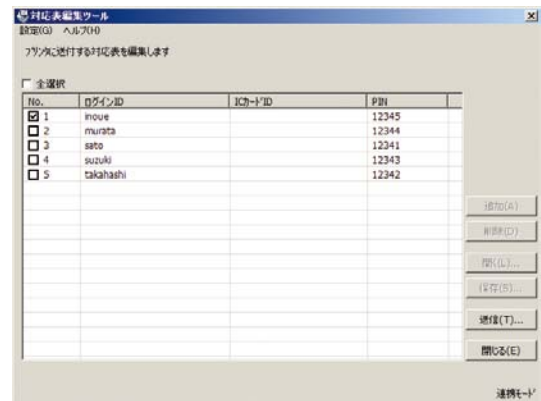
- ⑨ 対応表編集ツールが起動します。サーバーソフトウェアが作成した IC カード対応表のレコード一覧が画面に表示されます。



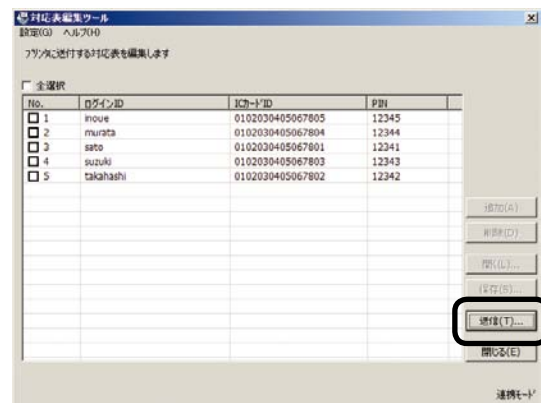
- ⑩ 手動で IC カード ID を追加する場合は、IC カード ID 欄をダブルクリックすると入力可能状態となります。この状態で IC カード ID をキーボードより入力します。



IC カード ID を IC カードから入力する場合は、IC カード ID のレコードにチェックを付け、IC カードを IC カードリーダにかざします。チェックを付けたレコードに IC カード ID が自動的に入力されます。



- ⑪ 「送信」をクリックします。



- ⑫ IC カード対応表をプリンターに送信するか確認する画面が表示されますので、「はい」をクリックします。

- 13 更新された IC カード対応表が保存され、IC カード対応表がプリンターに登録されます。



IC カード対応表を登録する設定が有効ではないプリンターに IC カード対応表を登録することはできません。IC カード対応表を登録する設定を有効にするには、「IC カード対応表を登録するプリンターを設定します」(121 ページ)をご覧ください。

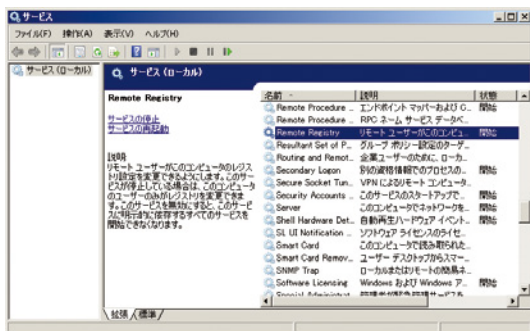


サーバーソフトウェアをインストールしているコンピュータとは別のコンピュータに対応表編集ツールをインストールし、サーバーソフトウェアが作成した IC カード対応表に IC カード ID を追加することもできます。

別のコンピュータにインストールされた対応表編集ツールから、サーバーソフトウェアが作成した IC カード対応表に IC カード ID を追加する方法につきましては、IC カード認証キットのユーザズマニュアルをご覧ください。

別のコンピュータにインストールされた対応表編集ツールからサーバーソフトウェアが作成した IC カード対応表に IC カード ID を追加するには、サーバーソフトウェアをインストールしているコンピュータに以下の設定をする必要があります。

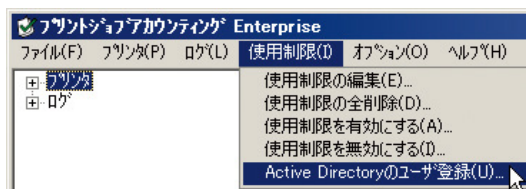
- ① IC カード対応表が存在するフォルダーを共有フォルダーとし、対応表編集ツールがインストールされたコンピュータからの変更を許可するようにアクセス権限を設定します。
- ② 「Remote Registry」 サービスが開始されていることを確認します。「Remote Registry」 サービスが開始されている場合は「Control Panel」の「Administrative Tools」、「Services」で「Remote Registry」の status が「Started」と表示されます。「Started」と表示されていない場合は、左側に「Start」が表示されますので、クリックして「Remote Registry」サービスを開始します。



IC カード対応表をプリンターに登録します

作成した IC カード対応表を手動でプリンターに登録することができます。

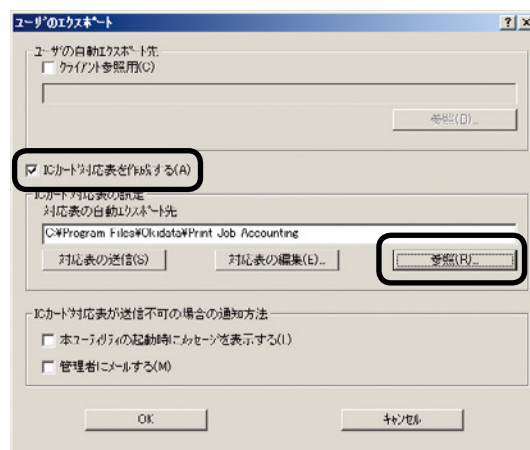
- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 「使用制限」メニューの「Active Directory のユーザ登録」をクリックします。



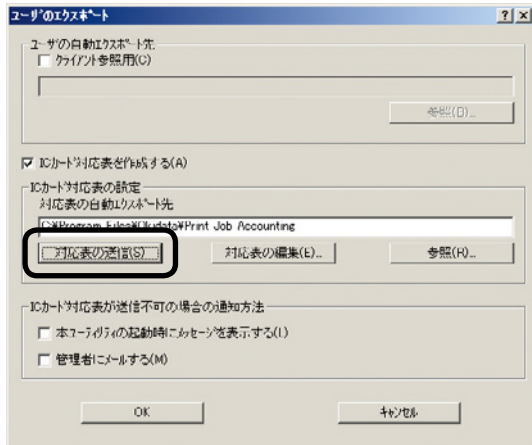
- ③ 「ユーザのエクスポート」をクリックします。



- ④ 「IC カード対応表を作成する」にチェックを付け、「参照」をクリックします。



- ⑤ 保存したいフォルダーを選択し、「OK」をクリックします。
- ⑥ 「対応表の送信」をクリックします。



- ⑦ IC カード対応表をプリンターに登録するかどうか確認する画面が表示されますので、「はい」をクリックします。
- ⑧ 送信を完了したことを通知する画面が表示されますので、「閉じる」をクリックします。



登録済みの Active Directory ユーザーを自動更新する場合は、更新された IC カード対応表がプリンターに自動で登録されます。登録済み Active Directory ユーザーの自動更新に関しては、「自動更新サービスの設定をします」(131 ページ)を参照します。

注 IC カード対応表を登録する設定が有効ではないプリンターに IC カード対応表を登録することはできません。IC カード対応表を登録する設定を有効にするには、「IC カード対応表を登録するプリンターを設定します」(121 ページ)をご覧ください。

サーバーソフトウェアの起動時にエラーメッセージを表示するには

IC カード対応表をプリンターに登録することができない場合、サーバーソフトウェアの起動時にエラーメッセージを表示して通知することができます。

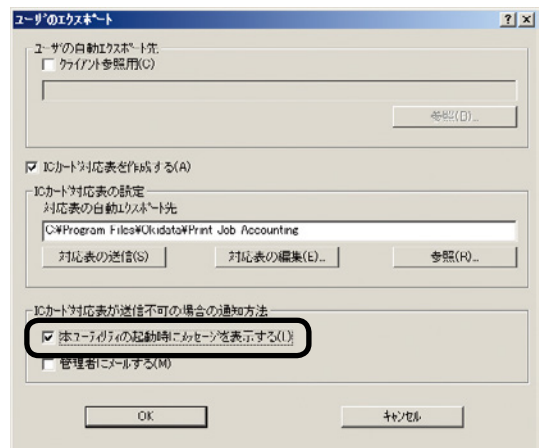
- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 「使用制限」メニューの「Active Directory のユーザー登録」をクリックします。



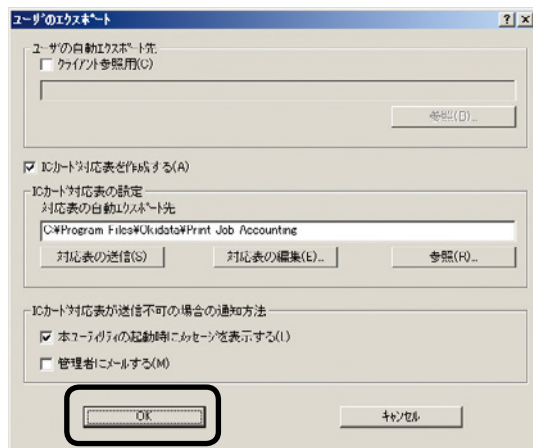
- ③ 「ユーザーのエクスポート」をクリックします。



- ④ 「本ユーティリティの起動時にメッセージを表示する」にチェックを付けます。



⑤ 「OK」をクリックします。



管理者にエラー通知メールを送信するには

ICカード対応表をプリンターに登録することができない場合、一日に一回エラー内容をメールで管理者に通知することができます。

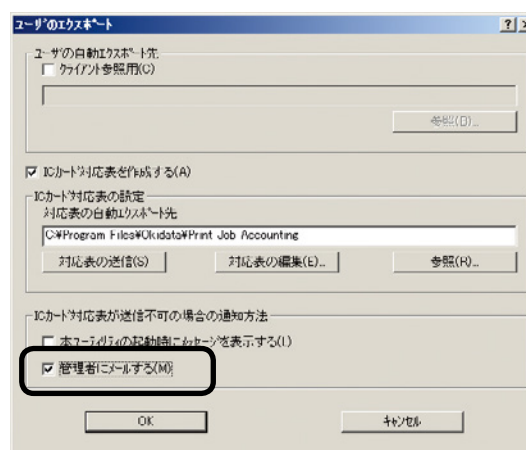
- ① サーバソフトウェアを起動します。
- ② 「使用制限」メニューの「Active Directory のユーザ登録」をクリックします。



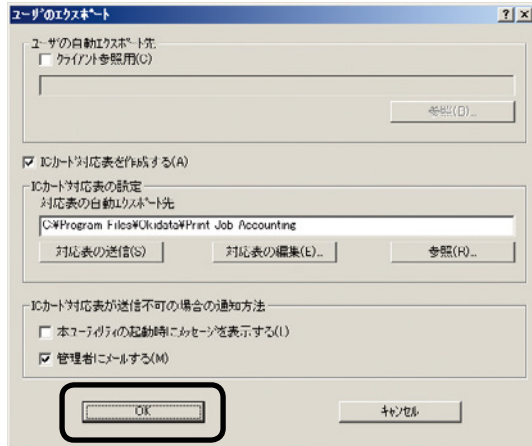
- ③ 「ユーザのエクスポート」をクリックします。



- ④ 「管理者にメールする」にチェックを付けます。



- ⑤ 「OK」をクリックします。



注 あらかじめ「メール送信機能の設定をします」(206 ページ)に従って、送信メールサーバー、送信者のメールアドレス、管理者のメールアドレスを設定する必要があります。

IC カードの代替認証を許可するには

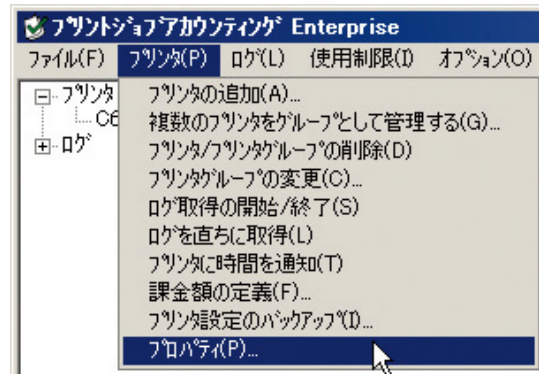
プリンターの IC カード代替認証モードの有無を設定することができます。

- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 選択ウィンドウの「プリンタ」をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウィンドウに表示されます。

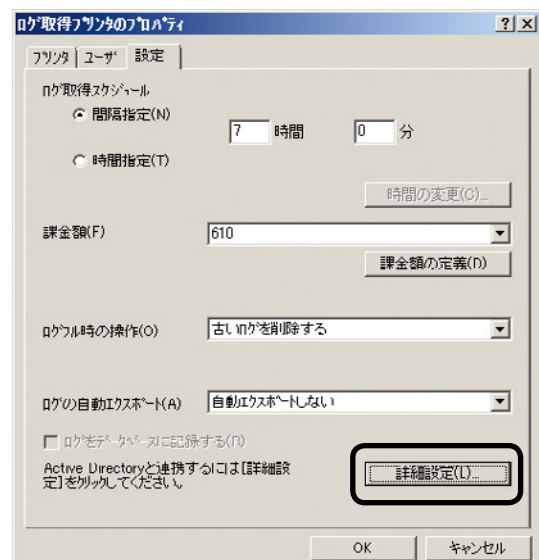


- ④ プリンターを選択し、「プリンタ」メニューから「プロパティ」を選択します。

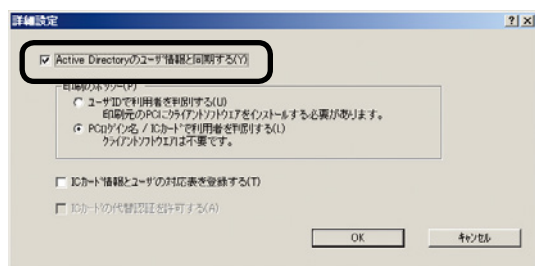
メモ プリンターは複数選択することができます。



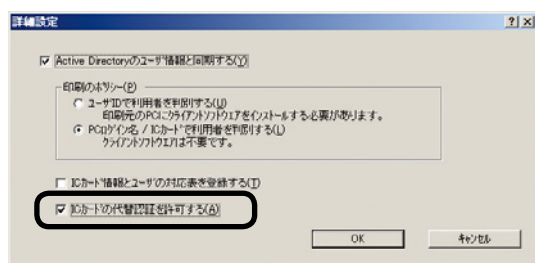
- ⑤ 「設定」タブの「詳細設定」をクリックします。



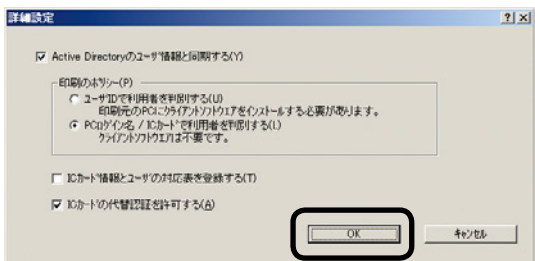
- ⑥ 「Active Directory のユーザ情報と同期する」にチェックを付けます。



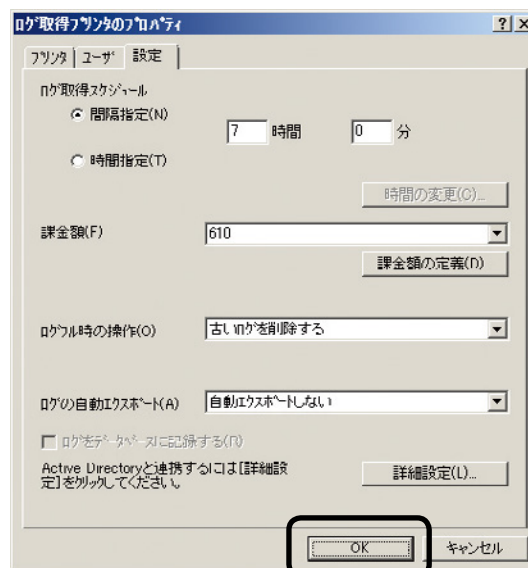
- ⑦ ICカード代替認証モードを有効にする場合は「ICカードの代替認証を許可する」にチェックを付け、ICカード代替認証モードを無効にする場合は「ICカードの代替認証を許可する」のチェックを外します。



- ⑧ 「OK」をクリックします。



- ⑨ 「設定」タブで「OK」をクリックします。



- ⑩ 変更される設定を通知する画面が表示されますので、「はい」をクリックします。

- ⑪ 設定の完了を通知する画面が表示された場合は、「閉じる」をクリックします。

自動更新サービスの設定をします

定期的に Active Directory のユーザー情報を監視し、登録済みのユーザーやグループの情報に変更があれば更新することが可能です。登録済みのユーザーやグループに対する自動更新のための監視はデフォルトで有効に設定されていますが、監視スケジュールの設定や監視対象とするユーザーやグループの設定を変更することができます。

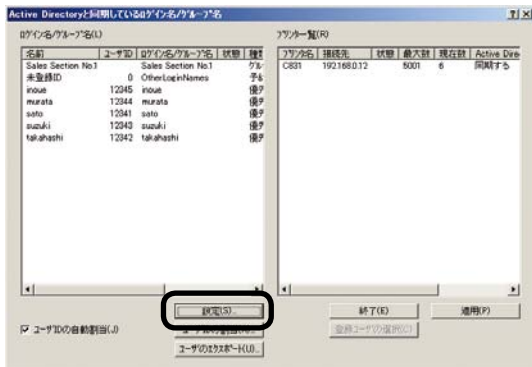


Active Directory 上で監視対象のグループに所属するユーザーが新規に追加された場合、プリンターに登録可能なユーザーの最大数に到達するまではユーザーがプリンターに登録されます。登録可能なユーザーの最大数に到達した後は、ユーザーはプリンターに登録されません。

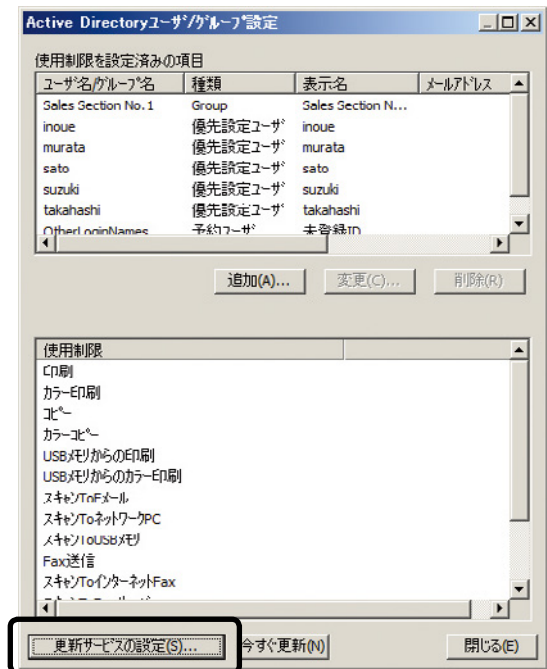
- 1 サーバーソフトウェアを起動します。
- 2 「使用制限」メニューの「Active Directory のユーザー登録」をクリックします。



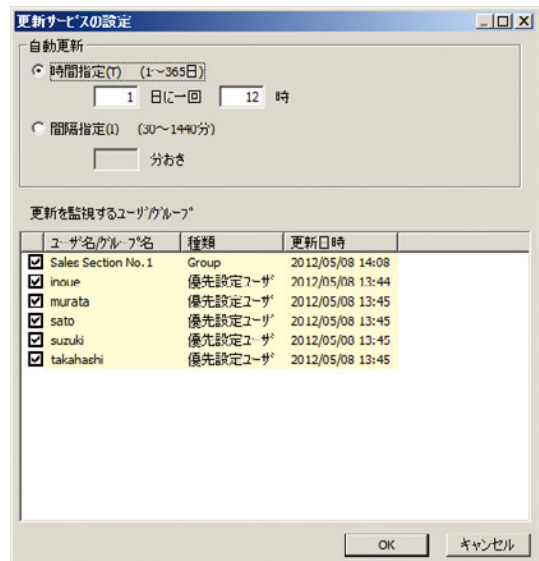
- 3 「設定」をクリックします。



- 4 「Active Directory ユーザー/グループ設定」で「更新サービスの設定」をクリックします。



- 5 自動更新タイミングを設定します。



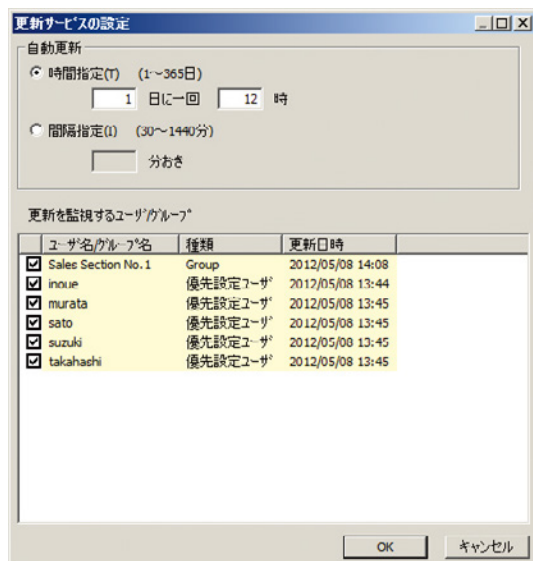
時間指定

決まった時刻に自動更新することができます。日単位で設定することができます。

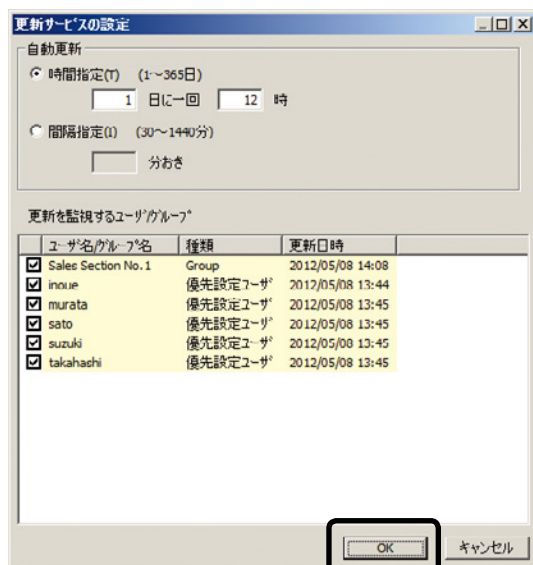
間隔指定

分単位で自動更新の間隔を指定することができます。

- ⑥ 更新を監視するユーザー/グループを設定します。
- ⑦ Active Directory 上で更新を監視するユーザー/グループにチェックを付けます。グループにチェックを付けた場合はグループに所属するユーザーも監視します。



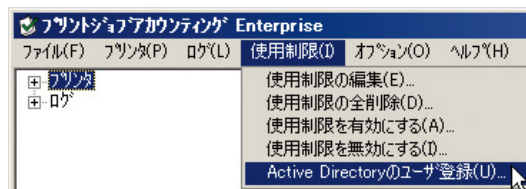
- ⑧ 「OK」をクリックします。



ユーザーの設定を直ちに更新するには

「更新サービスの設定」画面で設定した自動更新タイミング以外にすぐに更新を行うことができます。

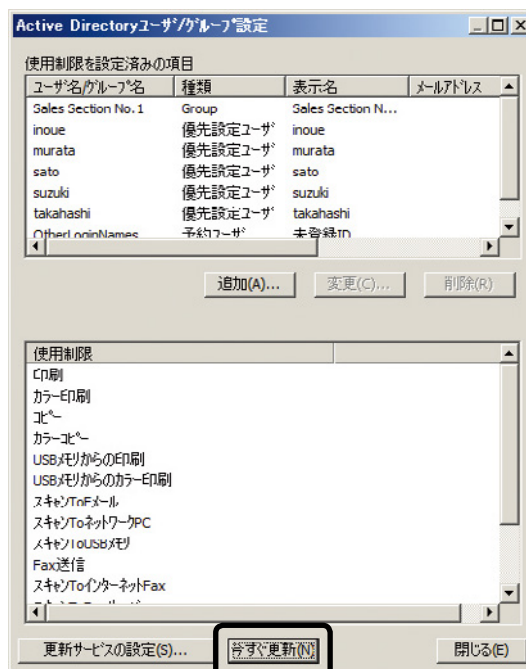
- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 「使用制限」メニューの「Active Directory のユーザ登録」をクリックします。



- ③ 「設定」をクリックします。



- ④ 「Active Directory ユーザ/グループ設定」で「今すぐ更新」をクリックします。



設定を適用するユーザーを選択するには

「Active Directory と同期しているログイン名 / グループ名」画面で「適用」をクリックしたときにプリンターに登録するユーザー / グループを選択することができます。

- ① 「Active Directory と同期しているログイン名 / グループ名」画面のプリンター一覧でプリンターを選択します。



- ② 「登録ユーザの選択」をクリックします。



- ③ 「登録ユーザの選択」画面でプリンターに登録するユーザー / グループにチェックを付けます。



- ④ 「OK」をクリックします。



- 注** 「登録ユーザの選択」画面にはグループに所属するユーザーは表示されません。

Memo

7. 管理している情報をデータベースに保存します (Enterprise 版のみ)

データベースに接続するための設定をします	136
管理している情報をデータベースに記録するプリンターを設定します	138
データベースに課金額をエクスポートします	139
データベースから課金額を削除します	140
データベースにログをエクスポートします	141
データベースからログを削除します	142
データベースにプリンターユーザーをエクスポートします	143
データベース接続ユーザーを登録します	144
データベース接続ユーザーの権限を変更します	146
データベース接続ユーザーのパスワードを変更します	147
データベース接続ユーザーを削除します	148
データベースを最新バージョンに更新するには	149
サーバーソフトウェアの起動時にエラーメッセージを表示するには	150
管理者にエラー通知メールを送信するには	151
ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows 8.1]	152
ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows Server 2012 R2]	152
ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows 8]	152
ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows Server 2012]	152
ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows 7]	152
ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows Server 2008]	155
ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows Vista]	157
ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows Server 2003]	160

7. 管理している情報をデータベースに保存します (Enterprise 版のみ)

管理しているログやユーザー ID、課金額の定義をデータベースにエクスポートし、Web ブラウザーからログやユーザー ID、課金額の定義を参照する方法について説明します。ログはプリンターから取得できた時点でデータベースにエクスポートすることが可能です。ユーザー ID はプリンターに登録や削除、設定変更できた時点でデータベースにエクスポートすることが可能です。管理している情報をデータベースにエクスポートするには、以下の設定をする必要があります。

- データベースソフトウェアの設定 (本ページ、「データベースソフトウェアを設定します」参照)
- データベースに接続するための設定 (本ページ、「データベースに接続するための設定をします」参照)

管理しているログとユーザー ID をデータベースにエクスポートするには、上記の設定に加えて以下の設定をする必要があります。

- 管理している情報をデータベースにエクスポートしたいプリンターのデータベースに記録する設定が有効であること (138 ページ)

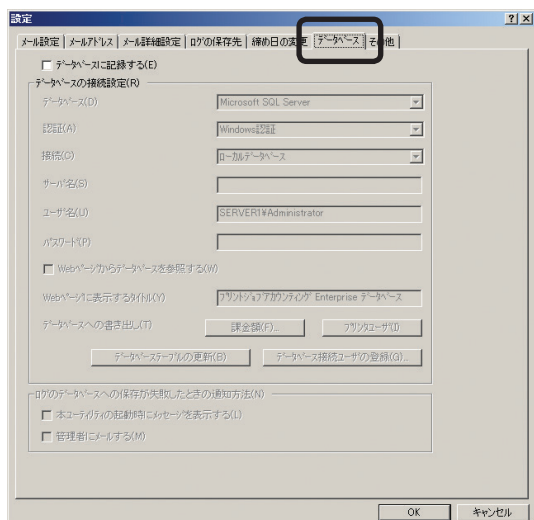
7

データベースに接続するための設定をします

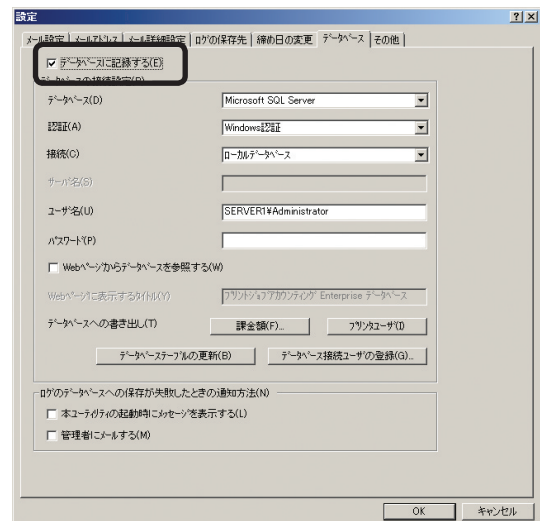
- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 「オプション」メニューの「設定」をクリックします。



- ③ 「データベース」タブを表示します。



- ④ 「データベースに記録する」にチェックを付けます。



注! 「データベースに記録する」を無効にするとデータベースに接続しません。

- ⑤ 接続するデータベースについての設定を行います。

データベース

接続するデータベースの種類を選択します。選択可能なデータベースは、Microsoft SQL Server、Microsoft SQL Server Express Edition、Microsoft Access です。

認証

データベースに接続するときの認証方式を選択します。

Windows 認証

データベースに登録されている Windows ユーザーの権限で認証接続します。Microsoft SQL Server、Microsoft SQL Server Express Edition でのみ選択が可能です。

ユーザ認証

データベースに登録されているユーザー認証用ユーザーの権限で認証接続します。

接続

接続するデータベースはローカル接続かネットワーク接続かを指定します。

ローカルデータベース

このコンピューターに存在するデータベースに接続します。

ネットワークデータベース

ネットワーク上の別のコンピューターに存在するデータベースに接続します。

サーバ名

接続するデータベースの存在するコンピューターの IP アドレスまたはコンピューター名を指定します。最大半角 270 文字まで入力できます。

パス名

接続するデータベースの存在するパス名を指定します。最大半角 270 文字まで入力できます。Microsoft Access のときのみ入力が可能です。

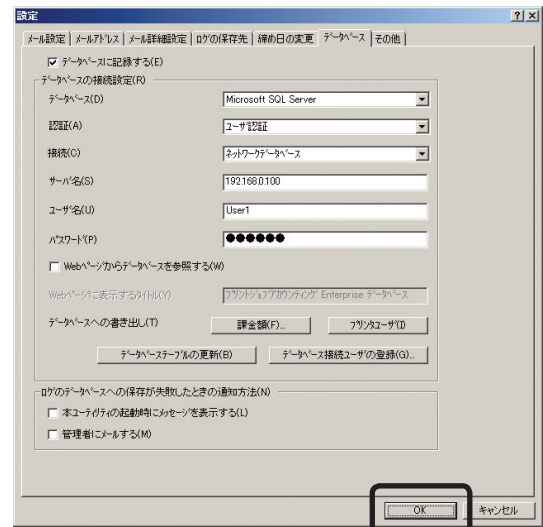
ユーザ名

接続するデータベースのユーザー名を指定します。最大半角 80 文字まで入力できます。「認証」で Windows 認証が選択されている場合は、ログ取得サービスから Windows 認証でデータベースに接続することができる有効な Windows アカウント名を指定します。例えば、コンピューターの管理者です。

パスワード

接続するデータベースのパスワードを指定します。最大半角 80 文字まで入力できます。「認証」で Windows 認証が選択されている場合は、Windows アカウント名のパスワードを指定します。

- ⑥ 「OK」をクリックします。設定したデータベースへの接続を行い、成功すれば設定を完了します。



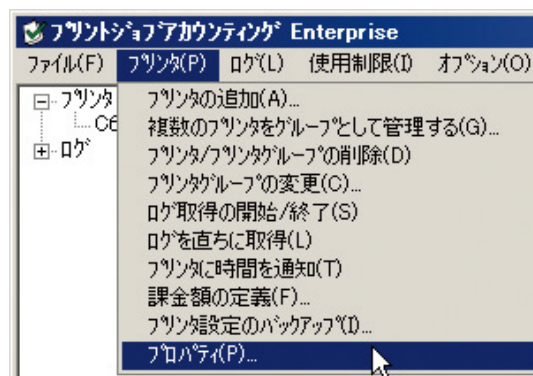
管理している情報をデータベースに記録するプリンターを設定します

- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 選択ウィンドウの「プリンタ」をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウィンドウに表示されます。

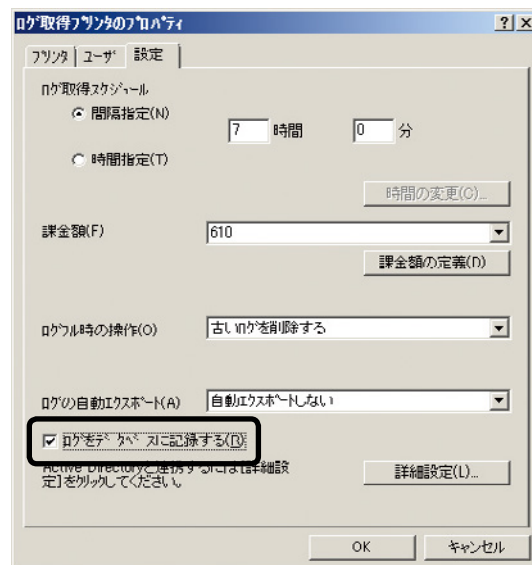


- ④ プリンターを選択し、「プリンタ」メニューから「プロパティ」を選択します。

メモ プリンターは複数選択することができます。

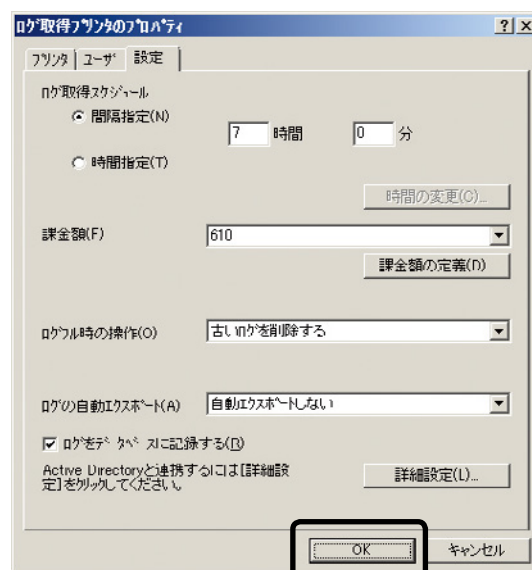


- ⑤ 「設定」タブの「ログをデータベースに記録する」にチェックを付けます。

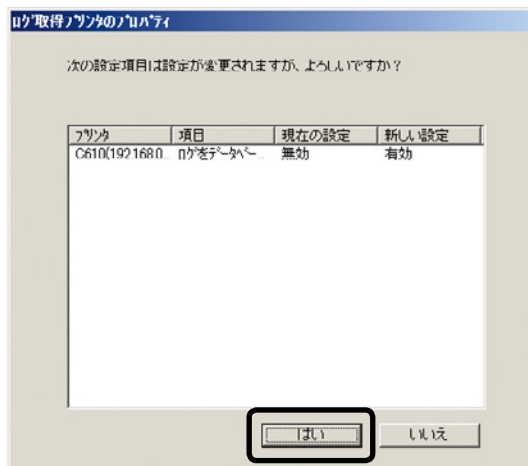


注 データベースに接続するための設定(136 ページ)を実施していない場合、「ログをデータベースに記録する」はグレーアウトされます。

- ⑥ 「OK」をクリックします。



- ⑦ 変更される設定を通知する画面が表示されますので、「はい」をクリックします。



- ⑧ プリンターに登録済みのユーザー ID をデータベースにエクスポートするかどうか問い合わせる画面が表示されますので、直ちにエクスポートする場合は「はい」をクリックします。エクスポートしない場合は「いいえ」をクリックします。
- ⑨ 設定の完了を通知する画面が表示された場合は、「閉じる」をクリックします。

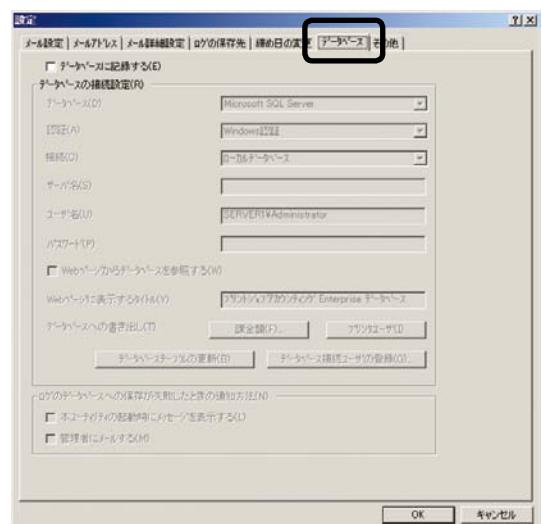
データベースに課金額をエクスポートします

管理している課金額の定義をデータベースにエクスポートします。

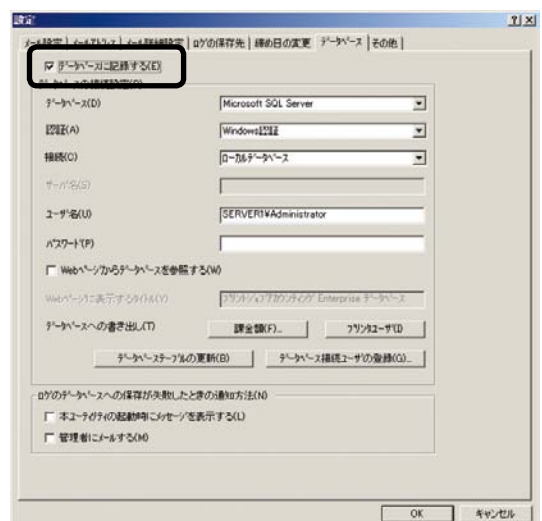
- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 「オプション」メニューの「設定」をクリックします。



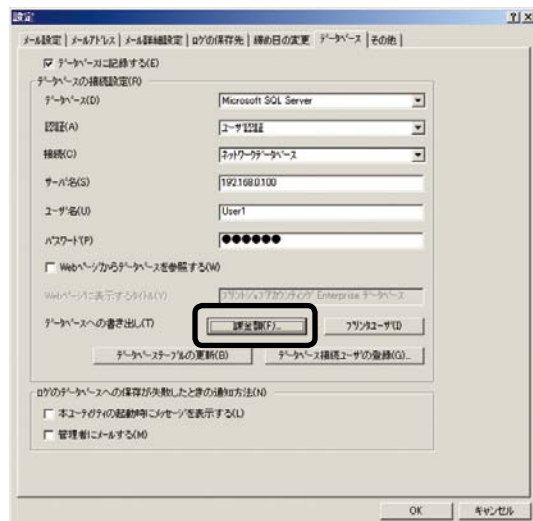
- ③ 「データベース」タブを表示します。



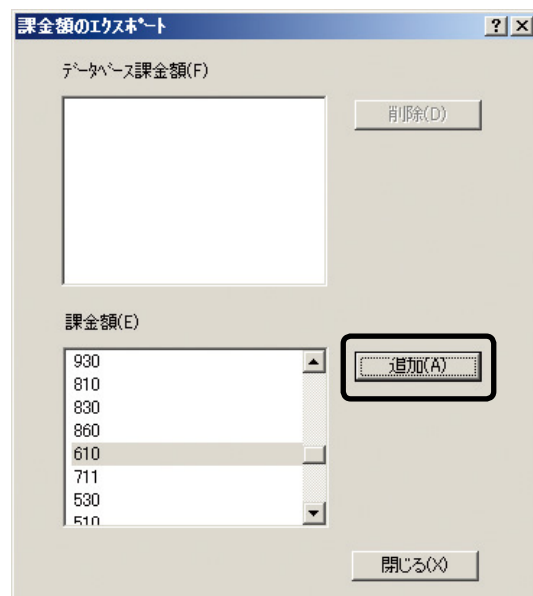
- ④ 「データベースに記録する」にチェックを付けます。



- ⑤ 接続するデータベースについての設定を行います。接続するデータベースについての設定は「データベースに接続するための設定をします」(136 ページ) をご覧ください。
- ⑥ 「課金額」をクリックします。設定したデータベースへの接続を行い、成功すれば課金額のエクスポート画面が表示されます。



- ⑦ 「課金額」で課金額を選択して「追加」をクリックします。



- 注: 既にデータベースに存在する課金額は上書きされます。
- 文字列の中に存在するシングルクォーテーションは空白文字に置換されてデータベースに保存されます。

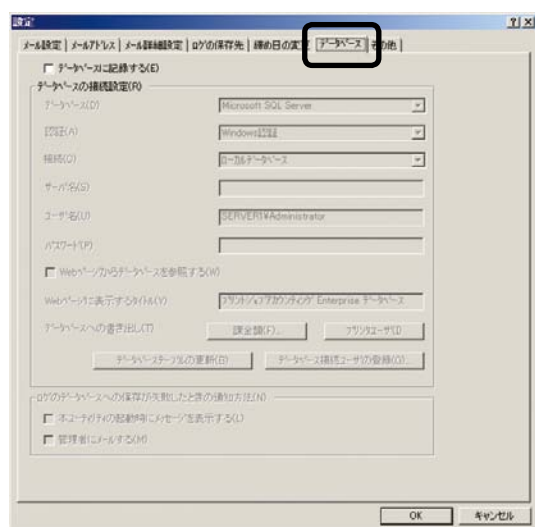
データベースから課金額を削除します

データベースから課金額の定義を削除します。

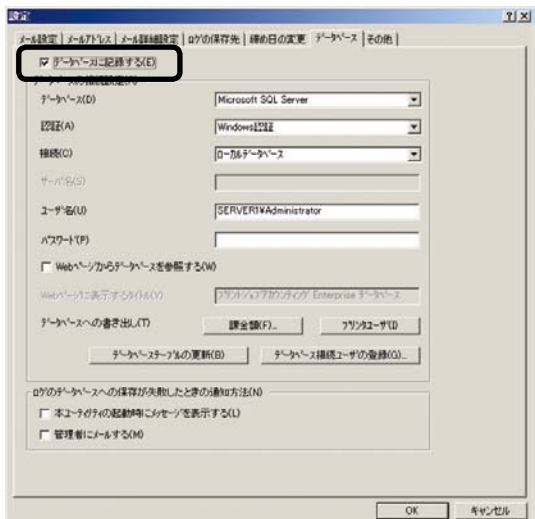
- ① サーバソフトウェアを起動します。
- ② 「オプション」メニューの「設定」をクリックします。



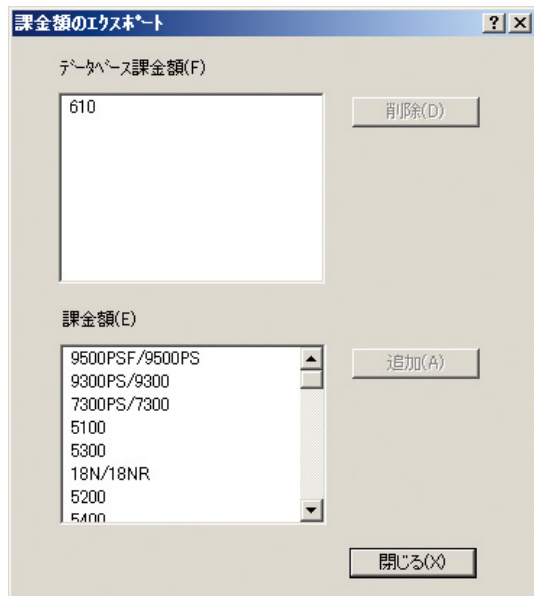
- ③ 「データベース」タブを表示します。



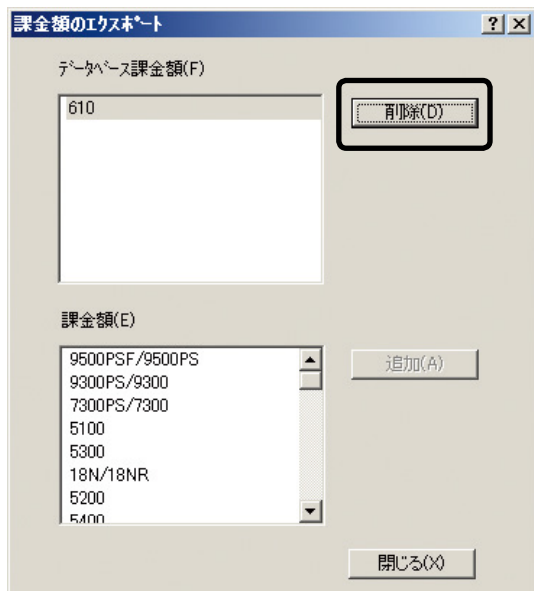
- ④ 「データベースに記録する」にチェックを付けます。



- ⑤ 接続するデータベースについての設定を行います。接続するデータベースについての設定は「データベースに接続するための設定をします」(136 ページ) をご覧ください。
- ⑥ 「課金額」をクリックします。設定したデータベースへの接続を行い、成功すれば課金額のエクスポート画面が表示されます。



- ⑦ 「データベース課金額」で課金額を選択して「削除」をクリックします。



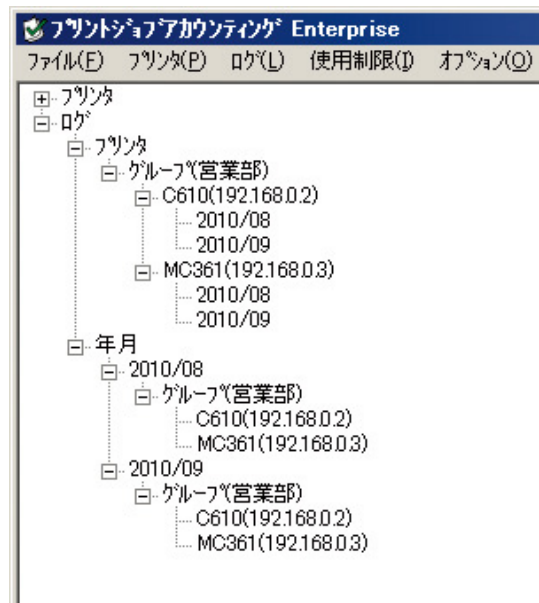
データベースにログをエクスポートします

取得したログをデータベースに書き出します。データベースに書き出すログの項目を変更するには「書き出すログの項目を変更するには」(184 ページ) をご覧ください。

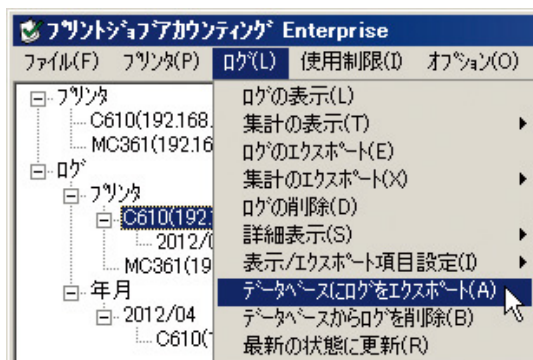
- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 選択ウインドウの「ログ」の左にあるプラス記号をクリックします。ログのツリーが開きます。



- ③ 手順2 と同様の操作で「プリンタ」または「年月」のツリーを開きます。



- ④ 書き出したいログを選択し、「ログ」メニューから「データベースにログをエクスポート」を選択します。

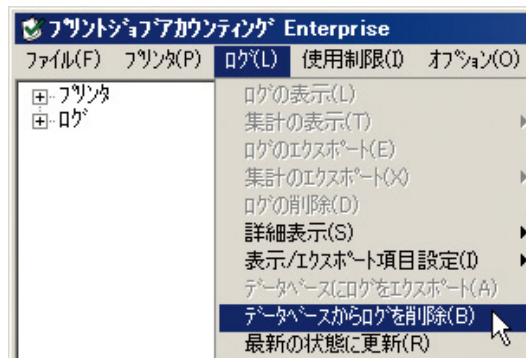


- 注!**
- 文字列の中に存在するシングルクォーテーションは空白文字に置換されてデータベースに保存されます。
 - データベースに記録する設定が無効なプリンターのログはエクスポートされません。データベースに記録する設定を有効にするには「管理している情報をデータベースに記録するプリンターを設定します」(138ページ)をご覧ください。

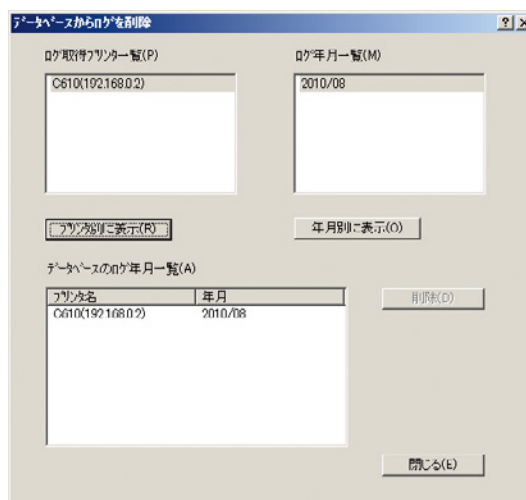
データベースからログを削除します

データベースからログを削除します。

- ① サーバソフトウェアを起動します。
- ② 「ログ」メニューの「データベースからログを削除」をクリックします。



- ③ 「プリンタ別に表示」または「年月別に表示」のいずれかの方法でデータベースのログを表示します。



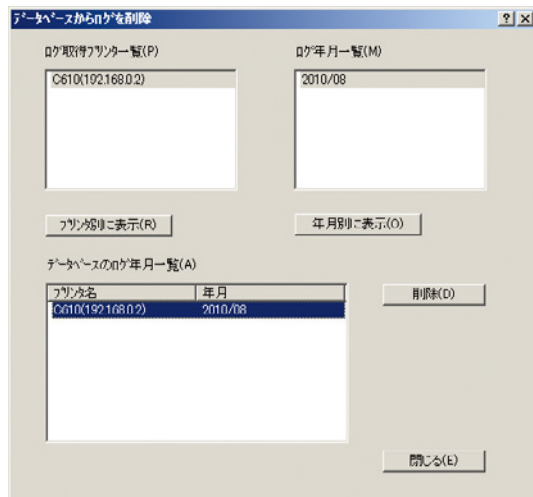
プリンタ別に表示

「ログ取得プリンター一覧」で選択したプリンターのログ年月のみをデータベースから抽出して表示します。

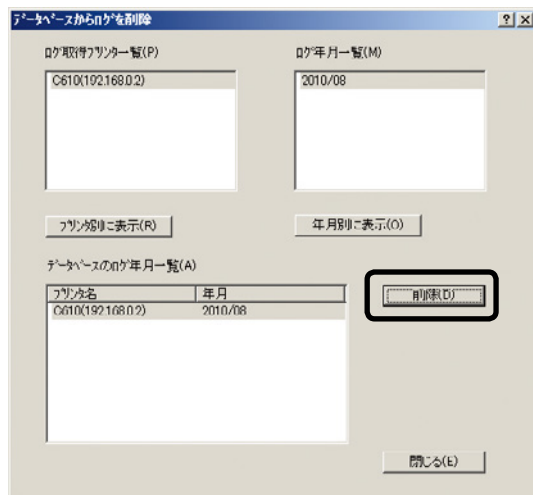
年月別に表示

「ログ年月一覧」で選択したログ年月のみをデータベースから抽出して表示します。

- ④ 「ログ年月一覧」から削除したいログを選択します。



- ⑤ 「削除」をクリックします。



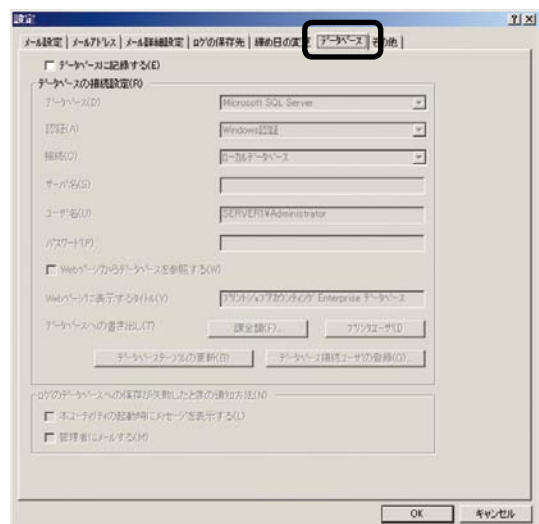
データベースにプリンターユーザーをエクスポートします

管理しているユーザー ID をデータベースにエクスポートします。

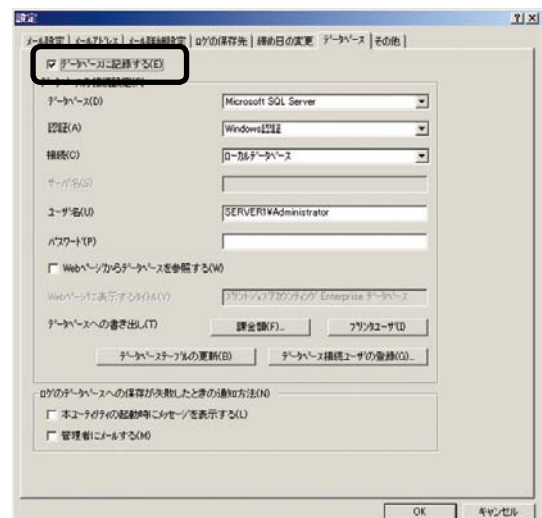
- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 「オプション」メニューの「設定」をクリックします。



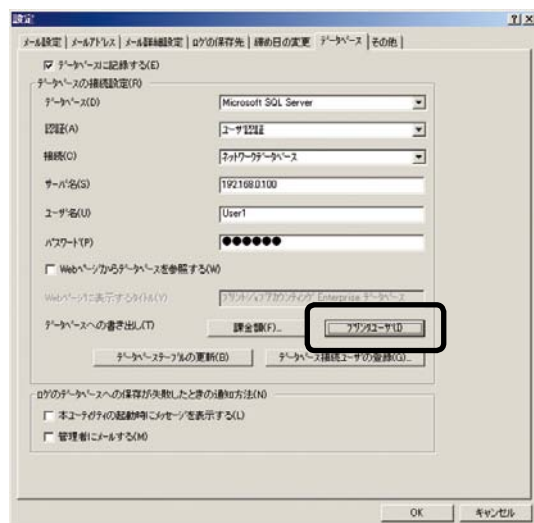
- ③ 「データベース」タブを表示します。



- ④ 「データベースに記録する」にチェックを付けます。



- ⑤ 接続するデータベースについての設定を行います。接続するデータベースについての設定は「データベースに接続するための設定をします」(136 ページ) をご覧ください。
- ⑥ 「プリンタユーザ」をクリックします。



- ⑦ 設定したデータベースへの接続に成功すると、ユーザー ID をデータベースにエクスポートするかどうかの確認画面が表示されますので、「はい」をクリックします。

- 注.**
- 既にデータベースに存在するユーザー ID は上書きされます。
 - データベースに記録する設定が無効なプリンターのユーザー ID はエクスポートされません。データベースに記録する設定を有効にするには「管理している情報をデータベースに記録するプリンターを設定します」(138 ページ) をご覧ください。
 - 文字列の中に存在するシングルクォーテーションは空白文字に置換されてデータベースに保存されます。

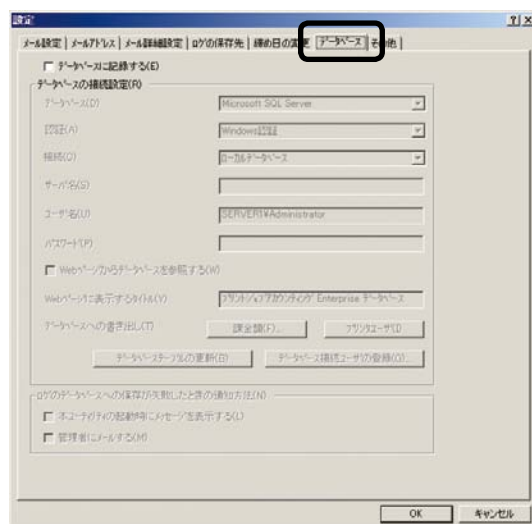
データベース接続ユーザーを登録します

データベース接続ユーザーを登録します。

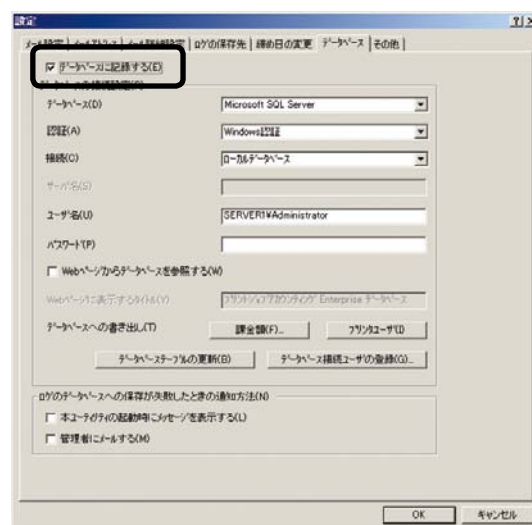
- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 「オプション」メニューの「設定」をクリックします。



- ③ 「データベース」タブを表示します。

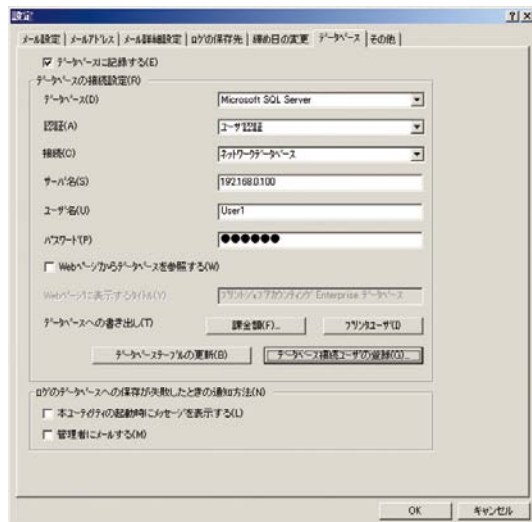


- ④ 「データベースに記録する」にチェックを付けます。

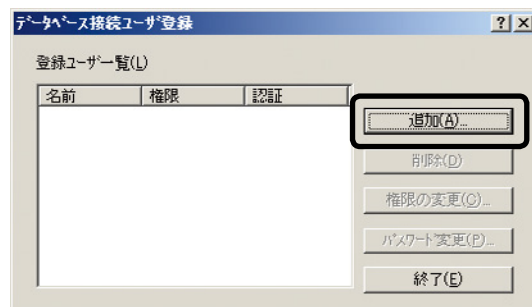


- ⑤ 接続するデータベースについての設定を行います。接続するデータベースについての設定は「データベースに接続するための設定をします」(136 ページ)をご覧ください。

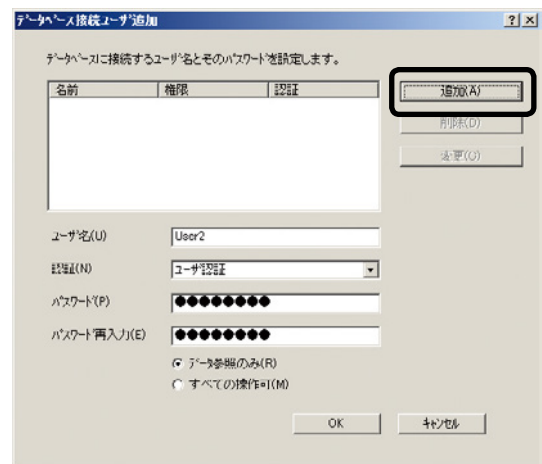
- ⑥ 「データベース接続ユーザの登録」をクリックします。設定したデータベースへの接続に成功すると、「データベース接続ユーザ登録」画面が表示されます。



- ⑦ 「追加」をクリックします。

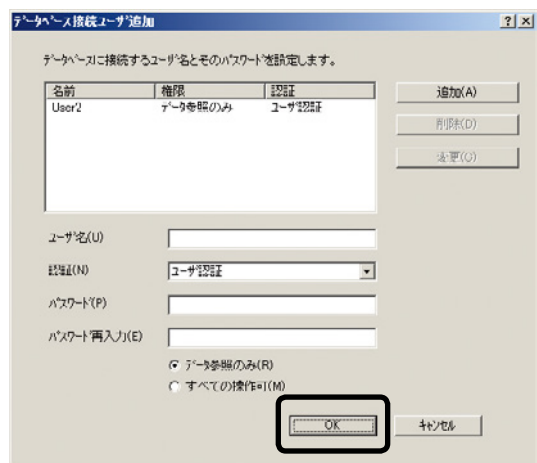


- ⑧ 「ユーザ名」、「認証」、「パスワード」、「パスワード再入力」、権限を指定し、「追加」をクリックします。



- 注！ データベースに既に登録されているユーザーと、ユーザー名が重複する場合は追加できません。

- ⑨ 「OK」をクリックします。



- ⑩ 登録結果を通知する画面が表示されますので、「閉じる」をクリックします。



- 注！ Microsoft Access のデータベースに登録するユーザーは、Web サイトからデータベースを参照するための認証のみに使用します。

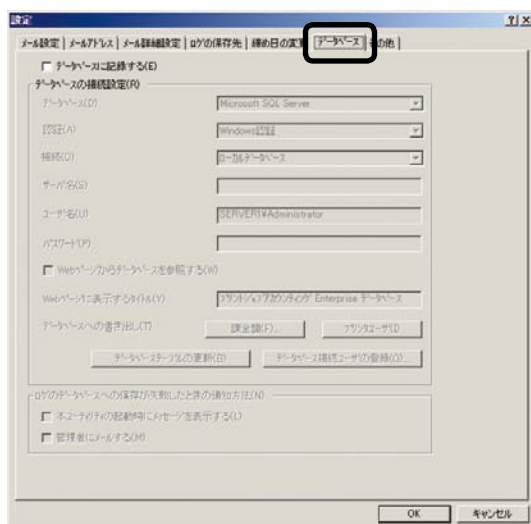
データベース接続ユーザーの権限を変更します

登録済みのデータベース接続ユーザーの権限を変更します。

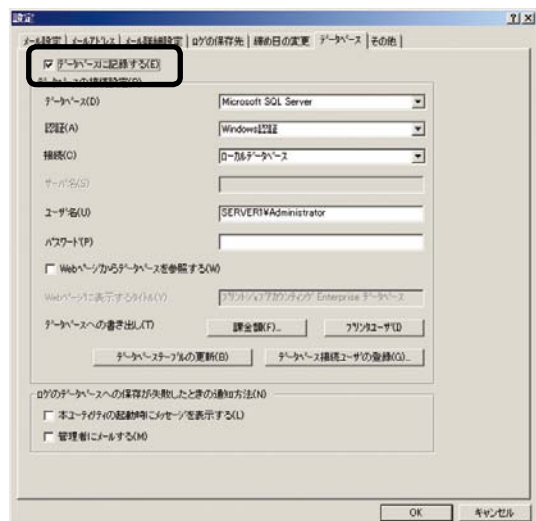
- 1 サーバーソフトウェアを起動します。
- 2 「オプション」メニューの「設定」をクリックします。



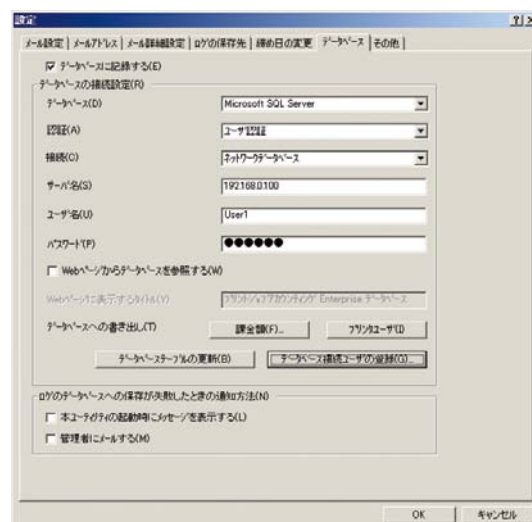
- 3 「データベース」タブを表示します。



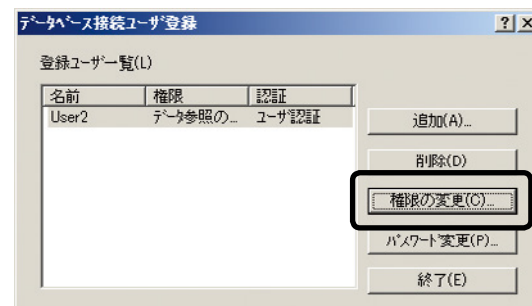
- 4 「データベースに記録する」にチェックを付けます。



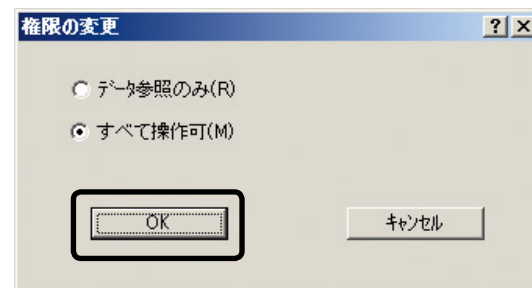
- 5 接続するデータベースについての設定を行います。接続するデータベースについての設定は「データベースに接続するための設定をします」(136 ページ) をご覧ください。
- 6 「データベース接続ユーザの登録」をクリックします。設定したデータベースへの接続に成功すると、「データベース接続ユーザ登録」画面が表示されます。



- 7 「登録ユーザー一覧」で権限を変更したいユーザーを選択し、「権限の変更」をクリックします。



- 8 権限を選択し、「OK」をクリックします。



- 9 権限の変更結果を通知する画面が表示されますので、「閉じる」をクリックします。

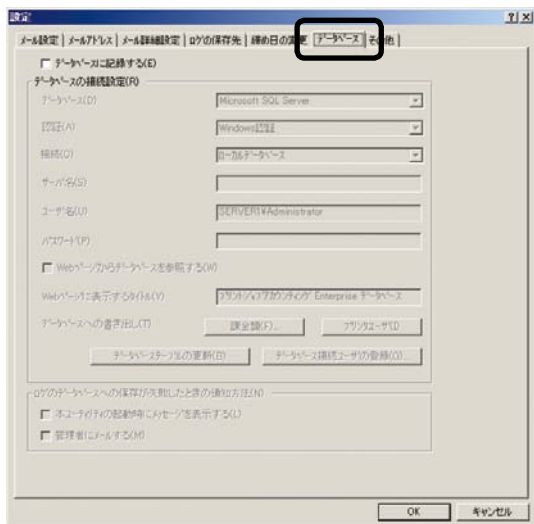
データベース接続ユーザーのパスワードを変更します

登録済みのデータベース接続ユーザーのパスワードを変更します。

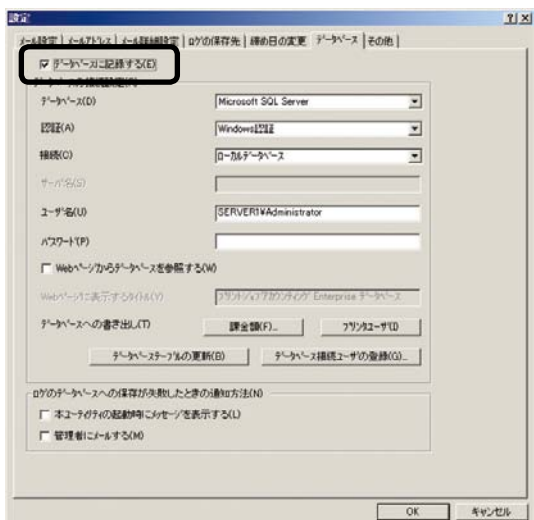
- 1 サーバーソフトウェアを起動します。
- 2 「オプション」メニューの「設定」をクリックします。



- 3 「データベース」タブを表示します。

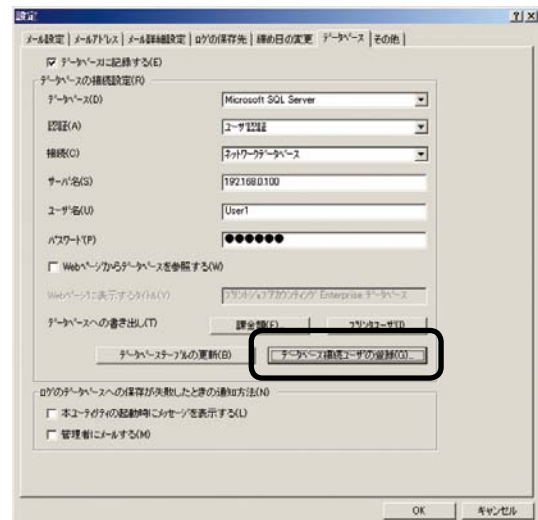


- 4 「データベースに記録する」にチェックを付けます。

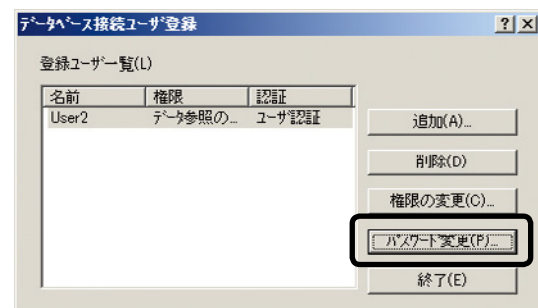


- 5 接続するデータベースについての設定を行います。接続するデータベースについての設定は「データベースに接続するための設定をします」(136 ページ)をご覧ください。

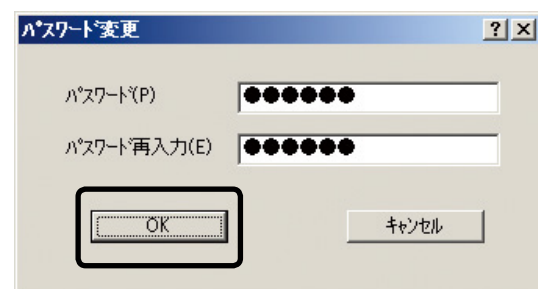
- 6 「データベース接続ユーザーの登録」をクリックします。設定したデータベースへの接続に成功すると、「データベース接続ユーザー登録」画面が表示されます。



- 7 「登録ユーザー一覧」で権限を変更したいユーザーを選択し、「パスワード変更」をクリックします。



- 8 「パスワード」、「パスワード再入力」を入力し、「OK」をクリックします。



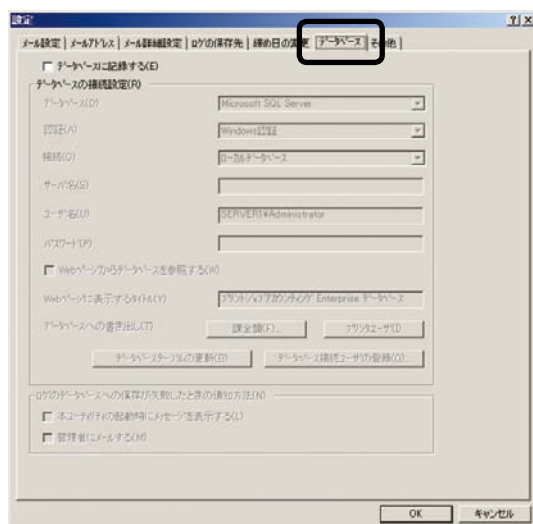
データベース接続ユーザーを削除します

登録済みのデータベース接続ユーザーを削除します。

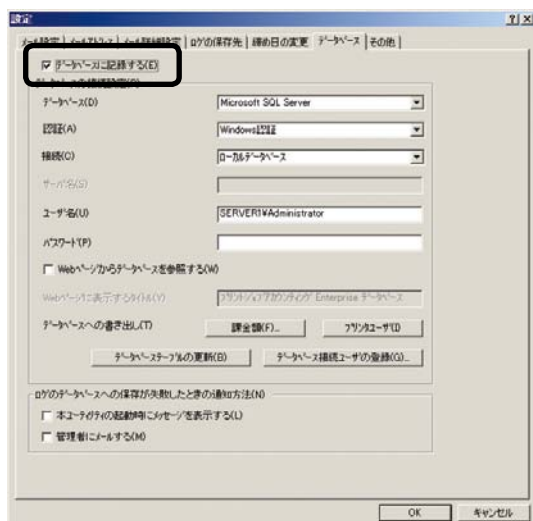
- 1 サーバーソフトウェアを起動します。
- 2 「オプション」メニューの「設定」をクリックします。



- 3 「データベース」タブを表示します。

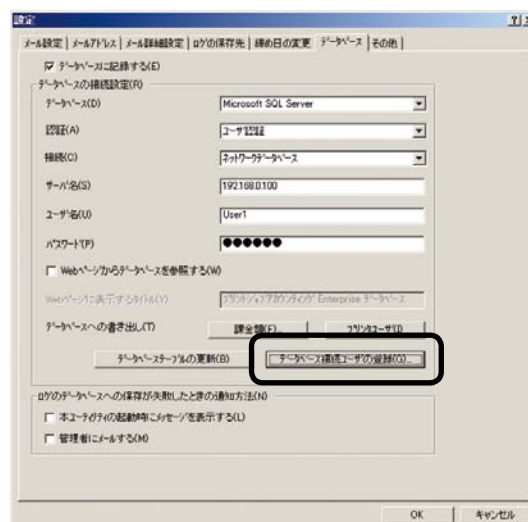


- 4 「データベースに記録する」にチェックを付けます。

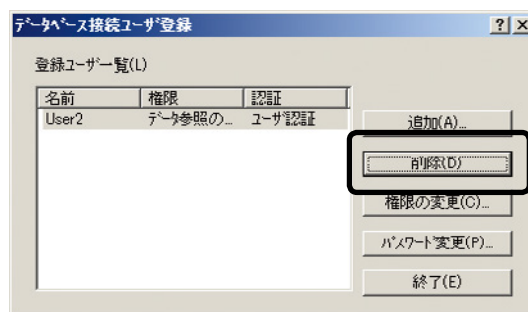


- 5 接続するデータベースについての設定を行います。接続するデータベースについての設定は「データベースに接続するための設定をします」(136 ページ) をご覧ください。

- 6 「データベース接続ユーザーの登録」をクリックします。設定したデータベースへの接続に成功すると、「データベース接続ユーザ登録」画面が表示されます。



- 7 「登録ユーザー一覧」で削除したいユーザーを選択し、「削除」をクリックします。



- 8 ユーザーを削除するかどうか問い合わせる画面が表示されますので、「はい」をクリックします。

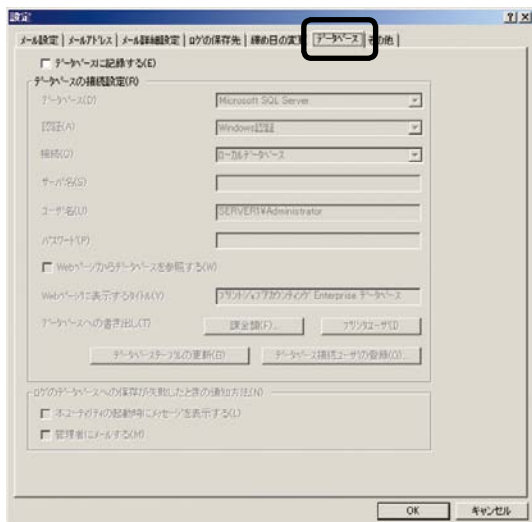
データベースを最新バージョンに更新するには

サーバーソフトウェアのバージョンアップに伴い、新しいフォーマットのデータベースが使用可能な場合、データベースのフォーマットを最新バージョンに更新することができます。既にデータベースに存在するデータは引き継がれます。

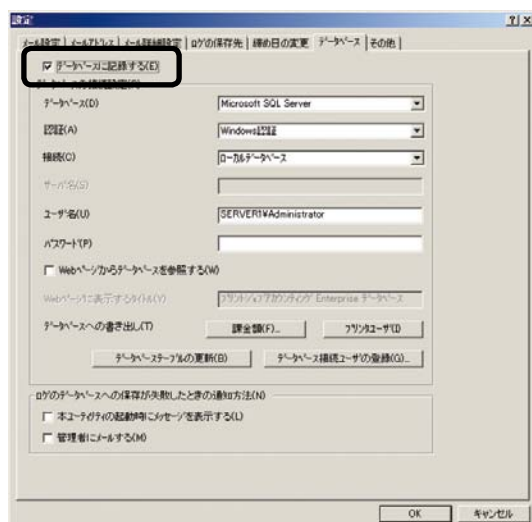
- 1 サーバーソフトウェアを起動します。
- 2 「オプション」メニューの「設定」をクリックします。



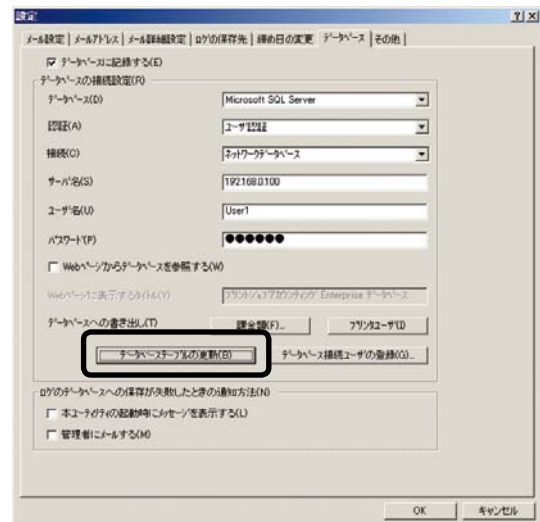
- 3 「データベース」タブを表示します。



- 4 「データベースに記録する」にチェックを付けます。



- 5 接続するデータベースについての設定を行います。接続するデータベースについての設定は「データベースに接続するための設定をします」(136 ページ) をご覧ください。
- 6 「データベーステーブルの更新」をクリックします。設定したデータベースへの接続に成功すると、データベースを最新バージョンに更新するかどうか問い合わせる画面が表示されますので、「はい」をクリックします。



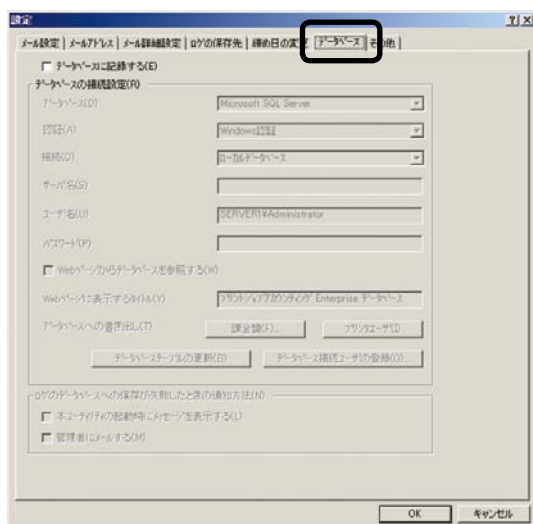
サーバーソフトウェアの起動時にエラーメッセージを表示するには

ログのデータベースへの追加に失敗した際、起動時にメッセージを表示することができます。

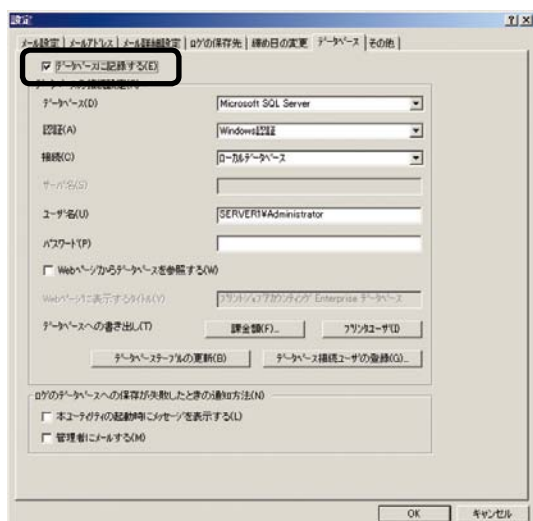
- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 「オプション」メニューの「設定」をクリックします。



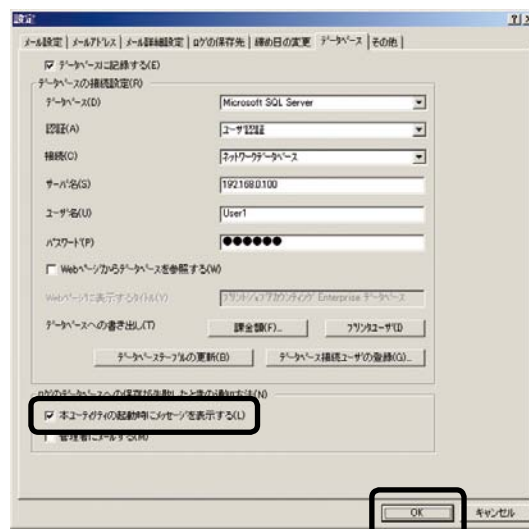
- ③ 「データベース」タブを表示します。



- ④ 「データベースに記録する」にチェックを付けます。



- ⑤ 接続するデータベースについての設定を行います。接続するデータベースについての設定は「データベースに接続するための設定をします」(136 ページ) をご覧ください。
- ⑥ 「本ユーティリティの起動時にメッセージを表示する」にチェックを付け、「OK」をクリックします。設定したデータベースへの接続に成功すると、設定が保存されます。



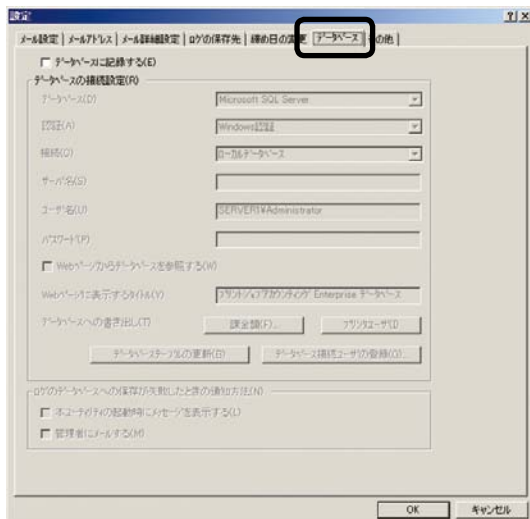
管理者にエラー通知メールを送信するには

ログのデータベースへの追加に失敗した際、一日に一回エラー内容をメールで管理者に通知することができます。

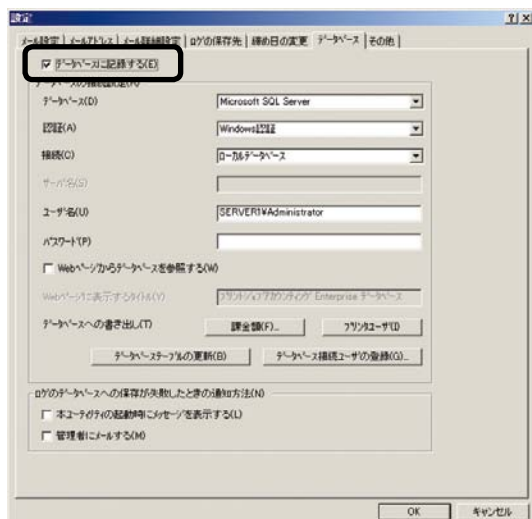
- 1 サーバーソフトウェアを起動します。
- 2 「オプション」メニューの「設定」をクリックします。



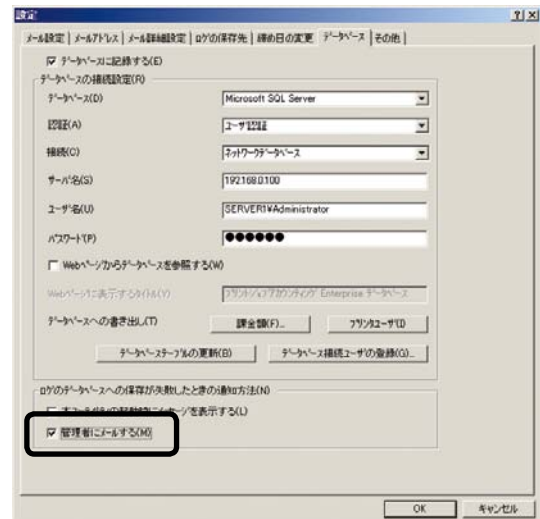
- 3 「データベース」タブを表示します。



- 4 「データベースに記録する」にチェックを付けます。



- 5 接続するデータベースについての設定を行います。接続するデータベースについての設定は「データベースに接続するための設定をします」(136 ページ) をご覧ください。
- 6 「管理者にメールする」にチェックを付けます。設定したデータベースへの接続に成功すると、設定が保存されます。



- 注** あらかじめ「メール送信機能の設定をします」(206 ページ) に従って、送信メールサーバー、送信者のメールアドレス、管理者のメールアドレスを設定する必要があります。

ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows 8.1]

サーバーソフトウェアを Microsoft Windows 7 で使用する場合に、ウェブサイトを作成する方法と同じです。

サーバーソフトウェアを Microsoft Windows 7 で使用する場合に、ウェブサイトを作成する方法につきましては、「ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows 7]」(152 ページ) をご覧ください。

ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows Server 2012 R2]

サーバーソフトウェアを Microsoft Windows Server 2008 で使用する場合に、ウェブサイトを作成する方法と同じです。

サーバーソフトウェアを Microsoft Windows Server 2008 で使用する場合に、ウェブサイトを作成する方法につきましては、「ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows Server 2008]」(155 ページ) をご覧ください。

ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows 8]

サーバーソフトウェアを Microsoft Windows 7 で使用する場合に、ウェブサイトを作成する方法と同じです。

サーバーソフトウェアを Microsoft Windows 7 で使用する場合に、ウェブサイトを作成する方法につきましては、「ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows 7]」(152 ページ) をご覧ください。

ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows Server 2012]

サーバーソフトウェアを Microsoft Windows Server 2008 で使用する場合に、ウェブサイトを作成する方法と同じです。

サーバーソフトウェアを Microsoft Windows Server 2008 で使用する場合に、ウェブサイトを作成する方法につきましては、「ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows Server 2008]」(155 ページ) をご覧ください。

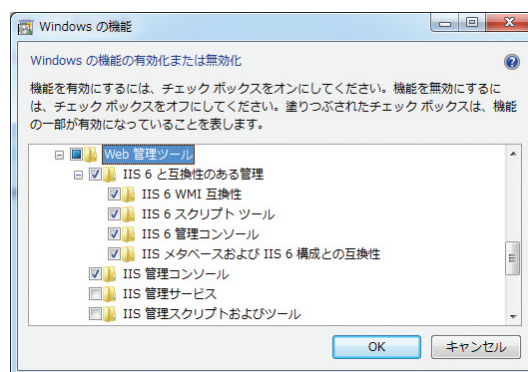
ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows 7]

サーバーソフトウェアを Microsoft Windows 7 で使用する場合に、ウェブサイトを作成する方法について説明します。

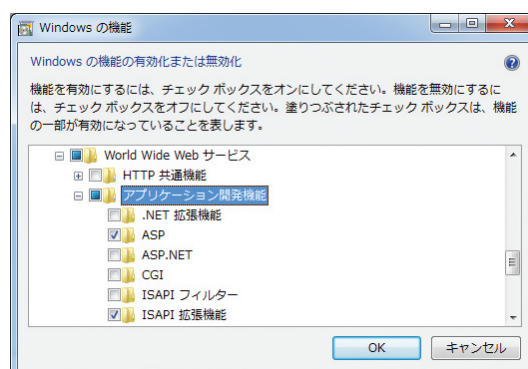
インターネットインフォメーションサービスをインストールします

ウェブサイトを作成するには、コンピューターにインターネットインフォメーションサービスをインストールしておく必要があります。

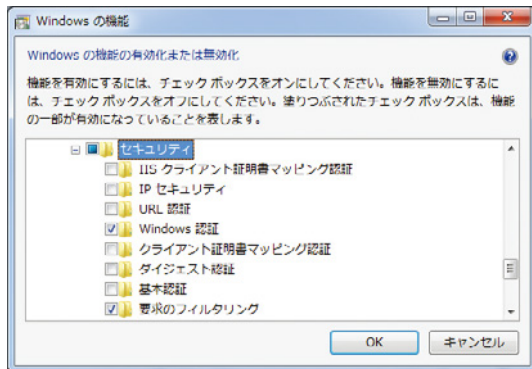
- ① [コントロールパネル] - [プログラムと機能] を選択し、[Windows の機能の有効化または無効化] を選択します。
- ② [インターネットインフォメーションサービス] の [Web 管理ツール]、[IIS 6 と互換性のある管理] のすべての項目と [IIS 6 管理コンソール] にチェックを付けます。



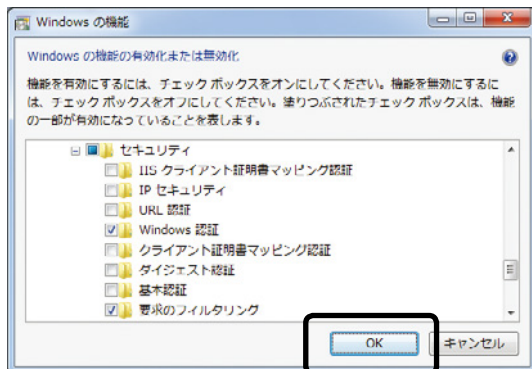
- ③ [インターネットインフォメーションサービス] の [World Wide Web サービス]、[アプリケーション開発機能] の [ASP] と [ISAPI 拡張機能] にチェックを付けます。



- ④ [インターネットインフォメーションサービス] の [World Wide Web サービス]、[セキュリティ] の [Windows 認証] にチェックを付けます。



- ⑤ [OK] をクリックします。



Microsoft Access データベースを参照するための設定をします

ウェブサイトから Microsoft Access データベースを参照する場合は、次のフォルダーの [プロパティ]、[セキュリティ] タブで "Authenticated Users" を追加し、"Authenticated Users" の権限をフルコントロールに昇格する必要があります。

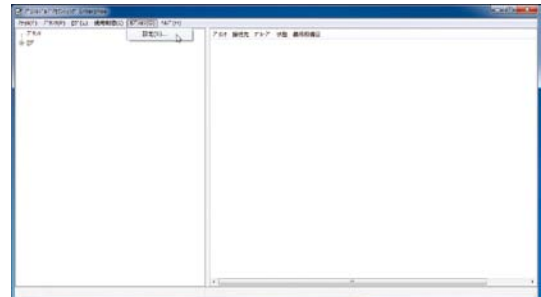
(システムドライブ) Windows\temp\

Microsoft SQL Server、Microsoft SQL Server Express のバージョンを確認します

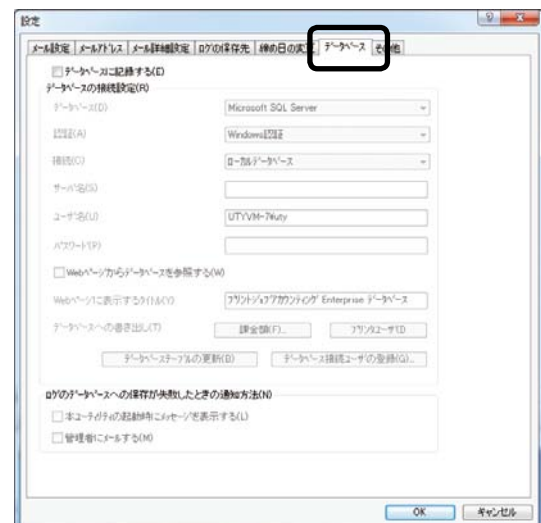
ウェブサイトから Microsoft SQL Server データベースまたは Microsoft SQL Server Express Edition データベースを参照する場合は、データベースが Microsoft SQL Server 2005 Service Pack 2 以上または Microsoft SQL Server 2005 Express Edition Service Pack 2 以上のバージョンである必要があります。

ウェブサイトを作成します

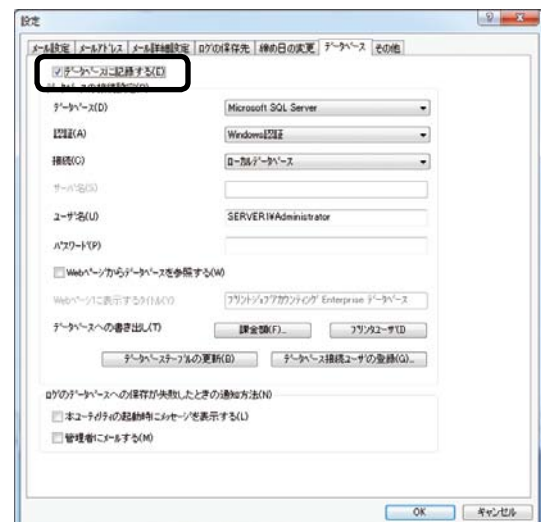
- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 「オプション」メニューの「設定」をクリックします。



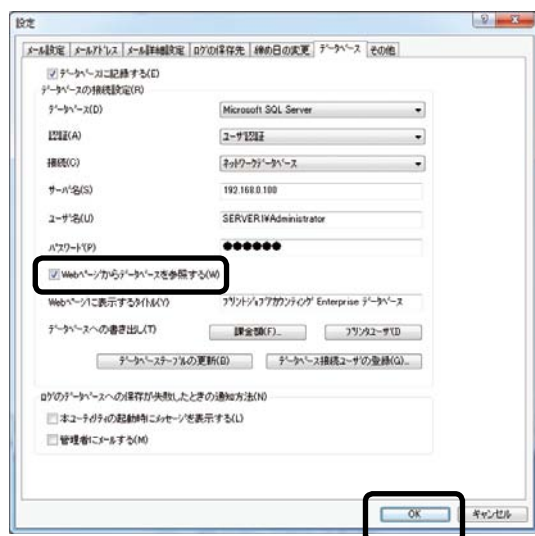
- ③ 「データベース」タブを表示します。



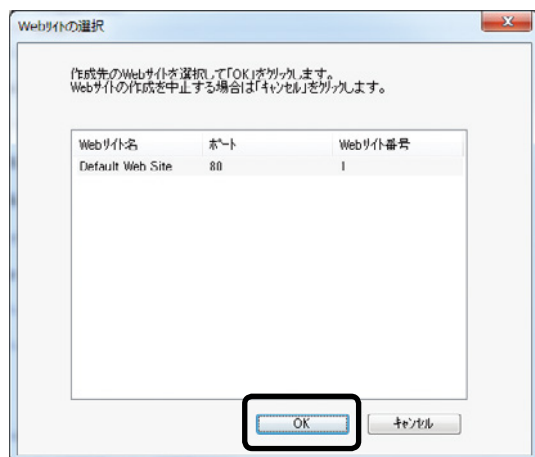
- ④ 「データベースに記録する」にチェックを付けます。



- ⑤ 接続するデータベースについての設定を行います。接続するデータベースについての設定は「データベースに接続するための設定をします」(136 ページ) をご覧ください。
- ⑥ 「Web ページからデータベースを参照する」にチェックを付け、「Web ページに表示するタイトル」を入力し、「OK」をクリックします。



- ⑦ 設定したデータベースへの接続に成功すると、「Web サイトの選択」画面が表示されますので、Web サイトを選択し「OK」をクリックします。



ウェブサイトを設定します

Web ブラウザーから作成したウェブサイトアクセスするための設定をコンピューターに対して行います。Web ブラウザーから Windows 認証方式でアクセスさせる場合とユーザー認証方式でアクセスさせる場合で設定方法は異なります。

Windows 認証方式でアクセスする場合

- ① [コントロールパネル] - [管理ツール] を選択し、[インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャ] を開きます。
- ② 画面が表示されるので、ウェブサイト [JALogDB] を選択し、[認証] をクリックします。
- ③ [匿名認証] を無効にし、[Windows 認証] を有効にします。

注. [匿名認証] をチェックすると、任意のユーザーがデータベース参照可能になりますのでご注意ください。

ユーザー認証方式でアクセスする場合

- ① [コントロールパネル] - [管理ツール] を選択し、[インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャ] を選択します。
- ② 画面が表示されるので、ウェブサイト [JALogDB] を選択し、[認証] をクリックします。
- ③ [Windows 認証] を無効にします。

ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows Server 2008]

サーバーソフトウェアを Microsoft Windows Server 2008 で使用する場合に、ウェブサイトを作成する方法について説明します。

インターネットインフォメーションサービスをインストールします

ウェブサイトを作成するには、コンピュータにインターネットインフォメーションサービスをインストールしておく必要があります。

- ① [管理ツール]、[サーバマネージャ] を選択し、[役割]、[役割の追加] を選択します。
- ② [Web サーバ (IIS)] を選択し、[管理ツール]、[IIS6 と互換のある管理] のすべての項目にチェックを付けます。
- ③ [Web サーバ (IIS)] を選択し、[管理ツール]、[アプリケーション開発機構] の [ASP] と [ISASP 機能拡張] にチェックを付けます。
- ④ [Web サーバ (IIS)] を選択し、[セキュリティ]、[Windows 認証] にチェックを付けます。
- ⑤ [インストール] をクリックします。

Microsoft Access データベースを参照するための設定をします

ウェブサイトから Microsoft Access データベースを参照する場合は、次のフォルダーの [プロパティ]、[セキュリティ] タブで "Authenticated Users" を追加し、"Authenticated Users" の権限をフルコントロールに昇格する必要があります。

(システムドライブ) Windows\temp\

Microsoft SQL Server、Microsoft SQL Server Express のバージョンを確認します

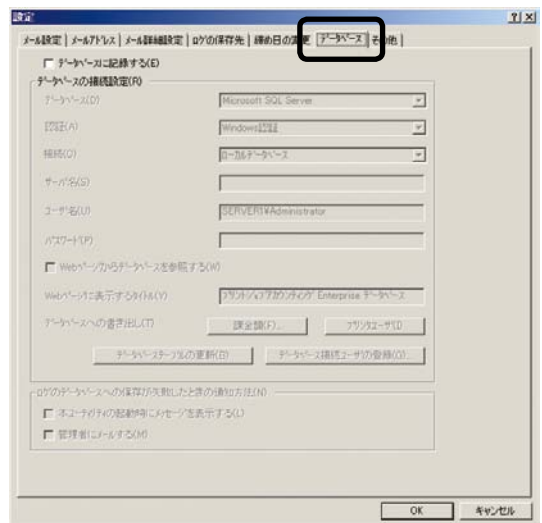
ウェブサイトから Microsoft SQL Server データベースまたは Microsoft SQL Server Express Edition データベースを参照する場合は、データベースが Microsoft SQL Server 2005 Service Pack 2 以上または Microsoft SQL Server 2005 Express Edition Service Pack 2 以上のバージョンである必要があります。

ウェブサイトを作成します

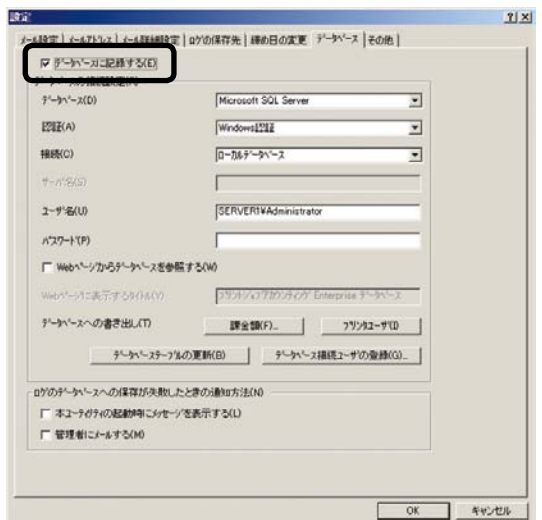
- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 「オプション」メニューの「設定」をクリックします。



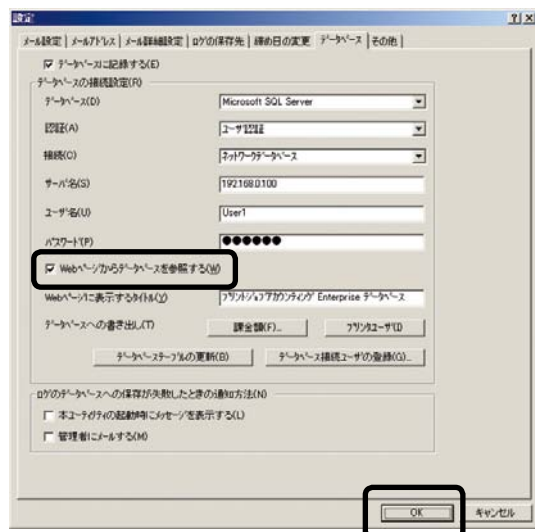
- ③ 「データベース」タブを表示します。



- ④ 「データベースに記録する」にチェックを付けます。



- ⑤ 接続するデータベースについての設定を行います。接続するデータベースについての設定は「データベースに接続するための設定をします」(136 ページ) をご覧ください。
- ⑥ 「Web ページからデータベースを参照する」にチェックを付け、「Web ページに表示するタイトル」を入力し、「OK」をクリックします。



- ⑦ 設定したデータベースへの接続に成功すると、Web サイトの選択画面が表示されますので、Web サイトを選択し「OK」をクリックします。



ウェブサイトを設定します

Web ブラウザーから作成したウェブサイトアクセスするための設定をコンピューターに対して行います。

Web ブラウザーから Windows 認証方式でアクセスさせる場合とユーザー認証方式でアクセスさせる場合で設定方法は異なります。

Windows 認証方式でアクセスする場合

- ① [コントロールパネル] - [管理ツール] を選択し、[インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャ] を開きます。
- ② 画面が表示されるので、ウェブサイト [JALogDB] を選択し、[認証] をクリックします。
- ③ [匿名認証] を無効にし、[Windows 認証] を有効にします。

注. [匿名認証] をチェックすると、任意のユーザーがデータベース参照可能になりますのでご注意ください。

ユーザー認証方式でアクセスする場合

- ① [コントロールパネル] - [管理ツール] を選択し、[インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャ] を選択します。
- ② 画面が表示されるので、ウェブサイト [JALogDB] を選択し、[認証] をクリックします。
- ③ [Windows 認証] を無効にします。

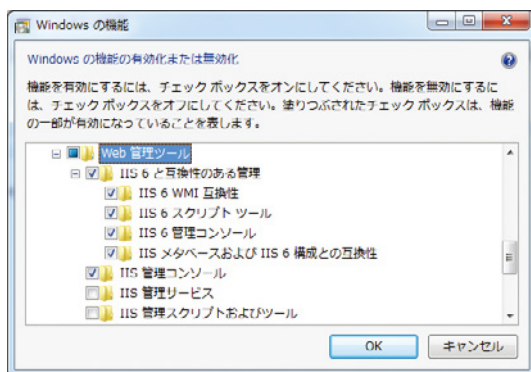
ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows Vista]

サーバーソフトウェアを Microsoft Windows Vista で使用する場合に、ウェブサイトを作成する方法について説明します。

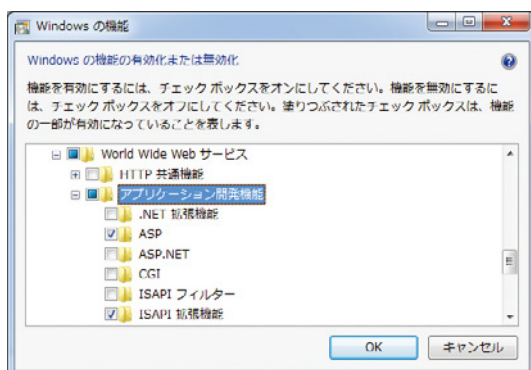
インターネットインフォメーションサービス サービスをインストールします

ウェブサイトを作成するには、コンピュータにインターネットインフォメーションサービスをインストールしておく必要があります。

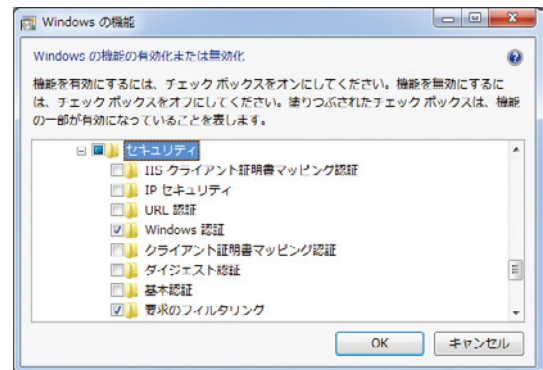
- 1 [コントロールパネル]、[プログラムと機能] を選択し、[Windows の機能の有効化または無効化] を選択します。
- 2 [インターネットインフォメーションサービス] の [Web 管理ツール]、[IIS 6 と互換性のある管理] のすべての項目と [IIS 管理コンソール] にチェックを付けます。



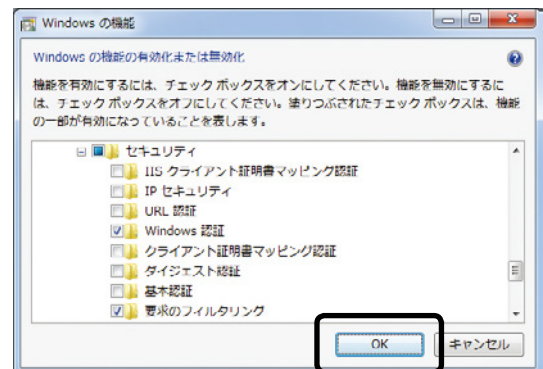
- 3 [インターネットインフォメーションサービス] の [World Wide Web サービス]、[アプリケーション開発機能] の [ASP] と [ISAPI 拡張機能] にチェックを付けます。



- 4 [インターネットインフォメーションサービス] の [World Wide Web サービス]、[セキュリティ] の [Windows 認証] にチェックを付けます。



- 5 [OK] をクリックします。



Microsoft Access データベースを参照するための設定をします

ウェブサイトから Microsoft Access データベースを参照する場合は、次のフォルダーの [プロパティ]、[セキュリティ] タブで "Authenticated Users" を追加し、"Authenticated Users" の権限をフルコントロールに昇格する必要があります。

Window Vista

[コントロールパネル]、[フォルダーオプション]、[表示] タブの詳細設定で、[隠しファイル、隠しフォルダー、および隠しドライブを表示する] をチェックすると次のフォルダーが表示されます。

(System drive) Windows\ServiceProfiles\NetworkService\AppData\Local\

Window Vista SP1 以降

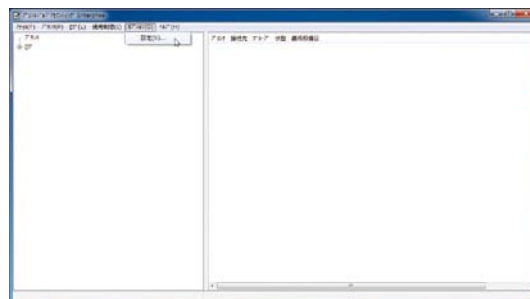
(System drive) Windows\temp\

Microsoft SQL Server、Microsoft SQL Server Express のバージョンを確認します

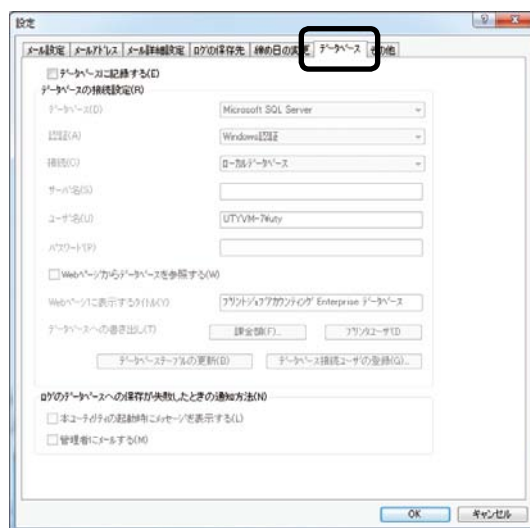
ウェブサイトから Microsoft SQL Server データベースまたは Microsoft SQL Server Express Edition データベースを参照する場合は、データベースが Microsoft SQL Server 2005 Service Pack 2 以上または Microsoft SQL Server 2005 Express Edition Service Pack 2 以上のバージョンである必要があります。

ウェブサイトを作成します

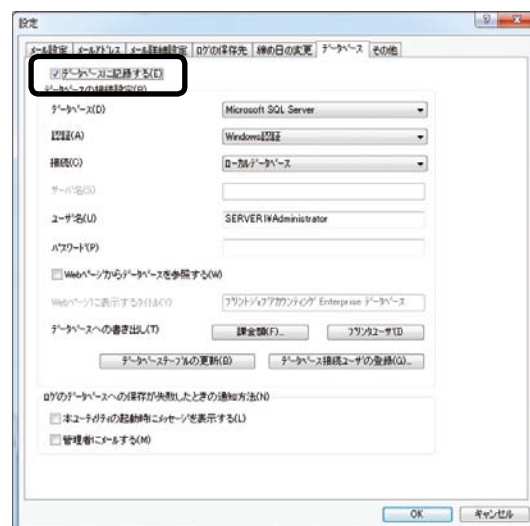
- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 「オプション」メニューの「設定」をクリックします。



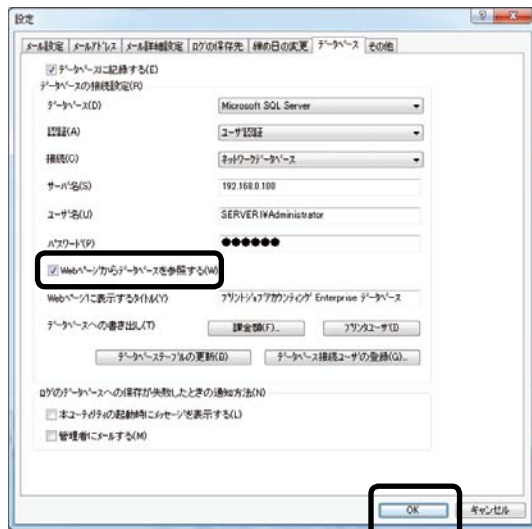
- ③ 「データベース」タブを表示します。



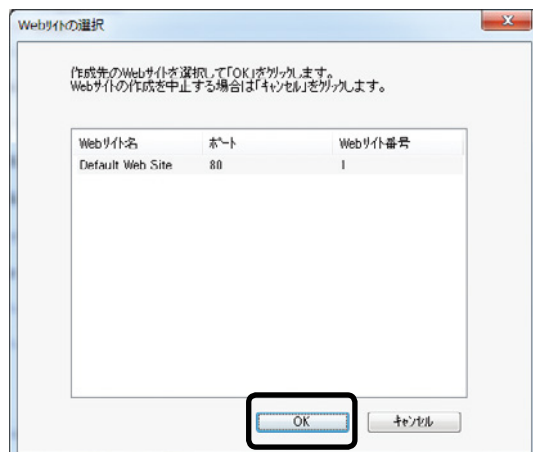
- ④ 「データベースに記録する」にチェックを付けます。



- 接続するデータベースについての設定を行います。接続するデータベースについての設定は「データベースに接続するための設定をします」(136 ページ)をご覧ください。
- 「Web ページからデータベースを参照する」にチェックを付け、「Web ページに表示するタイトル」を入力し、「OK」をクリックします。



- 設定したデータベースへの接続に成功すると、Web サイトの選択画面が表示されますので、Web サイトを選択し「OK」をクリックします。



ウェブサイトを設定します

Web ブラウザーから作成したウェブサイトアクセスするための設定をコンピューターに対して行います。Web ブラウザーから Windows 認証方式でアクセスさせる場合とユーザー認証方式でアクセスさせる場合で設定方法は異なります。

Windows 認証方式でアクセスする場合

- [コントロールパネル] - [管理ツール] を選択し、[インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャ] を開きます。
- 画面が表示されるので、ウェブサイト [JALogDB] を選択し、[認証] をクリックします。
- [匿名認証] を無効にし、[Windows 認証] を有効にします。

注 [匿名認証] をチェックすると、任意のユーザーがデータベース参照可能になりますのでご注意ください。

ユーザー認証方式でアクセスする場合

- [コントロールパネル] - [管理ツール] を選択し、[インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャ] を選択します。
- 画面が表示されるので、ウェブサイト [JALogDB] を選択し、[認証] をクリックします。
- [Windows 認証] を無効にします。

ウェブサイトを作成します [Microsoft Windows Server 2003]

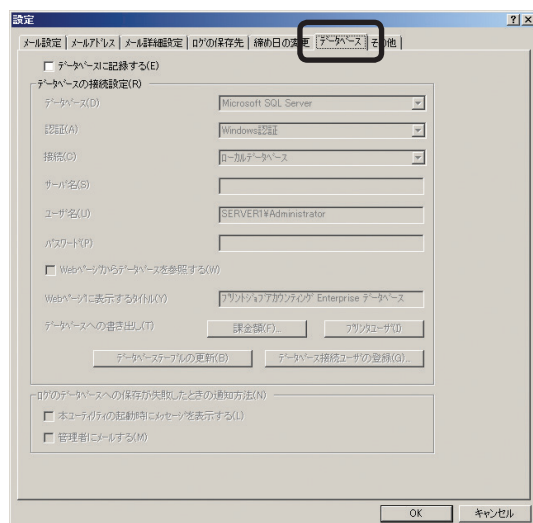
サーバーソフトウェアを Microsoft Windows Server 2003 で使用する場合に、ウェブサイトを作成する方法について説明します。ウェブサイトを作成するには、コンピュータにインターネットインフォメーションサービスをインストールしておく必要があります。

ウェブサイトを作成します

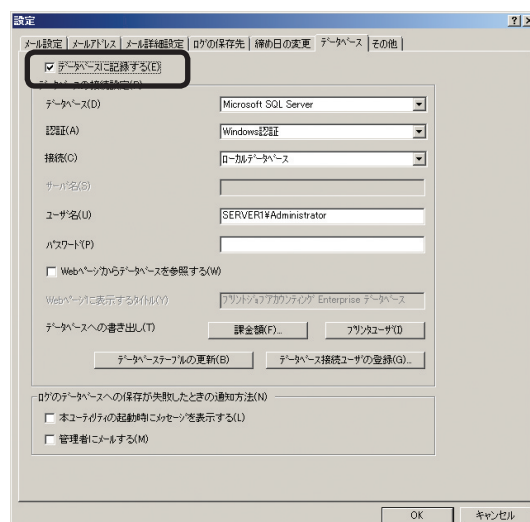
- 1 サーバーソフトウェアを起動します。
- 2 「オプション」メニューの「設定」をクリックします。



- 3 「データベース」タブを表示します。

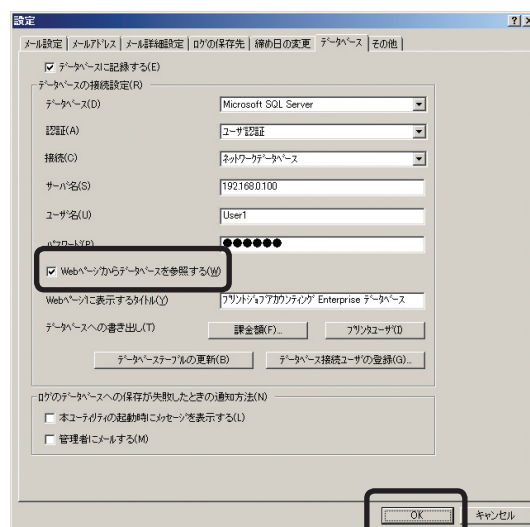


- 4 「データベースに記録する」にチェックを付けます。



- 5 接続するデータベースについての設定を行います。接続するデータベースについての設定は「データベースに接続するための設定をします」(136 ページ)をご覧ください。

- 6 「Web ページからデータベースを参照する」にチェックを付け、「Web ページに表示するタイトル」を入力し、「OK」をクリックします。



- ⑦ 設定したデータベースへの接続に成功すると、Web サイトの選択画面が表示されますので、Web サイトを選択し「OK」をクリックします。



ウェブサイトを設定します

Web ブラウザーから作成したウェブサイトアクセスするための設定をコンピューターに対して行います。Web ブラウザーから Windows 認証方式でアクセスさせる場合とユーザー認証方式でアクセスさせる場合で設定方法は異なります。

Windows 認証方式でアクセスする場合

- ① [コントロールパネル] - [管理ツール] を選択し、[インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャ] を選択します。
- ② 画面が表示されるので、ウェブサイト [JALogDB] を選択し、右クリック、[プロパティ] をクリックします。
- ③ [ディレクトリセキュリティ] タブを表示し、[匿名アクセスおよび認証コントロール] の [Edit] ボタンをクリックします。
- ④ 画面が表示されるので、[匿名アクセス] のチェックを外し、[統合 Windows 認証] をチェックします。

注! [匿名アクセス] をチェックすると、任意のユーザーがデータベース参照可能になりますのでご注意ください。

ユーザー認証方式でアクセスする場合

- ① [コントロールパネル] - [管理ツール] を選択し、[インターネットインフォメーションサービス (IIS) マネージャ] を選択します。
- ② 画面が表示されるので、ウェブサイト [JALogDB] を選択し、右クリック、「プロパティ」をクリックします。
- ③ [ディレクトリセキュリティ] タブを表示し、[匿名アクセスおよび認証コントロール] の [Edit] ボタンをクリックします。
- ④ 画面が表示されるので、[統合 Windows 認証] のチェックを外します。

ウェブサイトからデータベースを参照します

- ① ウェブブラウザからウェブサイトの URL に接続します。URL の指定は下記の方法があります。

サーバーソフトウェアがインストールされているコンピューターの場合

http://localhost/JALogDB/

サーバーソフトウェアがインストールされているコンピューターとは別のコンピューターの場合

http:// (コンピューターの IP アドレス) / JALogDB

- ② ウェブサイトが表示されますので、認証方式を

The screenshot shows a login form with two radio buttons: 'Window Auth' and 'User Login'. 'User Login' is selected. Below the radio buttons are two input fields: 'Account' and 'Password'. To the right of the 'Password' field are two buttons: 'Login' and 'Clear'.

選択します。下記の認証方式があります。

Window Auth

Windows 認証方式です。Microsoft SQL Server または Microsoft SQL Server Express Edition に接続している場合に使用可能です。[Window Auth] を選択する場合は、サーバーソフトウェアのインストールされている PC とデータベースのインストールされている PC を同一のドメインに登録する必要があります。

User Login

データベースに登録したユーザーによる認証方式です。[Account] および [Password] を入力します。

- ③ [Login] ボタンをクリックします。

This screenshot is identical to the previous one, but the 'Login' button is highlighted with a red rectangle to indicate it should be clicked.

- ④ データベースに登録されているログの表示画面が表示されます。ログ表示画面では下記の操作が可能です。

The screenshot shows a menu titled 'ログ情報' (Log Information). It contains four items: 'プリンタ:' (Printer), '取得年月:' (Acquisition Year/Month), 'ユーザ情報' (User Information), and '課金情報' (Billing Information). Each item has a link-like text next to it: 'C610(192.168.0.2)', '2010/08', 'C610(192.168.0.2)', and an empty field respectively.

特定のプリンターのログを表示する

選択ウインドウの[プリンタ]のプリンター名(IP アドレス)をクリックすると、詳細ウインドウに選択した IP アドレスのプリンターのログを表示します。

特定の取得年月のログを表示する

選択ウインドウの[取得年月]の年月をクリックすると、詳細ウインドウに選択した取得年月のログを表示します。

表示したログをプリンター別に集計する

詳細ウインドウの[集計の表示]の[プリンタ]をクリックすると、表示したログをプリンター別に集計します。

表示したログをユーザー ID 別に集計する

詳細ウインドウの[集計の表示]の[ユーザ ID]をクリックすると、表示したログをユーザー ID 別に集計します。

表示したログをユーザー名別に集計する

詳細ウインドウの[集計の表示]の[ユーザ名]をクリックすると、表示したログをユーザー名別に集計します。

表示したログを月別に集計する

詳細ウインドウの[集計の表示]の[取得年月]をクリックすると、表示したログを月別に集計します。

ユーザー情報を表示する

選択ウインドウの[ユーザ情報]をクリックすると、データベースに登録されているユーザー情報を表示します。

課金情報を表示する

選択ウインドウの[課金情報]をクリックすると、データベースに登録されている課金情報を表示します。

8. 課金について

課金額の定義を作成します	164
課金額の定義を変更します	169
課金額の定義を削除します	170

8. 課金について

課金とは、使用状況に応じてユーザーに費用負担を求めることです。

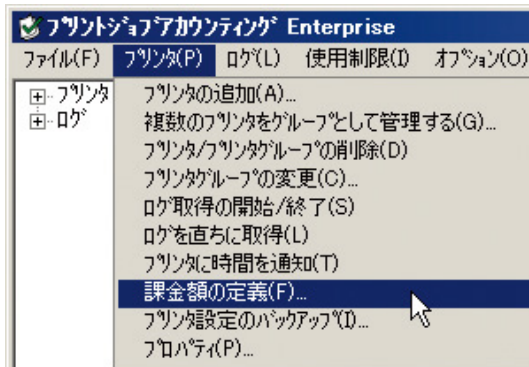
プリントジョブアカウンティングでは、印刷枚数、印刷用紙サイズ、プリンターを占有した時間などによってきめ細かく課金額を定義できます。

注 プリンターの機種により画面や設定できる内容が異なります。

課金額の定義を作成します

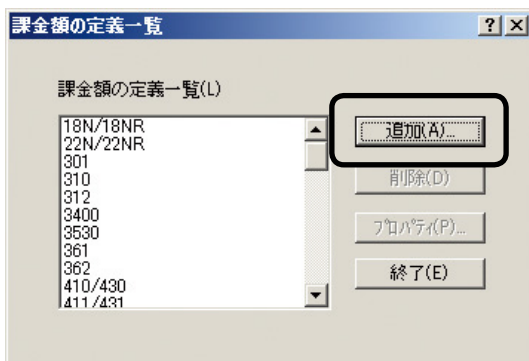
定義を作成します

- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② [プリンタ] メニューから [課金額の定義] を選択します。



- ③ [追加] をクリックします。

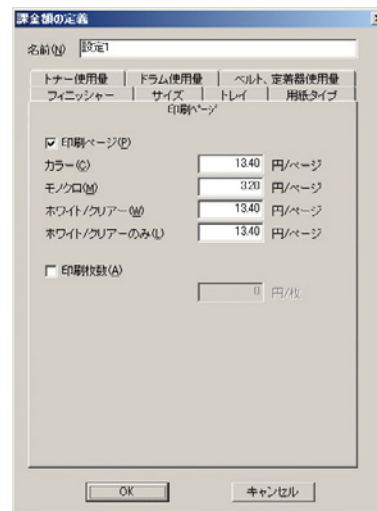
メモ 初期設定の定義はプリンターの機種ごとの各消耗品の標準価格と寿命枚数から算出したランニングコストの目安です。



- ④ [名前] に作成する定義の名前を入力します。

- ⑤ 設定を行いたい項目のタブをクリックし、設定します。

印刷ページタブ



印刷枚数および印刷ページに応じて一枚あたりの課金額を設定できます。印刷ページではカラー印刷とモノクロ印刷とホワイト/クリアー印刷とホワイト/クリアーのみ印刷で別々に設定できます。

- ① [印刷ページ] にチェックを付け、[カラー]と[モノクロ]と[ホワイト/クリアー]と[ホワイト/クリアーのみ]に課金額を入力します。
- ② [印刷枚数] にチェックを付け、課金額を入力します。

トナー使用量タブ

トナー使用量に課金する場合に設定します。

トナー使用量に課金する場合は、[トナー使用量] にチェックを付け、トナー使用量の各レベル 1 ページあたりの課金額を設定します。

各レベルの 1 ページあたりの課金額を設定するには、設定したいレベルをリストから選択して、[変更] ボタンをクリックし、コストの変更画面で [カラーコスト] 欄および [モノクロコスト] 欄および [ホワイト/クリアー] 欄に 1 ページあたりの課金額を入力して、[OK] をクリックします。

課金額を自動計算する場合は、[コストの自動計算に使用するプリンタ] から自動計算に使用するプリンターを選択し、カラートナーの価格を [カラー価格] 欄に、モノクロトナーの価格を [モノクロ価格] 欄に、ホワイト/クリアートナーの価格を [ホワイト/クリアー価格] 欄に入力し、トナーが 2 種類あるときに容量の大きい大容量トナーをお使いの場合は、「大容量」にチェックを付け、[自動計算] をクリックします。

プリンターによっては、「大容量」のチェックボックスが表示されず、「寿命の設定」チェックボックスが表示されます。トナーの寿命を設定して、コストの自動計算をしたい場合は、「寿命の設定」にチェックし、「カラー寿命」および「モノクロ寿命」に入力します。「寿命の設定」にチェックしないと、「プリンタに搭載されているトナーの情報を取得しますか？」のメッセージが表示されますので、プリンターの電源が ON になっているのを確認して、[はい] をクリックします。「いいえ」をクリックした場合や、プリンターから情報を取得できなかった場合は、プリンターの登録時に搭載されていたトナーの情報で自動計算を行います。

大容量と標準トナーが混在している場合は、大容量として計算されます。

トナー使用量のレベルは「取得できる情報」の「トナー」をご覧ください。

ドラム使用量タブ

ドラム使用量に課金する場合に設定します。

ドラム使用量に課金する場合は、[ドラム使用量] にチェックを付け、[カラーコスト] 欄に A4 サイズ 1 ページあたりのカラードラム使用量の課金額を、[モノクロコスト] 欄に A4 サイズ 1 ページあたりのモノクロドラム使用量の課金額を、[ホワイト/クリアーコスト] 欄に A4 サイズ 1 ページあたりのホワイト/クリアードラム使用量の課金額を入力します。

課金額を自動計算する場合は、[コストの自動計算に使用するプリンタ] から自動計算に使用するプリンターを選択し、カラードラムの価格を [カラー価格] 欄に、モノクロドラム（もしくは 4 色一体型ドラム）の価格を [モノクロ価格] 欄に、ホワイト/クリアードラムの価格を [ホワイト/クリアー価格] 欄に入力し、[自動計算] をクリックします。4 色一体型ドラムの場合、[カラーコスト] 欄および [カラー価格] 欄は入力できません。

ベルト、定着器使用量タブ

ベルトおよび定着器使用量に課金する場合に設定します。ベルトおよび定着器使用量に課金する場合は、[ベルト、定着器使用量] にチェックを付け、[ベルトコスト] 欄に A4 サイズ 1 ページあたりのベルト使用量の課金額を、[定着器コスト] 欄に 1 ページあたりの定着器使用量の課金額を入力します。

課金額を自動計算する場合は、[コストの自動計算に使用するプリンタ] から自動計算に使用するプリンターを選択し、ベルトの価格を [ベルト価格] 欄に、定着器の価格を [定着器価格] 欄に入力し、[自動計算] をクリックします。

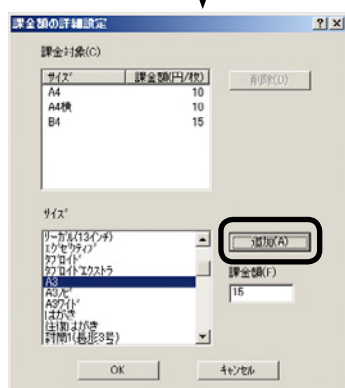
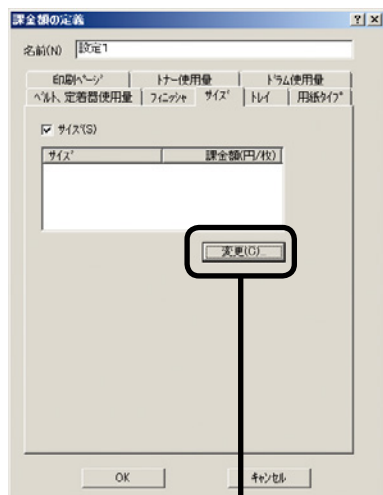
フィニッシャタブ

オプションのフィニッシャーを装着している場合、ホチキスを一回使用することの課金額を設定できます。

- ① [ホチキス] にチェックを付け、課金額を入力します。

サイズタブ

用紙サイズごとに1枚あたりの課金額を設定できます。
特定のサイズのみ課金することもできます。

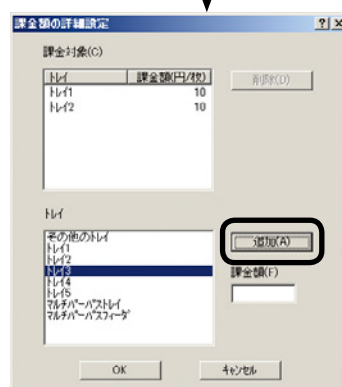
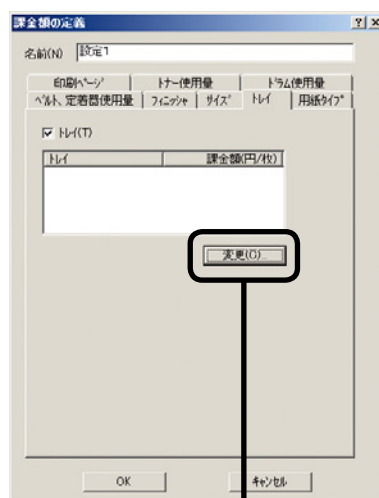


- ① [サイズ] にチェックを付け、[変更] をクリックします。
- ② 「課金額の詳細設定」画面で [サイズ] から課金したいサイズを選択し、課金額を入力します。
- ③ [追加] をクリックします。
- ④ 手順②、③を繰り返し、課金が必要なサイズを追加します。
- ⑤ 追加し終わったら [OK] をクリックします。

注 A4、A4 ワイド (SRA4)、B5、レター、16K 184 × 260mm、16K 195 × 270mm、16K 197 × 273mm は縦送りと横送りで違う用紙サイズになります。横送りを使う場合、A4 横、A4 ワイド (SRA4) 横、B5 横、A5 横、レター横、16K 184 × 260mm 横、16K 195 × 270mm 横、16K 197 × 273mm 横を追加してください。

トレイタブ

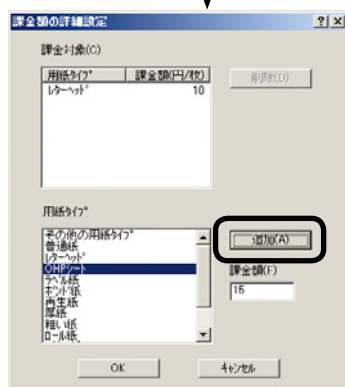
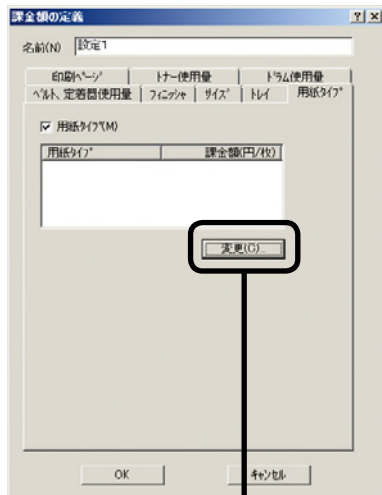
使用したトレイごとに1枚あたりの課金額を設定できます。
特定のトレイのみ課金することもできます。



- ① [トレイ] にチェックを付け、[変更] をクリックします。
- ② 「課金額の詳細設定」画面で [トレイ] から課金したいトレイを選択し、課金額を入力します。
- ③ [追加] をクリックします。
- ④ 手順②、③を繰り返し、課金が必要なトレイを追加します。
- ⑤ 追加し終わったら [OK] をクリックします。

用紙タイプタブ

用紙タイプごとに1枚あたりの課金額を設定できます。
特定の用紙タイプのみ課金することもできます。



- ① [用紙タイプ] にチェックを付け、[変更] をクリックします。
- ② 「課金額の詳細設定」画面で [用紙タイプ] から課金したい用紙タイプを選択し、課金額を入力します。
- ③ [追加] をクリックします。
- ④ 手順②、③を繰り返し、課金が必要な用紙タイプを追加します。
- ⑤ 追加し終わったら [OK] をクリックします。
- ⑥ [OK] をクリックします。
- ⑦ [終了] をクリックします。

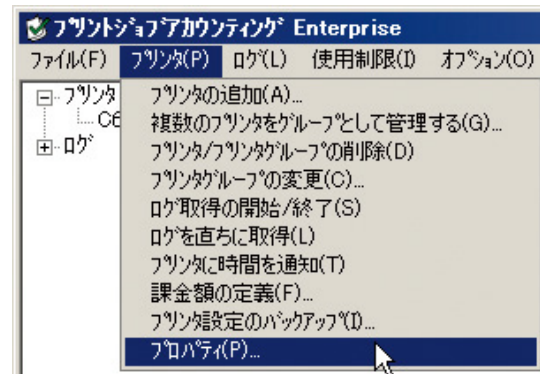
プリンターに課金額の定義を設定します

- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 選択ウィンドウの [プリンタ] をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウィンドウのリストビューに表示されます。

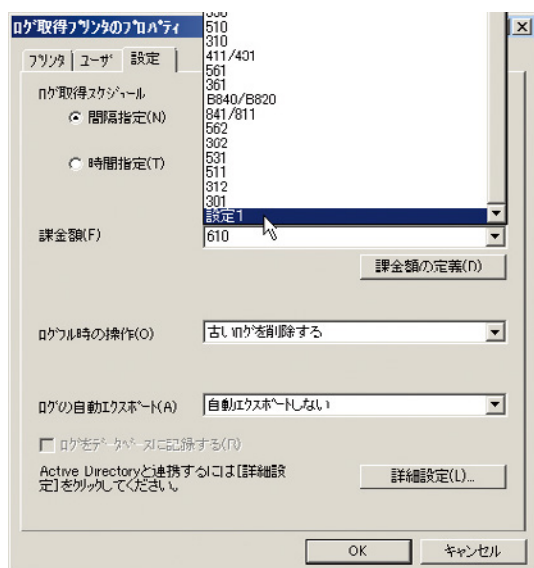


- ③ プリンターを選択し、[プリンタ] メニューから [プロパティ] を選択します。

メモ プリンターは複数選択することができます。

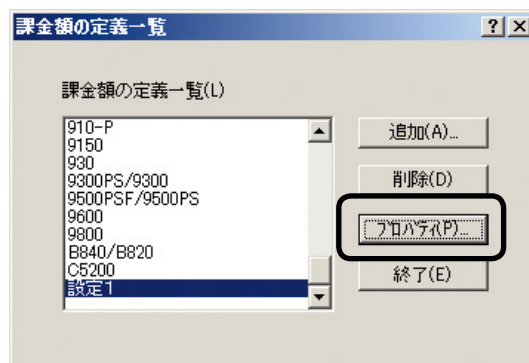


- ④ [設定] タブの「課金額」で使用する課金額の定義を選択し、[OK] をクリックします。



課金額の定義を変更します

- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② [プリンタ] メニューから「課金額の定義」を選択します。
- ③ 変更したい定義名を選択し、[プロパティ] をクリックします。



- ④ 「課金額の定義」画面で設定を変更し、[OK] をクリックします。

設定項目の詳細は「課金額の定義を作成します」
(164 ページ) をご覧ください。

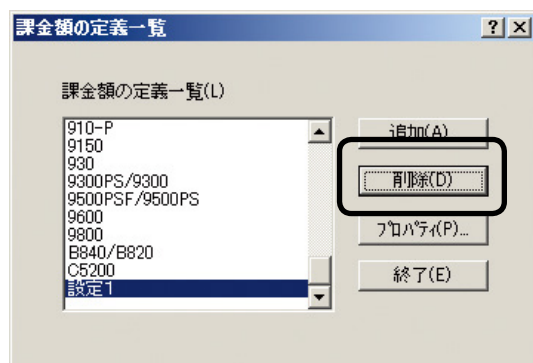
メモ 名前を変更した場合は、新しい定義として登録されます。以前の定義名も元の設定で残ります。

- ⑤ [終了] をクリックします。

課金額の定義を削除します

- 注.  • 初期設定の定義は削除できません。
• 現在プリンターに設定されている定義を削除した場合、初期設定の定義に置き換えられます。

- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② [プリンタ] メニューから [課金額の定義] を選択します。
- ③ 削除したい定義名を選択し、[削除] をクリックします。



- ④ [終了] をクリックします。

9. ログを操作します

ログとは	172
ログを取得します	172
ログを表示します	181
ログを削除します	183
ログを CSV ファイルに書き出します	184
ログの取得を終了します	186

9. ログを操作します

ログの取得に関する設定や、ログの表示や削除などの操作について説明します。

ログとは

プリントジョブアカウンティングでは、誰が、いつ、どのプリンターに印刷したかといった印刷ジョブの様々な情報をプリンターの内蔵ハードディスクまたはフラッシュメモリーに格納します。この情報をログと呼びます。サーバーソフトウェアは設定したスケジュールでログをプリンターから取得します。

ログを集計することにより、誰がどのくらい印刷しているか、特定のプリンターがどのくらい使用されているか確認することもできます。

- 注**・ ログは 1 枚以上印刷が行われた場合に残ります。また、印刷拒否、カラー印刷拒否でジョブがキャンセルされた場合も残ります。
- ・ プリンターが処理中や印刷中に電源を OFF した場合やプリンターがエラー状態で印刷できない場合はログは残りません。

ログを取得します

取得できる情報

ログとして取得できる情報は以下のとおりです。

- 注**・ プリンターの機種やオプションの有無で取得できる情報は異なります。

項 目	内 容
プリンタ	表示しているログのプリンター名と接続先です。すべてのプリンターのログを表示した場合に表示されます。
年月	表示しているログの年月です。すべての年月のログを表示した場合に表示されます。
ログ No. ^{*1}	ログの番号。月ごとに 1 から割り当てます。
ユーザ ID	印刷を行ったクライアントコンピューターで設定されているユーザー ID もしくは操作パネルから入力した PIN ID です。
ユーザ	印刷を行ったクライアントコンピューターで設定されているユーザー名です。
ログイン名	印刷を行ったクライアントコンピューターのログイン名です。
ドキュメント名	印刷したドキュメントの名前です。ドキュメント名に「」が含まれていた場合、「」は半角のスペースに置き換えられます。正しいドキュメント名が取得できない場合があります。
課金額	印刷ジョブに対する課金額です。
ホスト名	印刷を行ったクライアントコンピューターの名前です。

項 目	内 容
ポート	印刷に使われたポート名です。ネットワークの場合はクライアントコンピュータの IP アドレスが表示されます。
総印刷枚数	印刷した枚数です。
印刷ページ	印刷したページ数です。両面印刷では用紙 1 枚で 2 ページとなります。文書のページ数ではなく実際の印刷ページ数なので、例えば、6 ページの文書を 2-UP で印刷した場合、3 ページとなります。
ステータス	ジョブの処理結果です。 ・ 正常終了：正常に終了しました。 ・ キャンセル：ユーザーの操作によりキャンセルされました。 (印刷の場合は 1 枚以上印刷が行われたとき) ・ 中止：ユーザーの操作以外でキャンセルされました。 ・ 異常終了：異常に終了しました。
詳細ステータス	・ ログバッファフル： プリンターのログバッファ一杯になりキャンセルされました。 ・ アクセス制限：使用制限によりキャンセルされました。 ・ メモリーオーバーフロー： メモリーオーバーフローによりキャンセルされました。 ・ カラー印刷拒否： 使用制限 (カラー印刷不可) によりキャンセルされました。 ・ モノクロ印刷 (カラー制限)： 使用制限 (カラー印刷拒否) によりモノクロで印刷されました。 ・ リップエラー： リップエラーによりキャンセルされました。
用紙サイズ ^{*1}	印刷した用紙のサイズです。1 つの印刷ジョブに複数の用紙サイズが混在する場合、複数行で表示します。
用紙タイプ ^{*1*2}	印刷した用紙のタイプです。1 つの印刷ジョブに複数の用紙タイプが混在する場合、複数行で表示します。
用紙厚 ^{*1*2}	印刷した用紙の厚さです。1 つの印刷ジョブに複数の用紙の厚さが混在する場合、複数行で表示します。
両面印刷 ^{*1}	両面印刷か片面印刷かの区別です。1 つの印刷ジョブに両面印刷と片面印刷が混在する場合、複数行で表示します。
印刷枚数 ^{*1}	1 つの印刷ジョブが複数行で表示された場合のそれぞれの行ごとの印刷枚数を表示します。
カラー ^{*1}	カラー印刷したページ数です。1 つの印刷ジョブが複数行で表示された場合、それぞれの行ごとにページ数を表示します。
モノクロ ^{*1}	モノクロ印刷したページ数です。1 つの印刷ジョブが複数行で表示された場合、それぞれの行ごとにページ数を表示します。
マルチページ	1 ページの印刷領域内に何ページ分のデータを縮小して印刷したかを表示します。

項 目	内 容														
トナー	各色ごとのトナー使用量のレベル（A4 サイズ 1 ページあたりのトナー使用密度）を以下 0 ～ 5 の 6 段階で表示します。 <table> <tr> <th>レベル</th><th>トナー使用量の密度</th></tr> <tr> <td>0</td><td>0%</td></tr> <tr> <td>1</td><td>～ 5%</td></tr> <tr> <td>2</td><td>～ 15%</td></tr> <tr> <td>3</td><td>～ 30%</td></tr> <tr> <td>4</td><td>～ 60%</td></tr> <tr> <td>5</td><td>61%～</td></tr> </table>	レベル	トナー使用量の密度	0	0%	1	～ 5%	2	～ 15%	3	～ 30%	4	～ 60%	5	61%～
レベル	トナー使用量の密度														
0	0%														
1	～ 5%														
2	～ 15%														
3	～ 30%														
4	～ 60%														
5	61%～														
ドラム	各色ごとのドラム使用量（A4 サイズ 1 ページあたりのドラム使用量に換算）。4 色一体型ドラムの使用量は、ドラム（K）に表示されます。														
ベルト	ベルト使用量（A4 サイズ 1 ページあたりのベルト使用量に換算）														
定着器	定着器使用量（1 ページあたりの定着器使用量）														
ホチキス	オプションのフィニッシャーを装着した場合、ホチキスを使用した回数です。														
取得時間 *2	サーバーソフトウェアがログを取得した時刻です。														
開始時間 *2 *3	プリンターがジョブを受け付けた時刻です。														
処理開始時間 *2 *3	プリンターが処理を開始した時刻です。														
処理終了時間 *2 *3	プリンターが処理を終了した時刻です。														
印刷開始時間 *2 *3	プリンターが印刷を開始した時刻です。														
終了時間 *2 *3	プリンターが印刷を終了した時刻です。														
処理中オフライン時間 *2	プリンターが処理中に紙づまり、用紙サイズエラー、用紙なし等のエラーでプリンターの処理が止まったり、操作パネルでオフラインにした時間（秒）です。														
印刷中オフライン時間 *2	プリンターの印刷中に紙づまり、用紙サイズエラー、用紙なし等のエラーでプリンターの処理が止まったり、操作パネルでオフラインにした時間（秒）です。														
トレイ 1 *2	トレイ 1 から給紙した枚数です。														
トレイ 2 *2	トレイ 2 から給紙した枚数です。														
トレイ 3 *2	トレイ 3 から給紙した枚数です。														
トレイ 4 *2	トレイ 4 から給紙した枚数です。														
トレイ 5 *2	トレイ 5 から給紙した枚数です。														
マルチパーパストレイ *2	マルチパーパストレイ / 手差しトレイから給紙した枚数です。														
マルチパーパスフィーダ *2	オプションのマルチパーパスフィーダーから給紙した枚数です。														
300dpi *2	300dpi で印刷したページ数です。														
600dpi *2	600dpi で印刷したページ数です。														
1200 × 600dpi *2	1200 × 600dpi で印刷したページ数です。														

項 目	内 容
1200dpi ^{*2}	1200dpi で印刷したページ数です。
2400 × 600dpi	2400 × 600dpi で印刷したページ数です。
カ ラースキャンページ	カ ラースキャンしたページ数です。
モノクロスキャンページ	スキャンしたモノクロページ数
スキャン時の印刷	スキャンしたページ数を印刷するかどうかを示します。 - スキャン時印刷あり： スキャン時に印刷を伴うジョブです。 - スキャン時印刷なし： スキャン時に印刷を伴わないジョブです。
ジョブ ID	ジョブを識別する番号です。同じジョブで生成された複数のログは同じ ID になります。
機能	- 印刷：印刷ジョブです。 - Fax 受信印刷：Fax 受信印刷のジョブです。 - PC スキャン：PC スキャンのジョブです。 - Push スキャン：Push スキャンのジョブです。 - スキャン To ネットワーク PC： スキャン To ネットワーク PC のジョブです。 - スキャン To Eメール： スキャン To Eメールのジョブです。 - Fax 送信：Fax 送信のジョブです。 - コピー：コピーのジョブです。 - スキャン To USB メモリ： スキャン To USB メモリーのジョブです。 - スキャン To インターネット Fax： スキャン To インターネット Fax のジョブです。 - スキャン To Fax サーバ： スキャン To Fax サーバーのジョブです。 - PC からの Fax 送信：PC からの Fax 送信のジョブです。 - 保存された Fax からの印刷： 保存された Fax からの印刷のジョブです。 - Eメール受信印刷：Eメール受信印刷のジョブです。 - USBメモリから印刷：USBメモリーから印刷のジョブです。 - 操作パネルからの印刷： 操作パネルからの印刷のジョブです。 - その他のスキャン：その他のスキャンのジョブです。
サービス	サービス名です。 - 印刷：印刷処理のログです。 - スキャン：スキャン処理のログです。 - Fax：Fax 処理のログです。 - PC スキャン：PC スキャン処理のログです。 - PC Fax：PC から Fax 送信処理のログです。 - Eメール：Eメールの送信もしくは受信処理のログです。 - サーバ： ネットワーク PC へのファイル保存処理のログです。 - USBメモリ： USBメモリーへのファイル保存処理のログです。

項 目	内 容
原稿サイズ	スキャンした原稿のサイズです。
通信時間	Fax で送信および受信に要した時間です。
通信先	サービスが Fax または PC Fax の場合は、Fax の送信先もしくは送信元の電話番号、宛先 ID、装置情報のいずれかです。 サービスがサーバーの場合は、ファイルの保存先のフォルダーです。 サービスが USB メモリーの場合は、USBMEM01 固定です。 サービスが Eメールの場合は、送信先もしくは送信元の Eメールアドレスです。
通信モード	Fax もしくは Eメールの通信種別です。 ・送信：Fax 送信ジョブです。 ・受信：Fax 受信ジョブです。 ・複数宛先送信：複数宛先の Fax 送信ジョブです。 ・PC からの送信：PC からの Fax 送信ジョブです。 ・PC からの複数宛先送信： PC からの複数宛先の Fax 送信ジョブです。 ・Eメール送信：Eメール送信ジョブです。 ・Eメール複数宛先送信： 複数宛先の Eメール送信ジョブです。
手動	Fax で手動通信を行ったときに「オン」になります。
時刻指定	Fax で時刻指定を行ったときに「オン」になります。
ポーリング	Fax でポーリング通信を行ったときに「オン」になります。
F-コード	Fax で F コード通信を行ったときに「オン」になります。
発信 / 着信	発信：Fax で相手先に電話をかけたことを示します。 着信：Fax で相手先から電話を受けたことを示します。
Fax 転送	Fax 転送を行ったときに「オン」になります。
通信ページ	Fax で送信もしくは受信したページ数です。
通信結果コード	Fax 通信のエラーコードです。
ホワイト / クリアー ^{*1}	ホワイト / クリアーとホワイト / クリアー以外の色で印刷したページ数です。1 つの印刷ジョブが複数行で表示された場合、それぞれの行ごとにページ数を表示します。
ホワイト / クリアーのみ ^{*1}	ホワイト / クリアーのみで印刷したページ数です。1 つの印刷ジョブが複数行で表示された場合、それぞれの行ごとにページ数を表示します。

*1 複数行で表示した場合、2 行目以降は本項目以外の項目は空白で表示されます。

*2 本項目は初期設定では表示されません。

*3 プリンターに時刻が通知されていない場合、空白になります。

ログを取得する間隔や時間を変更するには

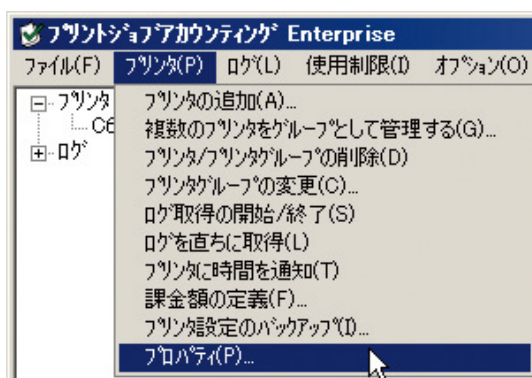
サーバーソフトウェアがログを取得する間隔や時間を変更できます。

- 1 サーバーソフトウェアを起動します。
- 2 選択ウインドウの「プリンタ」をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウインドウのリストビューに表示されます。



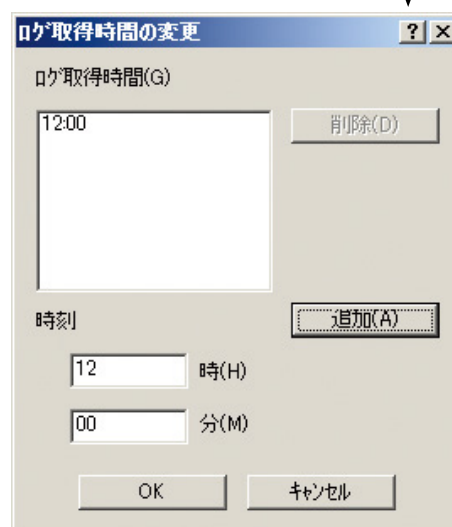
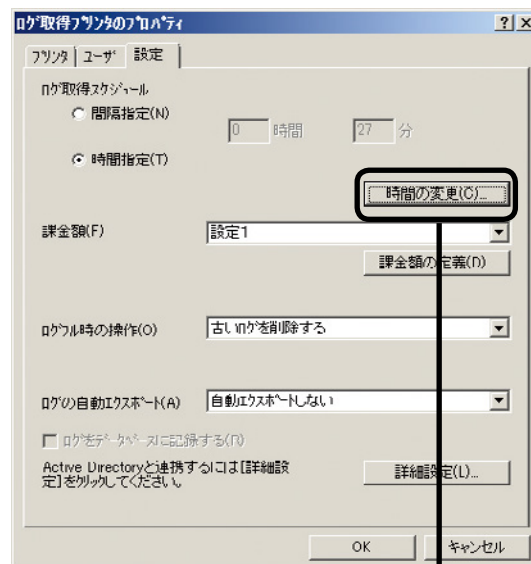
- 3 プリンターを選択し、「プリンタ」メニューから「プロパティ」を選択します。

メモ プリンターは複数選択することができます。



- 4 「設定」タブの「ログ取得スケジュール」を変更します。

注 必ずサーバーソフトウェアをセットアップしたコンピュータおよびプリンターの電源が ON になっている時間を設定してください。電源が ON になっていないとログは取得できません。



間隔指定

一定時間おきに取得する場合に、間隔を設定します。設定可能な間隔は最大 24 時間です。初期設定はプリンターの状況から最適な値を検出しています。初期設定より長い間隔にすると、すべてのログが取得できない場合があります。

時間指定

特定の時刻を設定します。「時間の変更」をクリックし、「ログ取得時間の変更」画面で時刻を追加します。取得時刻は5つまで追加できます。追加後、「OK」をクリックします。

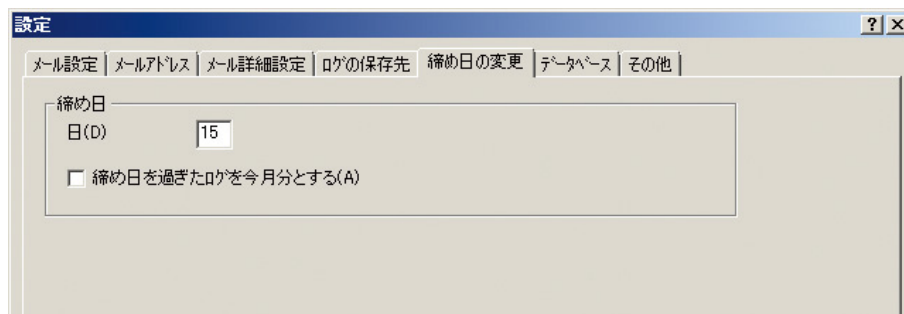
- 5 「OK」をクリックします。

締め日を変更するには

ログを集計する締め日を設定します。

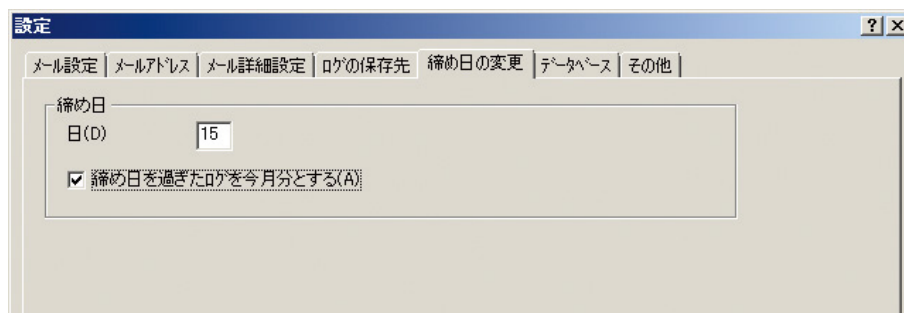
設定した締め日までを、当月分としてカウントします。

例) 締め日を 15 日に設定した場合、1/16～2/15 のログを 2 月分として集計します。



「締め日を過ぎたログを今月分とする」にチェックをつけると、設定した締め日の翌日からを当月分としてカウントします。

例) 締め日を 15 日に設定した場合、「締め日を過ぎたログを今月分とする」にチェックをつけると、2/16～3/15 のログを 2 月分として集計します。



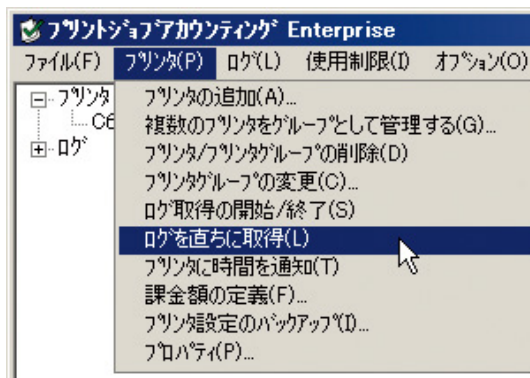
- ① [オプション] メニューから「設定」を選択します。
- ② 「締め日の変更」タブをクリックします。
- ③ 締め日にしたい日を入力します。
- ④ [OK] をクリックします。

ログを直ちに取得するには

ログ取得スケジュールにかかわらず、直ちにログを取得することができます。

- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 選択ウインドウの「[プリンタ]」をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウインドウのリストビューに表示されます。
- ④ プリンターを選択し、「[プリンタ]」メニューから「[ログを直ちに取得]」を選択します。

メモ プリンターは複数選択することができます。



- ⑤ 取得結果画面で「[閉じる]」をクリックします。



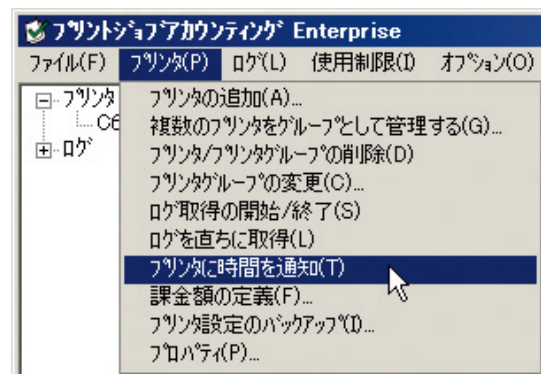
メモ ログを表示中のときは、「[ログ]」メニューの「[最新の状態で更新]」を選択してログを表示し直してください。

プリンターに時間を通知するには

プリンターは機種によっては時計を内蔵していないため、サーバーソフトウェアから1時間おきとログ取得時に、プリンターに時間を通知しています。従ってプリンターの電源を OFF/ON すると、時間が通知されるまで時間の情報をログに残すことができません。このような場合に手動でプリンターに時間を通知できます。

プリンターに通知される時間は、サーバーソフトウェアをセットアップしているコンピューターの時間となります。

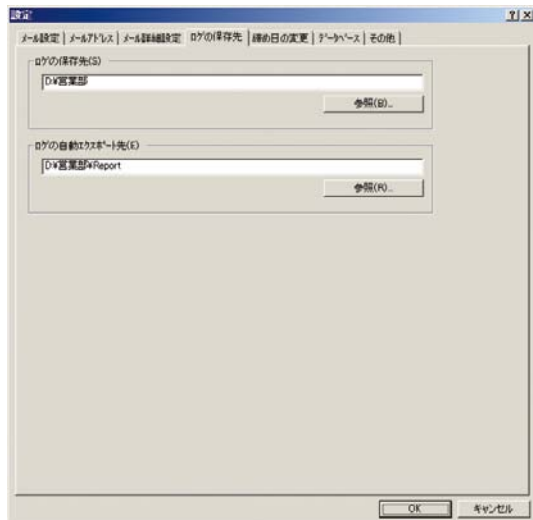
- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 選択ウインドウの「[プリンタ]」をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウインドウのリストビューに表示されます。
- ④ プリンターを選択し、「[プリンタ]」メニューから「[プリンタに時間を通知]」を選択します。



- ⑤ 完了画面で「[OK]」をクリックします。

ログの保存先を変更するには

取得したログを保存するフォルダーおよびログを自動的に書き出すフォルダーを指定できます。



- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② [オプション] メニューから [設定] を選択します。
- ③ [ログの保存先] タブをクリックします。
- ④ [参照] をクリックします。
- ⑤ 保存したいフォルダーを選択し、[OK] をクリックします。
- ⑥ [OK] をクリックします。

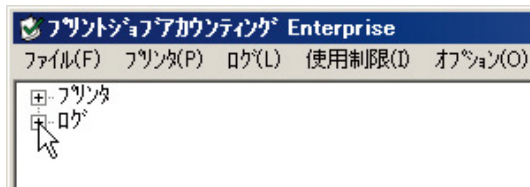
ログを表示します

ログはプリンター別と年月別に表示できます。1つのログをそれぞれの区分けで分類し、表示しますので、目的に応じてログの表示や削除を行うことができます。

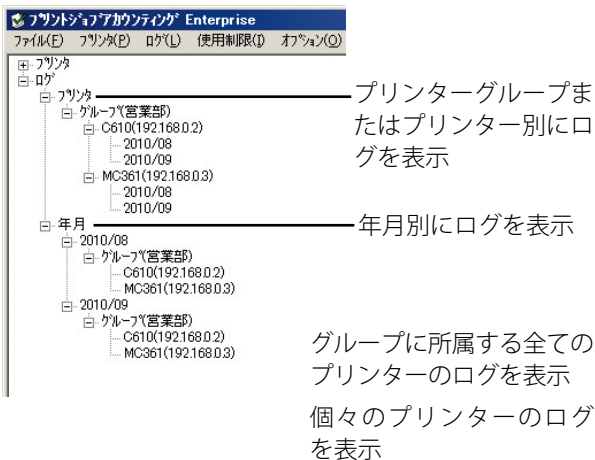
プリンターをグループで管理している場合はグループとしてログを表示することができます。

ログを表示するには

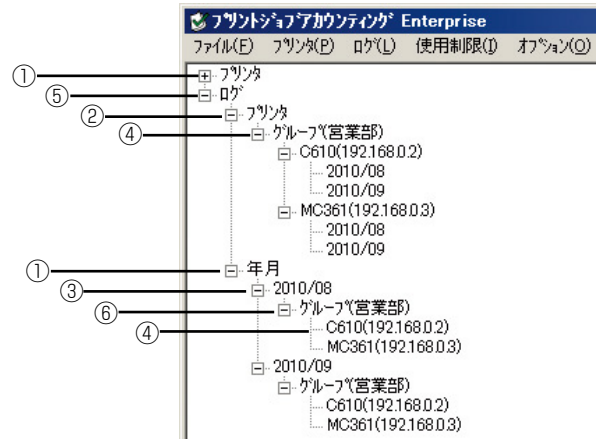
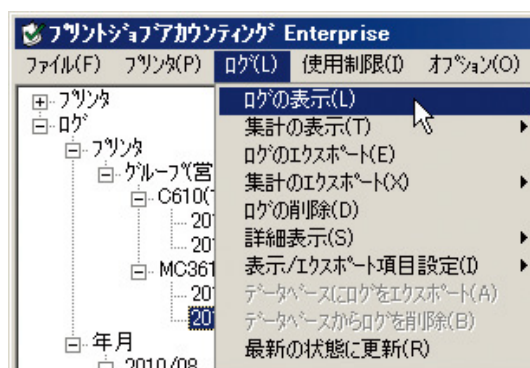
- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 選択ウインドウの「ログ」の左にあるプラス記号をクリックします。
ログのツリーが開きます。



- ③ 手順②と同様の操作で「プリンタ」または「年月」のツリーを開きます。



- ④ 表示したいログを選択し、「ログ」メニューから「ログの表示」を選択します。



- ① すべてのプリンターのすべてのログを表示するには
選択ウインドウで「ログ」-「プリンタ」または「ログ」-「年月」を選択してログを表示します。
- ② 特定のプリンターのすべてのログを表示するには
選択ウインドウで「ログ」-「プリンタ」-「プリンタ名」を選択してログを表示します。
- ③ ある月のすべてのログを表示するには
選択ウインドウで「ログ」-「年月」-「XXXX/YY」(XXXX は年、YY は月)を選択してログを表示します。
- ④ 特定のプリンターのある月のログを表示するには
選択ウインドウで「ログ」-「プリンタ」-「プリンタ名」-「XXXX/YY」(XXXX は年、YY は月)、または「ログ」-「年月」-「XXXX/YY」-「プリンタ名」を選択してログを表示します。
- ⑤ 特定のプリンターグループの全てのログを表示するには
選択ウインドウで「ログ」-「プリンタ」-「グループ名」を選択してログを表示します。
- ⑥ 特定のプリンターグループのある月のログを表示するには
選択ウインドウで「ログ」-「年月」-「XXXX/YY」(XXXX は年、YY は月) - 「グループ名」を選択してログを表示します。

メモ ・ ログの表示中に取得されたログは、「ログ」メニューの「最新の状態に更新」を選択すると表示されます。

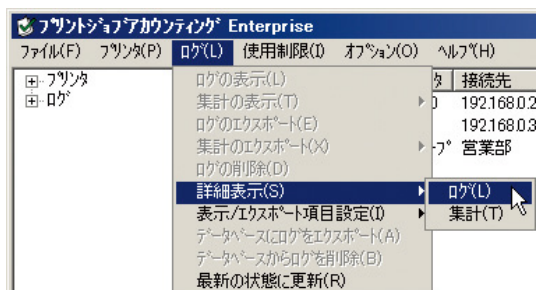
- ・ 詳細ウインドウの上に、現在表示しているログの年月とプリンター名、またはグループ名が表示されます。
- ・ 各項目のタイトル部分をクリックすると、項目の内容でソート(並び替え)されます。もう一度クリックすると逆順にソートされます。

表示している ログの年月 プリンター名、またはグループ名

ログ	年月	プリンター名	グループ名	ユーザ	操作名	実行日時	実行時間	印刷ページ	ステータス
1	2012/04	C610(192.168.0.2)	グループF(営業部)	Client1	商業報告書	19216805	13:00	1	正常終了
2	2012/04	C610(192.168.0.2)	グループF(営業部)	Client1	売上明細	19216805	13:10	1	正常終了
3	2012/04	C610(192.168.0.2)	グループF(営業部)	Client2	上開集計	19216806	13:30	1	正常終了
4	2012/04	C610(192.168.0.2)	グループF(営業部)	Client2	企画	19216806	13:30	1	正常終了

ログのすべての項目を表示するには (詳細表示)

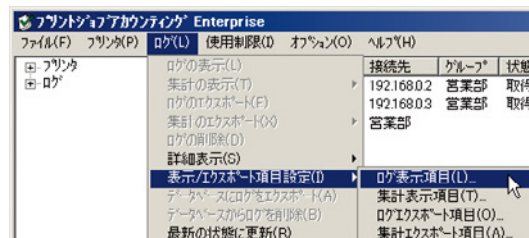
- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② [ログ] メニューから [詳細表示] - [ログ] を選択してチェックを付けます。



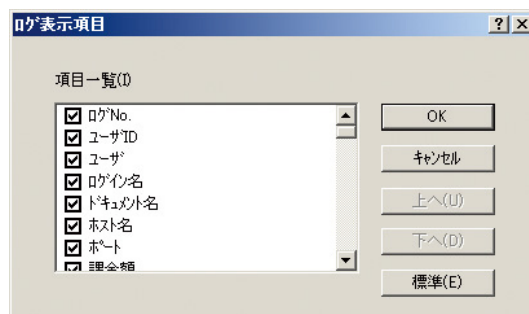
ログを表示している場合は表示が更新され、すべての項目が表示されます。

表示するログの項目を変更するには

- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② [ログ] メニューから [表示/エクスポート項目設定] - [ログ表示項目] を選択します。



- ③ 表示したい項目にチェックを付け、表示しない項目のチェックを外します。
表示されている順が詳細ウインドウでのログの表示順です。項目を選択し、[上へ] [下へ] をクリックして項目の順序を変更することもできます。



- ④ [OK] をクリックします。

ログを表示している場合は、表示が更新されます。

注 詳細表示の状態では、この設定にかかわらず、すべての項目を表示します。

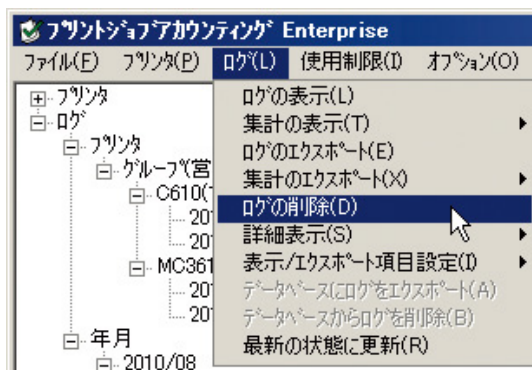
ログを削除します



- ・プリンター別、年月別のツリーは1つのログをそれぞれの分類で表示していますので、プリンター別ツリーからログを削除すれば、年月別ツリーからも該当する部分のログが削除されます。

- ・一度削除したログは復旧できません。

- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 選択ウインドウの「ログ」の左にあるプラス記号をクリックします。
ログのツリーが開きます。
- ③ 手順②と同様の操作で「プリンタ」または「年月」のツリーを開きます。
- ④ 削除したいログを選択し、「ログ」メニューから「ログの削除」を選択します。



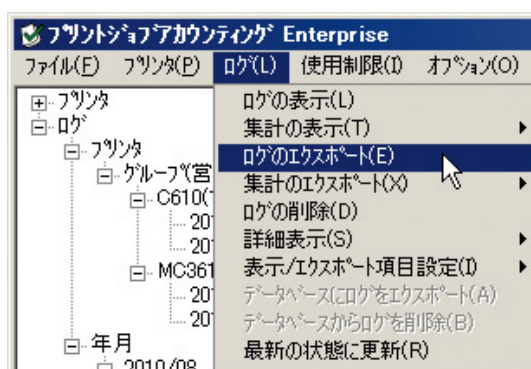
- ⑤ 確認画面で「はい」をクリックします。

ログを CSV ファイルに書き出します

CSV ファイルに書き出すには

取得したログを CSV 形式のファイルに書き出して、市販の表計算ソフトで活用することができます。

- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 選択ウィンドウの「ログ」の左にあるプラス記号をクリックします。
ログのツリーが開きます。
- ③ 手順②と同様の操作で「プリンタ」または「年月」のツリーを開きます。
- ④ 書き出したいログを選択し、「ログ」メニューから「ログのエクスポート」を選択します。

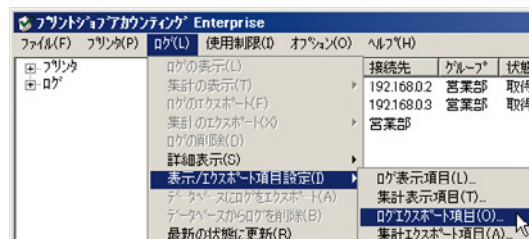


- ⑤ 保存するフォルダーとファイル名を指定して、「保存」をクリックします。

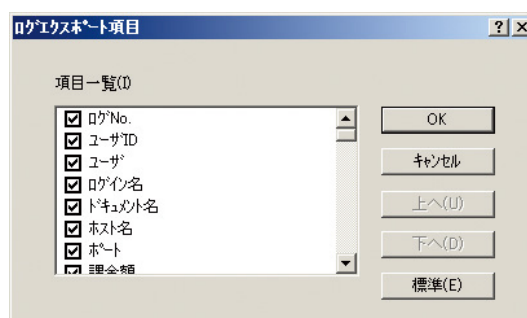
メモ 書き出した項目のうち、数値以外の項目は「/」でくくられます。

書き出すログの項目を変更するには

- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 「ログ」メニューから「表示/エクスポート項目の設定」 - 「ログエクスポート項目」を選択します。



- ③ 書き出す項目にチェックを付け、書き出さない項目のチェックを外します。
表示されている項目順に書き出します。項目を選択し、「上へ」[下へ] をクリックして項目の順序を変更することもできます。



- ④ 「OK」をクリックします。

ログを自動的に CSV ファイルに書き出すには

取得したログを自動的に CSV ファイルに書き出すことができます。

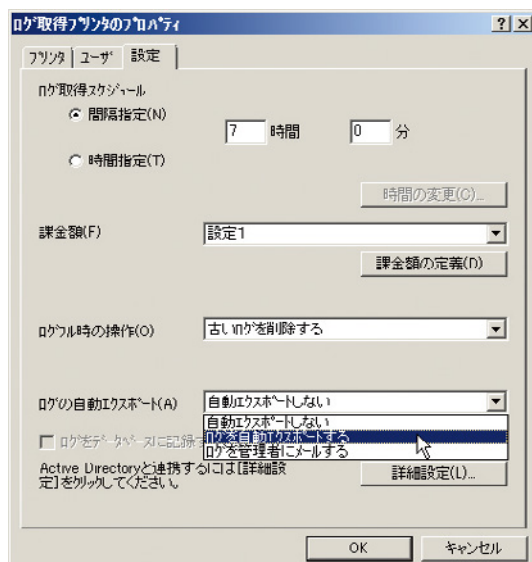
メモ ・ ログは「ログの保存先を変更するには」(180 ページ) で「ログの自動エクスポート先」に設定したフォルダー内にプリンターの接続先 (IP アドレスやポート名) のフォルダーが作成され、そのフォルダー内に okrptXXXXYY.csv (XXXX は年、YY は月) という名前で書き出します。

・ 書き出すログの項目は「書き出すログの項目を変更するには」(184 ページ) で変更することができます。

- 1 サーバーソフトウェアを起動します。
- 2 選択ウインドウの「プリンタ」をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウインドウのリストビューに表示されます。
- 3 プリンターを選択し、「プリンタ」メニューから「プロパティ」を選択します。

メモ プリンターは複数選択することができます。

- 4 「設定」タブの「ログの自動エクスポート」を「ログを自動エクスポートする」に変更します。



- 5 「OK」をクリックします。

ログを管理者にメールで送信するには

取得したログを自動的に CSV ファイルに書き出し、書き出したファイルを月ごとにメールに添付して管理者に送信することができます。

注 あらかじめ「メール送信機能の設定をします」(206 ページ) に従って、送信メールサーバー、送信者のメールアドレス、管理者のメールアドレスを設定する必要があります。

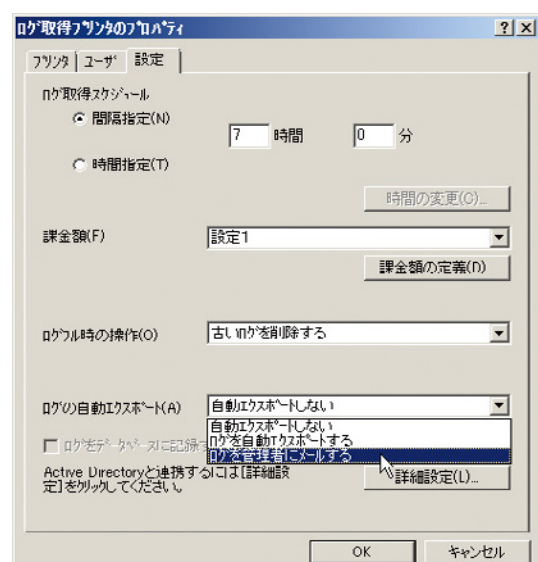
メモ ・ メールは「締め日を変更するには」(178 ページ) で設定された締め日 (初期設定は月末) の翌日に送信されます。

・ 書き出すログの項目は「書き出すログの項目を変更するには」(184 ページ) で変更することができます。

- 1 サーバーソフトウェアを起動します。
- 2 選択ウインドウの「プリンタ」をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウインドウのリストビューに表示されます。
- 3 プリンターを選択し、「プリンタ」メニューから「プロパティ」を選択します。

メモ プリンターは複数選択することができます。

- 4 「設定」タブの「ログの自動エクスポート」を「ログを管理者にメールする」に変更します。



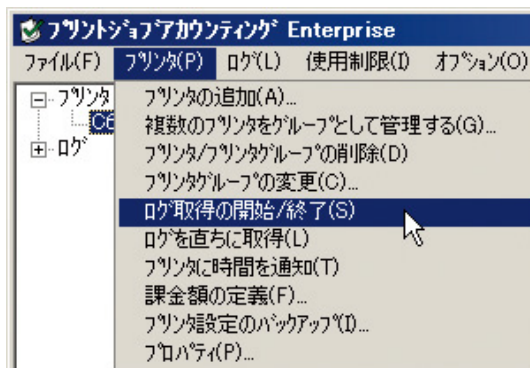
- 5 「OK」をクリックします。

ログの取得を終了します

ログの取得を終了したり、再度開始できます。

- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 選択ウィンドウの「プリンタ」をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウィンドウのリストビューに表示されます。
- ④ プリンターを選択し、「プリンタ」メニューから「ログ取得の開始 / 終了」を選択します。

メモ プリンターは複数選択することができます。



- ⑤ 確認画面で「はい」をクリックします。

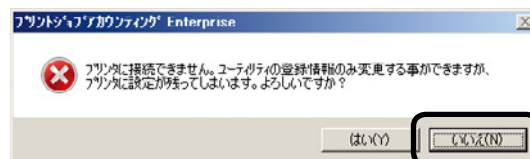


- ⑥ 「プリンタの管理者パスワードを入力してください。」画面が表示されたら、プリンターの管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックします。

注 プリンターによっては表示されません。



注 下記の画面が表示された場合、プリンターと接続できていません。
必ず「はい」をクリックし、プリンターと接続してから再度やり直してください。



10. ログを集計します

ログを集計します	188
集計の結果を CSV ファイルに書き出します	193

10. ログを集計します

取得したログをプリンター別、ユーザー ID 別、ユーザー名別、月別に集計できます。また集計結果を CSV ファイルに書き出すこともできます。

ログを集計します

集計できる項目

集計したときに表示される項目は以下のとおりです。

注 プリンターの機種やオプションの有無で集計できる項目は異なります。

項 目	内 容
プリンタ	集計を行っているプリンター名です。プリンター別に集計したときに表示されます。
接続先	集計しているプリンターの接続先です。プリンター別に集計したときに表示されます。
名前	集計しているユーザー ID の名前です。ユーザー ID 別に集計したときに表示されます。
ユーザ ID	集計しているユーザー ID です。ユーザー ID 別に集計したときに表示されます。
ユーザ	集計を行っているユーザー名です。ユーザー名別に集計したときに表示されます。
年月	集計している年月です。年月別に集計したときに表示されます。
グループ	集計を行っているプリンターもしくはユーザーが所属しているグループ名です。
課金額	課金額の合計です。
ジョブ数	ジョブ数の合計です。
印刷枚数	印刷した枚数の合計です。
印刷ページ	印刷したページ数の合計です。
カラー	カラー印刷したページ数の合計です。
モノクロ	モノクロ印刷したページ数の合計です。
プリンタ占有時間	プリンターを使用した時間の合計です。
正常終了 ^{*1}	正常に終了したジョブの合計です。
ジョブキャンセル ^{*1}	ユーザーの操作でキャンセルされたジョブの合計です。(印刷の場合は、1 枚以上印刷が行われた場合)
中止 ^{*1}	ユーザーの操作以外でキャンセルされたジョブの合計です。
異常終了 ^{*1}	異常に終了したジョブの合計です。

項 目	内 容
詳細ステータス	・ ログバッファフル： プリンターのログバッファ一杯になりキャンセルされたジョブの合計です。 ・ アクセス制限： 使用制限によりキャンセルされたジョブの合計です。 ・ メモリーオーバーフロー： メモリーオーバーフローによりキャンセルされたジョブの合計です。 ・ カラー印刷拒否： 使用制限（Disable Color Printing）によりキャンセルされたジョブの合計です。 ・ モノクロ印刷（カラー制限）： 使用制限（Disable Color Printing）によりモノクロで印刷されたジョブの合計です。 ・ リップエラー： リップエラーによりキャンセルされたジョブの合計です。
A4 ^{*1} A5 A6 ：	用紙サイズごとの印刷枚数の合計です。
片面 ^{*1}	片面印刷した枚数の合計です。
両面 ^{*1}	両面印刷した枚数の合計です。
トナー（C）	シアントナー使用量の各レベルのページ数の合計です。
トナー（M）	マゼンタトナー使用量の各レベルのページ数の合計です。
トナー（Y）	イエロートナー使用量の各レベルのページ数の合計です。
トナー（K）	ブラックトナー使用量の各レベルのページ数の合計です。
ドラム（C）	シアンドラム使用量の合計です。
ドラム（M）	マゼンタドラム使用量の合計です。
ドラム（Y）	イエロードラム使用量の合計です。
ドラム（K）	ブラックドラムおよび4色一体型ドラムの使用量の合計です。
ベルト	ベルト使用量の合計です。
定着器	定着器使用量の合計です。
ホチキス ^{*1}	オプションのフィニッシャーを装着している場合、ホチキスを使用した回数の合計です。
普通紙 ^{*1*2} レターヘッド OHP シート ：	用紙タイプごとの印刷枚数の合計です。
自動 ^{*1*2} 薄い 普通 ：	用紙の厚さごとの印刷枚数の合計です。
トレイ 1 ^{*1*2}	トレイ 1 から給紙した枚数の合計です。
トレイ 2 ^{*1*2}	トレイ 2 から給紙した枚数の合計です。

項 目	内 容
トレイ 3 ^{*1*2}	トレイ 3 から給紙した枚数の合計です。
トレイ 4 ^{*1*2}	トレイ 4 から給紙した枚数の合計です。
トレイ 5 ^{*1*2}	トレイ 5 から給紙した枚数の合計です。
マルチパーパストレイ ^{*1*2}	マルチパーパストレイ / 手差しトレイから給紙した枚数の合計です。
マルチパーパスフィーダ ^{*1*2}	オプションのマルチパーパスフィーダーから給紙した枚数の合計です。
300dpi ^{*1*2}	300dpi で印刷したページ数の合計です。
600dpi ^{*1*2}	600dpi で印刷したページ数の合計です。
600 × 1200dpi ^{*1*2}	600 × 1200dpi で印刷したページ数の合計です。
1200dpi ^{*1*2}	1200dpi で印刷したページ数の合計です。
2400 × 600dpi ^{*1*2}	2400 × 600dpi で印刷したページ数の合計です。
カラーキャンページ ^{*1}	スキャンしたカラーページ数の合計です。
モノクロキャンページ ^{*1}	スキャンしたモノクロページ数の合計です。
スキャン時印刷あり ^{*1}	スキャン時に印刷を伴うジョブ数の合計です。
スキャン時印刷なし ^{*1}	スキャン時に印刷を伴わないジョブ数の合計です。
印刷 ^{*1} Fax 受信印刷 ^{*1} PC スキャン ^{*1} :	機能ごとのログ数の合計です。
印刷 ^{*1} スキャン ^{*1} Fax ^{*1} :	サービスごとのログ数の合計です。
通信時間 ^{*1}	Fax の送信および受信に要した時間の合計です。
送信 ^{*1}	Fax で送信したジョブ数の合計です。
受信 ^{*1}	Fax で受信したジョブ数の合計です。
複数宛先送信 ^{*1}	Fax で複数の宛先に送信したジョブ数の合計です。
PC からの送信 ^{*1}	PC から Fax 送信したジョブ数の合計です。
PC からの複数宛先送信 ^{*1}	PC から複数宛先に Fax 送信したジョブ数の合計です。
Eメール送信 ^{*1}	Eメールを送信したジョブ数の合計です。
Eメール複数宛先送信 d ^{*1}	複数宛先に Eメールを送信したジョブ数の合計です。
通信ページ ^{*1}	Fax で送信および受信したページ数の合計です。
ホワイト / クリアー	ホワイト / クリアーとホワイト / クリアー以外の色で印刷したページ数の合計です。
ホワイト / クリアーのみ	ホワイト / クリアーのみで印刷したページ数の合計です。
トナー (W/L)	ホワイト / クリアートナー使用量の各レベルのページ数の合計です。
ドラム (W/L)	ホワイト / クリアードラム使用量の合計です。

^{*1} 本項目は集計結果が 0 の場合には表示されません。

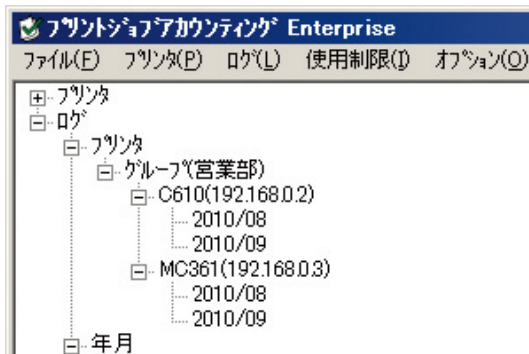
^{*2} 本項目は初期設定では表示されません。

集計を表示します

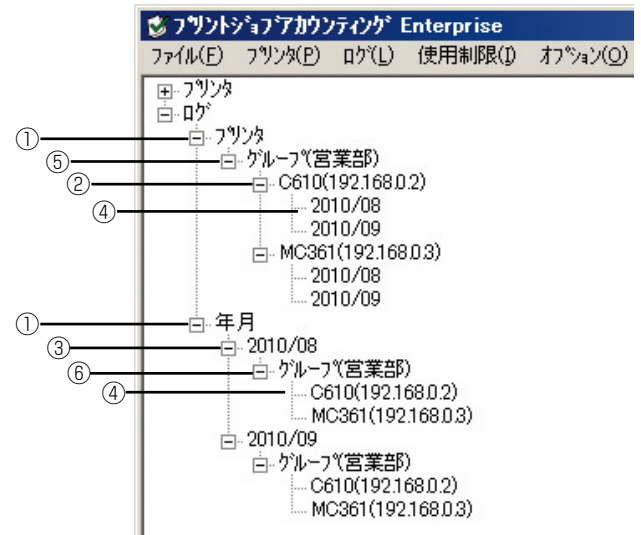
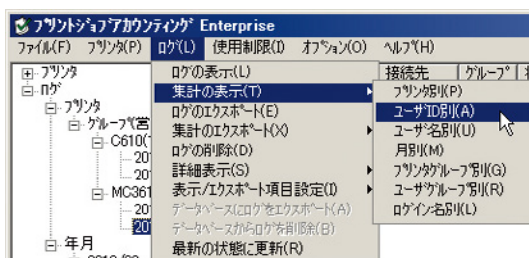
- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 選択ウィンドウの「ログ」の左にあるプラス記号をクリックします。
ログのツリーが開きます。



- ③ 手順②と同様の操作で「プリンタ」または「年月」のツリーを開きます。



- ④ 集計したいログを選択し、「ログ」メニューの「集計表示」から「プリンタ別」、「ユーザID別」、「ユーザ名別」、「月別」、「プリンタグループ別」、「ユーザグループ別」を選択します。



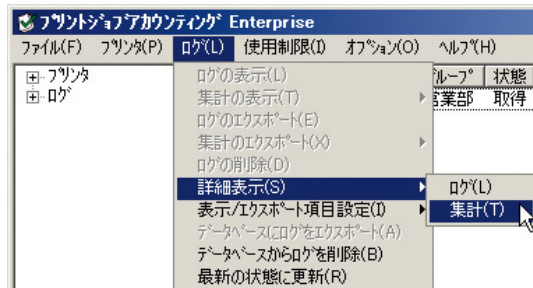
- ① すべてのプリンターのすべてのログを集計するには
選択ウィンドウで「ログ」 - 「プリンタ」または「ログ」 - 「年月」を選択してログを集計します。
- ② 特定のプリンターのすべてのログを集計するには
選択ウィンドウで「ログ」 - 「プリンタ」 - 「プリンタ名」を選択してログを集計します。
- ③ ある月のすべてのログを集計するには
選択ウィンドウで「ログ」 - 「年月」 - 「XXXX/YY」(XXXX は年、YY は月) を選択してログを集計します。
- ④ 特定のプリンターのある月のログを集計するには
選択ウィンドウで「ログ」 - 「プリンタ」 - 「プリンタ名」 - 「XXXX/YY」(XXXX は年、YY は月)、または「ログ」 - 「年月」 - 「XXXX/YY」 - 「プリンタ名」を選択してログを集計します。
- ⑤ 特定のグループのすべてのログを集計するには
選択ウィンドウで「ログ」 - 「プリンタ」 - 「グループ名」を選択してログを集計します。
- ⑥ 特定のグループのある月のログを集計するには
選択ウィンドウで「ログ」 - 「年月」 - 「XXXX/YY」(XXXX は年、YY は月) - 「グループ名」を選択してログを集計します。

- メモ
- ・ 詳細ウィンドウの上に現在集計しているログの年月とプリンター名が表示されます。
 - ・ 各項目のタイトル部分をクリックすると、項目の内容でソート(並び替え)されます。もう一度クリックすると逆順にソートされます。

集計している ログの年月		集計している プリンター名	
2010/09		C610(192.168.0.2)	
集計	接続先	グループ	課金額
プリンタ	接続先	グループ	課金額
C610	192.168.0.2	営業部	43.90

すべての項目の集計を表示するには (詳細表示)

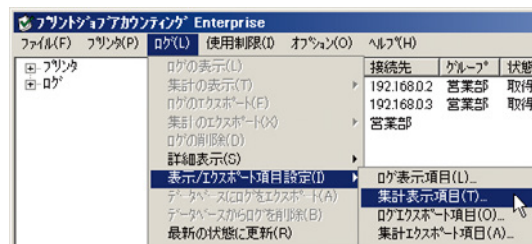
- ① サーバソフトウェアを起動します。
- ② [ログ] メニューから [詳細表示] - [集計] を選択し、チェックを付けます。



集計を表示している場合は表示が更新され、すべての項目が表示されます。

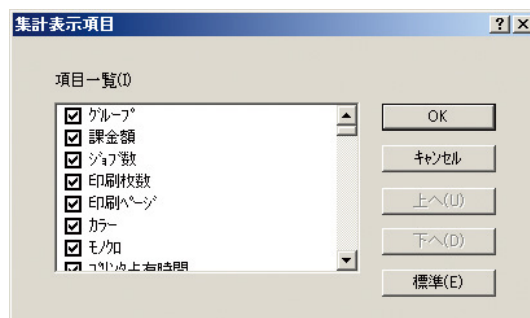
集計する項目を変更するには

- ① サーバソフトウェアを起動します。
- ② [ログ] メニューから [表示/エクスポート項目設定] - [集計表示項目] を選択します。



- ③ 表示したい項目にチェックを付け、表示しない項目のチェックを外します。

表示されている順が詳細ウィンドウでの集計項目の表示順です。項目を選択し、[上へ] [下へ] をクリックして項目の順序を変更することもできます。



- ④ [OK] をクリックします。

集計を表示している場合は表示が更新されます。

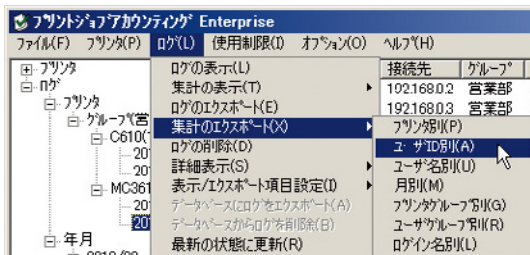
- 注!** 詳細表示の状態では、この設定に関わらず、すべての項目を表示します。

集計の結果を CSV ファイルに書き出します

CSV ファイルに書き出すには

集計した結果を CSV 形式のファイルに書き出して、市販の表計算ソフトで活用することができます。

- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 選択ウィンドウの「ログ」の左にあるプラス記号をクリックします。
ログのツリーが開きます。
- ③ 手順②と同様の操作で「プリンタ」または「年月」のツリーを開きます。
- ④ 集計を書き出したいログを選択し、「ログ」メニューの「集計のエクスポート」から「プリンタ別」、「ユーザID別」、「ユーザ別」、「月別」、「プリンタグループ別」、「ユーザグループ別」を選択します。

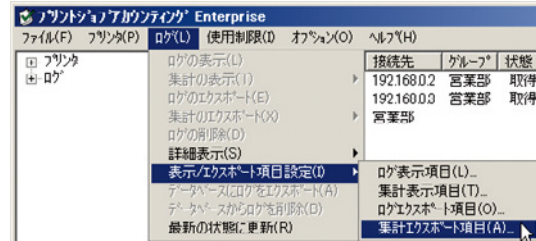


- ⑤ 保存するフォルダーとファイル名を指定して、「保存」をクリックします。

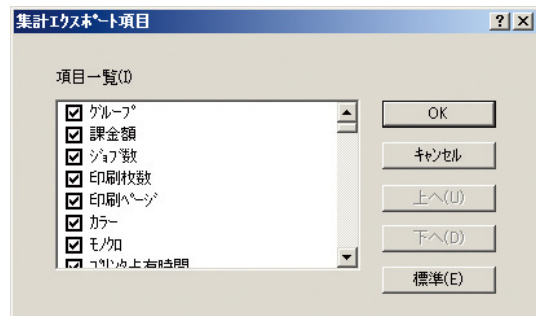
メモ 書き出した項目のうち、数値以外の項目は「」でくくられます。

書き出す集計項目を変更するには

- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 「ログ」メニューから「表示/エクスポート項目設定」 - 「集計エクスポート項目」を選択します。



- ③ 書き出す項目にチェックを付け、書き出さない項目のチェックを外します。
表示されている項目順に書き出します。項目を選択し、「上へ」「下へ」をクリックして項目の順序を変更することもできます。



- ④ 「OK」をクリックします。

Memo

11. クライアントソフトウェアについて

ジョブアカウントモードの変更 196

11. クライアントソフトウェアについて

クライアントソフトウェアで設定するプリントジョブアカウントモードについて説明します。

ジョブアカウントモードの変更

ジョブアカウントモードとは Windows クライアントコンピュータでユーザー名とユーザー ID を設定する方式です。4 つのモードがあります。

注！ MacOS および Mac OS X ではジョブアカウントモードの変更はありません。

メモ ジョブアカウントモードの設定は、プリントジョブアカウントティングに対応しているプリンタードライバーでのみ行えます。

ジョブアカウントモードの種類

タブモード

プリンタードライバーのプロパティに、ユーザー名とユーザー ID を設定するためのタブが表示されます。ユーザー自身がユーザー名とユーザー ID の設定や変更を行う場合に使用します。

ホップアップモード

印刷ジョブを送信するごとに、ユーザー名とユーザー ID を設定するポップアップ画面が表示されます。1 台のコンピュータを複数ユーザーが使用している場合に使用します。

注！ 共有プリンターのクライアント側で印刷を行っても、入力画面は表示されません。共有プリンターでは、非表示モードを使用してください。

非表示モード

共有プリンターのクライアント側で印刷を行っても、入力画面は表示されません。共有プリンターでは、非表示モードを使用してください。システム管理者があらかじめ Windows へのログオンユーザー名に対応するユーザー ID とユーザー名を記述した ID ファイルを作成します。このファイルをクライアントソフトウェアで指定することで、印刷を行ったユーザーを識別し、対応するユーザー ID を自動的に取得します。また、全てのログオンユーザーに対して同じユーザー ID を設定することも可能です。ユーザーは設定を行ったり、自分のユーザー ID について知る必要はありません。Windows コンピューターをプリントサーバーとし、プリンターを共有プリンターとして使用する場合、プリントサーバーとなるコンピューターにクライアントソフトウェアをインストールし、使用します。

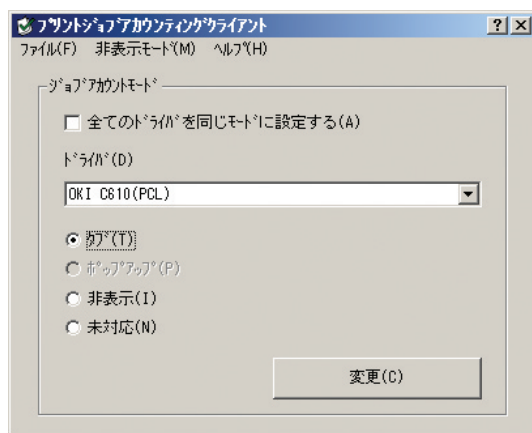
未対応モード

ユーザーの識別を行わず、すべてのジョブは未登録 ID として認識されます。ユーザー名は Windows へのログオンユーザー名、ユーザー ID は 0 でログが残ります。ユーザーの識別が必要ない場合に使用します。

注！ プリンタードライバーのアップデート、再インストールを行うと未対応モードになりますので、再度ジョブアカウントモードを設定し直してください。ただし、全てのプリンタードライバーを同じモードに設定する機能を使用している場合は、モードを設定しなおす必要はありません。

タブモードで使用するには

- ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [プリントジョブアカウントティングクライアント] - [ユーザの変更] を選択します。
[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたら、[続行] もしくは [はい] をクリックしてください。
- ② [ドライバ] リストからログを取得するプリンターのプリンタードライバーを選択します。全てのプリンタードライバーを同じモードに設定したい場合は、「全てのドライバを同じモードに設定する」にチェックします。
- ③ [タブ] を選択し、[変更] をクリックします。



- ④ 変更通知画面で [OK] をクリックします。
- ⑤ [ファイル] メニューの [閉じる] を選択します。
- ⑥ Windows 8.1/Windows Server 2012 R2/Windows 8/Windows Server 2012/Windows 7/Windows Server 2008 R2/Windows Vista/Windows Server 2008 では [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタ] をクリックします。(Windows Server 2003 では [スタート] - [プリンタとFAX] を選択します。)
- ⑦ プリンタードライバーアイコンをマウスの右ボタンでクリックして [プロパティ] を選択します。

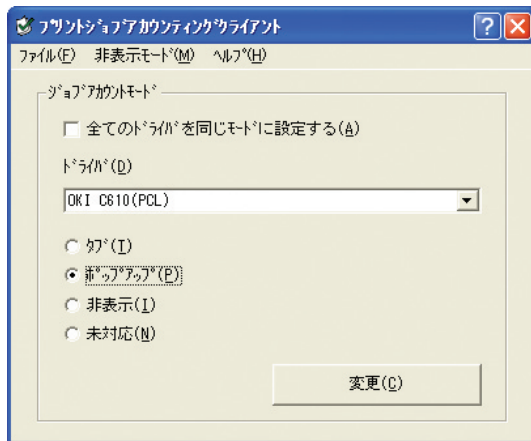
- ⑧ [ジョブアカウント] タブでユーザー名とユーザー ID を入力し、[OK] をクリックします。
初期設定ではユーザー名は Windows へのログオンユーザー名、ユーザー ID は 1 です。



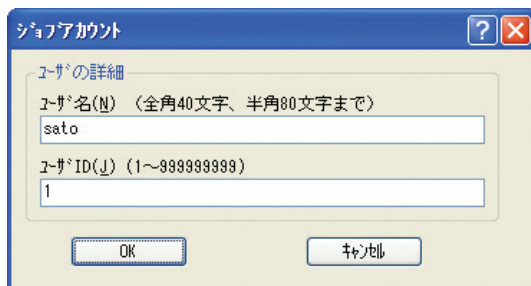
- ⑨ アプリケーションから印刷します。

ポップアップモードで使用するには

- ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [プリントジョブアカウンティングクライアント] - [ジョブアカウントモードの変更] を選択します。
[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたら、[続行] もしくは [はい] をクリックしてください。
- ② [ドライバ] リストからログを取得するプリンターのプリンタードライバを選択します。全てのプリンタードライバを同じモードに設定したい場合は、「全てのドライバを同じモードに設定する」にチェックします。
- ③ [ポップアップ] を選択し、[変更] をクリックします。



- ④ 変更通知画面で [OK] をクリックします。
- ⑤ [ファイル] メニューの [閉じる] を選択します。
- ⑥ アプリケーションから印刷します。
- ⑦ ポップアップ画面が表示されるので、ユーザー名とユーザー ID を入力し、[OK] をクリックします。
[キャンセル] をクリックした場合、ユーザー名は空白、ユーザー ID は 0 でログが残ります。印刷ジョブはキャンセルされません。



非表示モードでユーザー毎にユーザー ID を切り替えて使用するには

- ① メモ帳、Excel 等で ID ファイルを作成します。

＜メモ帳の場合＞

- ① 各行に 1 ユーザーずつ、ログオンユーザー名、ユーザー ID、ユーザー名を記載します。ログオンユーザー名、ユーザー ID、ユーザー名の間は「,」で区切ります。

ログオンユーザー名：

Windows にログオンするときに入力するユーザー名

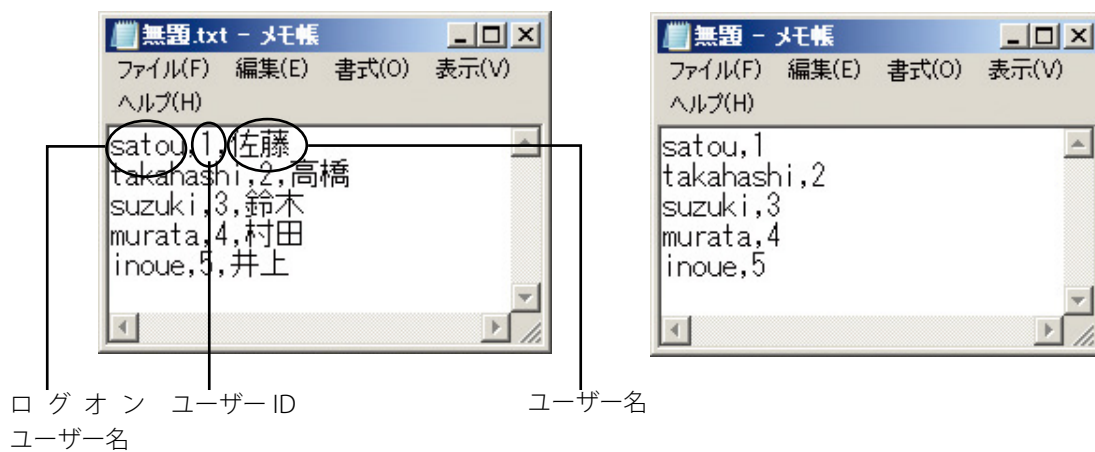
ユーザー ID：

ログオンユーザー名に対応するユーザー ID

ユーザー名：

プリントジョブアカウントングで使用するユーザー名

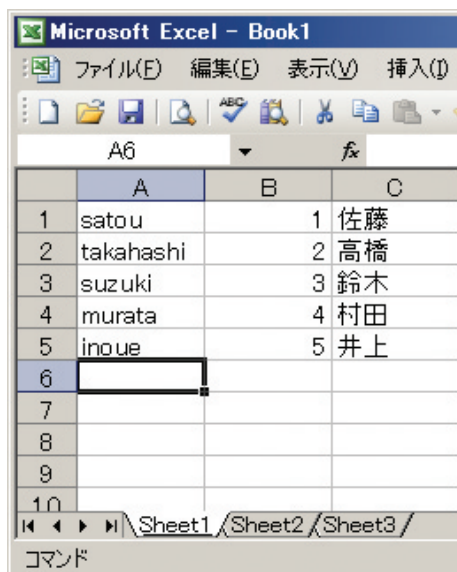
ユーザー名は省略できます。省略する場合、ログオンユーザー名がユーザー名として使用されます。



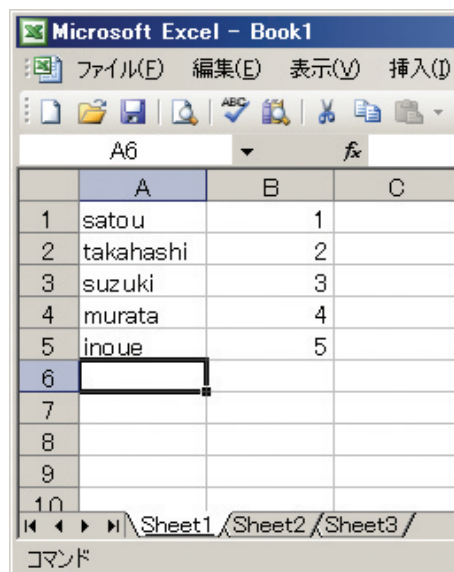
- ② テキスト形式でファイルの拡張子を「CSV」にして保存します。

< Excel の場合 >

- ① 各行に 1 ユーザーずつ、ログインユーザー名、ユーザー ID、ユーザー名を記載します。



	A	B	C
1	satou	1	佐藤
2	takahashi	2	高橋
3	suzuki	3	鈴木
4	murata	4	村田
5	inoue	5	井上
6			
7			
8			
9			
10			



	A	B	C
1	satou	1	
2	takahashi	2	
3	suzuki	3	
4	murata	4	
5	inoue	5	
6			
7			
8			
9			
10			

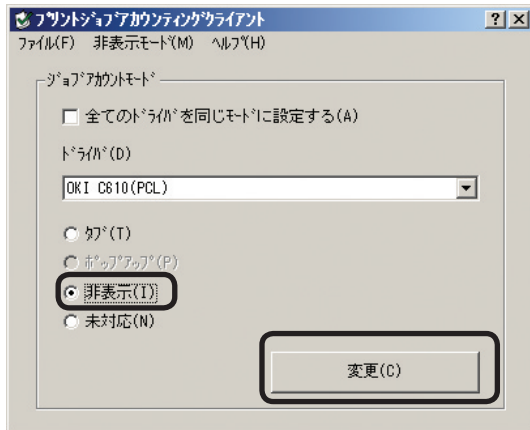
- ② CSV 形式でファイルを保存します。

- ② [スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [プリントジョブアカウントティングクライアント] - [ユーザの変更] を選択します。[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたら、[続行] もしくは [はい] をクリックします。
- ③ [ドライバ] リストからログを取得するプリンターのプリンタードライバーを選択します。全てのプリンタードライバーを同じモードに設定したい場合は、「全てのドライバーを同じモードに設定する」にチェックします。

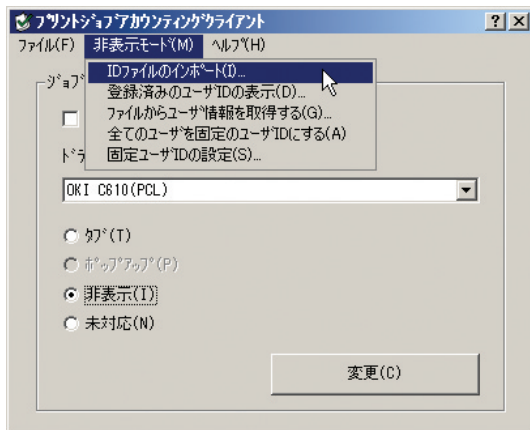


共有プリンターを使用している場合は、全てのプリンタードライバーを同じモードに設定する機能を使用しないでください。共有プリンターのクライアント側で印刷を行う場合に、アカウント情報が出力されません。

- ④ [非表示] を選択し、[実行] をクリックします。



- ⑤ 変更通知画面で [OK] をクリックします。
⑥ [非表示モード] メニューの [ID ファイルのインポート] を選択します。



- ⑦ 手順①で作成した ID ファイルを指定して [開く] をクリックします。
⑧ [非表示モード] メニューの [全てのユーザを固定のユーザ ID にする] にチェックがついている場合は、チェックを外します。
⑨ [ファイル] メニューの [閉じる] を選択します。
⑩ アプリケーションから印刷します。



登録されていないログオンユーザー名で Windows にログオンして印刷した場合、ユーザー名は現在のログオンユーザー名、ユーザー ID は 0 でログが残ります。



非表示モードメニューの「登録済みのユーザ ID の表示」を選択し、既に登録されているユーザー ID の確認や、不要なユーザー ID の削除、ID ファイルのインポートを行うことができます。

非表示モードでファイルからユーザー情報を取得するには

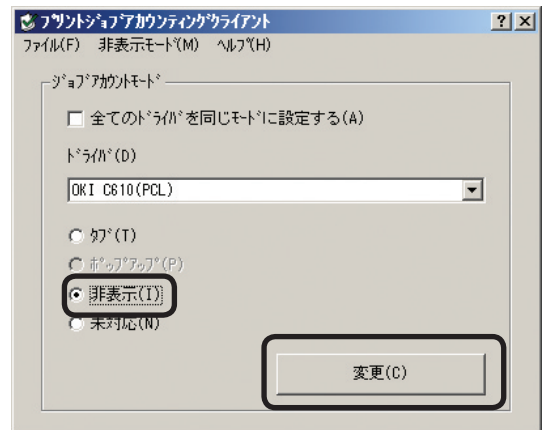
特定のファイルからユーザー情報を取得することができます。「クライアントソフトウェア用データをエクスポートします」(120 ページ)で作成したファイルを指定することができます。

- ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [プリントジョブアカウントングクライアント] - [ジョブアカウントモードの変更] を選択します。[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたら、[続行] もしくは [はい] をクリックします。
② [ドライバ] リストからログを取得するプリンターのプリンタードライバーを選択します。全てのプリンタードライバーを同じモードに設定したい場合は、[全てのドライバを同じモードに設定する] にチェックします。



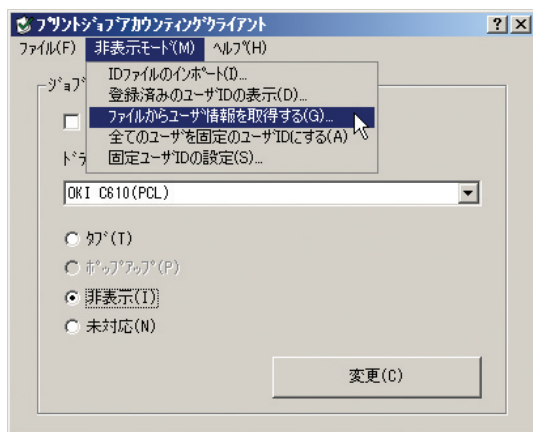
共有プリンターを使用している場合は、全てのプリンタードライバーを同じモードに設定する機能を使用しないでください。共有プリンターのクライアント側で印刷を行う場合に、アカウント情報が出力されません。

- ③ [非表示] を選択し、[変更] をクリックします。

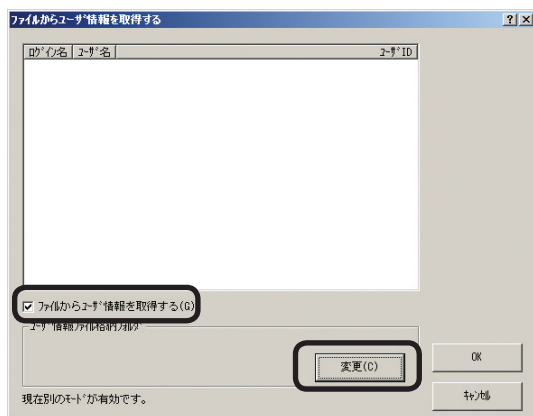


- ④ 変更通知画面で [OK] をクリックします。

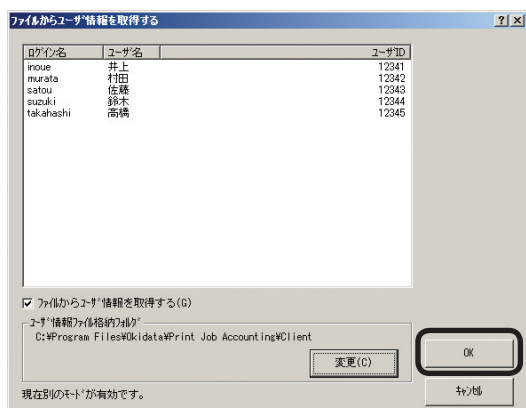
- ⑤ [非表示モード]メニューの[ファイルからユーザ情報を取得する]を選択します。



- ⑥ 「ファイルからユーザ情報を取得する」にチェックを付け、「変更」をクリックします。



- ⑦ ユーザー情報を取得するファイルを選択し、「OK」をクリックします。
⑧ 「OK」をクリックします。

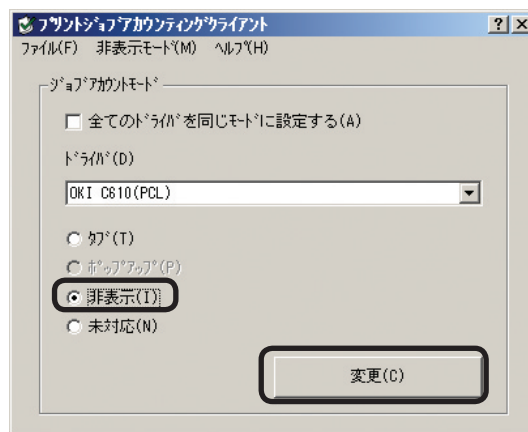


非表示モードで全てのユーザーを同じユーザー ID で使用するには

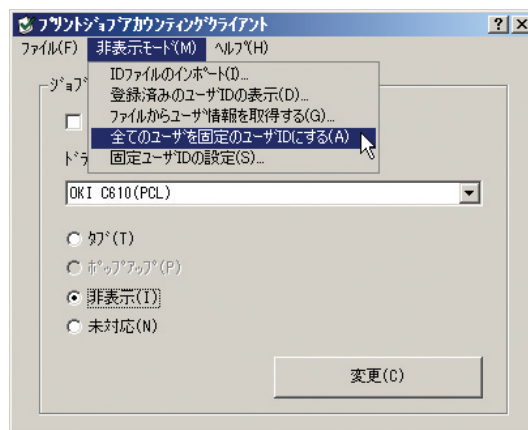
- ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [プリントジョブアカウントティングクライアント] - [ジョブアカウントモードの変更] を選択します。[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたら、[続行] もしくは [はい] をクリックします。
- ② [ドライバ] リストからログを取得するプリンターのプリンタードライバーを選択します。全てのプリンタードライバーを同じモードに設定したい場合は、「全てのドライバを同じモードに設定する」にチェックします。

注 共有プリンターを使用している場合は、全てのプリンタードライバーを同じモードに設定する機能を使用しないでください。共有プリンターのクライアント側で印刷を行う場合に、アカウント情報が出力されません。

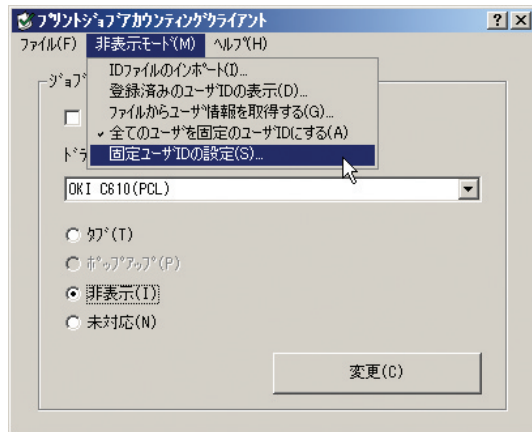
- ③ [非表示] を選択し、[変更] をクリックします。



- ④ 変更通知画面で [OK] をクリックします。
⑤ [非表示モード] メニューの [全てのユーザを固定のユーザ ID にする] にチェックをつけます。

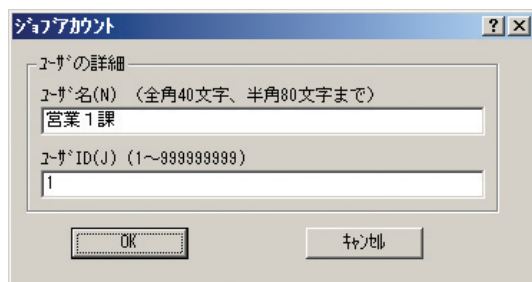


- ⑥ [非表示モード] メニューの [固定ユーザ ID の設定] を選択します。



- ⑦ ユーザー名とユーザー ID を入力し、[OK] をクリックします。

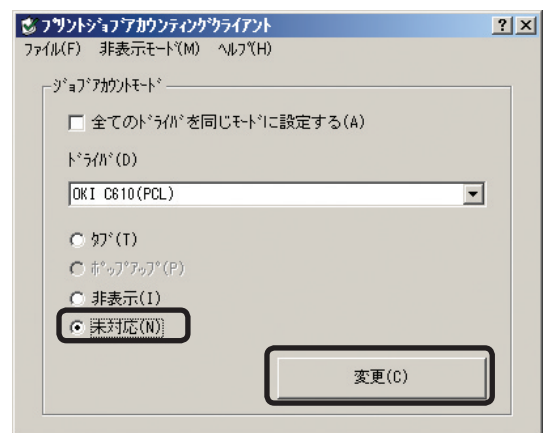
メモ ユーザー名を省略した場合は、ログオンユーザー名がユーザー名として使われます。



- ⑧ [ファイル] メニューの [閉じる] を選択します。
⑨ アプリケーションから印刷します。

未対応モードで使用するには

- ① [スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [プリントジョブアカウントティングクライアント] - [ジョブアカウントモードの変更] を選択します。[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたら、[続行] もしくは [はい] をクリックします。
- ② [ドライバ] リストからログを取得するプリンターのプリンタードライバを選択します。全てのプリンタードライバを同じモードに設定したい場合は、「全てのドライバを同じモードに設定する」にチェックします。
- ③ [未対応] を選択し、[変更] をクリックします。



- ④ 変更通知画面で [OK] をクリックします。
⑤ [ファイル] メニューの [閉じる] を選択します。
⑥ アプリケーションから印刷します。

Memo

12. 運用と管理について

運用と管理について	206
ソフトウェアを削除するには	221

12. 運用と管理について

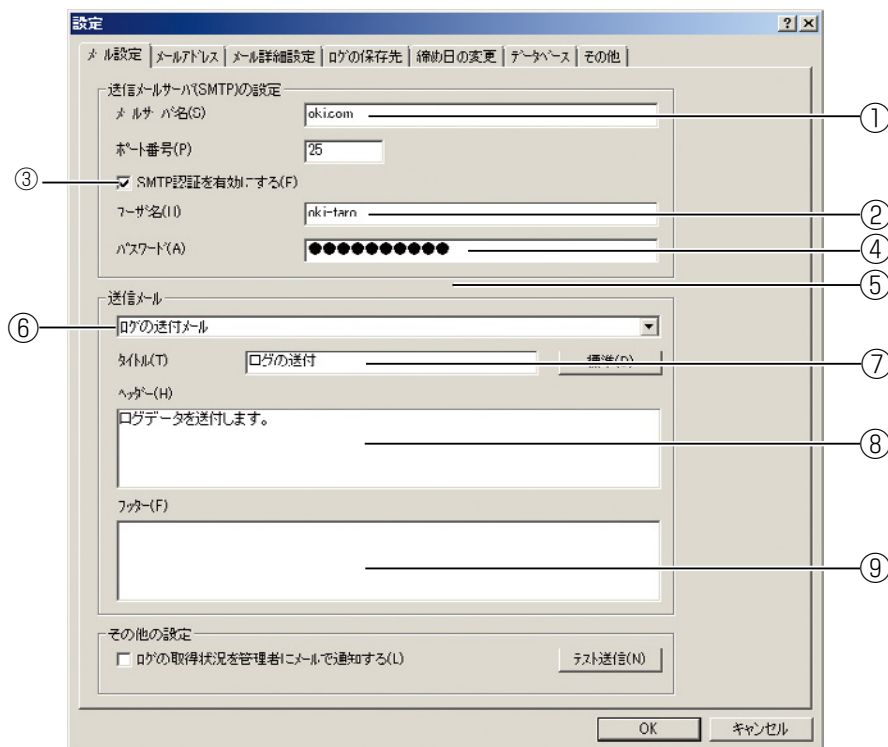
プリンターを移動したときやサーバーを変更したとき、またプリントジョブアカウンティングの削除方法について説明します。

運用と管理について

メール送信機能の設定をします

メールの送信機能を使用するための設定を行います。送信メールサーバー、送信メールの形式、送信者のメールアドレス、管理者のメールアドレスを設定することができます。

- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② [オプション] メニューの [設定] を選択します。
[メール設定] タブの設定をします。



- ① ジョブアカウントサーバーが使用するメールサーバー（SMTP）を入力します。サーバー名がわからない場合は、ネットワークの管理者へお問い合わせください。
- ② ポート番号を入力します。通常は [25] を入力します。
- ③ メールを送信時にユーザー認証を行う場合にチェックを付けます。
- ④ ユーザー認証を行う場合にログインユーザー名を入力します。
- ⑤ ユーザー認証を行う場合にパスワードを入力します。
- ⑥ 送信する内容を選択します。

ログの送付メール	ログを管理者にメールする機能で、送信されるメールの内容です。
制限値超過によって印刷が禁止されたときのメール	制限値を超過したユーザーもしくはユーザーグループに送信されるメールの内容です。(Enterprise 版のみ)
印刷が許可されたときのメール	制限値がリセットされ印刷が可能になったユーザーもしくはユーザーグループに送信されるメールの内容です。(Enterprise 版のみ)
集計結果の送付メール	集計結果をメールで通知する機能で送信されるメールの内容です。(Enterprise 版のみ)
ログの取得状況をメール	ログの取得状況をメールで通知する機能で送信されるメールの内容です。
添付ファイルサイズ制限超過時のメール	添付ファイルのサイズを制限する機能で、1つのファイルで設定されたサイズを超える場合に送信されるメールの内容です。
データベースへのログ保存に失敗したときに通知する機能で、送信されるメールの内容です	データベースへのログ保存に失敗したときに通知する機能で、送信されるメールの内容です。(Enterprise 版のみ)
IC カード対応表が送信不可のときに通知する機能で、送信されるメールの内容です。	IC カード対応表が送信不可のときに通知する機能で、送信されるメールの内容です。(Enterprise 版のみ)
IC カード対応表に IC カード情報が存在しないときに通知する機能で、送信されるメールの内容です	IC カード対応表に IC カード情報が存在しないときに通知する機能で、送信されるメールの内容です。(Enterprise 版のみ)
IC カード対応表の IC カード情報が重複しているときに通知する機能で、送信されるメールの内容です	IC カード対応表の IC カード情報が重複しているときに通知する機能で、送信されるメールの内容です。(Enterprise 版のみ)
IC カード対応表の最大登録ユーザー数超過時に通知する機能で、送信されるメールの内容です	IC カード対応表の最大登録ユーザー数超過時に通知する機能で、送信されるメールの内容です。(Enterprise 版のみ)

- ⑦ メールタイトルの入力
- ⑧ メール文にヘッダーを付ける場合の入力
- ⑨ メール文にフッターをつける場合の入力

③ メールアドレスタブの設定をします。

- ① メール送信者の名前を入力します。
- ② メール送信者のメールアドレスを入力します。
- ③、④ ログを管理者に送信する機能でログに送信したい人の名前とメールアドレスを設定します。
③に送信相手の名前、④にメールアドレスを入力し、追加をクリックします。複数の相手に送る場合は、この操作を繰り返します。
- ⑤ 送信相手が表示されていることを確認して、[OK] をクリックします。

印刷禁止・許可をメールで通知します (Enterprise 版のみ)

「制限値を超えたときメールで通知する」にチェックをつけると、使用量が制限値を超えて印刷できないときに、そのユーザーにメールで通知します。

制限値を超過したため、印刷が禁止されました。

プリンタ MC361(192.168.0.2)

ユーザ 高橋
ユーザ ID 2

また、制限値がリセットされて使用可能になったときにもメールで通知します。

制限値がリセットされたため、印刷が許可されました。

プリンタ MC361(192.168.0.2)

ユーザ 高橋
ユーザ ID 2

注 あらかじめ「メール送信機能の設定をします」(206 ページ)に従って、送信メールサーバー、送信者のメールアドレスを設定する必要があります。

- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 選択ウインドウの「プリンタ」の左にあるプラス記号をクリックします。
プリンターのツリーが開きます。
- ③ 選択ウインドウから設定したいプリンターまたはプリンターグループを選択し、「プリンタ」メニューから「プロパティ」を選択します。
- ④ 「ユーザ」タブをクリックします。
- ⑤ 設定するユーザーを選択し、ダブルクリックします。
- ⑥ 「制限値を超えたときメールで通知する」にチェックをつけ、「OK」をクリックします。

注 メールアドレスが入力されていない場合は通知されません。メールアドレスを入力してください。

メモ 複数のユーザーを設定する場合は、⑤、⑥の手順を繰り返します。

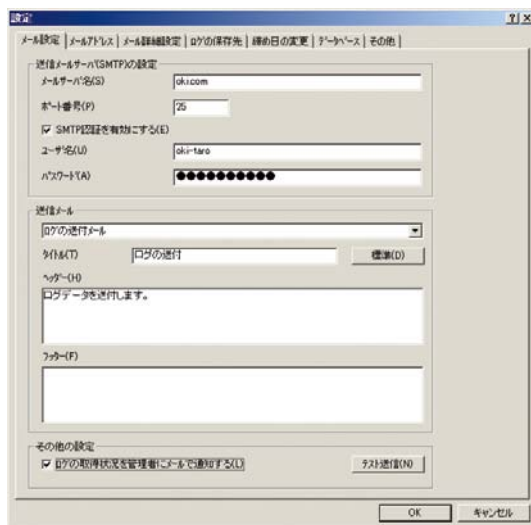
- ⑦ 「OK」をクリックします。
- ⑧ 「ユーザID 登録」画面で「OK」をクリックします。
- ⑨ 「ログ取得プリンタのプロパティ」画面で、「OK」をクリックして、プリンタのプロパティを閉じます。

ログの取得状況をメールで通知する

1日1回管理者にログの取得状況をメールで通知することができます。

ログの取得状況を通知します。

プリンタ	MC361(192.168.0.2)
状態	取得
最終取得日	2010/09/30 11:35:18
プリンタ	C711(192.168.0.3)
状態	取得
最終取得日	2010/09/30 11:28:49

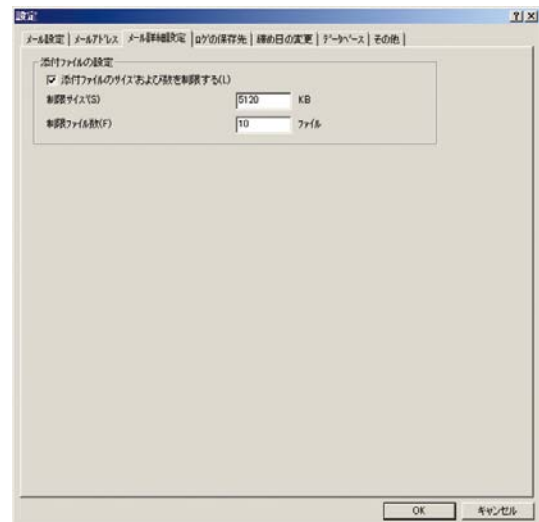


注 あらかじめ「メール送信機能の設定をします」(206 ページ)に従って、送信メールサーバー、送信者のメールアドレス、管理者のメールアドレスを設定する必要があります。

- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② [オプション] メニューから [設定] を選択します。
- ③ [メール設定] タブで [ログの取得状況を管理者にメールで通知する] にチェックを付けます。
- ④ [OK] をクリックします。

添付ファイルのサイズおよび数を制限するには

添付ファイルのサイズおよび数を制限して、メールを分割して送信することができます。



- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② [オプション] メニューから [設定] を選択します。
- ③ [メール詳細設定] タブをクリックします。
- ④ [[添付ファイルのサイズおよび数を制限する] にチェックし、[制限サイズ] および [制限ファイル数] を入力します。
- ⑤ [OK] をクリックします。

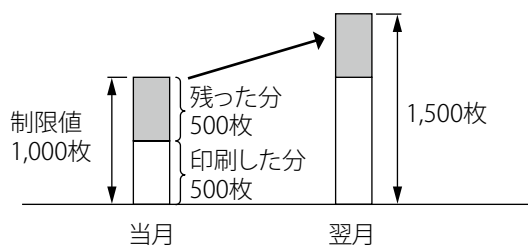
注 1つのファイルで制限サイズを超える場合は、添付ファイルを送信できないことをメールで通知します。

印刷制限枚数の繰り越しについて (Enterprise 版のみ)



「残った分を次に持ち越す」にチェックをつけると、プリンターの使用制限値を超えなかった場合、残った分を次の有効期限へ持ち越すことができます。図の例では、1ヶ月間に1,000枚まで印刷できるユーザーが500枚しか印刷しなかったとすると、翌月は1,500枚まで印刷することができます。

- ① サーバーソフトウェアを起動します。



- ② 選択ウインドウの「プリンタ」の左にあるプラス記号をクリックします。
プリンターのツリーが開きます。
- ③ 選択ウインドウから設定するプリンター/プリンターグループを選択し、ダブルクリックします。
- ④ 「ユーザ」タブをクリックします。
- ⑤ 設定するユーザーを選択し、ダブルクリックします。
- ⑥ 「残った分を次に持ち越す」にチェックをつけ、「OK」をクリックします。



複数のユーザーを設定する場合は、⑤、⑥の手順を繰り返します。

- ⑦ 「OK」をクリックします。

- ⑧ 「ユーザID登録」画面で「OK」をクリックします。
- ⑨ 「ログ取得プリンタのプロパティ」画面で、「OK」をクリックして、プリンターのプロパティを閉じます。

登録済みのプリンターを削除するには

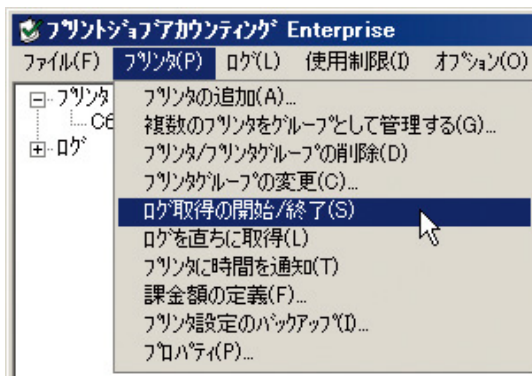
移動や廃棄などでプリンターをプリントジョブアカウンティングの管理から外すときは、移動・廃棄前にサーバーソフトウェアからプリンターを削除します。

- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 選択ウィンドウの「プリンタ」をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウィンドウのリストビューに表示されます。



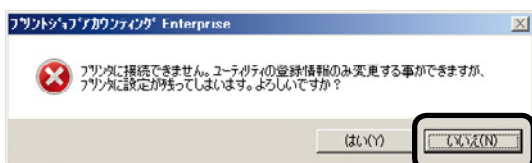
- ④ 削除したいプリンターを選択し、「プリンタ」メニューの「ログ取得の開始/終了」を選択します。

メモ プリンターは複数選択することができます。



- ⑤ ログ取得終了の確認画面で「はい」をクリックします。

注 下記の画面が表示された場合、プリンターと接続できていません。
必ず「いいえ」をクリックし、プリンターと接続してから再度やり直してください。

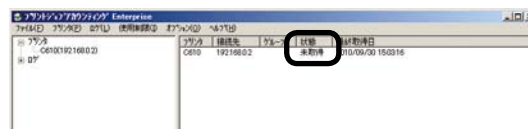


- ⑥ 「プリントの管理者パスワードを入力してください。」画面が表示されたら、プリンターの管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックします。

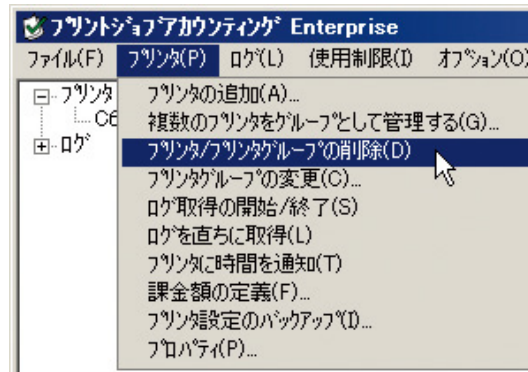
注 プリンターによっては表示されません。



- ⑦ 詳細ウィンドウのプリンターの「状態」欄が「未取得」になったことを確認します。



- ⑧ 削除したいプリンターを選択し、「プリンタ」メニューの「プリンタ / プリンタグループの削除」を選択します。



- ⑨ プリンター削除確認画面で「はい」をクリックします。
- ⑩ 削除する項目を指定し、「OK」をクリックします。
- ⑪ 「プリントの管理者パスワードを入力してください。」画面が表示されたら、プリンターの管理者パスワードを入力し、「OK」をクリックします。

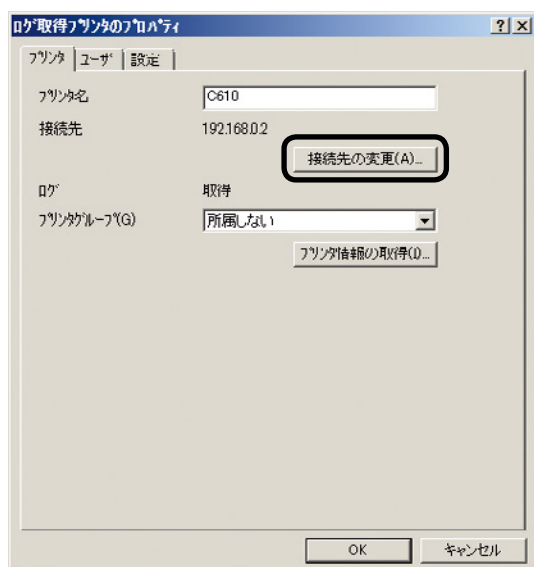
注 プリンターによっては表示されません。

- ⑫ ユーザー ID 削除確認画面で、プリンターに登録済みのユーザー ID を削除する場合は「はい」を、プリンターに登録済みのユーザー ID を残す場合は「いいえ」をクリックします。
- ⑬ ログ削除確認画面で今までサーバーソフトウェアで取得したログを削除する場合「はい」を、サーバーソフトウェアにログを残す場合「いいえ」をクリックします。

プリンターの接続先や IP アドレスを変更したとき

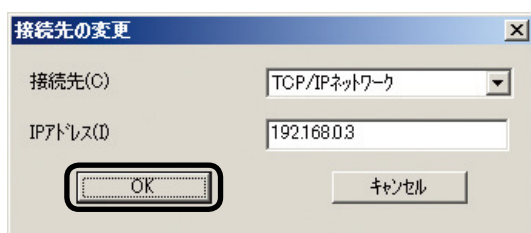
プリンターの接続先や IP アドレスを変更した場合は、サーバーソフトウェアの設定を変更します。

- ❶ プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ❷ サーバーソフトウェアを起動します。
- ❸ 選択ウインドウの「[プリンタ]」の左にあるプラス記号をクリックします。
プリンターのツリーが開きます。
- ❹ プリンターを選択し、「[プリンタ]」メニューから「[プロパティ]」を選択します。
- ❺ 「[プリンタ]」タブの「[接続先の変更]」をクリックします。



- ❻ 接続先を変更する場合は、接続先リストから選択し、「[OK]」をクリックします。

IP アドレスを変更する場合は、新しい IP アドレスを入力し、「[OK]」をクリックします。

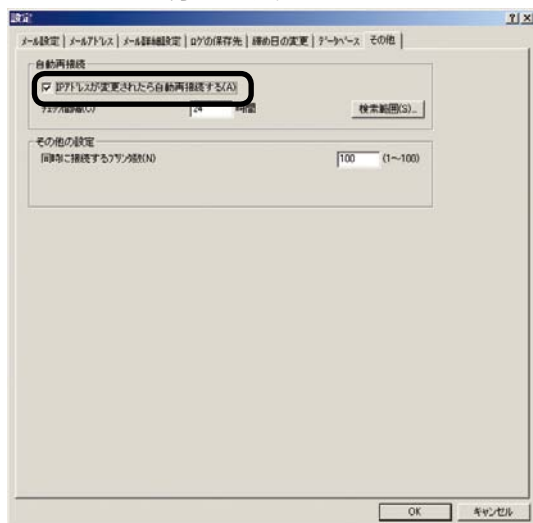


- ❼ 「[ログ取得プリンタのプロパティ]」画面で「[OK]」をクリックします。

プリンターのIPアドレスが変更された時に自動的に再接続するには

プリンターの IP アドレスが変更された時、変更後の IP アドレスに自動的に接続してログの取得を続けることが可能です。DHCP 環境で IP アドレスが動的に割り当てられる場合や管理者が IP アドレスを変更した場合に有効です。

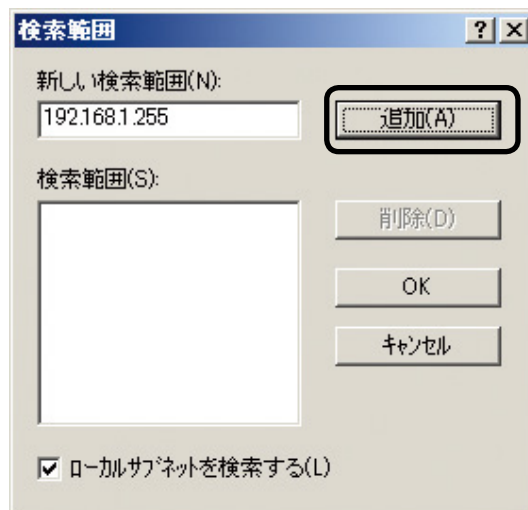
- ① [オプション] メニューの [設定] を選択します。
- ② [その他] タブをクリックします。
- ③ [IP アドレスが変更されたら自動再接続する] にチェックを付けます。



- ④ IP アドレスが変更されたかどうかの確認する間隔（単位：時間）を入力します。
- ⑤ [OK] をクリックします。

メモ IP アドレスが変更されたプリンターを検索する範囲を変更する場合は以下を行います。

- ① [検索範囲] をクリックします。
- ② 検索範囲を追加する場合は、[新しい検索範囲] に追加する検索範囲のブロードキャスト IP アドレスを入力し、[追加] をクリックします。



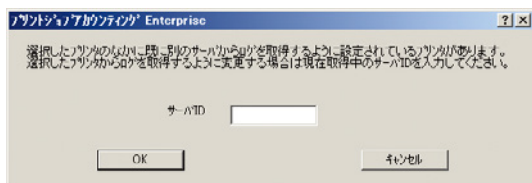
- ③ 検索範囲を削除する場合は、[検索範囲] から削除する検索範囲を選択し、[削除] をクリックします。
- ④ ローカルサブネットの検索を行う場合は、[ローカルサブネットを検索する] にチェックを付けます。
- ⑤ [OK] をクリックします。

サーバーを別のコンピューターに変更するとき

現在ログを取得しているサーバーを別のコンピューターに変更する場合、現在のサーバーで一旦プリンターを削除し、新しいサーバーで再度追加し直します。

現在のサーバーが故障などで使用できない場合は、新しいサーバーで以下の操作を行ってください。

- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② 新しいサーバーでサーバーソフトウェアを起動します。
- ③ [プリンタ] メニューの [プリンタの追加] を選択します。
- ④ 画面の指示に従ってプリンターを追加します。
- ⑤ サーバー ID 入力画面が表示されたら、現在ログを取得しているサーバーのサーバー ID を入力し、[OK] をクリックします。



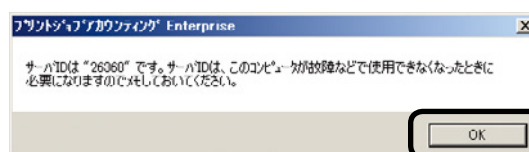
- ⑥ 画面の指示に従ってセットアップを続けます。

サーバー ID を確認するには

- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② [ヘルプ] メニューから [サーバID] を選択します。



- ③ サーバー ID を確認し、[OK] をクリックします。



プリンターの内蔵ハードディスク、SD メモリーカードを取り付け / 取り外しするとき

- ① 「登録済みのプリンターを削除するには」(212 ページ) を参照して、サーバーソフトウェアに登録しているプリンターを削除します。
- ② プリンターの内蔵ハードディスク、SD メモリーカードの取り付け / 取り外しを行います。
- ③ サーバーソフトウェアプリンターを追加し直します。

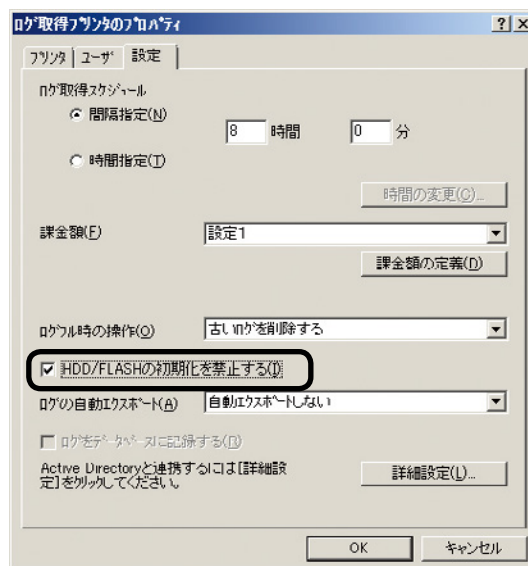
内蔵ハードディスク、SD メモリーカード、フラッシュメモリーの初期化禁止について

プリンターの内蔵ハードディスク、SD メモリーカード、フラッシュメモリーの初期化を行うと、サーバーソフトウェアで取得する前のログが削除されます。またプリンターからユーザー情報も削除されるため、サーバーソフトウェアが正しいログを取得できなくなります。プリントジョブアカウントティングを使用するときには、内蔵ハードディスク、SD メモリーカード、フラッシュメモリーの初期化を行えないよう設定する必要があります。

- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 選択ウィンドウの [プリンタ] をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウィンドウのリストビューに表示されます。
- ④ プリンターを選択し、[プリンタ] メニューから [プロパティ] を選択します。

メモ プリンターは複数選択することができます。

- ⑤ [オプション] タブの [FDD/FLASH の初期化を禁止する] にチェックを付けます。



- ⑥ [OK] をクリックします。
以降、プリンターの内蔵ハードディスク、SD メモリーカード、フラッシュメモリーの初期化が行えなくなります。

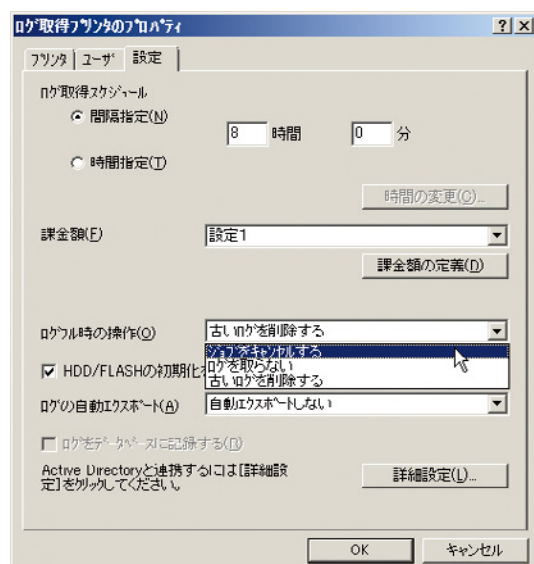
ログフル時の操作について

サーバーソフトウェアでログを取得する前に、プリンターのログ用のバッファがいっぱいになったときの処理を設定できます。

- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 選択ウインドウの「プリンタ」をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウインドウのリストビューに表示されます。
- ④ プリンターを選択し、「プリンタ」メニューから「プロパティ」を選択します。

メモ プリンターは複数選択することができます。

- ⑤ 「設定」タブの「ログフル時の操作」を変更します。



古いログを削除する

もっとも古いログを削除し、新しいログを取ります。

ジョブをキャンセルする

以降の印刷をキャンセルします。

ログを取らない

以降の印刷ジョブのログを取りません。

- ⑥ 「OK」をクリックします。

オプションを取り付けた場合に設定情報を更新するには (Enterprise 版のみ)

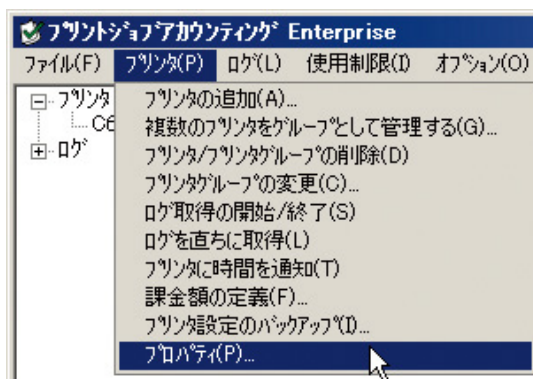
オプションがプリンターに追加された時など、プリンターから情報を取得して設定情報を更新することができます。サーバーソフトウェアでプリンターを登録した後に IC カード対応表を受信するための SD カードをプリンターに取り付けた場合は、サーバーソフトウェアの設定情報を更新する必要があります。

- ① プリンターの電源が ON になっていることを確認します。
- ② サーバーソフトウェアを起動します。
- ③ 選択ウィンドウの「プリンタ」をダブルクリックします。登録済みプリンター一覧が詳細ウィンドウに表示されます。

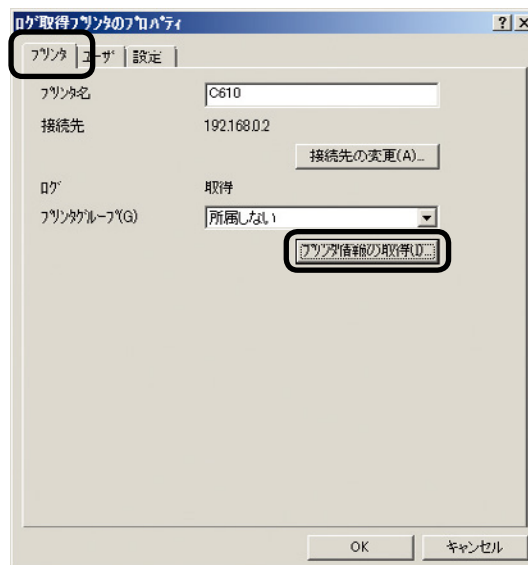


- ④ プリンターを選択し、「プリンタ」メニューから「プロパティ」を選択します。

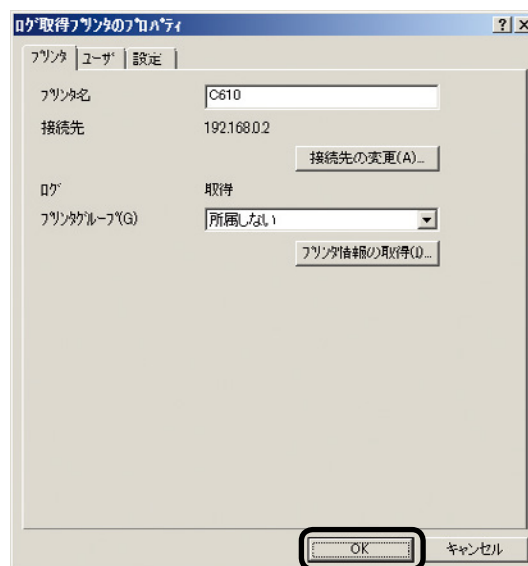
メモ 複数のプリンターを選択することができます。



- ⑤ 「プリンタ」タブを表示し、「プリンタ情報の取得」をクリックします。



- ⑥ [OK] をクリックします。更新された設定情報を参照するには、手順①から手順④までの操作を再度実施します。



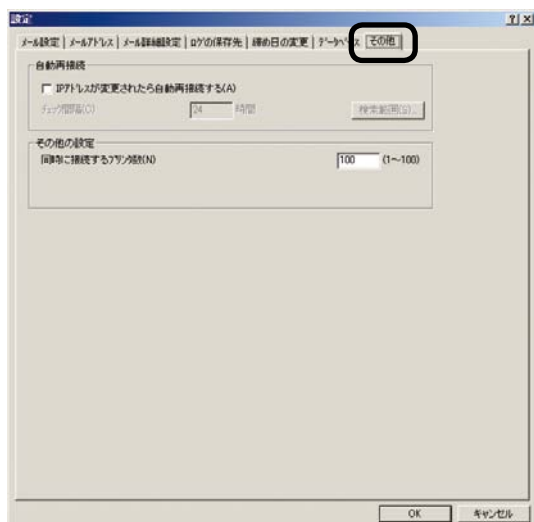
同時に接続するプリンター数を変更するには

同時に接続するプリンター数を変更することが可能です。同時に接続するプリンター数を小さい値に設定すると、本サーバーソフトウェアの処理によるコンピューターへの負荷が軽減されます。

- ① サーバーソフトウェアを起動します。
- ② 「オプション」メニューの「設定」をクリックします。



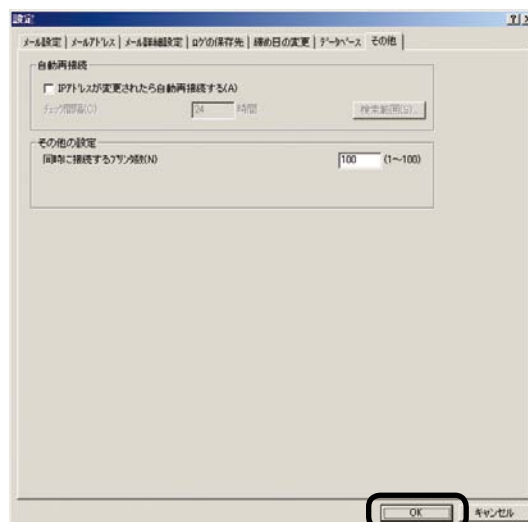
- ③ 「その他」タブを表示します。



- ④ 「同時に接続するプリンター数」を変更します。



- ⑤ [OK] をクリックします。



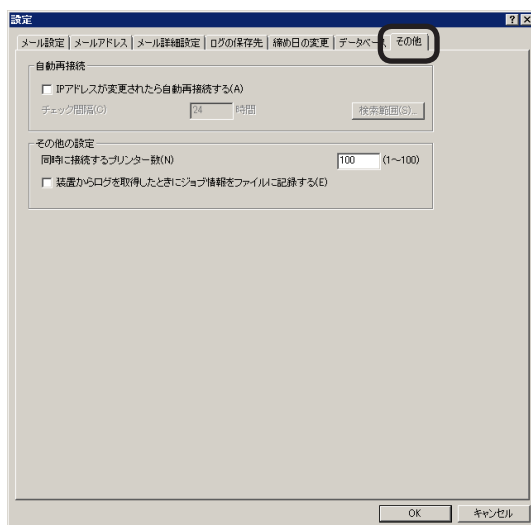
装置からログを取得したときにジョブ情報をファイルに記録するには

装置からログを取得したときにジョブ情報をファイルに記録することが可能です。本設定は使用制限が設定されるジョブ情報をログから追加する場合（76 ページ、82 ページ、85 ページ）に必要です。本設定を無効にすると、本サーバーソフトウェアの処理によるコンピューターへの負荷が軽減されます。

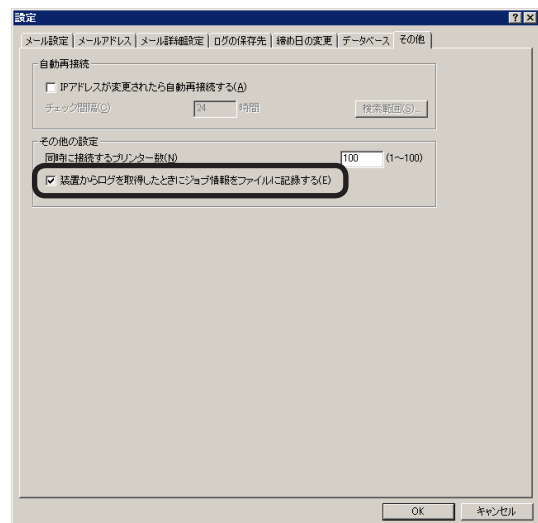
- 1 サーバーソフトウェアを起動します。
- 2 「オプション」メニューの「設定」をクリックします。



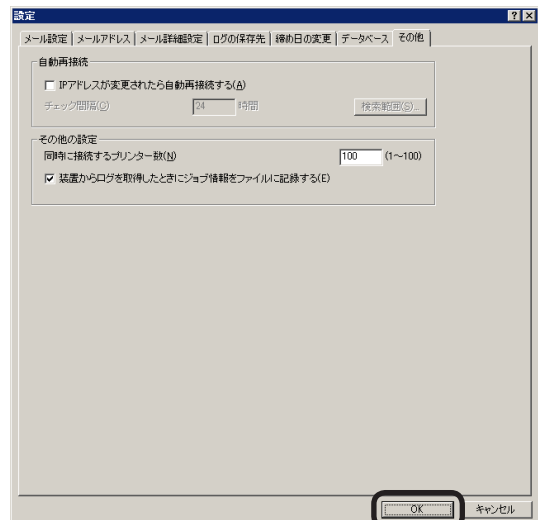
- 3 「その他」タブを表示します。



- 4 「装置からログを取得したときにジョブ情報をファイルに記録する」にチェックを付けます。



- 6 「OK」をクリックします。



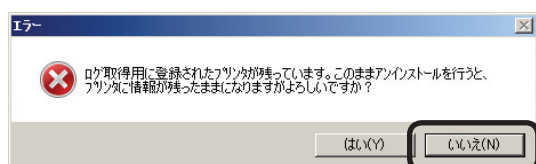
ソフトウェアを削除するには

サーバーソフトウェアの削除

サーバーソフトウェアを削除する場合、必ず登録しているプリンターを削除してからサーバーソフトウェアの削除を行ってください。

- ① 「登録済みのプリンターを削除するには」(212 ページ) を参照して、サーバーソフトウェアに登録しているプリンターを削除します。
- ② サーバーソフトウェアを終了します。
- ③ [スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [プリントジョブアカウンティング] - [プリントジョブアカウンティングの削除] を選択します。[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたら、[続行] もしくは [はい] をクリックします。

注 下記の画面が表示された場合、プリンターが削除されていません。必ず [いいえ] をクリックし削除を中止し、プリンターを削除してから、サーバーソフトウェアを削除してください。



- ④ 画面の指示に従って削除します。
- ⑤ [完了] をクリックします。

クライアントソフトウェア (Windows) の削除

- ① クライアントソフトウェアが起動している場合、終了します。
- ② [スタート] - [すべてのプログラム] - [沖データ] - [プリントジョブアカウンティングクライアント] - [プリントジョブアカウンティングクライアントの削除] を選択します。[ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたら、[続行] もしくは [はい] をクリックします。
- ③ 画面の指示に従って削除します。
- ④ [完了] をクリックします。

プラグイン (MacOS) の削除

プリンタードライバーを削除するとプラグインも削除されます。

クライアントソフトウェア (Mac OS X) の削除

インストールで任意の場所にコピーしたプリントジョブアカウンティングアイコンを削除します。

Memo

13. 困ったときには

13. 困ったときには

プリントジョブアカウンティングを利用している場合に起こり得る代表的なトラブルとその解決のヒントを記載しています。

項 目	内 容
「[ログ取得プリンタの追加]」でプリンターを検索してもプリンターが見つからない。	・プリンターの電源が ON になっていることを確認します。 ・プリンターが処理中やオフライン状態、エラー状態（用紙切れなど）でないか確認します。プリンターがオンラインになったのを確認して「再検索」をクリックします。 ・「戻る」をクリックし、正しい検索対象にチェックが付いているか確認します。 ・検索対象が「TCP/IP ネットワーク」の場合、ブロードキャストアドレスが正しいか確認します。不明な場合はネットワーク管理者にご相談ください。 ・プリンターがプリントジョブアカウンティングに対応していません。接続先とプリンターの機種を確認します。 ・Windows Server 2003 SP1 以降のファイアウォールの設定で「例外を許可しない」にチェックがついている場合は、ルーターを超えるセグメントに対してプリンターの検索ができないため、ログ取得プリンターの追加ウィザードで「プリンターを接続先で指定する」を選択し、「接続先」で「TCP/IP ネットワーク」を選択し、IP アドレスを直接入力します。
「[ログ取得プリンタの追加]」でプリンターの接続先を指定すると、「プリンターがログ取得に対応していません。」というエラーが表示される。	プリンターがプリントジョブアカウンティングに対応していません。 接続先とプリンターの機種を確認します。
プリンターを追加しようとすると、「ログを格納するのに十分な領域がありません。」というエラーが表示される。	プリンターの内蔵ハードディスク、SD メモリーカード、またはフラッシュメモリーに十分な空きがありません。空き容量を確保してください。
プリンターの追加や設定を変更するとき、または直ちにログを取得するときなどに、「プリンターに接続できません。しばらく待ってもう一度お試しください。」や、「プリンターに接続できません。プリンターをご確認ください。」「プリンターがビジーです。しばらく待ってから実行してください。」というメッセージが表示される。	・プリンターの電源が ON になっていることを確認します。 ・プリンターが処理中やオフライン状態、エラー状態（用紙切れなど）でないか確認します。プリンターがオンラインになったのを確認して再度実行します。

項 目	内 容
CSV ファイルを作成してユーザー ID と名前を一括して登録すると「インポートファイルにエラーが見つかりました。」というエラーが表示される。	• CSV ファイルのフォーマットが正しいか確認します。 • 名前やユーザー ID が登録範囲を超えていないか確認します。ユーザー ID は 1 ～ 999999999（半角数字）、名前は全角 40 文字、半角 80 文字以内で登録します。 • 名前に「"」が含まれていないか確認します。「"」が含まれていると登録できません。
クライアントソフトウェアで非表示モードで設定するため ID ファイルのインポートを行うと「インポートファイルにエラーが見つかりました。」というエラーが表示される。	• CSV ファイルのフォーマットが正しいか確認します。 • ユーザー名やユーザー ID が登録範囲を超えていないか確認します。ユーザー ID は 1 ～ 999999999（半角数字）、ユーザー名は 80 文字以内で登録します。 • ユーザー名に「"」が含まれていないか確認します。「"」が含まれていると登録できません。
印刷すると自動的に印刷がキャンセルされて、印刷できない。	• 印刷を行ったユーザー ID が「印刷不可」または「カラー印刷不可」になっていないか確認します。 • 印刷を行ったユーザー ID の制限値を越えていないか、制限値と有効期限を確認します。 • ログフル時の操作を「ジョブをキャンセルする」に設定した状態でプリンターのログバッファがいっぱいになりました。プリンターを選択して、[プリンタ] メニューの [ログを直ちに取得] でログを取得します。その後、ログ取得スケジュールを短く設定し直します。
ログが設定したスケジュールに従って取得されない。	プリンターを選択して、[プリンタ] メニューの [ログを直ちに取得] を選択します。エラーが表示される場合、プリンターの電源が ON になっているか確認します。またプリンターが処理中やオフライン状態、エラー状態（用紙切れなど）でないか確認します。 正しくログが取得される場合、ログ取得スケジュールを確認します。取得する時間がプリンターおよびサーバーの電源が ON になっている時間か確認します。上記が問題ない場合は、Windows を再起動します。
すべてのログが取得されない。	ログフル時の操作を「古いログを削除する」または「ログを取らない」に設定した状態で、プリンターのログバッファがいっぱいになりました。ログ取得スケジュールを短く設定し直します。
開始時間や終了時間になにも表示されないログがある。	プリンターに時計を内蔵していない機種は、プリンターの電源を OFF/ON するとプリンターに時間が通知されるまで時間の情報をログに残すことができません。プリンターに時間を通知する方法は「プリンターに時間を通知するには」(179 ページ)をご覧ください。 プリンターに時計を内蔵している機種は、プリンター側で時刻を設定する必要があります。
プリンターを削除しようとする と「ログの取得を終了してから行ってください。」というメッセージが表示される。	ログ取得中のプリンターは削除できません。削除したいプリンターを選択し、[プリンタ] メニューの [ログ取得の開始 / 終了] でログの取得を終了してから、プリンターの削除を行います。

項 目	内 容
「ログを直ちに取得」を行うと「ログの取得を開始してから行ってください。」というメッセージが表示される。	ログが未取得の状態になっています。ログを取得したいプリンターを選択し、[プリンタ]メニューの[ログ取得の開始/終了]でログの取得を開始します。開始後のログが取得可能になります。
「ログを直ちに取得」を行うと「ログ取得スケジュールに従ってログを取得中のためできません。」というメッセージが表示される。	ログ取得スケジュールに従ってログを取得しています。しばらく待ってログが取得できているか確認します。「ログ取得スケジュール ...」がしばらく続く場合は、Windows を再起動します。
詳細ウィンドウのプリンターの「ログ」欄に「他のサーバで取得」と表示される。	他のサーバでログを取得するように設定されたか、プリンターのフラッシュメモリーが初期化されました。プリンターを選択し、[プリンタ]メニューの[プリンタの削除]で一旦プリンターを削除後、[プリンタ]メニューの[プリンタの追加]で、手順に従ってプリンターを再度追加します。プリンターが他のサーバでログを取得するように設定されている場合は、「サーバを別のコンピュータに変更するとき」(215 ページ)をご覧ください。
プリンターの操作パネルからメニュー印刷やデモ印刷ができない。	- ローカルプリントが印刷不可またはカラー印刷不可になっていないか確認します。 - ローカルプリントの制限値を越えていないか、制限値と有効期限を確認します。
プリンターの操作パネルでフラッシュメモリーの初期化ができない。また内蔵ハードディスク、SD メモリーカードを装着しているプリンターでハードディスク、SD メモリーカードの初期化ができない。	プリントジョブアカウンティングを使用するときは、サーバソフトウェアで「HDD/FLASH の初期化を禁止する」にチェックを付けてお使いください。この状態ではフラッシュメモリーや内蔵ハードディスク、SD メモリーカードの初期化は行えません。「登録済みのプリンターを削除するには」(212 ページ)に従ってプリンターを削除し、フラッシュメモリーまたは内蔵ハードディスク、SD メモリーカードの初期化を行います。初期化後、[プリンタ]メニューの[プリンタの追加]で、手順に従ってプリンターを再度追加します。

Print Job Accounting

ユーザーズマニュアル

発行日 2015年2月 第4版

発行者 **株式会社 沖データ**

45080601EE
